seeing and hearing like never before

取扱説明書

KRP-600A
KRP-500A

本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください

ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。(184ページ)

必ず転倒・落下防止対策を行ってください。(20ページ)

フラットパネルテレビ

末永くご使用いただくために

画面の焼き付きに関するご注意

■画面の残像と焼き付きについて

残像とは

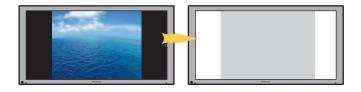
プラズマディスプレイは、輝度の高い文字・映像または固定パターンの画像を表示すると、比較的短時間の表示でもパネルの電荷負荷の残留により像が残ることがありますが、故障ではありません。

この残像は動画を画面いっぱいに映し出すことで徐々に回復します。

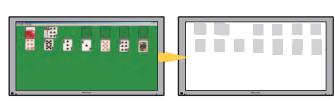
焼き付きとは

上記の画像を長時間または繰り返し表示し続けると、連続して表示している部分と他の部分の明るさに差が生じ、画面に焼き付きとして像が残るようになります。焼き付きが発生すると完全に回復することが難しくなりますのでご注意ください。**特に製品のご購入初期ほど起こりやすいのでご注意ください。**

■焼き付きを招きやすい表示例

- 地上デジタル放送などで、画面サイズが４：３の番組をそのままの状態で繰り返し視聴すると、左右黒帯の部分以外の表示している部分が焼き付きやすくなります。

- シネスコサイズの画像をそのままの状態で繰り返し視聴すると、上下黒帯の部分以外の表示している部分が焼き付きやすくなります。

- 時刻表示や放送局名などを表示する番組を長時間（または繰り返し）視聴すると、表示している文字が焼き付きやすくなります。

- パソコン画面やゲームソフトなど固定パターンの画像を長時間映し出すと、そのパターンが焼き付きやすくなります。

■焼き付きを防止するには

焼き付きを防止するために、特に購入初期の間は、以下の点に注意してご使用いただくことをお勧めします。

- 上記の焼き付きを招きやすい表示でのご使用はできるだけ避けてください。
- 画面サイズが４：３やシネスコサイズの番組は、リモコンの画面サイズボタンで「ワイド」などにして画面サイズいっぱいに表示して視聴してください。(☞63 ページ)
- [**画面自動調整**] を設定し (☞64 ページ)、[**サイドマスク**] の「検出」を「モード１」、「モード２」に設定して視聴してください。(☞65 ページ)
- ４:３ 画面サイズのときは、[**サイドマスク**]（画面左右部分）の「 輝度連動 」を「 連動 」（映像に連動した明るさにする）に設定してください。(☞65 ページ) さらに、[**消費電力**] で「モード２」に設定するとより効果があります。(☞66 ページ)
- オービター機能は「モード１」の設定のままでご使用ください。(☞99 ページ)
- HDMI 入力で PC を接続しているときは、必ず「信号種別」を「PC」に設定してください。(☞81 ページ)
- 「**おすすめ設定**」することをお勧めします。(☞99 ページ)

このたびは、パイオニア製品をお買い求めいただきまして
まことにありがとうございます。
お客様の安全のために「安全上のご注意」(☞184 ～ 186 ページ)を
必ずお読みください。

- 本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
- なお、「取扱説明書」は、「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に大切に保管してください。

はじめに…

アンテナを本機に正しく接続してください!
「アンテナをつなぐ」☞32 ページ

必ずB-CAS(ビーキャス) カードを本機に挿入してください!
「B-CAS カードについて」☞41 ページ

リモコンに電池を入れてください!
「リモコンを使う」☞40 ページ

◉ 他の機器と連携して楽しむ

本機のリモコンで他の機器を操作する!(KURO LINK)

1. 本機からレコーダーなどを操作する ☞76 ページ
2. 本機からKURO LINK対応機器を操作する ☞79 ページ

デジタル放送を録画する!

1. 録画機器の接続方法を選ぶ ☞101 ページ
2. 録画を予約する ☞127 ページ

◉ こんなときは

お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリアに入ったときや、引っ越しなどで再設定するときは!

1. まず、アンテナをつなぐ ☞32 ページ
2. 初期スキャンでチャンネルを設定する ☞141 ページ
3. アンテナレベルを確認する ☞150 ページ

地上アナログ放送で希望のチャンネルが受信できないときは!

ご自宅のアンテナで受信しているとき

- 一括でチャンネル設定する ☞133 ページ

ケーブルテレビ(CATV)、または共同受信アンテナで受信しているとき

- 自動でチャンネル設定する ☞134 ページ

番組のジャンルから、見たい番組を選ぶには!

- 映画やスポーツなどのジャンルで探す(快速番組サーチ) ☞55 ページ

もくじ

お使いになる前に

付属品を確認する 6
ディスプレイの付属品 6
メディアレシーバーの付属品 6
スピーカーの付属品（KRP-600A） 7
スピーカーの付属品（KRP-500A） 7
各部の名前とはたらき 8
ディスプレイの前面（KRP-600A/500A） 8
ディスプレイの背面（KRP-600A/500A） 9
メディアレシーバーの前面 10
メディアレシーバーの背面 11
リモコン 12
お手入れのしかた 14

準備する（設置と接続）

設置の手順 16
設置時の注意事項 17
スピーカーを取り付ける（KRP-600A） 21
スピーカーを取り付ける（KRP-500A） 25
ケーブルを束ねる 29
カラーセンサー（別売）を使う 30
メディアレシーバーとディスプレイをつなぐ 31
アンテナをつなぐ 32
デジタル放送のアンテナをつなぐ 32
地上デジタル放送のアンテナ（UHF）をつなぐ 32
BS・110度CSデジタル放送用の衛星アンテナをつなぐ（個別受信） 33
共同受信 34
地上/BS·110度CSデジタルチューナー内蔵DVDレコーダーなどをつなぐ 35
地上アナログ放送のアンテナ（VHF/UHF）をつなぐ 36
電話回線をつなぐ 37
電源コードをつなぐ 39
リモコンを使う 40
B-CASカードについて 41
設置がすんだら「かんたん設定」 42

テレビを見る

電源を入れてテレビを見る 46
ホームメニューとは 49
ホームメニューを使う 49
ホームメニューを終了する 50
番組表/週間番組表で番組を選ぶ 51
映画やスポーツなどのジャンルで探す 55
リモコンのボタンで簡単に探す（快速番組サーチ） 55
番組ナビからジャンルを選んで探す 56
デジタル放送のチャンネル一覧を使う 57
番組の詳細を表示する 59
音声を切り換える 60
データ連動放送を見る（デジタル放送のみ） 61
外部入力の映像を見る 62
画面サイズを切り換える 63
省エネ機能を使う 66
自動で電源を切る 67

画質と音質を調整する

お好みの画質・音質モードを選ぶ 68
お好みの画質に調整する 69
詳細な画質調整をする 70
調整前と後を比較しながら画質を調整する 72
お好みの音質や音場に調整する 73
自動的に最適な画質・音質に調整する 75

KURO LINKを使う

KURO LINK対応機器をつなぐ 76
KURO LINKの設定をする 78
電源のテストをする 78
本機からKURO LINK対応機器をコントロールする 79
本機のリモコンでKURO LINK対応機器を操作する 79
本機のメニューでKURO LINK対応機器を操作する 79
HDMI接続の設定をする 81
HDMIの信号種別の設定をする 81
HDMIの映像設定をする 82

いろいろな機能を使う

画面の位置を調整する......83
2 画面表示にする......84
画面を静止させる......86
複数の音声・字幕や映像（マルチビューなど）を切り換える......86
字幕や文字スーパーを設定する......87
トピックスを見る......88
デジタル放送の情報を見る......89
視聴制限を設定する......92
電源ランプの明るさを調整する......96
ゲームモードでの操作性を設定する......97
部屋の明るさに応じて自動で最適な明るさにする......98
ディスプレイ保護のメニューをまとめて設定する......99
オービターの設定をする......99
ビデオパターンを表示する......100

接続して使う

機器のつなぎ方を選ぶ......101
- 他の機器からの映像・音声を本機で見る......101
- 本機の映像・音声を録画する......101
- その他の機器と接続する......102
- 録画機器を接続するときのご注意......102

DVDレコーダー（HDMI 端子付き）をつなぐ......103
ビデオデッキや DVDレコーダー（HDMI 端子なし）をつなぐ......104
BD/DVDプレーヤーをつなぐ（HDMI ケーブルで接続する場合）......105
BD/DVDプレーヤーをつなぐ（HDMI ケーブル以外で接続する場合）......106
ビデオコントローラーを使って録画をする......107
- ビデオコントローラーを取り付ける......108
- ビデオコントローラーの設定をする......108

他機器を操作するためのリモコン設定をする......110
- メーカーコードを登録して操作する......110

AV アンプや MDレコーダーなどのオーディオ機器をつなぐ......113
コントロール接続について......114
パソコン（PC）の画面を見る......115
デジタルカメラの静止画を見る......119
ネットワークにつなぐ......123

録画を予約する

録画予約の準備をする......127
番組を指定して録画予約する......129
日時とチャンネルを指定する（マニュアル予約）......131
予約の確認や変更、取り消しをする......132

テレビの設定を変更する

地上アナログ放送のチャンネルを設定する......133
時計を合わせる......140
地上デジタル放送のチャンネルを設定する......141
BS・110 度 CS デジタル放送のチャンネルと周波数を修正する......145
デジタル放送の選局対象（すべて / お好み）を選ぶ......146
デジタル放送のリモコンのチャンネル設定を自分で修正する......147
居住地域を設定する......149
アンテナの設定をする......150
地上デジタル放送の設定を確認する......153
B-CAS カードのテストをする......154
電話の設定をする......155
自動更新の設定をする......157
デジタル音声の出力フォーマットを設定する......158
設定をリセットする......159

困ったときは

故障かな？と思ったら......160
メッセージ表示一覧......168
保証とアフターサービス......171

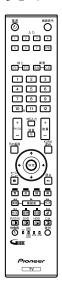
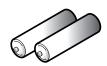
付録

デジタル放送で広がるサービス......173
地上アナログ放送地域コード／ホスト局一覧表......175
地上アナログ放送局コード一覧表......178
地上デジタル放送チャンネル一覧表......179
画面に表示されるアイコンの説明......181
おもな仕様......182
商標／著作権・個人情報について......183
安全上のご注意......184
使用上のご注意（守っていただきたいこと）......187
用語の解説......189
Quick Reference......190
メニュー一覧......191
索　引......194

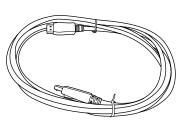
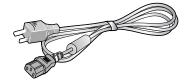
付属品を確認する

付属品がそろっているかを確認します。

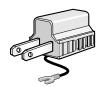
ディスプレイの付属品

リモコン×1

単３乾電池２本（リモコン用）

電源コード×1（ノイズフィルター付き）（2.0 m、3 ピン）

AC 変換プラグ×1

システムケーブル（2.9 m）×1

ワイピングクロス×1

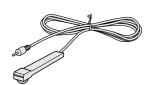
転倒防止用ボルト×2

ケーブルクランプ× 4

保証書

梱包箱に貼り付けられています。大切に保管してください。

モジュラーケーブル（10 m）×1

モジュラー分配器×1

ビデオコントローラー×1（1.8 m）

B-CAS（ビーキャス）カードおよびユーザー登録用紙

- 取扱説明書（本書）
- 安心サービス保証プログラムのご案内
- お客様登録用紙兼安心サービス保証プログラム申込書
- ご相談窓口・修理窓口のご案内

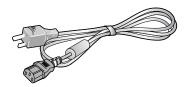
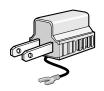
ご注意

- B-CAS（ビーキャス）カードのパッケージを開封すると、添付されている契約約款に同意したとみなされます。
  開封前に必ず契約約款をよくお読みください。（☞41 ページ）

お知らせ

- B-CAS カードについてのお問い合わせは
  （株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
  カスタマーセンター
  TEL：0570-000250

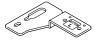
メディアレシーバーの付属品

電源コード×1（ノイズフィルター付き）（2.0 m、3 ピン）

AC 変換プラグ×1

スピーカーの付属品（KRP-600A）

スピーカーケーブル（1.35 m）×2

取付ネジ（M5×10 mm：黒）×16

スピーカー取付金具

左スピーカー用
（左上用× 1）

右スピーカー用
（右上用× 1）

左スピーカー用
（左下用× 1）

右スピーカー用
（右下用× 1）

スピーカーの付属品（KRP-500A）

スピーカーケーブル（1.35 m）×2

取付ネジ（M5×10 mm：黒）×16

クッション×2

スピーカー取付金具

左スピーカー用
（左上用× 1）

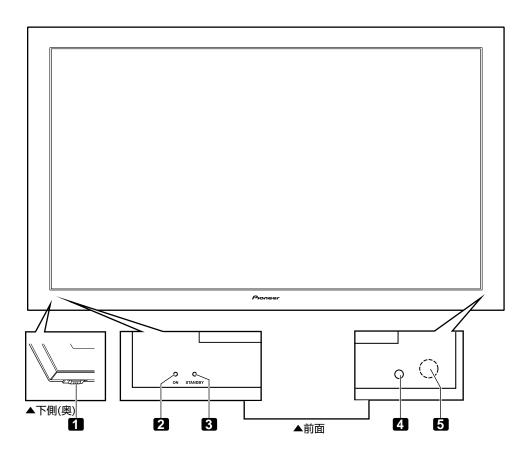
右スピーカー用
（右上用× 1）

左スピーカー用
（左下用× 1）

右スピーカー用
（右下用× 1）

各部の名前とはたらき

ディスプレイの前面（KRP-600A/500A）

▼前面

1 **主電源ボタン** ☞46 ページ
本機の主電源を入 / 切します。
主電源を切っても一部の回路に通電しています。

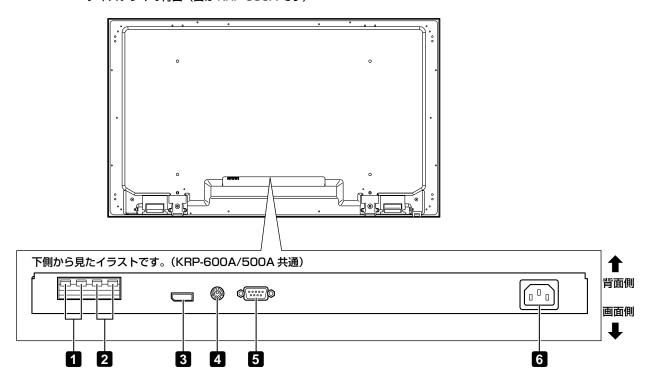
2 **電源 ON ランプ（青）** ☞46 ページ
本機の電源が「入」のとき、青色で点灯します。

3 **STANDBY ランプ（赤）** ☞46 ページ
ディスプレイの電源が「スタンバイ（待機状態）」のとき、赤色で点灯します。

4 **照度センサー**
外光の照度を測ります。

5 **リモコン受光部** ☞40、46 ページ
ここに向けてリモコンを操作します。

ディスプレイの背面（KRP-600A/500A）

▼ディスプレイの背面（図は KRP-600A です）

1　右スピーカー端子　☞23、27 ページ
右スピーカーのケーブルを接続します。

2　左スピーカー端子　☞23、27 ページ
左スピーカーのケーブルを接続します。

3　システムケーブル端子　☞31 ページ
システムケーブルを接続します。

4　カラーセンサー端子　☞30 ページ
別売のカラーセンサーを接続します。

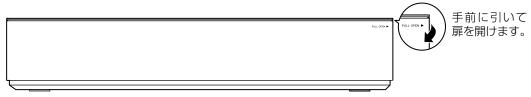
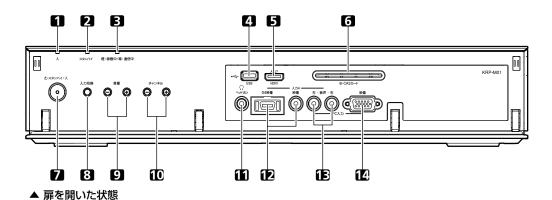
5　工場調整用端子
工場調整用の端子となりますので、何も接続しないでください。

6　AC インレット端子　☞39 ページ
付属の電源コードを接続します。

メディアレシーバーの前面

▼ メディアレシーバー（前面）

▲ 扉を閉じた状態

▲ 扉を開いた状態

1 **電源「入」ランプ（青）** ☞46 ページ
本機の電源が「入」のとき、青色で点灯します。

2 **スタンバイランプ（赤）** ☞46 ページ
メディアレシーバーの電源が「スタンバイ（待機状態）」のとき、赤色で点灯します。

3 **録画・通信ランプ（橙 / 緑）** ☞46 ページ
本機を使った録画中に橙色で点灯します。
本機が放送局からの情報を受信しているとき、または電話回線を使用しているときに緑色で点灯します。

4 **USB 入力端子** ☞119 ページ
デジタルカメラやメモリーカードリーダーを接続します。

5 **HDMI 端子（入力 7）** ☞62 ページ

6 **B-CAS（ビーキャス） カード挿入口** ☞41 ページ
デジタル放送を受信するための B-CAS カードを挿入します。

7 **スタンバイ / 入ボタン** ☞46 ページ
本機の電源を入 / スタンバイ (待機状態) にします。

お知らせ

- 「スタンバイ」中も、一部の回路が通電するときがあります。このとき録画 · 通信ランプが点灯しますが、故障ではありません。(☞161 ページ)

8 **入力切換ボタン** ☞62 ページ
受信する放送や外部入力を切り換えます。

9 **音量（＋ / －）ボタン** ☞47 ページ
お好みの音量に調整します。

10 **チャンネル（＋ / －）ボタン** ☞47 ページ
見たい放送のチャンネルを順送り / 逆送りで選局します。

11 **ヘッドホン出力端子**
ヘッドホン（16 Ω ～ 32 Ω推奨）を接続します。ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音声が出なくなります。

12 **入力 4 端子（映像・D4 映像）** ☞62 ページ
ビデオカメラなどを接続します。

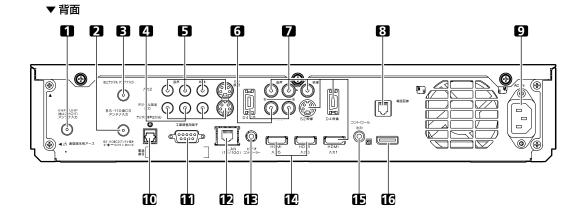
13 **入力 4/PC 入力端子（音声）** ☞115 ページ
入力 4 または、パソコンのどちらかの音声出力を接続します。

14 **PC 入力端子（映像）** ☞115 ページ
パソコンの映像出力を接続します。

ご注意

- ヘッドホンをご使用になる場合には、耳を痛めないよう適度な音量でお楽しみください。

メディアレシーバーの背面

▼ 背面

1 **VHF/UHF（地上アナログ）アンテナ入力** ☞36 ページ
地上アナログ放送受信用アンテナを接続します。

2 **BS・110 度 CS アンテナ入力** ☞33 ページ
BS・110 度 CS デジタル放送受信用アンテナを接続します。

3 **地上デジタルアンテナ入力** ☞32 ページ
地上デジタル放送受信用アンテナ（UHF）を接続します。

4 **デジタル放送出力端子（S2 映像・映像・音声）** ☞107 ページ
DVDレコーダーなどの入力端子と接続します。

5 **入力２端子（S2 映像・映像・音声）** ☞104 ページ
ビデオデッキなどの出力端子と接続します。

6 **入力３端子（音声・D4 映像）** ☞106 ページ
DVDプレーヤーなどの出力端子と接続します。

7 **入力１端子（S2 映像・映像・音声・D4 映像・HDMI）** ☞103、104、106 ページ
BDプレーヤー /DVDレコーダーなどの出力端子と接続します。

8 **電話回線端子** ☞37 ページ
電話回線を接続します。

9 **AC インレット端子** ☞39 ページ
付属の電源コードを接続します。

お知らせ

• ケーブルテレビ（CATV）で地上デジタル放送をご覧になる方は、33 ページをご覧ください。

10 **デジタル音声出力（光）端子** ☞113、158 ページ
光デジタルケーブルで、AV アンプなどのデジタル音声入力（光）端子に接続します。

11 **工場調整用端子**
何も接続しないでください。

12 **LAN（10/100）端子** ☞123 ページ
ハブやブロードバンドルーターなどの 10BASE-T/100BASE-TX 端子に接続します。

13 **ビデオコントローラー端子** ☞107 ページ
DVDレコーダーやビデオデッキなどで録画予約を行うときに、ビデオコントローラーを接続します。

14 **HDMI 端子（入力5/ 6）** ☞81、103、105 ページ
HDMI（High-Definition Multimedia Interface）対応BD/DVDプレーヤーなどの HDMI 端子と接続します。

15 **コントロール（出力）端子** ☞114 ページ
SRマークの付いた当社製 AV アンプなどを接続します。

16 **システムケーブル端子** ☞31 ページ
システムケーブルでディスプレイと接続します。

リモコン

▼リモコン

1　電源　☞46 ページ
電源を入 / スタンバイ（待機状態）します。

2　画面表示　☞59 ページ
番組タイトルやチャンネル番号など現在の状態を確認するときに使います。

3　入力１～入力７　☞62 ページ
入力 1 ～入力 7 に切り換えます。

4　PC　☞115 ページ
パソコン入力に切り換えます。

5　放送切換　☞47 ページ
地上アナログ、地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル（CS1/CS2）を選びます。

6　チャンネル（1～12）　☞47 ページ
見たい放送のチャンネルを一発選局します。

7　CH３桁入力　☞48 ページ
デジタル放送の 3 桁チャンネル番号を直接入力して選局するときに使います。

8　チャンネル（＋ / －）　☞47 ページ
見たい放送のチャンネルを順送り / 逆送りで選局します。

9　音量（＋ / －）　☞47 ページ
お好みの音量に調整します。

10　消音　☞47 ページ
音を一時的に消します。

11　元の画面　☞50 ページ
2 画面表示、番組表やメニュー画面などを終了して、テレビ放送の画面に戻ります。

12　KURO LINK　☞79 ページ
KURO LINK メニューを表示します。

13　カーソル（　）　☞49 ページ
メニュー項目や設定内容を選びます。

14　決定　☞49 ページ
カーソルで選んだメニュー項目や設定内容を決定します。

15　ホームメニュー　☞49 ページ
本機のいろいろな設定をするためのメニューを表示します。

16　戻る　☞50 ページ
1 つ前の操作に戻ります。

17　カラーボタン（青／赤／緑／黄）　☞51 ページ、121 ページ
番組表やデータ放送番組で、項目を選んだり表示を切り換えるときなどに使います。
カラーボタンが使えるときは、画面にカラーボタンの操作ガイドが表示されます。

18 番組情報 ☞59 ページ
視聴中の番組について詳細な情報を表示します。

19 番組表 ☞51、199 ページ
番組表を表示します。

20 快速番組サーチ (映画 / スポーツ / 音楽 / アニメ) ☞55 ページ
映画、スポーツ、音楽、アニメのジャンルで見たい番組を探します。

21 画面サイズ ☞63、117 ページ
お好みの画面サイズを選びます。

22 音声切換 ☞60 ページ
二重音声の番組や複数の音声がある番組の音声を切り換えます。

23 d データ連動 ☞61 ページ
デジタル放送のテレビ番組やラジオ番組に連動したデータ放送を表示します。

24 画質・音質 ☞68 ページ
番組やソフトの内容に合わせて、お好みの画質・音質の設定を選びます。

25 2 画面 ☞84 ページ
2 画面表示に切り換えたり、1 画面表示に戻します。

26 画面入換 ☞84 ページ
2 画面表示のときに、主画面・親画面（操作できる画面）と副画面・子画面を入れ換えます。

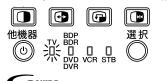
27 静止画面 ☞86 ページ
2 画面表示になり、右側の画面に静止画が表示されます。

28 子画面位置 ☞85 ページ
2 画面表示（PinP 表示のみ）のときに、子画面の位置を移動します。

29 他機器電源 ☞111 ページ
他機器を操作するときに使います。

30 選択 ☞110 ページ
操作する機器を切り換えるときに使います。接続している他の機器を本機のリモコンで操作できます。

ご注意

- ここでは、リモコンモードが「TV」のときの働きを説明しています。（リモコンの TV ランプが点滅します。）

「TV」以外のモードのときの、ボタンの使い方については ☞111 ページ

31 リモコンモードランプ（TV、BDP/BDR/DVD/DVR、VCR、STB） ☞110 ページ
現在選択されているリモコンのモードや送信状態を表示します。

お手入れのしかた

ご注意

- 本機の表面はベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤や科学ぞうきんなどで拭いたり、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。表面が変質したり、塗料がはがれることがあります。

パネル表面のお手入れのしかた

普段のお手入れのときは

1. 付属のワイピングクロスで**軽くから拭き**する

ご注意

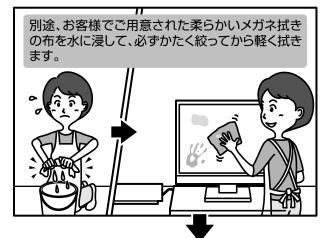
- パネル表面は柔らかい特殊フィルムで覆われています。強くこすると特殊フィルムにキズがつくことがあります。

から拭きで落ちない汚れのときは

1. 付属のワイピングクロスとは別に、市販の柔らかいメガネ拭きなどを用意する
2. 本機の電源を切る
3. 用意した柔らかい布を水に浸してよく絞る

ご注意

- 水に浸した布は、**必ずかたく絞って**ください。パネル表面を水が伝って本機内部に水が入ると、故障の原因となります。
- ご用意いただくメガネ拭きなどは、研磨剤やつや出しなどを含んでいないものを使用してください。

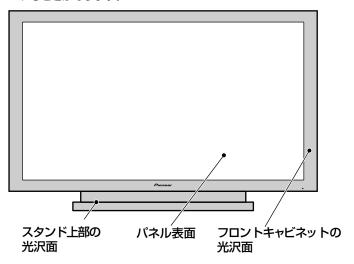
4. パネル表面を軽く拭いて、汚れを浮かせる
5. パネル表面が乾かないうちに付属のワイピングクロスでから拭きする
6. 手順 4、5 を繰り返す

お知らせ

- 水拭きでのお手入れのときは、片方の手に濡れた布、もう片方の手にワイピングクロスを持ち、濡れた布で拭いた直後にから拭きで汚れを拭き取るのがコツです。また、パネル全面をすべて水拭きしたあとにから拭きするのではなく、小ブロックに分けて、少しずつ水拭き、から拭きを繰り返してお手入れしてください。
- この水拭きでも落ちない汚れについては、カスタマーサポートセンター（裏表紙）にご相談ください。

キャビネット、メディアレシーバー、スタンド、スピーカーのお手入れのしかた

本機の光沢面のお手入れは、「パネル表面のお手入れのしかた」と同じ方法でお手入れしてください。
特にスタンドの上面に積もったほこりやゴミには、堅い異物が含まれている場合がありますので、最初にきれいな柔らかい布で軽く払い落としてください。
光沢面以外のお手入れは、きれいな柔らかい布（綿、ネルなど）で軽くから拭きしてください。

ご注意

- ほこりのついた布や硬い布で、拭いたり強くこすったりすると、表面にキズがつくことがあります。
- キャビネット、メディアレシーバーの表面を濡れた布で拭くと、水滴などが本機の内部に侵入して故障の原因になることがありますので、水拭きする場合は必ずかたく絞ってください。
- 本機の表面はベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤や科学ぞうきんなどで拭いたり、殺虫剤など、揮発性の薬品をかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。表面が変質したり、塗料がはがれることがあります。

拭いても落ちない汚れについては、カスタマーサポートセンター（裏表紙）にご相談ください。

付属のワイピングクロスの取り扱いについてのお願い

- ほこりなどで汚れたままのワイピングクロスを使用すると、本機の表面にキズがつく恐れがあります。ワイピングクロスが汚れたときには、以下のように洗濯をしてください。
  中性洗剤を１％程度に薄めて、もみ洗いをしてください。そのあと、洗剤が残らないように十分にすすぎ洗いをし、乾燥後ご使用ください。
- ワイピングクロスを紛失されたり汚れがひどくなった場合は、お近くの販売店でワイピングクロスをご注文いただくか、直接部品受注センターで購入をお願いいたします。
  また、代用品として市販のメガネ拭きなどを購入されてもご使用いただけます。
- ご用意いただくメガネ拭きなどは、研磨剤やつや出しなどを含んでいないものをご使用ください。

設置の手順

本機を設置して、スピーカーやアンテナ、電話回線などを接続するまでの手順を確認します。次の手順で設置してください。
設置の前に、安全上のご注意（☞184 ～ 186 ページ）を必ずお読みください。

1 置く場所を決める（☞17、187 ページ）

「使用上のご注意」と「設置時の注意事項」をご覧になって、設置場所を決めてください。

2 ディスプレイとメディアレシーバーを設置する （☞17 ページ）

別売のスタンドを組み立ててから、スタンドにディスプレイを取り付けます。

ご注意
- ディスプレイの取り付けや取り外しは専門業者にご依頼ください。
- ディスプレイを設置するには、別売のスタンドが必要です。スタンドの取り付け方法については、スタンドの取扱説明書をご覧ください。

3 スピーカーを取り付ける （☞KRP-600A 21 ページ、KRP-500A 25 ページ）

スピーカーを取り付けてケーブルをつなぎます。

4 メディアレシーバーとディスプレイをつなぐ （☞31 ページ）

メディアレシーバーとディスプレイをシステムケーブルでつなぎます。

5 アンテナや電話回線をつなぐ （☞32、37 ページ）

地上アナログ放送やデジタル放送のアンテナをつなぎます。また、必要に応じて本機に電話回線をつなぎます。

6 電源プラグをコンセントにつなぐ （☞39 ページ）

ご注意
- コンセントは必ず最後（手順 1 ～5のあと）に接続してください。

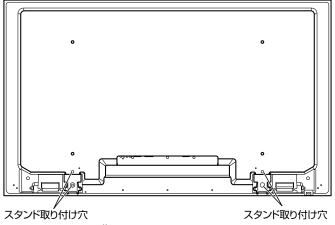
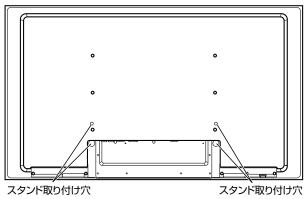
7 電源を入れてかんたん設定をする （☞42 ページ）

かんたん設定画面の案内に従って、設定を行ってください。

設置時の注意事項

本機を設置する前に、以下の注意事項をお読みになり、正しく安全に設置してください。

当社別売のスタンドなどを使って設置する

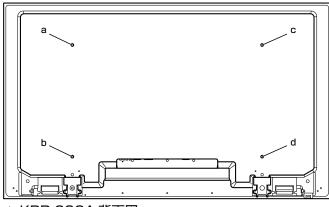
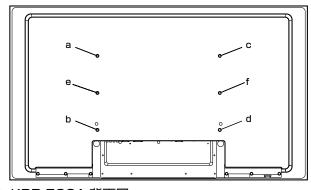
設置は販売店などに依頼してください。
スタンドで使う取り付け穴（4 カ所）は下図のとおりです。必ず付属のネジをお使いください。
詳しくはスタンドなどの取扱説明書をお読みください。

▲ KRP-600A 背面図

▲ KRP-500A 背面図

ご注意

- 当社製品以外の部品による事故損傷については、当社は一切責任を負いません。
- 取り付け、取り外しは、専門業者にご依頼ください。
- 本機には設置用のスタンドは付属していません。
  設置の際は、別売のテーブルトップスタンド（下表参照）をご使用ください。

KRP-600A 用テーブルトップスタンド	KRP-TS01
KRP-500A 用テーブルトップスタンド	KRP-TS02

当社別売の金具などを使って設置する

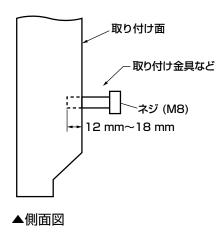
販売店にご相談ください。
使うことのできる取り付け穴は下図のとおりです。

▲ KRP-600A 背面図

▲ KRP-500A 背面図

ご注意

- 当社製品以外の部品による事故損傷については、当社は一切責任を負いません。
- 取り付け、取り外しは、専門業者にご依頼ください。
- 本機には設置用の金具は付属していません。
  設置の際は、別売の壁掛け金具（下表参照）をご使用ください。

KRP-600A 用壁掛け金具	KRP-WM01
KRP-500A 用壁掛け金具	KRP-WM02

次頁へつづく

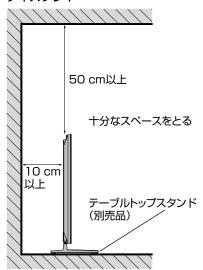
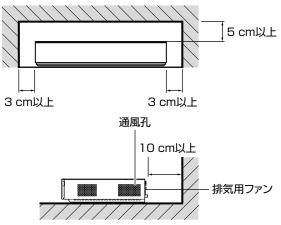
▲側面図

⚠注意

- 前ページ背面図のａｂｃｄの４カ所、またはａｂｃｄｅｆの６カ所の取り付け穴をお使いください。
- ネジはM8を使用し、本機の取り付け面から本機内に12 mm～18 mm入るものをお使いください。（背面図、側面図参照）
- 背面に開いている通風孔は、ふさがないようにしてください。
- ぐらついた台や傾いたところなど、不安定なところに置かないでください。また天井に取り付けないでください。倒れたり落ちたりしてけがの原因となります。
- 湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気の当たるような場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。
- 本機はガラスを使っていますので、必ず歪みのない面に取り付けてください。
- 上記の指定以外のネジ穴は指定製品専用です。指定製品以外の固定にはご使用にならないでください。
- スピーカーを取り付けたままスタンドから外したり、スタンドに取り付けたりしないでください。

設置スペースについて

ディスプレイ

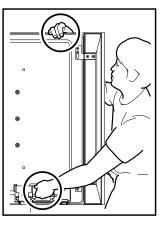
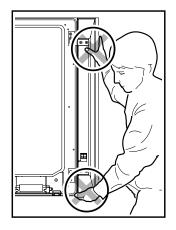
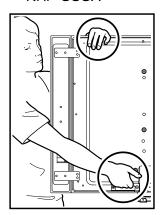
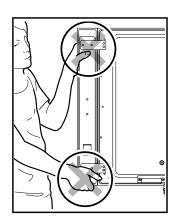
メディアレシーバー

⚠注意

- ディスプレイとメディアレシーバーの上には、物を載せないでください。
- ディスプレイとメディアレシーバーの背面部・天面部は、十分なスペースをとって設置してください。
- ディスプレイとメディアレシーバー背面の通風孔はふさがないでください。
- メディアレシーバー側面の通風孔および背面の排気用ファンはふさがないでください。
- メディアレシーバーを縦置きにしないでください。故障の原因になります。

本機の移動について

本機を移動する場合は、必ず二人以上で作業を行い、背面の「取っ手」を使用してください。けがの原因になるため片側の「取っ手」のみでの移動は行わないでください。下図のように使用してください。

ご注意

- 本機を持ち運ぶときには、スピーカー部分を持たないでください。スピーカーが外れる恐れがありますので、ディスプレイの上部と取っ手を持って持ち運んでください。
- テレビ台などに取り付けるときもスピーカーやスタンド部は持たず、ディスプレイを持って取り付けてください。

▲ KRP-600A

▲ KRP-500A

壁掛け設置する際の注意事項

1. 壁掛け設置をする際には、必ず専用の金具を使用してください。また設置・据え付けは工事専門業者に依頼してください。
2. 設置場所について
   - 人が簡単にぶら下がったり、寄りかかったりできる場所への設置はできるだけしないでください。
   - 屋外や温泉など湿気の多い場所、水辺の近くには設置しないでください。
   - 振動や衝撃の加わるような場所には設置しないでください。
   - 壁の構造や強度により取り付けできない場合がありますので、工事専門業者または販売店にご相談ください。
3. 異常や不具合が発見された場合は、すみやかに販売店または工事専門業者に修理を依頼してください。
4. 壁掛けの設置金具や壁面の取り付け部など、目につかない所が破損し、本機が落下する危険が生じる恐れがあります。本機を壁掛け設置する際、および点検修理時や内装工事の時などには、必ず工事専門業者または販売店に点検を依頼し、問題のないことをお確かめください。
5. 本機を壁掛け設置して長期間使用されると、環境によっては経年変化で取り付け部などの強度が不足する恐れがあります。定期的に工事専門業者に点検を依頼し、問題のないことをお確かめください。

壁掛け設置されたお客様へ

当社製の壁掛け金具は、工事専門業者により安全な設置・据え付けが行われることを前提として発売されています。壁掛け設置をされているお客様は以下のことをお守りください。

- 壁掛け設置されている本機には、ぶら下がったり力を加えたりしないでください。
- 壁掛け設置されている本機や壁掛け金具には、物をぶら下げたりしないでください。
- 地震が起きた場合には、壁掛け設置されている本機や壁掛け金具の落下・転倒など万一の場合に備え、本機や壁掛け金具から離れてください。
- 壁掛け設置の際には、地震などの災害や万一の場合に備え、二重の落下防止策（チェーンなどでの固定）を、工事専門業者にご依頼ください。
- スピーカーを取り付けるときは、本書 21、25 ページをご覧になって取り付けてください。また、壁掛け金具に本機を取り付けるときは、壁掛け金具の取扱説明書をご覧ください。

設置後の転倒・落下防止のお願い

地震などでの製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、必ず転倒・落下防止対策を行ってください。

ご注意

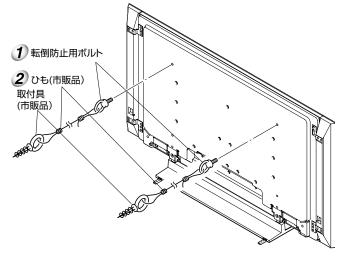
- 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は適当な補強を施してください。
- 転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保障するものではありません。

壁を利用する方法

お知らせ

- KRP-600A を例にして説明します。KRP-500A も同じ手順で転倒防止処置をします。

1 本機背面に、付属の転倒防止用ボルトを取り付ける

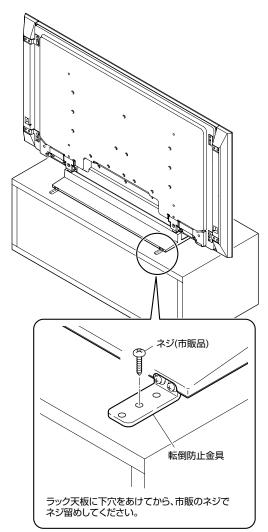
2 壁や柱などの堅牢な場所に、丈夫なひもでしっかりと固定する

ご注意

- 左右対称に、しっかりと固定してください。
- 市販のひもや取付具などをお使いください。
- ひもに裸の金属ワイヤーを使用しないでください。ワイヤーの先端が本体背面の通風孔に入り、感電や火災の原因になります。

テレビ台などに固定する方法

1 市販のネジおよびスタンドに付属のネジで、スタンドを次の図のように固定する

ご注意

- 本機はかなり重量があるため、設置するテレビ台はこの重さに耐えられる堅牢なもので、かつ十分な幅と奥行きがあり、転倒しない台を使用してください。
- 市販のネジを使用するときは、テレビ台の材質に合った、直径４mmのネジをご用意ください。ネジの種類についてはお買い上げの販売店や工事店にご相談ください。
- 別売の専用フロアスタンドをご使用の場合、転倒防止処置については、フロアスタンドの取扱説明書に従ってください。

イラストは KRP-600A です。

スピーカーを取り付ける（KRP-600A）

スピーカーをディスプレイに取り付けます。スピーカーは左用・右用があります。取り付ける前にスピーカー裏面のラベルで確認してください。
KRP-500A は 25 ～ 28 ページに記載しています。

ご注意

- テーブルトップスタンドを使うときは、スピーカーを取り付ける前に、本機にテーブルトップスタンドを取り付けておいてください。
- スピーカーを取り付ける前に、あらかじめ本機を設置場所に移動してください。
- スピーカーを取り付けたあとに移動する場合は、必ずディスプレイ本体を持ってください。スピーカー部を持つと、破損して落下する恐れがあります。

スピーカー取り付け完成図

* ディスプレイ側に付属

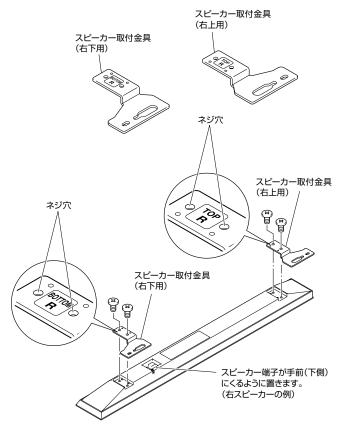
ご注意

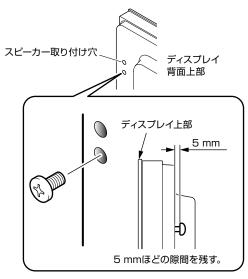
- スピーカーを取り付けるときは、必ず付属のネジを使用してください。付属以外のネジを使用すると、スピーカーが外れて落下する恐れがあります。
- スピーカーを取り付けるときは、ネジに緩みがないようにしっかりと締めてください。
- 設置方法を変更したり、スピーカーを取り外したりするときは、必ず接続する各機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから、スピーカーを取り外してください。

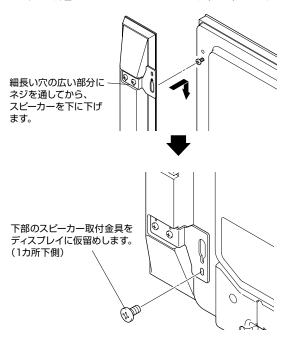
お知らせ

- スピーカー取付金具には左側用・右側用があります。R(右側)、L（左側）はラベルで確認してください。
- 本機前面から見て、右側を例にして説明します。左側も同じ手順で取り付けます。

1 スピーカーにスピーカー取付金具を取り付ける

スピーカー取付金具は、右スピーカー / 左スピーカー別に、それぞれ上下用があります。スピーカー背面の上部と下部に、それぞれスピーカー取付金具を付属のネジで取り付けます。（図参照）

2 ディスプレイ本体背面上部のスピーカー取り付け穴(2 つあるうちの下側)に、付属のネジを取り付ける

まだ、ネジを完全に締めないでください。5 mm 程度を残して軽く取り付けておきます。

3 取り付けた上部のネジを、スピーカー取付金具（上部）の細長い穴（広い部分）に通して引っ掛け、下のネジを仮留めする

スピーカー取付金具（上部）の細長い穴の広い部分にネジを通してから、スピーカーを下に下げます。

4 スピーカーの位置を調整する

スピーカーとディスプレイのすき間が均一になるように調整し、スピーカーとディスプレイの高さを合わせます。

そのあと、仮留めした２本のネジを締めて固定します。

5 残りの２本（上下各１本）のネジを締める

スピーカーケーブルをつなぐ

1 ディスプレイとスピーカーの間にスピーカーケーブルを下から通す

スピーカーケーブルはスピーカー取付金具の下をくぐらせます。

2 スピーカーケーブルを、極性を合わせてスピーカーにつなぐ

3 スピーカーケーブルをスピーカーケーブル固定用の溝に入れる

4 スピーカーケーブルのもう一端をディスプレイにつなぐ

次頁へつづく

スピーカーケーブルのつなぎ方（スピーカー側）

レバーを押してケーブルの先端を差し込みます。レバーを放すとスピーカーケーブルが固定されます。

ご注意

- ディスプレイとスピーカーとを接続する前に、ディスプレイの電源プラグを抜いてください。
  本機の電源を入れたままスピーカーケーブルの接続をすると、スピーカーケーブルの銅線が接続されている他機器などに触れたときに、ディスプレイに過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- スピーカーケーブルはまっすぐ差し込んでください。斜めに差し込むと接続が不完全になり、音が出なくなる場合があります。
- スピーカーケーブルを端子の奥まで差し込むと、被覆（ビニール部分）を挟み込んで音が出なくなる場合があります。銅線が外側から少し見えるように差し込んでください。

- スピーカー端子にケーブルを接続したあとは、ケーブルを軽く引いて、ケーブルの先端が端子に確実に接続されていることを確かめてください。接続が不完全だと、音がとぎれたり、雑音が出る原因となります。
- ケーブルの芯線がはみ出して、⊕と⊖の線がショートすると、ディスプレイに過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。
- 極性（＋－）を間違えないようにしてください。
  片方（右または左）のスピーカーの極性を間違えて接続した場合、低音が不足したり、音の定位感がなくなって、正しいステレオ効果が得られなくなります。
- スピーカー端子には、スピーカー以外の機器を接続しないでください。
- スピーカーケーブルを強く引っ張らないでください。接続が不完全になって音がとぎれたり、コネクタからケーブルが抜けたり、コネクタが破損したりすることがあります。

壁掛け金具を使う

壁掛け金具をお使いのときは、以下の手順で作業します。

お知らせ

- 最初にディスプレイを柔らかいシートなどの上に寝かせてから、スピーカーを取り付けてください。

1 ディスプレイにスピーカーを取り付ける

21 ～本ページを参照して取り付けます。

2 壁掛け金具の壁側金具に、スピーカーを取り付けたディスプレイを取り付ける

詳しくは、壁掛け金具に付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 壁掛け金具にディスプレイを取り付けるときは、スピーカー部を持たずに取っ手とディスプレイ上部を持ってください。スピーカー部を持つとスピーカーが外れて落下する恐れがあります。

スピーカーを取り付ける（KRP-500A）

スピーカーをディスプレイに取り付けます。スピーカーは、2本同じものです。クッションの貼り付け位置と取付金具により、右用、左用となります。取り付ける前にスピーカー取付金具裏面のラベルを確認してください。
KRP-600A は 21 ～ 24 ページに記載しています。

ご注意

- **テーブルトップスタンドを使うときは、スピーカーを取り付ける前に、本機にテーブルトップスタンドを取り付けておいてください。**
- **スピーカーを取り付ける前に、あらかじめ本機を設置場所に移動してください。**
- **スピーカーを取り付けたあとに移動する場合は、必ずディスプレイ本体を持ってください。スピーカー部を持つと、破損して落下する恐れがあります。**

スピーカー取り付け完成図

* ディスプレイ側に付属

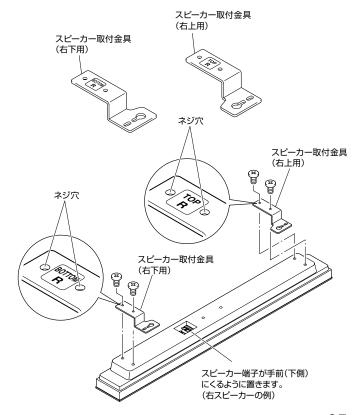
ご注意

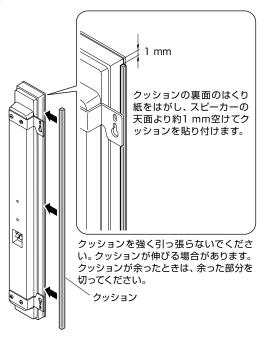
- **スピーカーを取り付けるときは、必ず付属のネジを使用してください。付属以外のネジを使用すると、スピーカーが外れて落下する恐れがあります。**
- **スピーカーを取り付けるときは、ネジに緩みがないようにしっかりと締めてください。**
- **設置方法を変更したり、スピーカーを取り外したりするときは、必ず接続する各機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてから、スピーカーを取り外してください。**

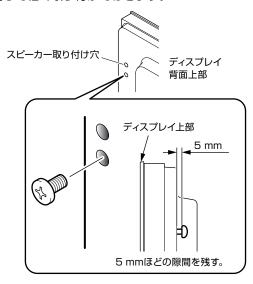
お知らせ

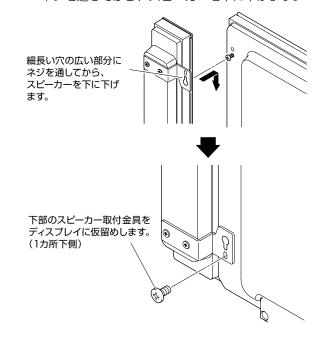
- スピーカー取付金具には左側用・右側用があります。R(右側)、L（左側）はラベルで確認してください。
- 本機前面から見て、右側を例にして説明します。左側も同じ手順で取り付けます。

1 スピーカーにスピーカー取付金具を取り付ける

スピーカー取付金具は、右スピーカー / 左スピーカー別に、それぞれ上下用があります。スピーカー背面の上部と下部に、それぞれスピーカー取付金具を付属のネジで取り付けます。（図参照）

2 クッションを取り付ける

右スピーカー / 左スピーカーにクッションを取り付けます。

3 ディスプレイ背面上部のスピーカー取り付け穴（2 つあるうちの下側）に、付属のネジを取り付ける

まだ、ネジを完全に締めないでください。5 mm 程度を残して軽く取り付けておきます。

4 取り付けた上部のネジを、スピーカー取付金具（上部）の細長い穴（広い部分）に通して引っ掛け、下のネジを仮留めする

スピーカー取付金具（上部）の細長い穴の広い部分にネジを通してから、スピーカーを下に下げます。

5 スピーカーの位置を調整する

スピーカーとディスプレイのすき間が均一になるように調整し、スピーカーとディスプレイの高さを合わせます。

そのあと、仮留めした2本のネジを締めて固定します。

6 残りの 2 本（上下各 1 本）のネジを締める

スピーカーケーブルをつなぐ

1 ディスプレイとスピーカーの間にスピーカーケーブルを下から通す

スピーカーケーブルはスピーカー取付金具の下をくぐらせます。

2 スピーカーケーブルを、極性を合わせてスピーカーにつなぐ

3 スピーカーケーブルをスピーカーケーブル固定用の溝に入れる

4 スピーカーケーブルのもう一端をディスプレイにつなぐ

次頁へつづく

スピーカーケーブルのつなぎ方（スピーカー側）

レバーを押してケーブルの先端を差し込みます。レバーを放すとスピーカーケーブルが固定されます。

ご注意

- ディスプレイとスピーカーとを接続する前に、ディスプレイの電源プラグを抜いてください。
  本機の電源を入れたままスピーカーケーブルの接続をすると、スピーカーケーブルの銅線が接続されている他機器などに触れたときに、ディスプレイに過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- スピーカーケーブルはまっすぐ差し込んでください。斜めに差し込むと接続が不完全になり、音が出なくなる場合があります。
- スピーカーケーブルを端子の奥まで差し込むと、被覆（ビニール部分）を挟み込んで音が出なくなる場合があります。銅線が外側から少し見えるように差し込んでください。

- スピーカー端子にケーブルを接続したあとは、ケーブルを軽く引いて、ケーブルの先端が端子に確実に接続されていることを確かめてください。接続が不完全だと、音がとぎれたり、雑音が出る原因となります。
- ケーブルの芯線がはみ出して、⊕と⊖の線がショートすると、ディスプレイに過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。
- 極性（＋－）を間違えないようにしてください。
  片方（右または左）のスピーカーの極性を間違えて接続した場合、低音が不足したり、音の定位感がなくなって、正しいステレオ効果が得られなくなります。
- スピーカー端子には、スピーカー以外の機器を接続しないでください。
- スピーカーケーブルを強く引っ張らないでください。接続が不完全になって音がとぎれたり、コネクタからケーブルが抜けたり、コネクタが破損したりすることがあります。

スピーカーを離して設置する（KRP-500A のみ）

別売のスピーカースタンド CP-LX70（フロアスタンド）を使用して床に設置することができます。また、スピーカースタンド CP-LX70TS（テーブルトップスタンド）を使用してラックの上に設置することもできます。

設置について、詳しくは CP-LX70 または CP-LX70TS の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 別売のスピーカースタンドを使用する場合、市販のスピーカーケーブルを、お客様で用意してください。

＊コードの太さ：AWG15（断面積 1.65 mm^2）～ AWG18（断面積 0.82 mm^2）

壁掛け金具を使う

壁掛け金具をお使いのときは、以下の手順で作業します。

お知らせ

- 最初にディスプレイを柔らかいシートなどの上に寝かせてから、スピーカーを取り付けてください。

1 ディスプレイにスピーカーを取り付ける

25 ～本ページを参照して取り付けます。

2 壁掛け金具の壁側金具に、スピーカーを取り付けたディスプレイを取り付ける

詳しくは、壁掛け金具に付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 壁掛け金具にディスプレイを取り付けるときは、スピーカー部を持たずに取っ手とディスプレイ上部を持ってください。スピーカー部を持つとスピーカーが外れて落下する恐れがあります。

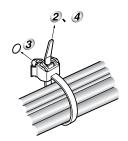
ケーブルを束ねる

ケーブルを束ねるときは、必要に応じて付属のケーブルクランプを使います。

1 束ねたケーブルにバンドをまく

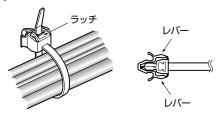
2 バンドをフォルダーに通す

3 ケーブルクランプフォルダのレバーを持ち、フックをディスプレイ背面の所定のクランプ穴に差し込む

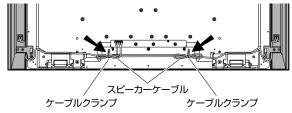
4 最後にクランプバンドを引き上げてロックする

5 ケーブルクランプがディスプレイ背面にしっかり固定されているか確認する

ご注意

- 各ケーブルに負荷がかからないように束ねてください。各ケーブルを引っ張らないでください。

クランプバンドを取り外すときは、ラッチを引きながら緩めて取り外します。ケーブルクランプを取り外すときは、レバーを押しながらクランプ穴から引き抜きます。

ご注意

- ケーブルを束ねるときは、指を挟んだり、ケーブルが圧迫されることがないように注意してください。
- ケーブルクランプは、長期間使用すると劣化します。古くなったクランプは取り外しの際に損傷しやすく、再使用ができなくなることがあります。
- ケーブルクランプは必要に応じてお使いください。
- ケーブルが絡まないように注意してください。

▼ ディスプレイ背面

カラーセンサー（別売）を使う

別売のカラーセンサーをディスプレイと接続することで、環境光を測定し、ご使用環境に最適な画質になるよう自動的に調整します。カラーセンサーの機能を有効にするには、「画質の調整」メニューの「モード」から「リビング」を選ぶかまたは、「その他の設定」の「ルームライトセンサー」メニューから「モード１」または「モード2」を選びます。（☞68、98 ページ）
カラーセンサーは、ディスプレイの前面右下に取り付けることをお勧めします。
背面右上に取り付けると、カラーセンサーが正常に動作しないことがあります。
詳しくはカラーセンサーの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 本機にはカラーセンサーは付属していません。設置の際は、別売のカラーセンサー（KRP-SE01) をご使用ください。

カラーセンサーを取り付ける

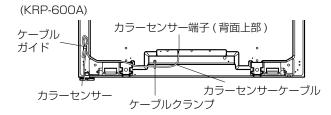
ディスプレイの前面右下に取り付ける（標準）

カラーセンサーにはマグネットが付いていますので、簡単に固定することができます。

1 マグネットを使ってディスプレイの前面右下に取り付ける

2 カラーセンサーの面がディスプレイの底面および側面とそろうように調整する

3 電源コードをつなぐ前に、カラーセンサーケーブルをディスプレイ背面のカラーセンサー端子に接続する

(KRP-600A)

(KRP-500A)

カラーセンサー端子 (背面上部)
カラーセンサー
ケーブルクランプ
カラーセンサーケーブル
ケーブルガイド
この位置に貼り付けてカラーセンサーケーブルを束ねてください。

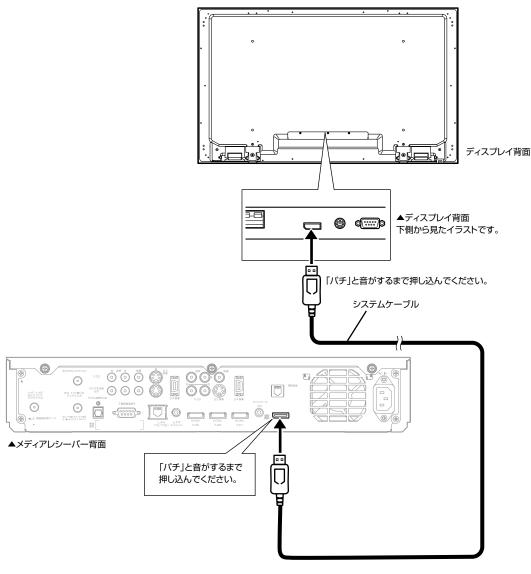
お知らせ

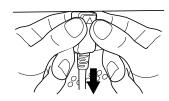
- 必要に応じてフラットテレビに付属のケーブルクランプを使い、ケーブルを束ねてください。
- ケーブルガイドは両面テープのシートをはがしてからお使いください。

ご注意

以下の場所ではカラーセンサーが正常に動作しない場合があります。
- 指定以外の取り付け方をしたとき
- カラーセンサー受光部の前に障害物があり光が入らないとき
- カラーセンサー受光部に部分的に照明が当たっているとき
- ディスプレイのパネル面とカラーセンサー受光部に当たる照明の種類が異なるとき

メディアレシーバーとディスプレイをつなぐ

メディアレシーバーとディスプレイをシステムケーブルでつなぎます。

ご注意

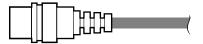
- システムケーブルを外す前に電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ディスプレイまたはメディアレシーバーを移動させる場合は、必ずシステムケーブルを外してください。
- システムケーブルは、ツメを押しながら引くと外すことができます。（ツメは抜け防止用に硬めに設計されています。外す際は、ツメを少し強めに押してからケーブルを引いてください。）

- ディスプレイは、薄型壁掛け設計のために背面端子接続部分が狭くなっています。システムケーブルを外す際は、両手でツメを押すようにしてケーブルを引いてください。

アンテナをつなぐ

本機にアンテナをつなぎます。
アンテナの取り扱いについては、アンテナの取扱説明書をご覧いただくか、販売店にご相談ください。お住まいの地域によっても取り付け方法が異なることがあります。
アンテナの取り付けや調整には技術が必要なため、お買い上げ店などに依頼してください。

デジタル放送のアンテナをつなぐ

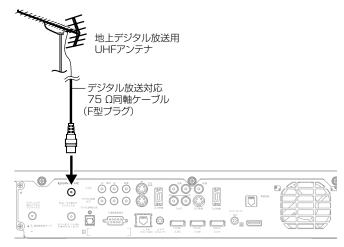
本機にデジタル放送のアンテナをつなぐときは

本機にデジタル放送のアンテナをつなぐときは、下記イラストのＦ型プラグ（市販品）を使用してください。
Ｆ型接栓を使用する場合、デジタル放送対応ケーブル（市販品）と組み合わせて使用してください。
ケーブルの加工方法は、Ｆ型接栓の取扱説明書をご覧ください。

▲デジタル放送対応F型プラグ付きケーブル

▲F型接栓

ご注意

- 上記以外のＦ型プラグは、種類により、受信に影響を及ぼす場合があります。
  デジタル放送をより美しい映像で楽しむためにも、イラストのデジタル放送対応Ｆ型プラグ付きケーブルまたは、Ｆ型接栓を使用してください。
- つなぐときは芯線が曲がらないように挿し込んでください。
- Ｆ型プラグは完全に奥まで挿し込んでください。
- Ｆ型接栓はネジが回らなくなるまで手で締め込んでください。

地上デジタル放送のアンテナ（UHF）をつなぐ

▲ メディアレシーバー背面

地上デジタル放送用アンテナをはじめて設置したときや、引っ越しなどでアンテナを移動したときは、ホームメニューの「かんたん設定」で再度設定してください。

お知らせ

- 地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送との混信を避けるため、当初は非常に小さい出力で開始されますので、受信エリアが限定されます。
- 受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合があります。
- 受信するには、地上デジタル送出局に向け、アンテナを設置してください。お使いの地上アナログ放送の UHF アンテナが地上デジタルの放送局と同じ方向のときは、従来のアンテナをそのままお使いいただける場合もあります。
- デジタル放送対応のブースター・分配器などが必要なときがあります。
- 地上デジタル送出局からの放送出力が増大された場合、アンテナやブースターなど受信設備の再調整や変更が必要な場合があります。
- 本機では、地上デジタル放送の送信状況が変わったとき（新規の開局など）、お知らせメッセージが届くことがあります。このとき「チャンネル自動変更」を「する」に設定していると、自動でチャンネル設定が変更されます。「しない」に設定しているときは、お知らせメッセージに従って「再スキャン」を行ってください。
  （地上アナログ放送などの電波の送出変更に関しては、メッセージは表示されませんので、新聞やテレビなどでの告知にご注意ください。）

ケーブルテレビ（CATV）をつなぐ

ケーブルテレビ（CATV）を視聴するときは、各ケーブルテレビ会社にご相談ください。

ケーブルテレビ（CATV）で地上デジタル放送を見るときは

本機は CATV パススルー方式に対応しています。ケーブルテレビ局からの放送が CATV パススルー方式のとき、ケーブルを直接接続することで地上デジタル放送が受信できます。**（地上デジタル放送の設定については** **☞141 ページ）**

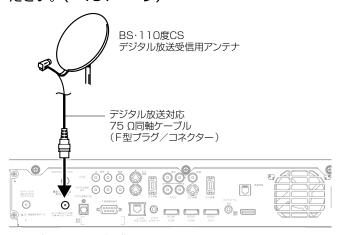
お知らせ

- トランスモジュレーション方式のとき、別途ケーブルテレビ会社から提供されるセットトップボックス（STB）が必要になります。接続方法などは、ご契約されたケーブルテレビ会社にご相談ください。

BS・110 度 CS デジタル放送用の衛星アンテナをつなぐ（個別受信）

BS・110 度 CS デジタル放送用のアンテナをつないだあとは、アンテナの設定をします。個別受信の場合は、アンテナに本機から電源を供給するように設定してください。（☞151 ページ）

▲ メディアレシーバー背面

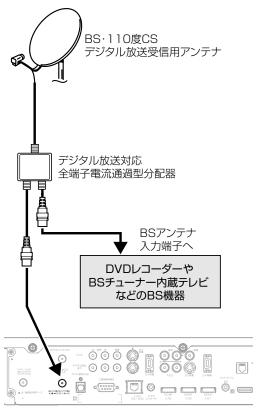
ご注意

- BS･110度CSアンテナ入力端子にアンテナ線を接続するときは、必ずアンテナ電源の設定を「切」にしておいてください。接続後は、お使いの状況に合わせて設定してください。**（☞151 ページ）**
- お買い上げ時は、アンテナ電源の設定は「切」になっています。
- BS・110 度 CS デジタル放送の受信には、必ず、BS・110 度 CS デジタル放送対応の衛星アンテナをお使いください。**従来の BS アナログ放送用の衛星アンテナでは、受信できなかったり、映像が乱れることがあります。**
- BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナをはじめて設置したときや、引っ越しなどでアンテナを移動したときは、アンテナの設定が必要になります。かんたん設定 **（☞42 ページ）** や BS・110 度 CS デジタル放送用のアンテナ設定 **（☞151 ページ）** をしてください。

お知らせ

- アンテナケーブルやブースター、混合器、分配器などをお使いの場合は、デジタル放送に対応しているものをお使いください。

次頁へつづく

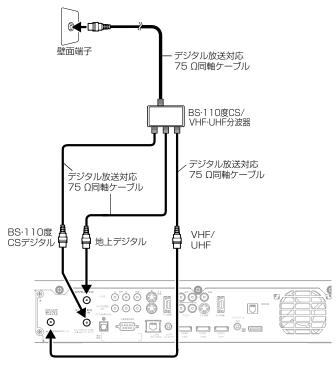
BS チューナー内蔵機器などをつなぐときは

● BS チューナー内蔵 DVDレコーダーなどを接続するときは、市販のデジタル放送対応アンテナ分配器（全端子電流通過型）をお使いください。

▲ メディアレシーバー背面

共同受信

マンションなどの共同受信のときや、すべての放送が混合されているときは、分波器などでつなぎます。

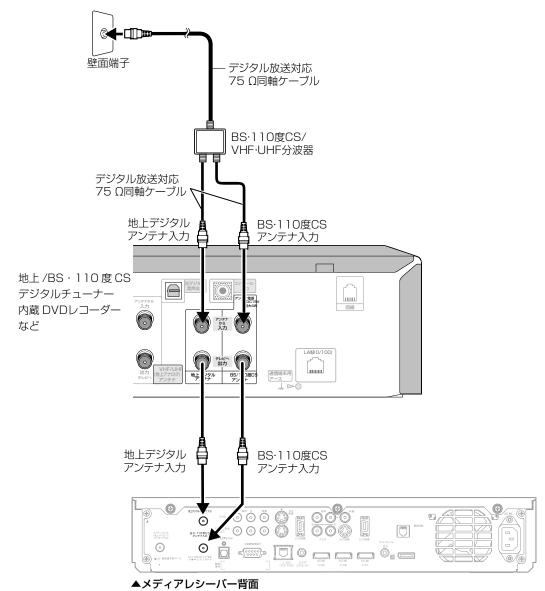
▲ メディアレシーバー背面

ご注意

- BS･110度CSアンテナ入力端子にアンテナ線を接続するときは、必ずアンテナ電源の設定を「切」にしておいてください。
（☞151 ページ）
- ご使用になる分波器によっては、アナログ放送受信に影響をおよぼす場合があります。

お知らせ

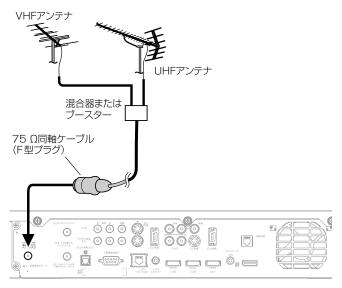
- アンテナケーブルや分波器などをお使いのときは、デジタル放送に対応しているものをお使いください。

地上/BS･110度CSデジタルチューナー内蔵DVDレコーダーなどをつなぐ

DVDレコーダーにアンテナ出力があるとき、下記イラストのように接続することができます。（共同受信の例）

▲メディアレシーバー背面

地上アナログ放送のアンテナ（VHF / UHF）をつなぐ

ご注意

- 平行フィーダー線は、画面にノイズが入りやすくなるので使用しないでください。

▲ メディアレシーバー背面

お知らせ

- アンテナ屋内端子が VHF と UHF で分かれているときは、市販の混合器を使用してください。

電話回線をつなぐ

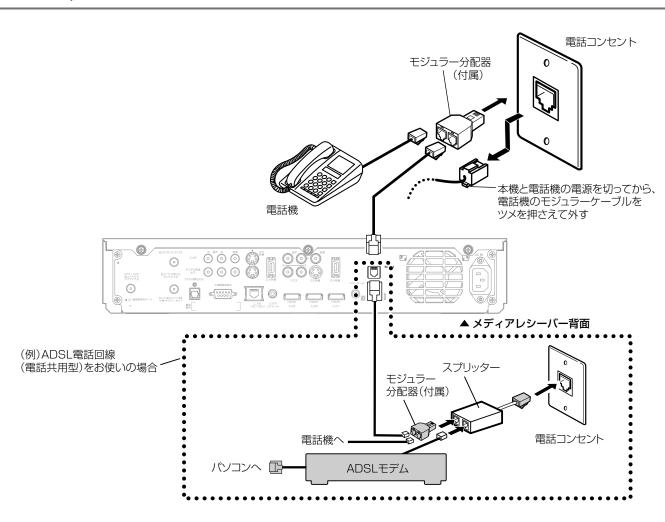
デジタル放送の双方向通信の番組に参加するときは、電話回線の接続が必要です。

電話回線につなぐ

双方向通信をするために、本機に電話回線をつなぎます。

お知らせ

- 電話回線とは別に、インターネット常時接続のブロードバンド環境で LAN に接続すると、インターネットを利用した一部のデジタル放送のサービスをご利用になれます。LAN（10BASE-T/100BASE-TX）接続ができる方は、LAN の接続もしてください。**（「ネットワークにつなぐ」☞123 ページ）**

次頁へつづく

ご注意

電話回線がモジュラージャックでない場合の接続：

- ３ピンプラグの場合には、市販の３ピンプラグからモジュラージャックへの変換アダプターをお買い求めください。
- 直結配線方式の場合には、簡単な工事が必要です。詳細はお近くのNTT営業窓口、または116（局番なし）にお問い合わせください。

光IP電話等NTT一般加入電話以外の電話回線をご使用の場合：

- NTT一般加入電話以外の電話回線や光IP電話などをお使いの場合、つながらないことがあります。そのときには、NTT一般加入電話回線に切り換えるとつながることがあります。切り換えの方法については、電話回線業者にお問い合わせください。

次の電話回線には接続できません。

- ターミナルアダプター（TA）に、アナログポートがないISDN回線。
- デジタル方式の構内交換機に接続されている電話回線。
- マンション交換機（PBX）の電話回線。（通常外線をかけるとき０～９以外のボタンを押す場合）
- ホームテレホンやビジネスホンが接続されている電話回線。

ご注意

- **電話用のモジュラーケーブルをLAN（10BASE-T/100BASE-TX）端子に接続しないでください。故障の原因となります。**
- キャッチホンでは通信の途中でキャッチホンが入ると、キャッチホンが優先され、本機の通信が切断されます。
- 本機が電話回線を使って通信している間は、電話機を使用しないでください。通信が切断されることがあります。本機が回線使用中は、「録画・通信ランプ（橙／緑）」が緑色で点灯し、通信中に受話器を上げるとデータ通信音（ピーヒョロヒョロ....）が聞こえます。
- デジタル回線を直接接続することはできません。会社やホテルなどでご使用になる場合は、電話回線が一般回線（アナログ）であることをご確認のうえご利用ください。

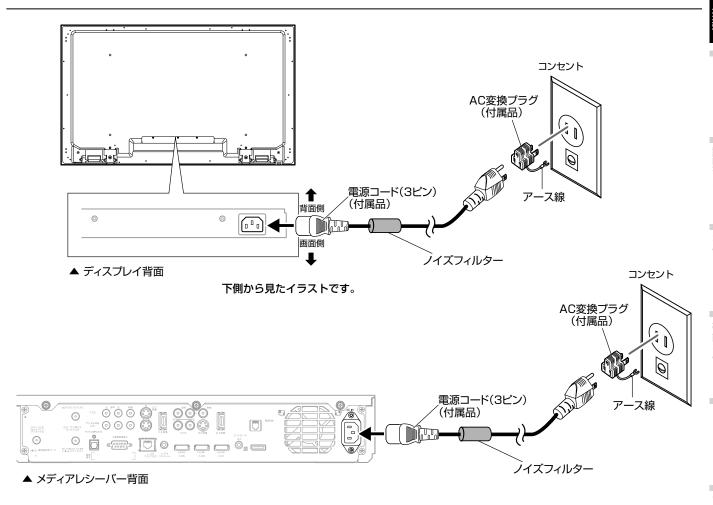
お知らせ

- 0570ではじまる電話番号がかけられるかどうかを、ご契約の電話会社へ確認してください。
- 本機が放送局と通信しているとき、接続している電話機やファクシミリの呼び出し音が鳴る場合がありますが故障ではありません。
- 通信先によっては、お客様がご契約している電話会社以外の会社から請求が来る場合があります。
- １つの電話回線に３つ以上の機器を接続する場合は、市販のモジュラー分配器とモジュラーケーブルを必要に応じて別途お買い求めください。

電源コードをつなぐ

ご注意

電源コードは最後に（他のケーブルの接続が終わってから）接続してください。

- すべての接続が終わるまでは、電源を入れないでください。

ご注意

- **電源コードは気が付かないうちに抜けていることがありますので、奥までしっかりと差し込んであるか確認してください。**
- 電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。
- アース線は、絶対にコンセントに挿入しないでください。
- 本機の電源コードは、３ピンプラグになっています。性能維持のため、必ずアース線を接続してください。
- アース端子のある２芯コンセントのときは、付属のAC変換プラグを付けてお使いください。コンセントが３芯のときは、AC変換プラグを付けず、そのままお使いください。
- コンセントが２芯専用でアース端子がない場合は、アース工事を専門業者に依頼することをお勧めします。

リモコンを使う

リモコンを準備して、電源を入れてからテレビを見るまでの基本操作を紹介します。

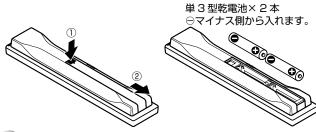
確認してください！

□ 設置は終わっていますか？ ☞16 ページ
□ スピーカーは接続しましたか？ ☞21、25 ページ
□ アンテナは接続しましたか？ ☞32 ページ
□ 電源プラグをコンセントに接続しましたか？ ☞39 ページ
□「かんたん設定」は終わっていますか？ ☞42 ページ

リモコンを使う

電池を入れてリモコンの準備をします。

1 ケース内に表記されている極性 ⊕（プラス）/ ⊖（マイナス）を合わせて、乾電池を正しく入れる

①を押しながら、②の方向に引いてください。

2 フタを閉める

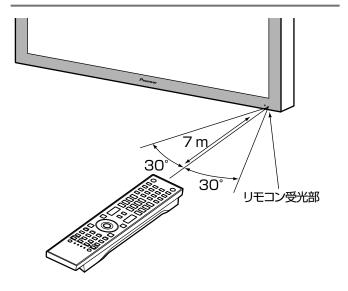
ご注意

- 電池は過熱したり分解したり火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災やけがの原因となることがあります。
- 新しい乾電池と、一度使用した乾電池および種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 不要となった乾電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。
- 電池の極性を間違えると、電池が破裂することがあります。
- 付属の乾電池は保管状態により短期間で消耗することがあります。早めに新しい電池と交換してください。
- 旅行などで長期間使用しないときはリモコンから電池を取り出しておいてください。長期間放置していると電池から液が漏れて火災やけがが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、漏れた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
- 電池は単３型アルカリ乾電池 (AM-3,LR6)、または単３型マンガン乾電池（SUM-3,R6）をお使いいただけますが、電池寿命の長いアルカリ乾電池のご使用をお勧めします。

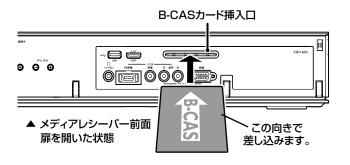
リモコンで操作できる範囲

リモコンは、ディスプレイ前面右下のリモコン受光部に向けて操作してください。操作できる範囲は受光部から 7 m、左右に 30 度以内です。

お知らせ

- リモコンとディスプレイの受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 電池が消耗した場合は、操作できる距離が徐々に短くなります。
- 本機は画面から微弱な赤外線を放出しています。近くにビデオなどの赤外線リモコンを使って操作する機器を設置すると、その機器がリモコン操作を受けつけにくくなったり、受けつけなくなることがあります。そのような場合は、本機から離して設置してください。
- 設置環境によっては、本機がリモコンの操作を受けつけにくくなったり、リモコンで操作できる距離が短くなることがあります。
- リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。その場合は照明の向きなどを変えてください。

B-CAS（ビーキャス）カードについて

デジタル放送（地上デジタル /BS デジタル /110 度 CS デジタル）では、B-CAS カードがないと放送を受信できません。**必ず、付属の B-CAS カードを挿入してください**。
また、付属のユーザー登録ハガキをご覧になり、B-CAS カードのユーザー登録をしてください。（登録無料）

B-CAS カードの挿入のしかた

ご注意

- B-CAS カードは根元まで押し込んでも、表面が約 15 mm ほど外に出ます。それ以上、奥まで押し込まないでください。
- B-CAS カードを曲げたり、衝撃を与えないようご注意ください。

お知らせ

- B-CAS カードは、デジタル放送の受信に必要な情報を書き込むための IC カードです。
- デジタル放送では、番組の著作権保護のためコピー制御信号を送信しています。B-CAS カードは、この制御信号を有効とするためにも利用されます。
- 有料チャンネル、NHKなどを視聴するときの契約情報は、B-CAS カードに書き込まれます。また、双方向通信サービスの利用時にも情報の照合のために必要となります。
- B-CAS カードには、有料チャンネルの契約情報が記録されますが、契約した方の個人情報（住所氏名など）は書き込まれません。

B-CAS カードが読み取れないときは

- B-CAS カード挿入口や B-CAS カードにゴミなどが付いていないか、うらおもてが間違っていないか、ご確認ください。
- B-CAS カードに接触すると、デジタル放送が映らなくなる場合があります。
- 主電源を切ってから B-CAS カードを抜き差ししてください。それでも B-CAS カードが読み取れないときは、B-CAS カードが故障している恐れがあります。B-CAS カードのカスタマーセンター（TEL：0570-000250）までご連絡ください。

「B-CAS カードに必要な情報がありません」と表示されたときは

- 契約されていないチャンネルを選局しています。ご覧の放送チャンネルのカスタマーセンターにご連絡のうえ、ご契約ください。

設置がすんだら「かんたん設定」

[かんたん設定]

お買い上げ後、はじめて電源を入れると、かんたん設定画面が自動的に表示されます。
画面の案内に従って、設定を行ってください。

確認してください！

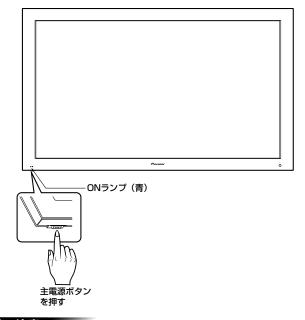
□設置は終わっていますか？ ☞16 ページ
□スピーカーは接続しましたか？
☞21、25 ページ
□アンテナは接続しましたか？ ☞32 ページ
□B-CAS（ビーキャス）カードを挿入していますか？
☞41 ページ
□リモコンに電池は入っていますか？ ☞40 ページ
□電源プラグをコンセントに接続しましたか？ ☞39 ページ

お知らせ

- あとから地上デジタル放送や BS・110 度 CS デジタル放送のアンテナをつなぐ場合や、引っ越しなどで設定をやり直したいときは、ホームメニューから、いつでも「かんたん設定」を表示できます。**(「かんたん設定をやり直す」☞45 ページ)**
- しばらく何も操作しないと、自動的に「かんたん設定」が終了します。その場合は、その時点までの設定内容は保存されます。「かんたん設定」をやり直したいときには、ホームメニューから表示してください。**(「かんたん設定をやり直す」☞45 ページ)**

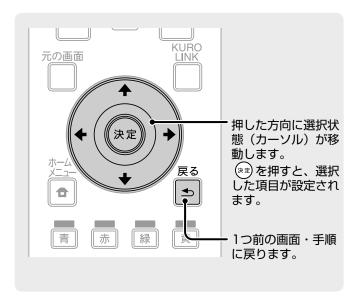
かんたん設定を始める

1 ディスプレイの主電源ボタンを押し電源を入れる

ON ランプ（青）が点灯します。

ご注意

- 電源が入らなかったり、画面が出ないときは「故障かな？と思ったら」を確認してください。**(☞160 ページ)**

2 [かんたん設定] が始まったら、画面の案内に従って操作する

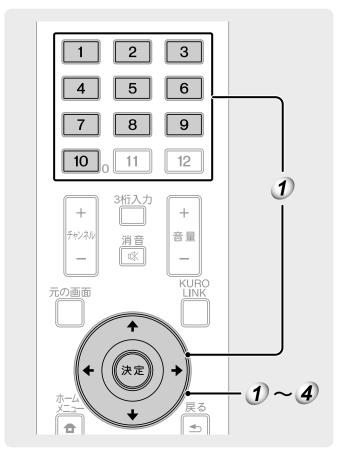
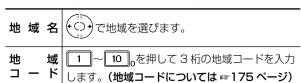
で項目を選んで（決定）を押します。

「かんたん設定」では、設定内容の説明や操作方法などの操作ガイドが表示されます。また、設定するかどうかの確認や設定結果も表示されます。画面の説明をよく読んで操作してください。

ステップ 1：地上アナログ放送のチャンネル設定

［一括チャンネル設定 / チャンネル設定結果］

地上アナログ放送のチャンネルを設定します。

1 ［地域名］または［地域コード］を選んで、お住まいの地域を設定する

地域名	で地域を選びます。
地域コード	1～10を押して3桁の地域コードを入力します。（地域コードについては ☞175ページ）

2 決定を押す

地上アナログ放送のチャンネルが設定されて、チャンネル設定結果が表示されます。

3 チャンネルを確認して決定を押す

4 衛星デジタル放送の設定をするかどうかを選んで決定を押す

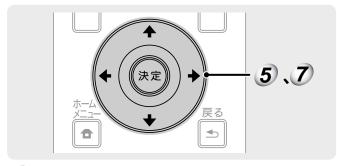
続けてデジタル放送の設定をするかどうかの確認画面が表示されます。BS・110度CSデジタル放送対応の衛星アンテナを接続した方は、「する」を選んで決定を押します。

デジタル放送の設定をしない方は

- 「しない」を選んだとき、「時計合わせ」画面が表示されます。画面の説明に従って、日付と時刻、時計調整用のチャンネルを指定してください。（☞139ページ）

ステップ 2：衛星放送のアンテナの設定

［衛星アンテナ設定］

衛星アンテナの電源供給をするかどうかを設定して、アンテナレベルを確認します。

5 衛星アンテナに本機から電源を供給するかどうかを で選んで決定を押す

入	個別に衛星アンテナを設置しているときに選びます。本機からアンテナに電源が供給されます。
切	マンションの共同アンテナのときなどに選びます。

6 ［入］を選んだときは、アンテナレベルを確認する

お知らせ

- 「現在値」が「最大値」に近づくように、アンテナの向きや角度を調整します。（☞151ページ）

7 アンテナレベルの確認が終わったら決定を押す

電話回線のテスト画面が表示されます。

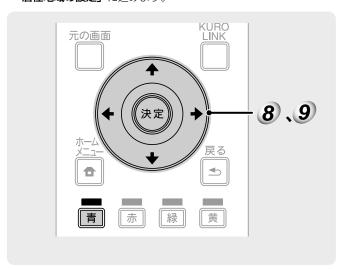
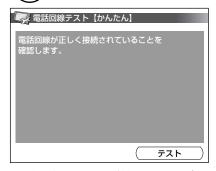
次頁へつづく

ステップ３：電話回線のテスト

［電話回線テスト］

デジタル放送の双方向通信の番組に参加するときは、接続した電話回線のテストが必要です。

電話回線のテストをしない方は

● 電話回線のテストをしないときは、青を押すと、「**ステップ４：居住地域の設定**」に進みます。

8 決定を押す

電話回線のテストが始まり、しばらくすると結果が表示されます。

「電話回線テストに失敗しました」と表示されたときは

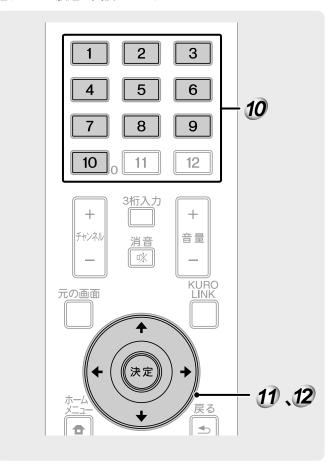
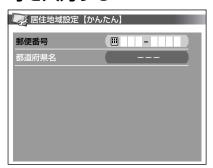
● かんたん設定終了後、電話回線接続や設定を確認して、もう一度テストを行ってください。（☞37 ページ、156 ページ）

9 決定を押す

居住地域の設定画面が表示されます。

ステップ４：居住地域の設定

［居住地域設定］

居住地域を設定すると、お住まいの地域に関する緊急警報放送やデータ放送が受信できます。

10 1～10₀を押して 7 桁の郵便番号を入力する

お知らせ

- 間違えて入力したときは、12を押すと 1 つ前の桁に戻って再入力できます。
- （カーソルボタン）を押すとカーソルが移動します。

11 で［都道府県名］に移動し、で都道府県を選んで決定を押す

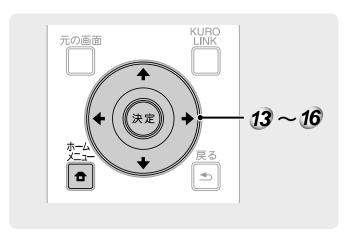
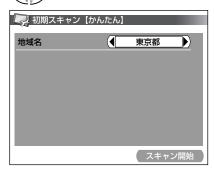
12 地上デジタル放送の設定をするかどうかを選んで決定を押す

続けて地上デジタル放送の設定をするかどうかの確認画面が表示されます。地上デジタル放送のアンテナを接続した方は、「はい」を選んで決定を押します。

地上デジタルの設定をしない方は

- 「いいえ」を選んだ場合「かんたん設定」の終了確認画面に変わります。決定を押すと、かんたん設定が終了します。（または、元の画面を押しても終了します。）

ステップ５：地上デジタル放送のチャンネル設定 ［地上デジタル設定］

地上デジタル放送のチャンネルを設定します。

13 で地域を選ぶ

14 で［スキャン開始］を選んで、決定を押す

で項目を送ると、一番下または一番上の項目で画面が切り換わります。

地上デジタル放送の初期スキャンが始まります。しばらくすると、地上デジタル放送のチャンネルが設定されて、チャンネル設定結果が表示されます。

現在のページ/総ページ数

地上デジタルチャンネル設定結果 2/4

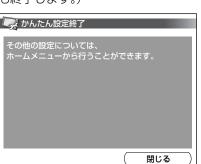
リモコン	CH	放送CH名	放送局名
1	011-0	マーキュリー1	マーキュリー総合
2	021	マーキュリー2	マーキュリー教育
4	041	ビーテレ1	ビーナステレビ
	042	ビーテレ2	ビーナステレビ
5	051-0	テレビマーズ	テレビマーズ
	052-0	テレビマーズ	テレビマーズ

複数画面にまたがるとき

15 チャンネルを確認して決定を押す

「かんたん設定」の終了確認画面に変わります。

16 決定を押す

かんたん設定が終了します。（または、元の画面を押しても終了します。）

かんたん設定をやり直す

あとから地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送のアンテナをつないだ場合など、ホームメニューから「かんたん設定」を呼び出せます。

1 ホームメニューを押す

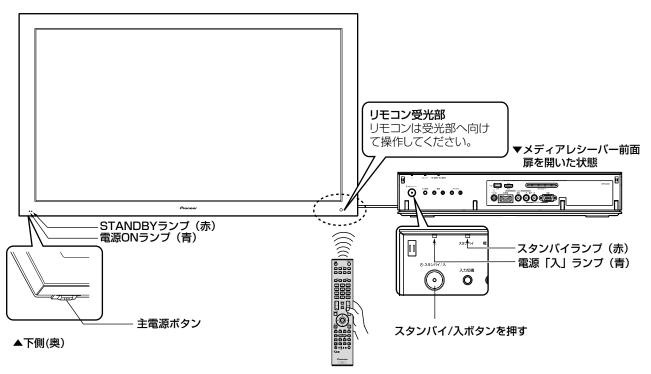
2 ［初期設定］を選んで決定を押す

3 ［かんたん設定］を選んで決定を押す

「かんたん設定」が始まります。画面の案内に従って操作してください。

電源を入れてテレビを見る

電源を入れる

1 ディスプレイの主電源ボタンを押して、本機の電源を入れる

メディアレシーバーの電源「入」ランプ (青)、ディスプレイの電源 ON ランプ (青) が点灯します。

メディアレシーバーの電源「入」ランプ、ディスプレイの電源 ON ランプが、両方とも青色で点灯していることを確認してください。

ディスプレイ部

電源 ON ランプ	STANDBY ランプ	本機の状態
青点灯	消灯	本機の電源が「入」のとき
消灯	赤点灯	ディスプレイ部がスタンバイ（待機状態）のとき
消灯	消灯	ディスプレイ部の主電源が「切」のとき

メディアレシーバー部

電源「入」ランプ	スタンバイランプ	録画・通信ランプ	本機の状態
青点灯	消灯	消灯	本機の電源が「入」のとき
消灯	赤点灯	消灯	メディアレシーバー部がスタンバイ（待機状態）のとき
消灯	赤点灯	橙点灯	本機を使った録画中に点灯
消灯	赤点灯	緑点灯	本機が放送局から情報を受信しているとき、または電話回線を使用しているときに点灯

2 リモコンの 電源 ⏻ ボタンを押す

ディスプレイのリモコン受光部にリモコンを向けて操作してください。**電源が入ると、メディアレシーバーの電源「入」ランプ (青)、ディスプレイの電源 ON ランプ (青) が点灯します。**

お知らせ

- リモコンの 電源 ⏻ ボタンを押して電源を切ると、本機はスタンバイ状態になります。スタンバイで、本機は放送局からのさまざまな情報を取得しています。**通常は、電源ケーブルを抜かずに、スタンバイ状態にしておくことをお勧めします。**
- メディアレシーバーのスタンバイ / 入ボタンを押しても、スタンバイ状態にできます。(☞10 ページ)

ご注意

- ディスプレイまたはメディアレシーバーのランプが点灯しないときは、ディスプレイおよびメディアレシーバーの電源コードがきちんと差し込んであるか確認してください。また、ディスプレイの主電源ボタンが押されているか確認してください。
- 電源が入らなかったり、画面が出ないときは「故障かな？と思ったら」を確認してください。(☞160 ページ)

よく使うボタンを覚える

ご注意

- 操作を始める前に選択を押してリモコンモードが「TV」に選択されていることを確認してください。☞110ページ
- リモコンを落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- リモコンを水に濡らしたり、温度の高いところに置かないでください。

電源
電源の「入」と「スタンバイ(待機状態)」を切り換えます。

外部入力
見たい外部入力に切り換えます。

放送切換
見たい放送に切り換えます。

チャンネル(1〜12)
見たいチャンネルを直接選びます。

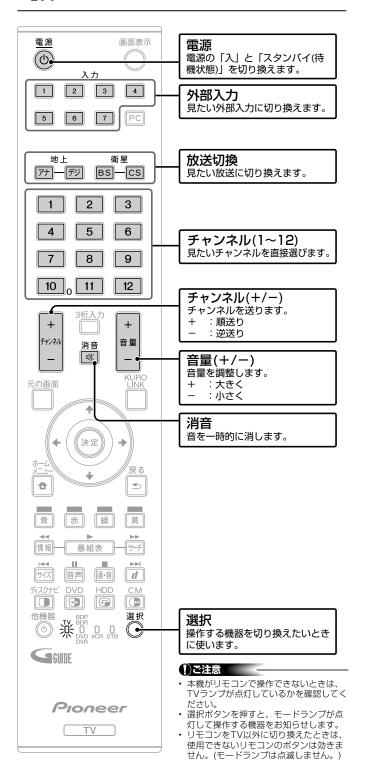
チャンネル(+/−)
チャンネルを送ります。
＋ ：順送り
− ：逆送り

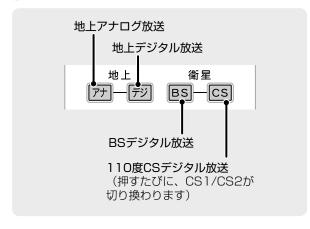
音量(+/−)
音量を調整します。
＋ ：大きく
− ：小さく

消音
音を一時的に消します。

選択
操作する機器を切り換えたいときに使います。

ご注意

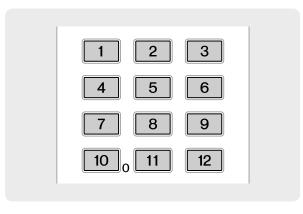
- 本機がリモコンで操作できないときは、TVランプが点灯しているかを確認してください。
- 選択ボタンを押すと、モードランプが点灯して操作する機器をお知らせします。
- リモコンをTV以外に切り換えたときは、使用できないリモコンのボタンは効きません。(モードランプは点滅しません。)

放送を選ぶ

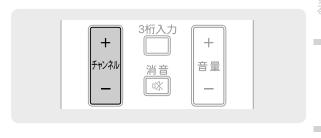
3 リモコンの放送切換ボタンで、見たい放送を選ぶ

お知らせ

- 入力1〜入力7端子に接続した機器の映像を見たいときは、1〜7を押して外部入力に切り換えます。

4 チャンネルを選ぶ

チャンネルボタン（1〜12）の場合

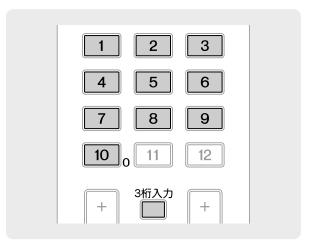
● 1〜12を押してチャンネルを選びます。

チャンネル（＋／−）ボタンの場合

● 押すたびに次のチャンネルに順送り／逆送りできます。

お知らせ

- よく見るデジタル放送のチャンネルを、お好みチャンネルとして登録しておくと、登録した放送局(お好みチャンネル)のみを順送り／逆送りできます。(☞58ページ)

次頁へつづく

デジタル放送の３桁チャンネル番号を入力する場合 3桁入力

● 3桁入力を押すと、３桁チャンネル番号入力画面が表示されます。1～10₀を押して３桁チャンネル番号を入力してください。

お知らせ

- 「0」を入力するときは、10₀を押してください。
  間違えて入力したときは、12を押すと１つ前の桁に戻って再入力できます。
- **地上デジタル放送で同じチャンネルに複数の放送がある場合（枝番入力）：**
  地上デジタル放送では、隣接する他地域の放送を受信できる場合、３桁チャンネル番号が重複することがあります。この場合、枝番（４桁目の番号）によってチャンネル（放送局）が区別されます。枝番があるときは、チャンネル番号を入力すると、該当する複数の放送が一覧表示されます。リストで枝番号を確認して1～10₀で枝番を入力してください。

地上D　231
0 マーキュリーテレビ
1 テレビマーズ
2 ジュピターテレビ

電源を切るときは

4 リモコンの電源ボタンを押して、電源を切る

本機がスタンバイ（待機状態）になり、STANDBY ランプ（赤）が点灯します。

次回、電源を入れるときには、リモコンの電源ボタンを押して電源を入れてください。電源が入ると、ON ランプ（青）が点灯します。

ホームメニューとは

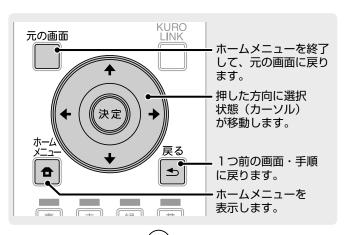
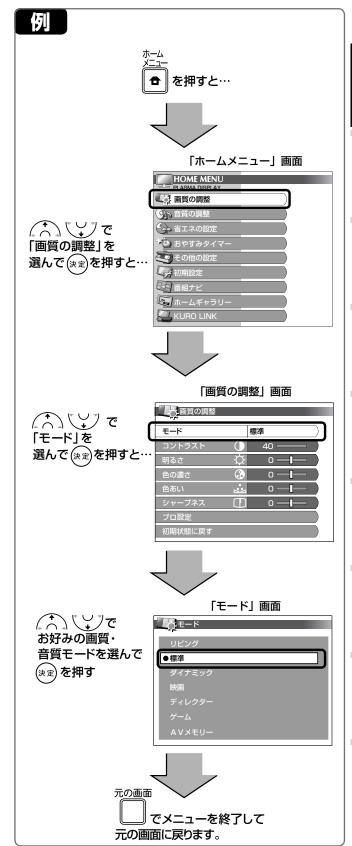
リモコンの［ホームメニュー］を押すと「ホームメニュー」が表示されます。ホームメニューでは、テレビ画面上でいろいろな設定ができます。ここではホームメニューの基本的な使い方を説明します。

ホームメニューを使う

［ホームメニュー］を押すと、ホームメニュー画面が表示されます。

画質を細かく調整したいときなど、テレビの設定を変更したいときにホームメニューを使います。

お知らせ

- お買い上げ後、はじめて電源を入れると、かんたん設定画面が自動的に表示されます。画面の案内に従って、設定を行ってください。(☞42 ページ)
  かんたん設定画面の操作方法は、ホームメニューと同じです。
- 本書に記載しているイラストや画面は、イメージであり説明用のものです。実際とは異なる場合があります。
- メニュー画面で灰色表示されている機能や項目は、選択や設定ができません。
- ホームメニューでは、選択しているメニュー項目の説明や操作方法などのガイドが表示されることがあります。操作の参考にしてください。

- 設定したい項目を選んで［決定］を押すと、次のメニュー画面または設定画面が表示されます。
- 設定画面によっては［◁▷］で選ぶことがあります。

1 つ前の画面や 1 つ前の手順に戻るには

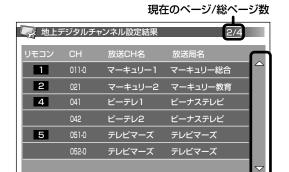
1 戻る を押す

お知らせ

- 画面に「戻る」が表示されているときは、「戻る」を選んでも戻れます。

1 つのメニューで複数画面あるときは

1 ▲▼で項目を送る

▲▼で項目を送ると、一番下または一番上の項目で画面が切り換わります。

複数画面にまたがるとき

ホームメニューを終了する

元の画面

を押す

ホームメニューが消えて元の画面に戻ります。

番組表 / 週間番組表で番組を選ぶ

番組表 ／［番組表］／［週間番組表］

番組表 / 週間番組表を使って、見たい番組を選びます。

番組表を使う

お知らせ

- 地上アナログ放送の番組表は G ガイドを利用しています。G ガイドに対応していない地上アナログ放送のチャンネルでは、番組表の内容が表示されません。
- 地上アナログ放送の番組表データを受信するには、番組表データの送信時刻に、本機がデジタル放送の視聴状態か、またはスタンバイ状態である必要があります。**(番組表データの送信時刻** **☞137 ページ)**
- かんたん設定直後は、地上アナログ放送の番組表は表示されません。半日以上スタンバイ状態にするか、デジタル放送を受信してください。地上アナログ放送の番組表が表示されないときは、チャンネル設定や地域設定を確認してください。**(☞138 ページ)**
- 地上デジタル放送の番組表のデータが表示されないときは、チャンネルを選んで(決定)を押すと表示されます。(表示に数分かかる場合があります。)

1 アナ デジ BS CS で、見たい放送に切り換える

2 番組表 を押す

番組表が表示されます。

お知らせ

- ホームメニューの「番組ナビ」から「番組表」を選んでも番組表が表示されます。
- 現在より前（過去）の番組は表示されません。

3 (上下左右) (チャンネル上下) で番組を選んで (決定) を押す

放送中の番組のとき

- 選んだ番組に変わります。

放送予定の番組のとき

- 予約登録画面が表示されます。「モード」で「視聴」を選んでから「予約する」または「視聴予約する」を選ぶと、番組の視聴予約ができます。

「放送予定の番組を視聴予約する」☞54 ページへ
(録画予約については ☞127 ページ)

お知らせ

- 視聴制限の対象になる番組を視聴する場合は、画面の指示に従ってください。**(☞95 ページ)**
- 番組表を消したいときは 元の画面 を押します。

番組表 (例：BS デジタル放送)

放送を切り換えるには

- アナ デジ BS CS を押して放送を選びます。選択した放送の番組表に切り換わります。

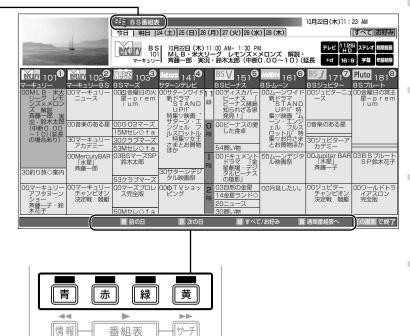
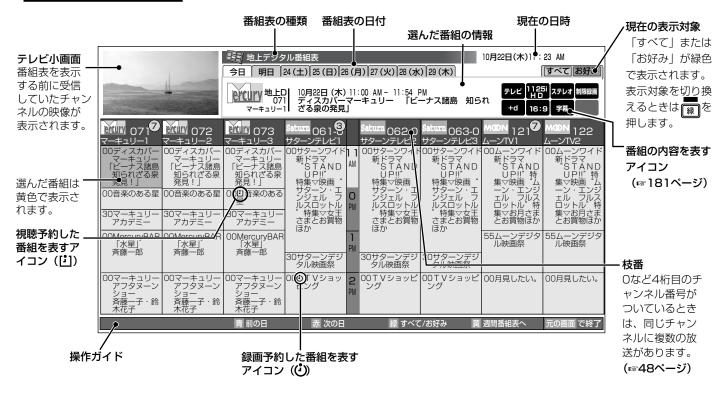
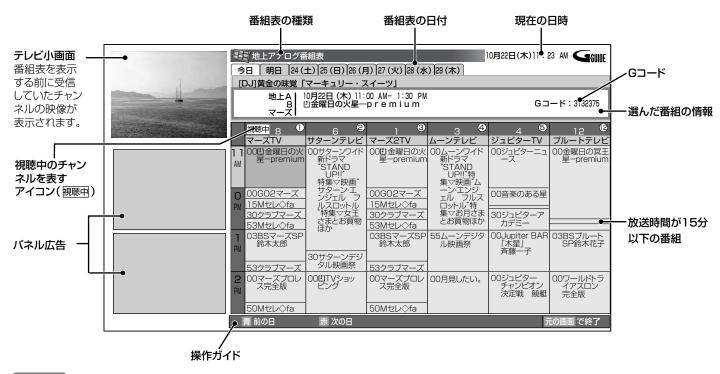
表示対象を切り換えるには (デジタル放送の場合)

- 緑 を押すたびに、「すべて」(すべてのチャンネル) と「お好み」(お好み登録されているチャンネル) が切り換わります。**(☞57 ページ)**

日付を切り換えるには

- 青 を押すと前の日の番組表に、赤 を押すと次の日の番組表に切り換わります。

番組表を切り換えるには (デジタル放送の場合)

- 黄 を押すたびに、番組表と週間番組表が切り換わります。**(☞53 ページ)**

デジタル放送 番組表の見かた（例：地上デジタル放送）

地上アナログ放送 番組表の見かた

お知らせ

選んだ番組の詳細を見たいとき

- 情報を押すと、選択した番組情報が表示されます。
  もう一度情報を押すと、番組表に戻ります。

週間番組表を使う（デジタル放送のみ）

お知らせ

・週間番組表は、デジタル放送のときだけ利用できます。

1 デジタル放送の番組表を表示中に［黄］を押す

選んでいたチャンネルの週間番組表が表示されます。

お知らせ

・現在より前（過去）の番組は表示されません。
・デジタル放送を見ているときに、ホームメニューの「番組ナビ」から「週間番組表」を選んでも週間番組表が表示されます。
・［黄］を押すたびに、番組表と週間番組表が切り換わります。

チャンネルを切り換えるには

● ［青］を押すと前のチャンネルに、［赤］を押すと次のチャンネルに切り換わります。
● ［1］～［12］を押すと、選んだチャンネルに切り換わります。
● ［3桁入力］を押すと、3 桁チャンネル番号入力画面が表示されます。［1］～［10］₀を押して 3 桁チャンネル番号を入力してください。

お知らせ

・週間番組表を表示中に［情報］を押すと、選択した番組の情報が表示されます。もう一度［情報］を押すと週間番組表に戻ります。

2 ［◁▷］［△］［▽］で番組を選んで［決定］を押す

放送中の番組のとき

● 選んだ番組に変わります。

放送予定の番組のとき

● 予約登録画面が表示されます。「モード」で「視聴」を選んでから「予約する」を選ぶと、番組の視聴予約ができます。
「放送予定の番組を視聴予約する」☞54 ページへ
（録画予約については ☞127 ページ）

お知らせ

・視聴制限の対象になる番組を視聴する場合は、画面の指示に従ってください。（☞95 ページ）
・週間番組表を消したいときは、［元の画面］を押します。

週間番組表の見かた（例：BS デジタル放送）

放送予定の番組を視聴予約する

予約した日時になると予約番組に切り換わります。番組表 / 週間番組表で放送予定の番組を選んで(決定)を押すと、番組の予約登録画面が表示されます。
(録画予約については ☞127 ページ)

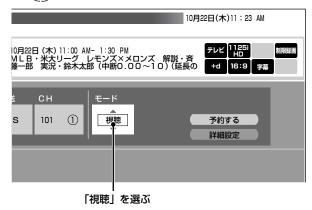
ご注意

- 本機が「入」の状態の時のみ有効です。「スタンバイ」や「切」の時はこの機能は動作しません。
- 視聴制限の対象になる番組を予約しようとすると、予約確認のメッセージが表示されます。画面の指示に従ってください。
  - 視聴制限については (☞92 ページ)

1 予約登録画面の [モード] で [視聴] を選ぶ

デジタル放送を予約するとき

● (◁○▷)で「モード」に移動し、(△)(▽)で「視聴」を選びます。

「視聴」を選ぶ

地上アナログ放送を予約するとき

● 手順2に進んでください。特に操作をする必要はありません。

2 (決定)を押す

デジタル放送を予約するとき

●「予約する」にカーソルが移動します。

地上アナログ放送を予約するとき

●「視聴予約する」にカーソルが移動します。

3 [予約する](または [視聴予約する])が選ばれていることを確認して(決定)を押す

番組が予約されて、「予約が完了しました」と表示されます。

4 (決定)を押す

お知らせ

- 本機がスタンバイ状態の場合、視聴予約は実行されません。
- 最大予約数は、地上アナログ放送とデジタル放送を合わせて 28 件です。28 件を超えるときは、これ以上予約できないことを知らせるメッセージが表示されます。
- 予約した時刻にテレビを見ていたときは、予約実行の確認画面が表示されます。
- 地上アナログ放送では、「視聴」の予約だけができます。録画の予約はできません。
- 録画予約と視聴予約の別にかかわらず、重複して予約できません。

日時を指定して予約するには

マニュアル予約画面で、日時とチャンネルを指定して予約できます。「モード」で「視聴」を選んでから「予約する」（または「視聴予約する」）を選ぶと、番組の視聴予約ができます。
(☞131 ページ)

予約内容を確認して変更・削除するには

予約一覧画面で、予約内容を確認できます。また、予約の変更と削除もできます。(☞132 ページ)

映画やスポーツなどのジャンルで探す

サーチ / ［ジャンル検索］

番組のジャンルから、見たい番組を選びます。

リモコンのボタンで簡単に探す（快速番組サーチ）

リモコンのサーチを押すだけで、映画／スポーツ／音楽／アニメのジャンルで見たい番組を探せます。

お知らせ

- 地上アナログ放送の快速番組サーチにはＧガイドを利用しています。Ｇガイドに対応していない地上アナログ放送のチャンネルでは、検索ができない場合があります。
- 本機は、放送局から送られた番組データをもとに番組を探します。実際の放送では該当する項目が含まれている番組でも、選んだジャンルによっては番組が探せないことがあります。

1 アナ デジ BS CSで、見たい放送に切り換える

2 快速番組サーチサーチを押してジャンルを選ぶ

快速番組サーチ画面が表示されます。

押すたびに、映画→スポーツ→音楽→アニメの順で切り換わります。

快速番組サーチ画面の見かた

検索対象を切り換えるには（デジタル放送のとき）

● 緑を押すたびに､「すべて」（すべてのチャンネル）と「お好み」（お好み登録されているチャンネル）が切り換わります。(☞58ページ)

日付を切り換えるには

● 青を押すと前の日の快速番組サーチ画面に、赤を押すと次の日の快速番組サーチ画面に変わります。

3 番組を選んで決定を押す

放送中の番組のとき

● 快速番組サーチ画面が消えて、選んだ番組に変わります。

放送予定の番組のとき

● 予約登録画面が表示されます。「モード」で「視聴」を選んでから「予約する」または「視聴予約する」を選ぶと、番組の視聴予約ができます。
「放送予定の番組を視聴予約する」☞54 ページへ
（録画予約については ☞127 ページ）

お知らせ

- 視聴制限の対象になる番組を視聴する場合は、画面の指示に従ってください。(☞95 ページ)
- 手順３で情報を押すと、選択した番組の情報が表示されます。もう一度情報を押すと、快速番組サーチ画面に戻ります。
- 快速番組サーチ画面を消したいときは、元の画面を押します。

番組ナビからジャンルを選んで探す ［ジャンル検索］

ジャンル検索画面で、より詳しいジャンルから番組を探せます。

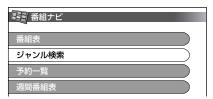
お知らせ

- 地上アナログ放送のジャンル検索にはGガイドを利用しています。Gガイドに対応していない地上アナログ放送のチャンネルでは、検索ができない場合があります。
- 本機は、放送局から送られた番組データをもとに番組を探します。実際の放送では該当する項目が含まれている番組でも、選んだジャンルによっては番組が探せないことがあります。

1 アナ デジ BS CSで、見たい放送に切り換える

2 ホーム メニューを押す

3 [番組ナビ] を選んで決定を押す

4 [ジャンル検索] を選んで決定を押す

ジャンル検索画面が表示されます。

ジャンル検索画面の見かた

放送を切り換えるには

● アナ デジ BS CSを押して放送を選びます。選択した放送のジャンル検索画面に切り換わります。

検索対象を切り換えるには（デジタル放送のとき）

● 緑を押すたびに､｢すべて｣（すべてのチャンネル）と「お好み」（お好み登録されているチャンネル）が切り換わります。（☞55ページ）

日付を切り換えるには

● 青を押すと前の日のジャンル検索画面に、赤を押すと次の日のジャンル検索画面に変わります。

5 メインジャンルを選んで または 決定を押す

お知らせ

- メインジャンルでを押すと、サブジャンルにカーソルが移動します。サブジャンルでを押すと、メインジャンルにカーソルが移動します。

6 サブジャンルを選んで決定を押す

検索が始まり、しばらくすると検索された番組が表示されます。

7 番組を選んで決定を押す

放送中の番組のとき

● ジャンル検索画面が消えて、選んだ番組に変わります。

放送予定の番組のとき

● 予約登録画面が表示されます。「モード」で「視聴」を選んでから「予約する」または「視聴予約する」を選ぶと、番組の視聴予約ができます。

「放送予定の番組を視聴予約する」☞54ページへ
（録画予約については☞127ページ）

お知らせ

- 視聴制限の対象になる番組を視聴する場合は、画面の指示に従ってください。（☞95ページ）
- 手順7で情報を押すと、選択した番組の情報が表示されます。もう一度情報を押すと、ジャンル検索画面に戻ります。
- ジャンル検索画面を消したいときは、元の画面を押します。

デジタル放送のチャンネル一覧を使う

[チャンネル一覧]

デジタル放送では、チャンネル一覧で、番組内容を確認したり見たいチャンネルを選べます。

1 デジタル放送に切り換える

お知らせ

- アナログ放送の視聴時は、チャンネル一覧は見られません。

2 ホームメニュー を押す

3 [番組ナビ] を選んで 決定 を押す

4 [チャンネル一覧] を選んで 決定 を押す

番組ナビ
- 番組表
- ジャンル検索
- 予約一覧
- 週間番組表
- チャンネル一覧
- トピックス
- インフォメーション

チャンネル一覧が表示されます。

放送を切り換えるには

- デジ BS CS を押して放送を選びます。選択した放送のチャンネル一覧に切り換わります。

表示対象や放送種類（テレビ / ラジオ / データ放送）を切り換えるには

- 緑 を押すたびに、**「すべて」**（すべてのチャンネル）⇒**「お好み」**（お好み登録されているチャンネル）⇒**「テレビ放送」**⇒**「ラジオ放送」**（BS/CS1/CS2 の場合のみ）⇒**「データ放送」**の順に変わります。
  （お好みチャンネルについては ☞58 ページ）

お知らせ

- 地上デジタル放送受信中は「ラジオ」は選べません。

5 でチャンネルを選ぶ

画面上部に、選択したチャンネルの情報が表示されます。

6 決定 を押す

チャンネル一覧が消えて、選んだチャンネルに変わります。

お知らせ

- 視聴制限の対象になる番組を視聴する場合は、画面の指示に従ってください。**（☞95 ページ）**
- チャンネル一覧を消したいときは、元の画面 を押します。

チャンネル一覧の見かた

お好みチャンネルを登録するには

よく見るデジタル放送のチャンネルを「お好み」チャンネルとして登録できます。

お好みチャンネルを登録したときは

- 番組表で表示対象を「お好み」に切り換えると、「お好み」登録したチャンネルのみを番組表に表示できます。(☞51 ページ)
- 「視聴設定」で「お好み」を選ぶと、チャンネル(＋／－)ボタンで、「お好み」登録されたチャンネルだけ選局できるようになります。(☞146 ページ)

1 チャンネル一覧で、お好みに登録したいチャンネルを選んで、［赤］を押す

お好みチャンネルに登録されてお好みマークが表示されます。

お好みチャンネルを解除するには

- お好みマークの付いているチャンネルを選んで［赤］を押します。お好みマークが消えて、お好みチャンネルの登録が解除されます。

お知らせ

- お買い上げ時は、リモコンの［1］～［12］に設定されているチャンネルが、「お好み」チャンネルにあらかじめ登録されています。

番組の詳細を表示する

画面表示 情報

デジタル放送の番組情報やテレビのチャンネルなどの情報を表示します。

チャンネル情報を表示する

画面表示

見ている番組の情報やテレビのチャンネルの情報を表示します。

1 画面表示 を押す

画面に情報が表示され、しばらくすると自動的に消えます。

チャンネル情報の表示サイズを切り換えるには　[チャンネル情報サイズ]

画面表示 を押したときに表示されるチャンネル情報の表示サイズを変更できます。

表示サイズ大（お買い上げ時の設定）

表示サイズ小

1 ホームメニュー を押す

2 [初期設定] を選んで 決定 を押す

3 [チャンネル情報サイズ] を選んで 決定 を押す

4 ▲▼で [大きく表示] か [小さく表示] を選んで 決定 を押す

お知らせ

- 地上アナログ放送の視聴中は設定に関係なく、表示サイズは「小」になります。
- 終了するときは、元の画面 を押します。

番組情報を表示する

放送中の番組の情報を表示します。

1 情報 を押す

番組情報が表示されます。

2 番組情報を消すときは、元の画面 を押す

番組情報が消えて、元の画面に戻ります。

番組情報画面の見かた

音声を切り換える

複数の音声を含むデジタル放送の番組や、二カ国語（二重音声）放送、ステレオ放送の音声を切り換えます。

1 音声を押す

押すたびに、音声が切り換わります。

地上アナログ放送のとき

主音声 ⇒ 副音声 ⇒ 主音声／副音声 ⇒ モノラルの順に変わります。

二カ国語／二重音声放送のとき	**主音声**	左右のスピーカーから主音声が出ます。
	副音声	左右のスピーカーから副音声が出ます。
	主音声／副音声	左のスピーカーから主音声が、右のスピーカーから副音声が出ます。
	モノラル	左右のスピーカーから主音声が出ます。
ステレオ放送のとき	**モノラル以外**	ステレオ音声になります。
	モノラル	モノラル音声になります。

デジタル放送のとき

複数の音声があるとき	**音声 1 ⇒ 音声 2 ⇒ 音声 3 …**の順に変わります。 •「音声 1」「音声 2」…の内容は、番組によって異なります。
音声 1 が二重音声のとき	**音声 1（主）⇒ 音声 1（副）⇒ 音声 1（主＋副）⇒ 音声 2** …の順に変わります。 •「音声 1」「音声 2」…の内容は、番組によって異なります。

お知らせ

- 番組に複数の音声がない場合は、切り換えられません。
- 切り換えられる音声は、番組によって異なります。
- デジタル放送の音声を切り換えた場合、2 画面表示で画面を入れ換えると、音声 1 に戻ります。

データ連動放送を見る（デジタル放送のみ）

デジタル放送では、データ連動放送を行っていることがあります。番組に関連する情報やニュースなど、さまざまな情報を見られます。

お知らせ

- データ放送の内容や操作方法は、番組や放送局によって異なります。
- データ放送では、本機に接続した電話回線で放送局と通信することがあります。通信中は、電源ボタン以外の操作ができなくなることがあります。
- 本機が電話回線で放送局と通信しているときは、電話が使えません。

1 デジタル放送を見ているときに［情報］を押す

番組情報が表示されます。次のアイコン（［+d］または［d］）が表示されている番組には、データ連動放送があります。

データ連動放送のアイコン（マーク）

お知らせ

- ［d］アイコンは、番組とは別のデータ放送を行っている番組です。
- ［データ］アイコンは、独立データ放送です。［d］を押さずに、通常の選局操作で見られます。
- 番組によっては、アイコンが表示されないこともあります。

2 番組情報を消すときは、［元の画面］（または［情報］）を押す

3 データ連動放送のある番組で［d］を押す

データ連動画面が表示されます。情報が多いときは、表示に時間がかかることがあります。

4 画面の指示に従って操作する

画面の説明に従って、［↑］［↓］［←→］で項目を選んで［決定］を押します。番組によっては、［1］～［10］で数字を入力したり、［青］［赤］［緑］［黄］を押すこともあります。

5 データ連動画面を消したいときは、［元の画面］を押す

お知らせ

- 独立データ放送では、［元の画面］を押してもデータ放送は終了しません。

外部入力の映像を見る

入力 1 ～ 入力 7

入力 1 ～入力 7 端子に接続した機器の入力に切り換えます。

確認してください！

□ 外部機器を接続していますか？ ☞101 ～ 106 ページ

1 見たい機器の電源を入れる

入力 1 ～入力 7 端子に接続した機器のうち、見たい機器の電源を入れます。

2 機器を接続した入力を 入力 1 ～ 入力 7 で選ぶ

お知らせ

- メディアレシーバーのボタンで操作するときは、入力切換ボタンを押してください。押すたびに入力が切り換わります。

3 接続した機器を再生する

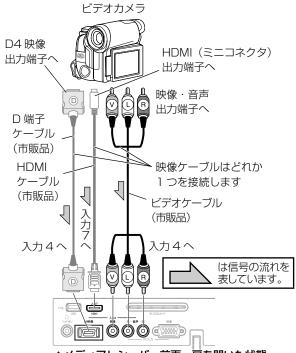
HDMI 接続の機器は

● 入力 1 入力 5 入力 6 入力 7 入力を選びます。

お知らせ

- 機器によっては、映像が表示されるまで時間がかかる場合があります。

ビデオカメラやゲーム機を楽しむときは

● ビデオカメラやゲーム機は、メディアレシーバー前面の入力 7 端子に接続すると便利です。

▲メディアレシーバー前面　扉を開いた状態

映像入力端子の優先順位について（入力 1、2、4）

● 本機は、接続された映像入力端子を自動的に選びます。このとき、次の優先順位で映像信号を選びます。

HDMI（入力 1 のみ） ⇒ D4 映像（入力 1、4 のみ） ⇒ S2 映像 ⇒ 映像

お知らせ

- ゲーム機のコントローラーを使用するときには、コントローラーの操作に対して画面がわずかに遅れて表示されますが、これは入力信号をデジタル処理するために遅れが発生するもので、故障ではありません。遅れが気になるときは、「ゲームモード」の設定を「操作性優先」にしてください。(☞97 ページ)
- 接続した機器の操作については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

画面サイズを切り換える

サイズ /［画面自動調整］/［サイドマスク］

放送や映像の内容によってお好みの画面サイズに切り換えます。

画面サイズを選ぶ

サイズを押して、お好みの画面サイズを選びます。

ご注意

- **画面サイズ４：３や上下や左右に黒帯が表示される映像を何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日繰り返し表示すると焼き付きによる残像が発生します。著作権者の権利を侵害する恐れがある場合を除き、画面の残像（焼き付き）の発生を避けるため、映像を画面いっぱいに映す画面サイズに切り換えてお楽しみいただくことをお勧めします。**
- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどで、画面サイズ切り換え機能などを使って、画面の圧縮や引き伸ばしなどをすると、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

画面サイズの種類

ワイド	横縦比４：３映像を、違和感を抑えて画面いっぱいに表示します。
フル	16:9 から 4:3 に圧縮（スクイーズ）された映像を、元の 16：9 に戻して画面いっぱいに表示します。
Dot By Dot	入力信号と画面のドット×ラインを１：１に対応させて、忠実に表示します。入力ソースのサイズが 1920 × 1080 のときのみ表示できます。
ズーム	シネマスコープサイズまたは 16：９サイズの映像を画面いっぱいに表示します。
シネマ	ビスタサイズの映像を画面いっぱいに表示します。
4：3	横縦比４：３映像をそのまま表示します。

- 入力された映像によっては、画面サイズを切り換えても黒帯が表示される場合があります。

お知らせ

- 入力された映像信号に画面サイズの情報があるときは、その情報に合わせて画面サイズが自動的に最適なサイズに切り換わります。(☞64 ページ)

1 サイズを押して、お好みの画面サイズを選ぶ

押すたびに、画面サイズが切り換わります。

現在の画面サイズ

選べる画面サイズについて

放送・入力/信号		自動	フル	Dot By Dot	ズーム	シネマ	4：3	ワイド
地上アナログ放送/入力（映像/S2）/デジタル放送/HDMI/D4	標準(525i)	×	○	×	○	○	○	○
デジタル放送/HDMI/D4	標準(525p)	×	○	×	○	○	○	○
デジタル放送	ハイビジョン(1125i)	○	○ フル1/フル2	○	—	—	—	○ ワイド1/ワイド2
	ハイビジョン(750p)	○	○	×	—	—	—	—
HDMI/D4	ハイビジョン(1125i)	○	○ フル1/フル2	○	○	—	○	○ ワイド1/ワイド2
	ハイビジョン(750p)	○	○	×	○	—	○	○ ワイド1/ワイド2
HDMI	ハイビジョン(1125p)	○	○ フル1/フル2	○	○	—	○	○ ワイド1/ワイド2

ハイビジョン映像のときは

● デジタル放送などでハイビジョンを見ているときは、「自動」「フル 1」「フル 2」「Dot By Dot」「ワイド 1」「ワイド 2」が選べます。

自動	映像に合わせて自動的に「フル（フル 1)」と「ワイド 1」または「ワイド 2」に切り換えて表示します。**「サイドマスクの表示方法を変更する」☞65 ページ**
フル 1	ハイビジョン映像をそのまま表示します。
フル 2	フル 1 で表示すると画面上部に黒帯が見えるとき、画面いっぱいに表示します。
Dot By Dot	入力信号と画面のドット×ラインを１：１に対応させて、忠実に表示します。入力ソースのサイズが 1920 × 1080 のときのみ表示できます。
ワイド 1	フル 1 やフル 2 で表示すると画面左右に黒帯などの無画部が見えるとき、画面中央の横縦比 4:3 映像を、違和感を抑えて左右上下画面いっぱいに表示します。
ワイド 2	フル 1 やフル 2 で表示すると画面左右に黒帯などの無画部が見えるとき、画面中央の横縦比 4:3 映像を、左右画面いっぱいに均一に引き延ばして表示します。

●「ワイド 1」「ワイド 2」を選ぶと、映像の一部が欠けることがあります。この場合、「フル 1」または「フル 2」にすることをお勧めします。

画面サイズを自動的に切り換える ［画面自動調整］

本機には、放送や入力の映像信号に含まれる画面サイズ制御信号に合わせて、画面サイズを自動的に最適なサイズに切り換える機能があります。

ご注意

- 地上アナログ放送の受信中は､｢画面自動調整｣の設定はできません。
- デジタル放送、および HDMI、D4 端子、S2 端子からの入力に対して働きます。
- お買い上げ時は、「画面自動調整」は「画面いっぱい」に設定されています。
- 画面自動調整中は、画面サイズの表示が緑色で表示されます。
- 「しない」を選ぶと、画面サイズが自動的には切り換わらなくなります。サイズを押して、お好みの画面サイズを選びます。
- デジタル放送のハイビジョン放送の一部で、４：３ 画面の左右に黒帯や静止画などをつけて、16：９ 画面として放送されている映像では、「サイドマスク」の「検出」を「モード１」､「モード２」に設定してください。**(｢サイドマスクの表示方法を変更する｣ ☞65 ページ)**

オリジナルの映像がレターボックスのときは

- ４：３ の画面の中に 16：９ の映像が含まれるとき（レターボックス）は、自動的に「ズーム」で表示されます。

オリジナルの映像が 16：９ のときは

- オリジナルの映像が 16:9 のとき（フルモード）は､自動的に「フル」で表示されます。

1 ホームメニュー を押す

2 [その他の設定] を選んで 決定 を押す

3 [画面自動調整] を選んで 決定 を押す

画面サイズを自動で切り換える種類について

オリジナルの映像						
画面自動調整	しない	そのまま表示 (真円)		画面いっぱい		
サイドマスク　検出	—	しない	モード１/ モード２	しない	モード１/ モード２	
サイドマスク　ワイド切換	—	—		—	モード１	モード２
４：３ のとき	お好みの画面サイズ（自動で切り換えません）	４：３ のまま表示		ワイドで表示		
レターボックスのとき		ズームで表示				
16：９ フルモードのとき		フルで表示				
ハイビジョン映像のとき		フル／フル１で表示				
４：３ 画面の左右に黒帯や絵柄などをつけているハイビジョン映像のとき		フル／フル１で表示	グレーのサイドマスクをつけて表示	フル／フル１で表示	ワイド１で表示	均一に拡大 ワイド２で表示

4 ▲▼で以下の項目を選んで（決定）を押す

しない	画面サイズを自動で切り換えません。
そのまま表示（真円）	画面サイズを自動で切り換えます。 4：3映像のとき、そのまま表示します。
画面いっぱい	画面サイズを自動で切り換えます。 4：3映像のとき、画面いっぱいに表示します。

お知らせ
- 終了するときは、［元の画面］を押します。

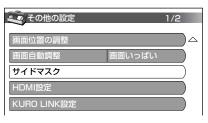
サイドマスクの表示方法を変更する ［サイドマスク］

デジタル放送のハイビジョン放送の一部では、4：3画面の左右に黒帯や静止画など（サイドマスク）をつけて、16：9 画面として放送されている場合があります。このサイドマスクを検出して、自動的に表示方法を変更することができます。

検出	サイドマスクを検出するかしないかを設定します。	
	しない	サイドマスクを検出しません。
	モード１	黒色のサイドマスクのみを検出します。
	モード２	黒色および絵柄のサイドマスクを検出します。
ワイド切換	「画面自動調整機能」で画面いっぱい、「検出」でモード１またはモード２を選択しているときに表示するワイドモードの設定をします。	
	モード１	ワイド１を表示します。
	モード２	ワイド２を表示します。
輝度連動	映像の明るさに連動して、サイドマスクの明るさを変更するかどうかを設定します。	
	固定	サイドマスクの明るさを、一定の明るさで表示します。
	連動	サイドマスクの明るさを、映像に連動した明るさで表示します。

1 を押す

2 ［その他の設定］を選んで（決定）を押す

3 ［サイドマスク］を選んで（決定）を押す

4 ▲▼で［検出］、［ワイド切換］または［輝度連動］を選んで◀▶で設定する

お知らせ
- サイドマスク「検出」機能が動作している時、チャンネル情報の下部に「自動」と表示されます。
（［サイズ］を１回押すと確認できます。）

サイドマスク「検出」機能動作中の表示
(チャンネル情報サイズが「小」の時)

- 「画面自動調整」が「しない」に設定されているときは、「検出」の設定はできません。
- 「検出」が「しない」に設定されているときは、画面サイズを「自動」に切り換えられません。
- 映像によっては検出を誤る場合があります。その場合には［画面サイズ］を２回以上押すことによって、一時的に検出を解除できます。
- 検出「モード２」に設定していて検出を誤る場合は、検出を「しない」にするか「モード１」にしてください。
- 「輝度連動」の「連動」を選ぶと、画面の残像（焼き付き）の発生を軽減することができます。
- 終了するときは、［元の画面］を押します。

省エネ機能を使う

[省エネの設定]

節電のための省エネ機能の設定をします。次の3つの省エネ機能があります。
(パソコン接続時の省エネ機能については ☞118ページ)

消費電力	消費電力を抑える機能を設定します。	
	オフ	通常の明るい映像です。
	モード1	消費電力を低減します。
	モード2	消費電力をさらに低減します。
	消画	画面を消して音だけを出します。消画状態で[+ 音量][音量 −][消音]以外のボタンを押すと、設定前の状態に戻ります。
無信号オフ	入力信号がなくなったときに、約15分後に自動的にスタンバイ(待機状態)にする機能です。「する」または「しない※」を選びます。	
無操作オフ	約3時間テレビの操作をしなかったときに、自動的にスタンバイ(待機状態)にする機能です。「する」または「しない※」を選びます。	

※お買い上げ時の設定

「無信号オフ」機能について

- 「無信号オフ」機能は、地上アナログ放送と映像入力時のみ有効です。
- 次のような場合、正しく動作しないことがあります。
  —放送が終わっても、他局の放送電波が混入するとき
  —試験放送など、その他の電波が混入するとき
  —ブルーバックなどの映像信号が入力されているとき
- テレビを見ているときに、電波の状況によって「無信号オフ」機能が働いて電源が切れてしまうときは、「しない」に設定してください。

お知らせ

- 「無信号オフ」や「無操作オフ」を「する」に設定すると、電源がスタンバイ状態になる5分前から、残り時間が1分ごとに表示されます。
- PC(パソコン)入力時は、「無信号オフ」や「無操作オフ」はありません。「パワーマネージメント」で設定してください。(☞118ページ)

1 [ホームメニュー]を押す

2 [省エネの設定]を選んで[決定]を押す

3 設定したい項目を選んで[決定]を押す

4 [▲][▼]で設定を選んで[決定]を押す

お知らせ

- 終了するときは、[元の画面]を押します。

自動で電源を切る

[おやすみタイマー]

設定した時間が過ぎると、自動的にスタンバイ（待機状態）にすることができます。
30 分 /60 分 /90 分 /120 分を設定できます。

1 ホーム メニュー を押す

2 [おやすみタイマー] を選んで 決定 を押す

3 ↑↓で設定を選んで 決定 を押す

お知らせ

- 「おやすみタイマー」を設定すると、電源がスタンバイ状態になる 5 分前から、残り時間が 1 分ごとに表示されます。
- 残り時間が 0 分になると、本機の電源がスタンバイ状態になり、おやすみタイマーの設定が「しない」に戻ります。
- おやすみタイマーの動作中に、主電源を切ったり手動でスタンバイ状態にすると、おやすみタイマーは中止され、設定が「しない」に戻ります。
- 終了するときは、 元の画面 を押します。

お好みの画質・音質モードを選ぶ

画·音 / ［モード］

本機には、映画やゲームなどを最適な画質・音質で楽しむための 7 種類の設定が用意されています。あらかじめ、調整をしたい入力に切り換えてください。

リビング	お部屋の明るさと映像に合わせて、最適な画質に調整します。
標準	標準的な画質の設定です。
ダイナミック	コントラストを最大限に引き上げた、メリハリの非常に強い映像にします。
映画	コントラスト感を抑えて、暗い映像を見やすくします。
ディレクター	入力信号をできるだけ忠実に反映した画像にします。
ゲーム	テレビゲームなどの映像を、目にやさしい映像にします。
AV メモリー	入力ごとに、お好みに合わせて調整することができます。

お知らせ

- 画質・音質モードは、テレビや映像入力など入力ごとに選べます。
- パソコン接続時（PC 入力）は、「標準」と「AV メモリー」の 2 種類になります。
- **通常は「リビング」または「標準」でご使用になることをお勧めします。**

  リビング…太陽の日差しで画面の明るさが変わるとき、または暗い部屋で映像を楽しむことがあるときに適しています。

  標準…画面の明るさを固定したいときに適しています。

1 画·音を押す

現在の画質・音質モードが表示されます。

2 画·音を押して、希望の画質・音質モードを選ぶ

押すたびに、画質・音質モードが切り換わります。

お知らせ

- ホームメニューの「画質の調整」の「モード」でも、画質モードを選べます。

お好みの画質に調整する

[画質の調整]

画質·音質モードを、お好みの画質に調整できます。あらかじめ、調整をしたい画質·音質モードに切り換えてください。（画質・音質モード ☞68 ページ）

ご注意

- 画質・音質モードが「リビング」のときは自動的に最適な画質に調整するため、ピュアシネマ以外の画質調整はできません。
- 画質·音質モードが「ダイナミック」のときは画質調整できません。

コントラスト	明暗の差を調整します。
明るさ	暗い場面が見やすくなるように調整します。
色の濃さ	お好みの色の濃さに調整します。
色あい	肌色がきれいに見えるよう調整します。
シャープネス	映像のくっきり感を調整します。

1 を押す

2 [画質の調整] を選んで 決定 を押す

3 ▲▼で調整したい項目を選んで 決定 を押す

4 ◀▶でお好みの画質に調整する

お知らせ

- 他の項目を調整するときは、戻る を押して手順３と４を繰り返します。
- 手順４の調整中に▲▼を押すと、調整項目を直接切り換えられます。
- 「画質の調整」を選ぶとルームライトセンサー､インテリジェントシステム、オービターの各機能が一時停止してお買い上げ時の状態に戻ります。そのため、画質や映像の表示位置が大きく変化することがあります。
- 終了するときは、 元の画面 を押します。

画質の調整を元に戻すには

[初期状態に戻す]

画質・音質モードの調整内容を、お買い上げ時の設定に戻すことができます。

お知らせ

- 初期状態に戻したい画質・音質モードにあらかじめ切り換えてください。（画質・音質モード ☞68 ページ）
- 「プロ設定」の調整内容も、お買い上げ時の設定に戻します。（プロ設定 ☞70 ページ）

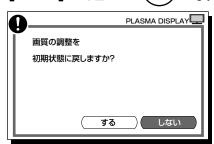
1 を押す

2 [画質の調整] を選んで 決定 を押す

3 [初期状態に戻す] を選んで 決定 を押す

4 [する] を選んで 決定 を押す

お知らせ

- 終了するときは、 元の画面 を押します。

詳細な画質調整をする

［プロ設定］

よりきめ細かく画質調整（プロ設定）ができます。あらかじめ、調整をしたい画質・音質モードに切り換えてください。（画質・音質モード ☞68 ページ）

ピュアシネマ	フィルム収録の映像を高画質に再生できます。
インテリジェントシステム	映像に適した画質に補正できます。
ピクチャーディテール	映像のコントラストや明るさを詳細に調整できます。
カラーディテール	色温度など詳細な色調整ができます。
ノイズリダクション	映像のざらつきを軽減することができます。
動き補正	映像に適した画像補正を詳細に調整できます。

ご注意

- 画質·音質モードが「ダイナミック」のときは画質調整できません。
- 画質·音質モードが「リビング」のときはピュアシネマ以外の画質設定はできません。

プロ設定画面を表示する

［プロ設定］

1 ホームメニューを押す

2 [画質の調整] を選んで 決定 を押す

3 [プロ設定] を選んで 決定 を押す

画質の調整	
モード	標準
コントラスト	40
明るさ	0
色の濃さ	0
色あい	0
シャープネス	0
プロ設定	
初期状態に戻す	

4 プロ設定画面で、設定したい項目を選んで 決定 を押す

プロ設定	
ピュアシネマ	
インテリジェントシステム	しない
ピクチャーディテール	
カラーディテール	
ノイズリダクション	
動き補正	

お知らせ

- 各設定項目は、以下の説明をご覧ください。
- 終了するときは、元の画面を押します。

フィルム収録の映像を高画質に再生する

［ピュアシネマ］

以下の項目を選んで 決定 を押してください。
▲▼で設定を選んで 決定 を押します。

フィルムモード	しない	ピュアシネマ機能を使いません。
	標準	映画など、毎秒 24 コマで収録されている DVD ソフトやハイビジョン映像を表示するとき、記録されている映像情報を自動的に検出して、フィルム本来の滑らかで美しい映像を楽しめます。
	スムース	映画など、毎秒 24 コマで収録されている DVD ソフトを表示するとき、動画を滑らかかつあざやかに再生します。
	アドバンス	映画など、毎秒 24 コマで収録されている DVD ソフトを表示するとき、72 Hz に変換して再生することで、スクリーンで見るような滑らかな動きとフィルム映写の質感を楽しめます。
字幕適応	しない	字幕適応機能を使いません。
	する	字幕適応機能を使って、字幕をより美しく表示します。

お知らせ

- 「ゲームモード」（☞97 ページ）を「操作性優先」にしているときは、ピュアシネマは働きません。
- プログレッシブ信号（525p や 750p）が入力されているときは、「標準」は働きません。
- 1125p（リフレッシュレート 60 Hz）のプログレッシブ信号が入力されているときは、「標準」「スムース」「アドバンス」は働きません。
- 映像信号によっては画面がちらついたり乱れることがあります。このような場合は、フィルムモードの設定を「しない」または「標準」にしてください。
- 「標準」に設定すると、ご覧の番組によってはテロップの文字がくずれて見えることがあります。このような場合は、字幕適応の設定を「する」にしてください。それでも、くずれる場合は、フィルムモードの設定を「しない」にしてください。

最適な画質に補正する
［インテリジェントシステム］

で設定を選んで決定を押します。

しない	インテリジェントシステム機能を使いません。
モード1	より効果的な設定になるように画質の補正を行います。
モード2	より適正な設定になるように画質の補正を行います。

コントラストや明るさを詳細に調整する
［ピクチャーディテール］

以下の項目を選んで決定を押してください。で設定を選んで決定を押します。

DRE ピクチャー	映像のコントラストを強調して、明暗の差がはっきりした映像にします。
黒伸張	映像の暗い部分を強調して、明暗の差がはっきりした映像にします。
ACL	映像に適したコントラスト特性に補正します。 • ACL は、Automatic（オートマチック） Contrast（コントラスト） Limitter（リミッター）の略です。
エンハンサーモード	映像の高周波部分（細かい部分）の処理のしかたを選択します。
ガンマ	映像の明暗バランスを調整します。

詳細な色調整をする
［カラーディテール］

以下の項目を選んで決定を押してください。で設定を選んで決定を押すか、で調整します。

色温度	白色をお好みの色調に調整します。色温度が高いほど青みが強く、低いほど赤みが強い白になります。 •「手動」では、お好みに応じてさらに詳細な色温度の調整ができます。
CTI	色の境目（輪郭）を鮮明にします。 • CTI は、Color（カラー） Transient（トランジェント） Improvement（インプルーブメント）の略です。
カラーマネージメント	色相を系列ごとにより細かく調整します。
色域	色の再現範囲を変更します。 1　本機に最適な、より鮮やかな色を再現します。 2　標準的な色再現にします。

カラーマネージメント：

項目	◀	▶
R（赤）	マゼンタに近づく	黄に近づく
Y（黄）	赤に近づく	緑に近づく
G（緑）	黄に近づく	シアンに近づく
C（シアン）	緑に近づく	青に近づく
B（青）	シアンに近づく	マゼンタに近づく
M（マゼンタ）	青に近づく	赤に近づく

色温度を手動調整したいときは
［手動］

「色温度」で「手動」を選んで、決定を3秒以上押してください。色温度の手動設定画面が表示されます。RGB（赤・緑・青）のそれぞれの色成分で微調整ができます。

R ドライブ	明るい部分の微調整をします。 ▶：＋側 ◀：－側	赤の強さを調整します。
G ドライブ		緑の強さを調整します。
B ドライブ		青の強さを調整します。
R カットオフ	暗い部分の微調整をします。 ▶：＋側 ◀：－側	赤の強さを調整します。
G カットオフ		緑の強さを調整します。
B カットオフ		青の強さを調整します。

映像のざらつきを軽減する
［ノイズリダクション］

以下の項目を選んで決定を押してください。で設定を選んで決定を押します。

3DNR	ノイズ発生箇所だけに的を絞り、映像のざらつきを抑えて、すっきりさせます。 • 3DNR は、3（スリー） Dimension（ディメンション） Noise（ノイズ） Reduction（リダクション）の略です。
フィールド NR	映像のちらつきを取り除いて、より自然な映像にします。
ブロック NR	ハイビジョン映像などのノイズ感を軽減します。
モスキート NR	デジタル放送や DVD などの MPEG 映像のざわつき（モスキートノイズ）を取り除きます。

映像に適した画像補正にする
［動き補正］

以下の項目を選んで決定を押してください。で設定を選んで決定を押します。

3DYC 分離	映像に適した Y/C 分離特性にします。
IP 変換	映像に適したプログレッシブ変換を行います。 1　動画向けの設定です。 2　標準の設定です。 3　静止画向けの設定です。

お知らせ

•「3DYC 分離」は、コンポジット映像信号入力時のみ設定できます。
• プログレッシブ信号（525p、750p や 1125p）入力時、「ＩＰ変換」は設定できません。

調整前と後を比較しながら画質を調整する

比較しながら画質を調整することができます。

1 ホームメニュー を押す

2 [画質の調整] を選んで 決定 を押す

3 ▲ ▼ で調整項目を選んで 決定 を押す

お好みの画質に調整します。

4 調整画面が表示されている間に、青 を押す

ディスプレイに“ビフォー”と表示され、調整前の画質（手順2で「画質の調整」メニューを表示したときの画質）で映像が表示されます。

5 もう一度 青 を押す

調整後の画質で映像が表示されます。（“ビフォー”の表示が消えます。）

青 を押すたびに調整前と、調整後が切り換わります。

6 他の項目を調整する

手順３～５を繰り返し、他の項目を調整します。

お知らせ

- 調整前（“ビフォー”と表示されている）の状態では、画質の調整はできません。

7 元の画面 を押してホームメニューを終了する

ホームメニューを終了した時点で画質が確定します。

お知らせ

- 調整前（“ビフォー”と表示されている）の状態で、ホームメニューを終了すると、調整前の画質に戻ります。
  ホームメニューを終了するときは、調整前（“ビフォー”）と調整後を確かめてください。
- 以下の場合、画質の比較機能は使えません。
  - 画質・音質モード設定メニュー表示中
  - 画質･音質モードが「リビング」の場合の画質調整メニュー表示中
  - 初期状態に戻すメニュー表示中
  - パソコン画面の画質調整メニュー表示中
- 異なる画質・音質モード間での画質の比較はできません。
  例 「標準」モードと「映画」モードの比較
- 画質・音質モードを変更すると、変更した時点で画質が確定されます。
- 画質の調整中は、以下の機能は働きません。
  −ルームライトセンサー（☞98 ページ）
  −インテリジェントシステム（☞71 ページ）
  −オービター（☞99 ページ）

お好みの音質や音場に調整する

［音質の調整］

画質・音質モードを、お好みの音質や音場（サウンドエフェクト）に調整できます。あらかじめ、調整をしたい画質・音質モードに切り換えてください。音質は画質・音質モードに連動して設定されます。（画質・音質モード ☞68 ページ）

お知らせ

・「モード」の設定で「リビング」を選択、かつ、「サウンドコントロール」（☞73 ページ）の設定で「する」を選択しているときは、「音質の調整」は「オートボリューム」のみ設定が可能です。

お好みの音質にする

［高音］［低音］［バランス］

高音	高音の音量を調整します。
低音	低音の音量を調整します。
バランス	左右の音量を調整します。

1 ホームメニュー を押す

2 ［ 音質の調整 ］を選んで 決定 を押す

3 ▲▼で調整項目を選んで ◀▶で調整する

「高音」と「低音」は、▶で＋側に、◀で－側に調整できます。

「バランス」は、▶で右のレベルが上がり、◀で左のレベルが上がります。

お知らせ

・ 終了するときは、元の画面 を押します。

音質の調整を元に戻すには

［初期状態に戻す］

画質·音質モードの「高音」「低音」「バランス」「サウンドエフェクト」を、お買い上げ時の設定に戻すことができます。

お知らせ

・ あらかじめ、初期状態に戻したい画質・音質モードに切り換えてください。（画質・音質モード ☞68 ページ）

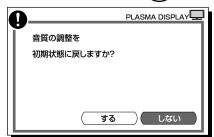
1 ホームメニュー を押す

2 ［ 音質の調整 ］を選んで 決定 を押す

3 ［ 初期状態に戻す ］を選んで 決定 を押す

4 ［ する ］を選んで 決定 を押す

お知らせ

・ 終了するときは、元の画面 を押します。

お好みの音場にする

[サウンドエフェクト]

SRS FOCUS ™ とは、音が聞こえてくる方向（音像）を縦方向（上方向）に動かすとともに、音の輪郭を明確にし、画面の中から音が聞こえてくるような効果が得られる機能です。
その他、自然で立体的な音場にする SRS®、無理のない豊かな低音を再生する SRS TruBass®、中高域の音質を高める SRS Definition® 機能の設定を「高」「中」「低」または「しない」に設定します。

SRS FOCUS ™	音像（音の聞こえてくる方向）を上方向に引き上げ、音の輪郭を明瞭にする機能です。
SRS®	音の立体感と臨場感を高め、どの位置でも自然な立体音場が楽しめます。
SRS TruBass®	無理のない豊かな低音を再生します。
SRS Definition®	中高域の音質を高め、声や楽器の音を明瞭にします。

お知らせ

- 「SRS FOCUS」「SRS」「SRS TruBass」「SRS Definition」が、すべて入っている状態を （SRS WOW HD™）と言います。
- 効果の度合いは音声信号によって異なります。
- ヘッドフォン出力でも音場調整ができます。

1 ホーム メニュー を押す

2 [音質の調整] を選んで 決定 を押す

3 [サウンドエフェクト] を選んで 決定 を押す

4 ▲▼で調整項目を選んで、◀▶で調整する

お知らせ

- 終了するときは、元の画面 を押します。

音量を自動的に制御する

[オートボリューム]

コマーシャルに入った時などで音量が変化する場合に、音量の変化を少なくすることができます。

1 ホーム メニュー を押す

2 [音質の調整] を選んで 決定 を押す

3 [オートボリューム] で [する] を選ぶ

お知らせ

- 各入力に設定できます。
- お買い上げ時は、「オートボリューム」は「しない」に設定されています。
- 終了するときは、元の画面 を押します。

自動的に最適な画質・音質に調整する

[リビングモード]

ご覧になる映像や視聴環境に合わせて、自動的に最適な画質・音質に調整します。
[モード]（☞68 ページ）で「リビング」を選んでいるときに調整されます。
また、別売のカラーセンサーを接続すると、カラーセンサーからの情報も利用して最適な画質に調整することができます。

音声を連動する

[サウンドコントロール]

1 ホームメニュー を押す

2 [画質の調整] を選んで 決定 を押す

3 [サウンドコントロール] を選んで 決定 を押す

4 ▲▼で [する][しない] を選んで 決定 を押す

する	「サウンドコントロール」が有効になります。映像の絵柄に応じて、自動で音質を調整します。
しない	音質の調整を、お好みの設定にすることができます。

お知らせ

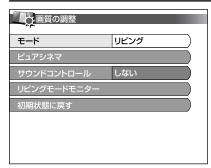
- 「サウンドコントロール」の設定で「する」を選択したとき、「音質の調整」は「オートボリューム」のみ設定が可能です。「しない」を選択したとき、「音質の調整」はユーザー設定が可能になります。
- 終了するときは、元の画面 を押します。

画質・音質の設定をチェックする

[リビングモードモニター]

1 ホームメニュー を押す

2 [画質の調整] を選んで 決定 を押す

ピュアシネマ	フィルム収録の映像を高画質に再生できます。設定は 70 ページをご覧ください。
サウンドコントロール	リビングモード時の画質に合わせて、音声を連動させます。
リビングモードモニター	自動的に最適な画質・音質に調整している様子をグラフィックで表示します。

3 [リビングモードモニター] を選んで 決定 を押す

リビングモードモニターが表示されているときに、青 を押すと、画質・音質の設定が自動調整する前の状態に戻ります。再び 青 を押すと調整後の値になります。

お知らせ

- 青 を押すと、リビングモードが「オン」⇔「オフ」と切り換わります。
- 画質・音質モードが「リビング」の時に、リモコンの「画面表示」を 3 秒以上押してもリビングモードモニターを表示できます。
- 終了するときは、元の画面 を押します。

KURO LINK 対応機器をつなぐ

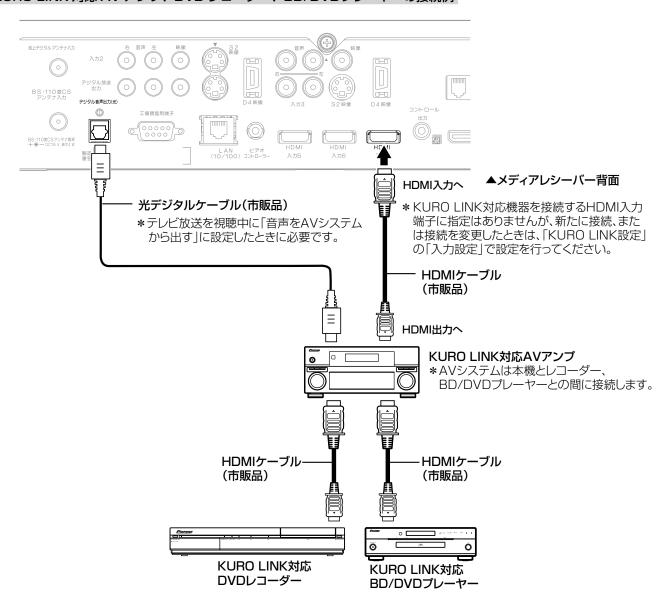
パイオニア製 KURO LINK 対応機器をつなぎます。KURO LINK 機能を使うと、パイオニア製 KURO LINK 対応機器を本機のリモコンで操作できます。

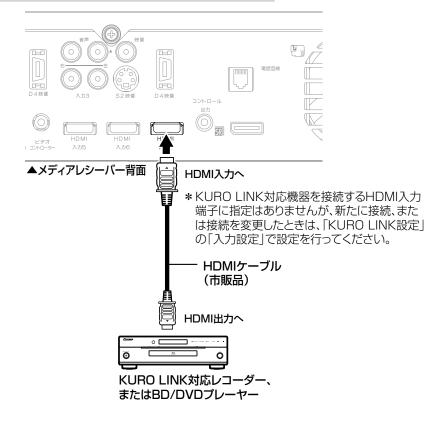
ご注意

- KURO LINK と SR コントロールは同時に使用できません。

お知らせ

- 本機と KURO LINK 対応機器との接続や、「KURO LINK 設定」の各設定を変更したときは、以下の操作を行ってください。
  1. 本機および接続されているすべての機器の電源を入れてください。
  2. 機器を接続した HDMI 入力に合わせて、「KURO LINK 設定」の「入力設定」が正しく設定されているかを確認してください。
     また、接続機器の KURO LINK 機能の設定も確認してください。
  3. 接続した機器の音と映像が正しく出力されるかチェックするために、機器が接続されている HDMI 入力に切り換えてください。
  4. 本機をスタンバイ状態にしたあと、もう一度電源を入れてください。

KURO LINK 対応 AV アンプ、DVD レコーダー、BD/DVDプレーヤーの接続例

KURO LINK 対応 DVD レコーダー、BD/DVDプレーヤーの接続例

お知らせ

- KURO LINK 機能は KURO LINK 対応のパイオニア製レコーダー、AV アンプ、BD/DVDプレーヤーを接続している場合に使うことができます。KURO LINK 対応機器についての最新情報は、当社ホームページをご覧ください。
- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴのついているケーブルをお使いください。
- HDMI 1.3 規格に対応した HDMI ケーブルを使用しないと、KURO LINK 機能が動作しない場合があります。
- レコーダー２台、AV アンプ 1 台、プレーヤー２台まで本機に接続して KURO LINK 機能を使うことができます。
- KURO LINK 機能に対応していない AV アンプは、本機と KURO LINK 対応レコーダー、BD/DVDプレーヤーとの間に接続しないでください。レコーダー、BD/DVDプレーヤーをコントロールできなくなります。
- KURO LINK 機能に対応していない AV アンプと KURO LINK 対応レコーダー、BD/DVDプレーヤーを本機と接続する場合は、AV アンプと本機とを光デジタルケーブルで接続し、レコーダー、BD/DVDプレーヤーと本機とを HDMI ケーブルで接続してください。このとき、HDMI ケーブルから入力された BD/DVDプレーヤーの音声は光デジタルケーブルから出力されません。
- 接続後は、「KURO LINK 設定」の「入力設定」を行ってください。設定は KURO LINK 対応機器を接続した HDMI 入力端子に設定してください。
- KURO LINK 機能を使うときは、接続した機器側でも設定が必要です。詳しくは、接続した機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- KURO LINK 対応 AV アンプに接続されている BD/DVDプレーヤーおよびレコーダーからの映像を、２画面表示で副画面・子画面に表示した場合、BD/DVDプレーヤーおよびレコーダーからの映像は表示されずに黒画面になります。
- 機器により、「KURO LINK」という機能名称は「HDMI コントロール」と表示されている場合があります。
- 他社の機器と HDMI ケーブルで接続しても、KURO LINK 機能は動作保証外です。

KURO LINK の設定をする

[KURO LINK 設定]

入力設定	KURO LINK 機能を使って操作する機器を接続している入力端子を選びます。 「しない」「入力 1」「入力 5」「入力 6」「入力 7」から選びます。 入力設定で設定した入力に接続されている機器のみコントロールできます。
電源オフ連動	本機をスタンバイ状態にしたときに、接続している KURO LINK 対応機器の電源も切るかを設定します。
電源オン待機	接続している KURO LINK 対応 BD/DVDプレーヤーを再生したときなどに、本機の電源も入れるかを設定します。
AV システム連動継続	KURO LINK 機能によって AV システムから音声を出力中に、本機がスタンバイになったあと再び電源が入ったときに、AV システムから音声を出力することを継続するかを設定します。
電源オンテスト	入力設定で設定した HDMI 機器の動作を確認します。
電源オフテスト	

お知らせ

- 電源テスト可能な HDMI 機器は「入力設定」で設定した入力に接続している機器です。
- 電源オン・電源オフテストに失敗したときは、HDMI 機器の接続と設定を確認してください。

1 を押す

2 [その他の設定] を選んで (決定) を押す

3 [KURO LINK 設定] を選んで (決定) を押す

4 [入力設定] を選んで (決定) を押す

KURO LINK設定

入力設定	入力5
電源オフ連動	する
電源オン待機	する
AVシステム連動継続	しない

電源オンテスト
電源オフテスト

5 ▲▼で設定を選んで (決定) を押す

お知らせ

- 「入力設定」に「しない」を設定したときは、その他の項目の設定はできません。
- 「入力設定」で選択した HDMI 端子以外の端子に KURO LINK 対応機器を接続して使用すると、誤動作する場合があります。「入力設定」で選択した HDMI 端子以外に接続する機器は、機器側の KURO LINK 機能の設定を解除してください。
- 「電源オフ連動」は「入力設定」で設定した入力にかかわらず、本機と接続している KURO LINK 対応機器に有効です。
- 終了するときは、(元の画面) を押します。

電源のテストをする

設定が終わったら、本機と KURO LINK 対応機器が連動して動作をしているかテストします。

1 [KURO LINK 設定] 画面で [電源オンテスト] または [電源オフテスト] を選んで (決定) を押す

複数の KURO LINK 対応機器が接続されているときは、機器の一覧が表示されます。

お知らせ

- 終了するときは、(元の画面) を押します。

本機から KURO LINK 対応機器を コントロールする

KURO LINK ／ [KURO LINK]

接続したパイオニア製 KURO LINK 対応機器を、本機のリモコンや KURO LINK メニューから操作します。

お知らせ

- KURO LINK 機能では以下のようなことができます。
  - **接続機器の電源オフ**
    本機をスタンバイ状態にしたときに、KURO LINK 対応機器も一緒に電源オフします。
  - **本機の電源オン・オートセレクト**
    接続した KURO LINK 対応機器の PLAY ボタンを押したとき、本機の電源が自動で入り、接続された入力に切り換わります。
  - **本機ディスプレイから機器のコントロール**
    KURO LINK 操作パネルや本機のリモコンで KURO LINK 対応機器（パイオニア製 AV アンプ・レコーダー・BD/DVDプレーヤー）の操作ができます。（再生、録画、録画予約、早送り / 早戻し、音量、サラウンドモード、AV アンプの入力端子の切り換えなど、本機のリモコンで操作できます。）
- KURO LINK 機能は KURO LINK 対応パイオニア製機器でのみ使うことができます。
- KURO LINK 機能では、KURO LINK 対応機器の一部の機能を操作できます。KURO LINK 対応機器のすべての機能を操作できるものではありません。
- 別々の HDMI 端子にそれぞれ機器が接続されている場合、「電源オフ連動」以外の機能は複数の機器に同時に働きません。

本機のリモコンで KURO LINK 対応機器を操作する

本機のリモコンでKURO LINK対応機器を操作します。

1 本機のリモコン受光部にリモコンを向けて操作します。

お知らせ

- KURO LINK 機能を使うとき、リモコンは本機右下に向けて操作してください。リモコン受光部については 9 ページをご覧ください。

本機のメニューで KURO LINK 対応機器を操作する

KURO LINK に対応した AV アンプ・レコーダー・BD/DVDプレーヤーを接続しているときに、本機のメニューでそれらを操作します。

ディスクナビ	接続したレコーダー、BD/DVDプレーヤーのタイトルリストを表示します。
録画予約	レコーダーの録画予約画面を表示し、本機からレコーダーの録画予約を設定します。
予約確認	レコーダーの録画予約画面を表示し、レコーダーの録画予約情報などを確認します。
見ている番組を録画	本機リモコンのダイレクトキーでレコーダーにワンタッチで録画します。
録画停止	録画を停止します。
AV システム操作パネル	接続した AV システムの操作パネルを表示します。
再生操作パネル	接続したレコーダー、BD/DVDプレーヤーの操作パネルを表示します。
音声を AV システムから出す	接続した AV システムから音声を出力します。
音声を PDP から出す	本機から音声を出力します。
接続機器のメニューを開く	接続されている機器のメニューを表示します。
接続機器のサブメニューを開く	接続されている機器のサブメニューを表示します。

1 ホームメニューを押す

2 [KURO LINK] を選んで 決定 を押す

次頁へつづく

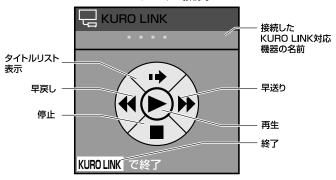
3 で設定を選んで 決定 を押す

お知らせ

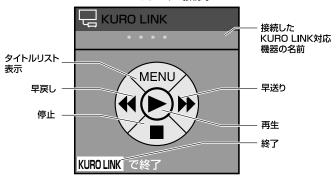
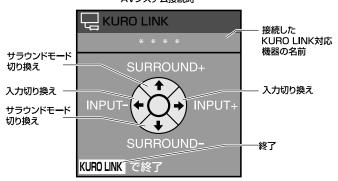
- リモコンの KURO LINK を押しても、KURO LINK メニューが表示できます。
- 「KURO LINK 設定」（☞78 ページ）で「入力設定」が「しない」に設定されているときは、KURO LINK メニューは表示できません。
- 「AV システム操作パネル」は、接続した AV システムから音声を出力しているときに選択できます。
- 「再生操作パネル」は、接続したレコーダー、および BD/DVDプレーヤーが操作可能な状態のときのみ選択できます。

KURO LINK 操作パネルで機器を操作するには

KURO LINK 操作パネルで KURO LINK 対応機器を操作します。KURO LINK 操作パネルは、「AV システム操作パネル」、「再生操作パネル」を選んだときに表示されます。

BD/DVDレコーダー接続時

BD/DVDプレーヤー接続時

AVシステム接続時

1 決定 で KURO LINK 操作パネルを操作する

HDMI 接続の設定をする

[HDMI 設定]

HDMI 対応の DVDプレーヤーなどをつないだあとは、必要に応じて HDMI 接続の設定をします。

確認してください！

□ 接続は終わっていますか？
□ 本機で対応している信号は下記です。
正しく表示されない場合は、HDMI 機器の出力信号を確認してください。

- 本機で対応している映像信号
  - 720 × 480 ピクセルのインターレース映像
  - 720 × 480 ピクセルのプログレッシブ映像
  - 1920 × 1080 ピクセルのインターレース映像
  - 1280 × 720 ピクセルのプログレッシブ映像
  - 1920 × 1080 ピクセルのプログレッシブ映像（リフレッシュレート 24 Hz/60 Hz）
- 本機で対応しているパソコン信号
  - 640 × 480(VGA)　60 Hz
  - 800 × 600(SVGA)　60 Hz
  - 1024 × 768(XGA)　60 Hz
  - 1360 × 768 (ワイド XGA)　60 Hz
  - 1280 × 1024 (SXGA)　60 Hz
- 本機で対応している音声信号
  - リニア PCM（ステレオ　2ch）
    サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz

お知らせ

- HDMI は、High-Definition Multimedia Interface の略で、デジタル映像・音声信号を伝送します。1 本の HDMI ケーブルをつなぐだけで、高品質な映像とデジタル音声をお楽しみいただけます。
- HDMI ケーブルは、必ず HDMI ロゴのついているケーブルをお使いください。
- 1920 × 1080 ピクセルのプログレッシブ映像を表示するときは、対応ケーブル（HDMI カテゴリー 2）をお使いください。
  対応していない HDMI ケーブルをお使いになると、映像が映らないなど、正しく動作しないことがあります。
- HDMI 入力に接続した機器の映像を見るときは、「入力 1」、「入力 5」、「入力 6」または「入力 7」を選びます。
- 機器によっては､映像が表示されるまで時間がかかる場合があります。
- 接続する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

KURO LINK 機能について

KURO LINK 機能に対応した機器と本機とを接続して、それらの HDMI 機器を本機から操作できます。操作できるのは KURO LINK 機能に対応したパイオニア製 HDMI 機器のみです。
詳しくは､「KURO LINK 対応機器をつなぐ」(☞76 ページ)、「本機から KURO LINK 対応機器をコントロールする」(☞ 79 ページ) をご覧ください。

Deep Color 対応について

Deep Color とは色深度のことで、色数をビット表示で示したものです。
従来までの RGB/YCbCr16bit/20bit/24bit 信号処理に加え、RGB/YCbCr30bit/36bit の信号処理が可能になりました。
これにより DeepColor 対応機器を接続したときは、より緻密な色再現が可能となります。

HDMI の信号種別の設定をする

[信号種別]

HDMI ケーブルで接続した機器の入力信号の種類を設定します。

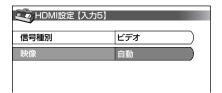
1 入力 1、入力 5、入力 6 または 入力 7 を押して、HDMI 機器の入力を選ぶ

2 ホームメニュー を押す

3 [その他の設定] を選んで 決定 を押す

4 [HDMI 設定] を選んで 決定 を押す

5 [信号種別] を選んで 決定 を押す

次頁へつづく

6 ⇧⇩で設定を選んで（決定）を押す

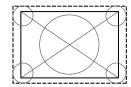
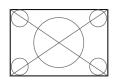
ビデオ※	通常はこちらを選びます。
PC	HDMI 入力にパソコンを接続しているときに選びます。

※ お買い上げ時の設定

ご注意

- HDMI 入力にパソコンを接続しているときは、必ず「PC」に設定してください。

お知らせ

- 「ビデオ」を選択すると､画像はオーバースキャン（拡大）されます。また、XGA や SXGA などのパソコン信号が入力されると自動的に「PC」に切り換えます。
  「PC」を選択すると、拡大せずに入力画像のすべてを表示します。

「ビデオ」選択時

「PC」選択時

実線内が実際に画面に表示される部分です。

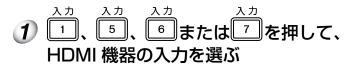
- 終了するときは、［元の画面］を押します。

HDMI の映像設定をする

［映像］

HDMI ケーブルで接続した機器の映像の設定をします。

1 ［入力 1］、［入力 5］、［入力 6］または［入力 7］を押して、HDMI 機器の入力を選ぶ

2 ［ホームメニュー］を押す

3 ［その他の設定］を選んで（決定）を押す

4 ［HDMI 設定］を選んで（決定）を押す

5 ［映像］を選んで（決定）を押す

6 ⇧⇩で設定を選んで（決定）を押す

映像
● 自動
カラー1
カラー2
カラー3
カラー4

自動※	入力信号に合わせて自動的に設定されます。
カラー 1 ～カラー 4	「自動」で色が正しく表示されないときに、正常に表示されるように最適な設定を選んでください。

※お買い上げ時の設定

お知らせ

- 終了するときは、［元の画面］を押します。

画面の位置を調整する

[画面位置の調整]

画面に表示される映像の位置を調整できます。

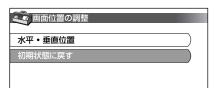
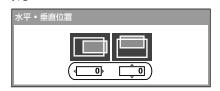
画面の位置を調整する

[画面位置の調整]

1 ホーム メニュー を押す

2 [その他の設定] を選んで 決定 を押す

3 [画面位置の調整] を選んで 決定 を押す

4 [水平・垂直位置] を選んで 決定 を押す

5 で、上下左右の位置を調整する

お知らせ

- 画面位置を調整すると、映像の一部が欠けることがあります。その場合は、最適な位置に調整し直してください。
- 映像によっては、調整値を変えても画面位置が動かないことがあります。
- 終了するときは、 元の画面 を押します。

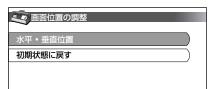
画面位置の調整を元に戻すには [初期状態に戻す]

画面位置をお買い上げ時の状態に戻します。

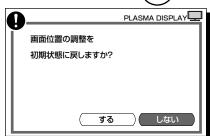
1 ホーム メニュー を押す

2 [その他の設定] を選んで 決定 を押す

3 [画面位置の調整] を選んで 決定 を押す

4 [初期状態に戻す] を選んで 決定 を押す

5 [する] を選んで 決定 を押す

お知らせ

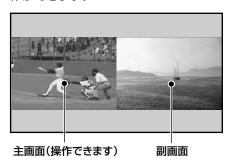
- 終了するときは、 元の画面 を押します。

2 画面表示にする

ディスクナビ

デジタル放送の裏番組や外部入力などを、別の画面で同時に見られます。

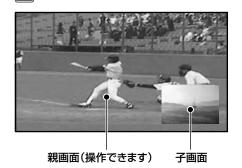
PsideP 表示

画面を 2 分割して表示します。主画面のみ入力切換などの操作ができます。

主画面（操作できます）　副画面

PinP 表示

親画面の中に子画面を表示します。
親画面のみ入力切換などの操作ができます。
HDD で PinP 表示の子画面を移動できます。（☞85 ページ）

親画面（操作できます）　子画面

ご注意

- **長時間 2 画面表示にしたり、短時間でも毎日繰り返し 2 画面表示にすると、焼き付きによる残像が発生することがあります。**

お知らせ

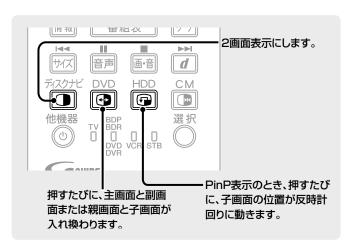
- 2 画面表示のとき、スピーカーからは主画面・親画面の音声が聞こえます。
- 次の場合は、2 画面表示ができません。
  — 2 つの地上アナログ放送
  — 2 つの外部入力（例：入力1と入力2）
  — ホームギャラリー（メモリーカードの映像）
- 副画面・子画面には、データ放送や字幕を表示できません。
- 2 画面表示中は、操作に制限があります。
- デジタル放送の録画が開始されると、副画面・子画面は録画中のチャンネルに固定されます。
- 2 画面表示する映像によっては、主画面・親画面と副画面・子画面の画質が異なる場合があります。

1 ディスクナビ を押す

2 画面表示に変わります。ディスクナビ を押すたびに次の順に切り換わります。

2 2 画面表示を終了するときは、元の画面 を押す

画面を入れ換える

DVD

2 画面表示のときに画面を入れ換えて、操作できる画面を切り換えます。

1 DVD を押す

押すたびに、現在表示中の 2 つの画面の内容が入れ換わります。

お知らせ

- 録画中は、画面を入れ換えられません。

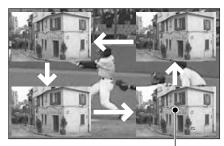
PinP 表示の子画面位置を移動する

HDD
PinP 表示にすると、子画面が親画面の右下に表示されます。子画面をお好みの位置に移動できます。

お知らせ

- PsideP 表示では画面位置を移動できません。

1 PinP 表示のときに HDD [子画面位置ボタン] を押す

押すたびに、子画面が反時計回りに移動します。

PinP表示にすると最初はこの位置(右下)に子画面が表示されます

画面を静止させる

見ているテレビ放送や映像を静止することができます。料理番組や電話番号などのメモを取るときに便利です。

ご注意

- **長時間画面を静止したり、短時間でも毎日くり返し静止画面を表示させると、焼き付きによる残像が発生することがあります。**

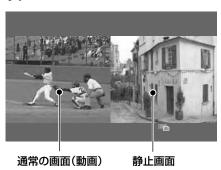
お知らせ

- 静止画面で 5 分経過すると、静止画面を終了して 1 画面表示に戻ります。
- 静止画面では、画面サイズの切り換えはできません。

1 CM を押す

2 画面表示になり、右側の画面に静止画が表示されます。

通常の画面（動画）　静止画面

2 静止画面を終了するときは、元の画面 を押す

複数の音声・字幕や映像（マルチビューなど）を切り換える ［信号切換］

デジタル放送には、マルチビュー（1 つの番組で 3 つの映像を放送）など、複数の映像を放送している番組があります。この映像を切り換えます。また、複数の音声や字幕もそれぞれ切り換えられます。

1 ホームメニュー を押す

2 [その他の設定] を選んで 決定 を押す

3 [信号切換] を選んで 決定 を押す

4 ▲▼で [マルチビュー] または [映像] を選んで 決定 を押す

信号切換

マルチビュー	◀ グループ1 ▶
映像	映像1
音声	1：第1…／第2…
字幕	表示しない
	設定

5 ◀▶で見たい映像を選ぶ

6 同様に [音声] と [字幕] を選ぶ

7 [設定] を選んで 決定 を押す

お知らせ

- 切り換えられる映像や音声がない場合は、項目を選択できません。
- 信号切換画面での設定は一時的なものです。チャンネルを変更したり、2画面表示で画面を入れ換えたときは、リセットされます。

字幕や文字スーパーを設定する

[字幕の設定]

デジタル放送を見るときに、字幕や文字スーパーを表示するかしないかを設定できます。また、表示する場合の言語の優先順位も設定できます。

字幕設定	字幕の表示方法を選びます。字幕とは、映画の日本語字幕など、放送内容と連動した文字の表示です。
文字スーパー設定	文字スーパーの表示方法を選びます。文字スーパーとは、ニュース速報やお知らせなどの、放送内容とは非同期の文字表示です。

お知らせ

- 番組によっては、設定が無効になり強制的に字幕や文字スーパーが表示されることがあります。

1

を押す

2 [初期設定] を選んで (決定) を押す

3 [デジタル放送の設定] を選んで (決定) を押す

4 [字幕の設定] を選んで (決定) を押す

5 [字幕設定] で表示方法を選ぶ

を押すたびに、次の順に切り換わります。(で逆順)

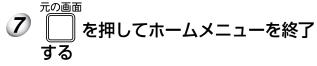
表示しない（お買い上げ時の設定）⇒ **日本語優先表示** ⇒ **外国語優先表示**

6 [文字スーパー設定] で表示方法を選ぶ

を押すたびに、次の順に切り換わります。(で逆順)

日本語優先表示（お買い上げ時の設定）⇒ **外国語優先表示** ⇒ **表示しない**

7

を押してホームメニューを終了する

ホームメニューを終了した時点で設定が確定します。

トピックスを見る

映画やスポーツ、音楽などの情報トピックスを見られます。

1 アナログ放送に切り換える

2 ホームメニューを押す

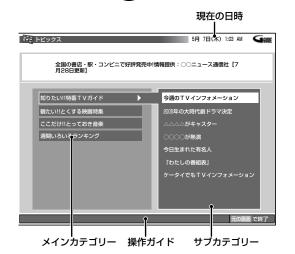
3 [番組ナビ] 選んで決定を押す

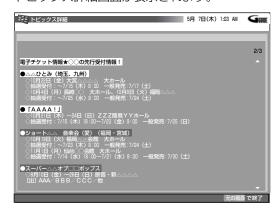
お知らせ

- デジタル放送の視聴時は、トピックスは見られません。
- トピックスは、G ガイドによって提供される情報です。

4 [トピックス] を選んで決定を押す

トピックス画面が表示されます。

5 ▲▼でメインカテゴリーを選んで▶または決定を押す

6 ▲▼でサブカテゴリーを選んで決定を押す

トピックス詳細画面が表示されます。

画面を切り換えるには

● 複数の画面があるときは、▲▼で切り換えます。

お知らせ

- 終了するときは、元の画面を押します。

デジタル放送の情報を見る

[インフォメーション]

デジタル放送局からのお知らせメッセージなどを確認できます。

お知らせメッセージ	デジタル放送局からのお知らせや、本機のダウンロード情報を確認します。
B-CAS カード	B-CAS カードの動作テストをします。(☞154 ページ)
CS1 ボード / CS2 ボード	110 度 CS デジタル放送局からの情報を確認します。
バージョン情報	本機のソフトウェアのバージョンを確認します。

お知らせメッセージを読む

[お知らせメッセージ]

デジタル放送局からのお知らせメッセージや、本機のダウンロード情報を確認します。(最大 46 件まで保存)

お知らせ

- 本機の自動更新の設定を「しない」に設定していると、ダウンロードするデータがあるときに、お知らせメッセージが届きます。お知らせメッセージを読んで、自動更新を「する」に設定すると、自動更新のダウンロードが実行されます。
  (自動更新については ☞157 ページ)
- 46 件を超えると、古いお知らせメッセージから順に削除されます。
- 視聴予約／録画予約が失敗したときも、お知らせメッセージが届きます。
- 未読のお知らせメッセージがあるときは、チャンネル情報の表示中に、 マークが表示されます。**(☞59 ページ)**

1 デジタル放送に切り換える

2 ホームメニュー を押す

3 [番組ナビ] 選んで 決定 を押す

4 [インフォメーション] を選んで 決定 を押す

5 [お知らせメッセージ] を選んで 決定 を押す

お知らせメッセージの一覧が表示されます。

次頁へつづく

6 上下ボタンでお知らせメッセージを選んで（決定）を押す

お知らせメッセージの内容が表示されます。

お知らせメッセージを削除したいときは

● お知らせメッセージの一覧で、削除したいお知らせメッセージを選びます。（右）を押して「削除」を選んで（決定）を押すと、削除の確認画面が表示されます。「はい」を選んで（決定）を押してください。

お知らせ

・ 終了するときは、（元の画面）を押します。

ボード（110度CSデジタル放送局からの情報）を見る ［CS1ボード］［CS2ボード］

110度CSデジタル放送局から送られてくる情報や案内を確認します。（ボードあたり最大50タイトルまで表示）

1 デジタル放送に切り換える

2 （ホームメニュー）を押す

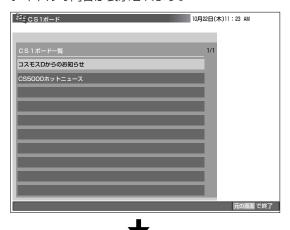
3 ［番組ナビ］選んで（決定）を押す

4 ［インフォメーション］を選んで（決定）を押す

5 ［CS1ボード］または［CS2ボード］を選んで（決定）を押す

CS1ボード、またはCS2ボードの内容が一覧表示されます。

6 でタイトルを選んで決定を押す

タイトルの内容が表示されます。

お知らせ

- 終了するときは、元の画面を押します。

本機のソフトに関する情報などを見る

［バージョン情報］

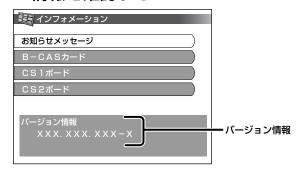
本機のソフトウェアのバージョンを確認できます。本機に関して当社にお問い合わせになるときなどに必要になる場合があります。

1 デジタル放送に切り換える

2 ホームメニューを押す

3 ［番組ナビ］選んで決定を押す

4 ［インフォメーション］を選んで決定を押す

5 インフォメーション画面で、バージョン情報を確認する

視聴制限を設定する

[ ]

デジタル放送の成人向け番組の視聴を暗証番号で制限できます。視聴制限を設定すると、制限対象の番組は、暗証番号を入力しないと見られなくなります。設定できる視聴制限は「年齢制限」です。

暗証番号設定	視聴制限を設定すると、制限対象の番組は暗証番号を入力しない限り見られません。視聴制限を解除して番組を見るための4桁の暗証番号を設定します。 また、暗証番号は、視聴制限を設定するときにも必要です。
年齢制限設定	年齢で視聴制限をします。4才から19才までを1才単位で設定できます。設定した年齢以上を対象とする番組は、暗証番号を入力しないと見られません。年齢制限をしないときは「しない」を選択します。

お知らせ

- お買い上げ時は、「暗証番号」と「視聴制限」は設定されていません。

暗証番号を登録する（はじめて視聴制限を設定するとき）

はじめて視聴制限を設定するときは、暗証番号を登録します。

ご注意

- 暗証番号は、忘れないように必ずメモしてください。

お知らせ

- お買い上げ後、はじめて視聴制限設定をする場合や、暗証番号を削除したときに、以下の操作になります。一度暗証番号を登録すると、次回からは暗証番号の確認入力に変わります。
- 暗証番号を忘れたときは、有料放送の放送局（WOWOWやスターチャンネルなど）までご連絡ください。放送局で暗証番号を消去します。暗証番号の消去には手数料がかかります。

1 を押す

2 [初期設定]を選んで(決定)を押す

3 [デジタル放送の設定]を選んで(決定)を押す

4 [視聴制限設定]を選んで(決定)を押す

はじめて視聴制限を設定するとき、暗証番号の新規登録画面が表示されます。

5 [1]～[10]で4桁の暗証番号を入力する

お知らせ

- 「0」を入力するときは、[10]を押します。
- 間違って入力したときは、[12]を押すと1つ前の桁に戻って再入力できます。
- 約10分間入力がないと、暗証番号登録を中断して元の画面に戻ります。

4桁目を入力すると、確認用入力の1桁目にカーソルが移動します。

6 確認用にもう一度同じ暗証番号を入力する

「暗証番号を忘れないようにメモしておいてください」と表示されます。

7 (決定)を押す

視聴制限設定画面が表示されます。

お知らせ

- 終了するときは、[元の画面]を押します。

暗証番号を変更する
[暗証番号設定]

暗証番号を変更します。

ご注意

- 暗証番号は、忘れないように必ずメモしてください。

1 ホームメニュー を押す

2 [初期設定] を選んで 決定 を押す

3 [デジタル放送の設定] を選んで 決定 を押す

4 [視聴制限設定] を選んで 決定 を押す

暗証番号の入力画面が表示されます。

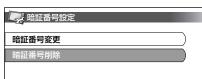
5 1 〜 10₀ で 4 桁の暗証番号を入力する

お知らせ

- 「0」を入力するときは、10₀ を押します。
- 間違って入力したときは、12 を押すと 1 つ前の桁に戻って再入力できます。
- 約 10 分間入力がないと、暗証番号登録を中断して元の画面に戻ります。

6 [暗証番号設定] を選んで 決定 を押す

暗証番号の設定画面が表示されます。

7 [暗証番号変更] を選んで 決定 を押す

8 1 〜 10₀ で、新しい 4 桁の暗証番号を入力する

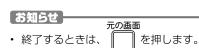
4 桁目を入力すると、確認用入力の 1 桁目にカーソルが移動します。

9 確認用にもう一度同じ暗証番号を入力する

「暗証番号を忘れないようにメモしておいてください」と表示されます。

10 決定 を押す

お知らせ

- 終了するときは、元の画面 を押します。

暗証番号を削除する ［暗証番号削除］

暗証番号を削除します。

ご注意

- 暗証番号を削除すると、視聴制限の設定も無効になります。視聴制限を設定するときは、再度暗証番号を登録してください。

1 ホームメニュー を押す

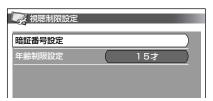
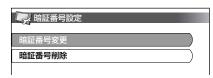
2 ［初期設定］を選んで 決定 を押す

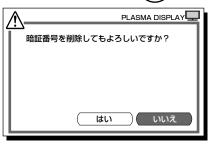
3 ［デジタル放送の設定］を選んで 決定 を押す

4 ［視聴制限設定］を選んで 決定 を押す

5 1 ～ 10 で４桁の暗証番号を入力する

視聴制限設定画面が表示されます。

6 ［暗証番号設定］を選んで 決定 を押す

7 ［暗証番号削除］を選んで 決定 を押す

暗証番号の削除の確認画面が表示されます。

8 ［はい］を選んで 決定 を押す

お知らせ

- 終了するときは、元の画面 を押します。

視聴できる年齢を制限する ［年齢制限設定］

視聴できる番組の年齢を設定して暗証番号で制限します。たとえば、年齢制限を「15才」に設定すると、16才以上を対象とする番組は、暗証番号を入力しないと見られなくなります。

1 ホームメニュー を押す

2 ［初期設定］を選んで 決定 を押す

3 ［デジタル放送の設定］を選んで 決定 を押す

4 ［視聴制限設定］を選んで 決定 を押す

暗証番号の入力画面が表示されます。

お知らせ

- お買い上げ後はじめて視聴設定をする場合や、暗証番号を削除した場合は、暗証番号の新規登録画面が表示されます。暗証番号を新しく登録してください。

5 1 ～ 10 で４桁の暗証番号を入力する

6 ［年齢制限設定］を選んで、年齢を選ぶ

を押すたびに、**しない**（お買い上げ時の設定）⇒ **4才** ⇒ **5才**･･･ ⇒ **19才**の順に変わります（　で逆順）

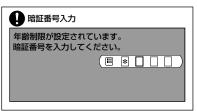
お知らせ

- 終了するときは、［元の画面］を押します。

視聴制限を一時的に解除して番組を見るには

視聴制限（年齢制限）を設定しているとき、制限対象の番組を選ぶと暗証番号入力画面が表示されます。

1 視聴制限の対象となる番組を選ぶ

暗証番号の入力画面が表示されます。

2 ［1］～［10］で4桁の暗証番号を入力する

視聴制限が一時的に解除されます。

お知らせ

- スタンバイにする（またはディスプレイの主電源を切る）まで、解除されます。

電源ランプの明るさを調整する

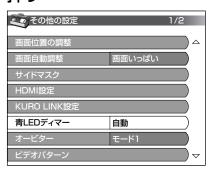
[青 LED ディマー]

メディアレシーバー、ディスプレイの ON ランプが明るすぎるときに、ランプの明るさを設定します。「自動」にすると、照度センサーを使って明るさを自動で切り換えられます。

1 ホームメニュー を押す

2 [その他の設定] を選んで 決定 を押す

3 [青 LED ディマー] を選んで 決定 を押す

4 ▲▼で各項目を選んで 決定 を押す

自動※	照度センサーで周辺環境の明るさを調べ、その明るさに合った電源ランプの明るさにします。高輝度、中輝度、低輝度が自動的に切り換わります。
明るい	電源ランプの明るさを高輝度で固定します。
普通	電源ランプの明るさを中輝度で固定します。
暗い	電源ランプの明るさを低輝度で固定します。

※ お買い上げ時の設定

お知らせ

- 終了するときは、元の画面 を押します。

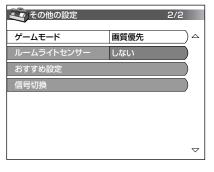
ゲームモードでの操作性を設定する

[ゲームモード]

ゲームをするときに、画質か操作性のどちらを優先するかを設定します。

1 ホーム メニュー を押す

2 [その他の設定] を選んで 決定 を押す

3 [ゲームモード] を選んで 決定 を押す

4 ▲▼で [画質優先] か [操作性優先] を選んで 決定 を押す

画質優先	鮮明な画面でゲームなどを楽しめます。
操作性優先	画面処理を省略して、スピードを必要とするゲームなどに適した映像にします。

お知らせ

- 外部入力（PC 入力を除く）に機器を接続して、「モード」（☞68 ページ）で「ゲーム」を選択しているときのみ設定できます。
- パソコン入力信号を受信したときは、「ゲームモード」の設定は無効になります。
- 「操作性優先」を選んでも、2 画面表示や静止画面に対しては効果がありません。
- 終了するときは、元の画面 を押します。

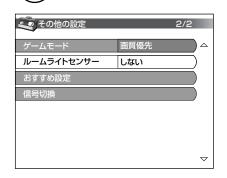
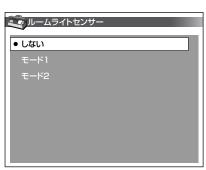
部屋の明るさに応じて自動で最適な明るさにする

[ルームライトセンサー]

部屋の明るさ（外光の照度）に応じて、自動的に表示パネルを最適な明るさに調整します。さらに、別売のカラーセンサーを取り付けることにより、照明の色調まで検出し、自動で画質を最適化することができます。

1 ホームメニューを押す

2 [その他の設定] を選んで決定を押す

3 [ルームライトセンサー] を選んで決定を押す

4 ▲▼で [しない] または [モード1]、[モード2] を選んで決定を押す

モード 1	センサーから得た情報に基づいて、表示映像の画質が最適になるように自動的に画質調整を行います。
モード 2	センサーから得た情報に基づいて、視聴環境に最適な画質になるように自動的に画質調整を行います。

お知らせ

- 「モード」(☞68 ページ) の「リビング」が選択されているときはルームライトセンサーは働きません。
- 終了するときは、元の画面を押します。
- 別売のカラーセンサーを使用していない場合、「モード 1」または「モード2」を選択すると、照度センサーの情報に基づいて表示パネルを最適な明るさに調整します。

いろいろな機能を使う

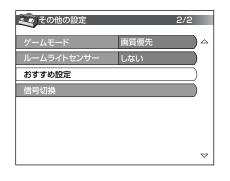
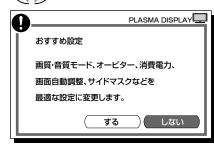
ディスプレイ保護のメニューをまとめて設定する

[おすすめ設定]

本機には、ディスプレイ保護のためにたくさんのメニューが用意されています。それらのメニューを、まとめて最適な設定に変更します。

1 ホームメニュー を押す

2 [その他の設定] を選んで 決定 を押す

3 [おすすめ設定] を選んで 決定 を押す

4 で [する] を選んで 決定 を押す

メニュー項目	おすすめ設定での処理
モード (☞68 ページ)	現在の設定が「ダイナミック」のとき、「リビング」に変更する。
画面自動調整 (☞64 ページ)	「画面いっぱい」に変更する。
「サイドマスク」の「検出」 (☞65 ページ)	「モード 1」に変更する。
「オービター」 (☞ 下記)	「モード 1」に変更する。
「消費電力」 (☞66 ページ)	「モード 2」に変更する。

いろいろな機能を使う

オービターの設定をする

[オービター]

画面の表示位置を自動的にわずかに動かすことで、画面の焼き付きの発生を軽減します。

1 ホームメニュー を押す

2 [その他の設定] を選んで 決定 を押す

3 [オービター] を選んで 決定 を押す

4 で各項目を選んで 決定 を押す

モード 1	画面サイズが「Dot By Dot」のときは働きません。
モード 2	画面サイズが「Dot By Dot」のときでも働きます。

お知らせ

- 放送内容によっては、映像の端が若干欠けることがありますが、「モード1」または「モード2」の設定でお使いいただくことをお勧めします。
- 終了するときは、元の画面 を押します。

ビデオパターンを表示する

[ビデオパターン]

画面に残像が現れた場合に、このビデオパターンを画面に表示することで軽減することができます。

1 ホームメニュー を押す

2 [その他の設定] を選んで 決定 を押す

3 [ビデオパターン] を選んで 決定 を押す

4 [開始] を選んで 決定 を押す

ビデオパターンを中止するときは

- ビデオパターンを中止するにはリモコンの 電源 ボタン、メディアレシーバーのスタンバイ / 入ボタンを押します。押すとスタンバイ状態になります。

お知らせ

- ビデオパターンが動作して、1 時間後に本機は自動的にスタンバイ状態になります。
- ビデオパターンを表示している間、リモコンの 電源 ボタン、本体のスタンバイ / 入ボタンおよび電源ボタン以外は動作しません。
- ビデオパターンのタイマーはおやすみタイマーより優先されます。ビデオパターンを表示しているときは、おやすみタイマーは動作しません。

機器のつなぎ方を選ぶ

本機に他の機器を接続するときのつなぎ方を選びます。以下よりお手持ちの機器を選び、それぞれのページをお読みください。

他の機器からの映像・音声を本機で見る

お手持ちの機器からの映像・音声を本機で楽しみます。

DVDレコーダー（HDMI 端子付き）☞103 ページ

お手持ちの DVDレコーダーがデジタルチューナーを内蔵しているとき

ビデオデッキや DVDレコーダー（HDMI 端子なし）☞104 ページ

お手持ちの機器がビデオデッキまたはデジタルチューナーを内蔵していない DVDレコーダーのとき

BD/DVDプレーヤー☞105 ページ、106 ページ

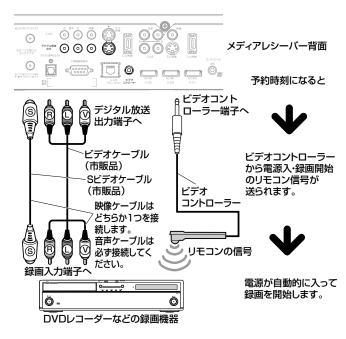
お手持ちの機器が再生専用のとき

本機の映像・音声を録画する

本機のデジタルチューナーで受信した映像・音声を、お手持ちの録画機器で録画します。

録画機器（ビデオコントローラーを使う）☞107 ページ

ビデオコントローラーを使って録画をするとき

ビデオコントローラーを接続すると、本機と連動してデジタル放送を録画できます。予約時刻になると、録画機器の電源が入り録画が開始されます。

お知らせ

- 接続後、録画機器に合わせてビデオコントローラーの設定を行ってください。（☞108 ページ）
- テレビ放送、ラジオ放送と連動したデータやデータ放送は録画できません。
- 録画機器の録画予約と、本機のビデオコントローラーを使った録画予約が重複した場合、ビデオコントローラーからの録画予約が正しく動作しないことがあります。
- ビデオコントローラーを使用できない録画機器の場合は、本機の録画予約開始／終了時刻に合わせて、録画機器側でも録画予約をしてください。

その他の機器と接続する

オーディオ機器 ☞113 ページ

デジタル音声出力（光）端子に AV アンプや MDレコーダーなどをつなぐとき

KURO LINK 対応機器 ☞76 ページ

KURO LINK 対応機器をつなぐとき

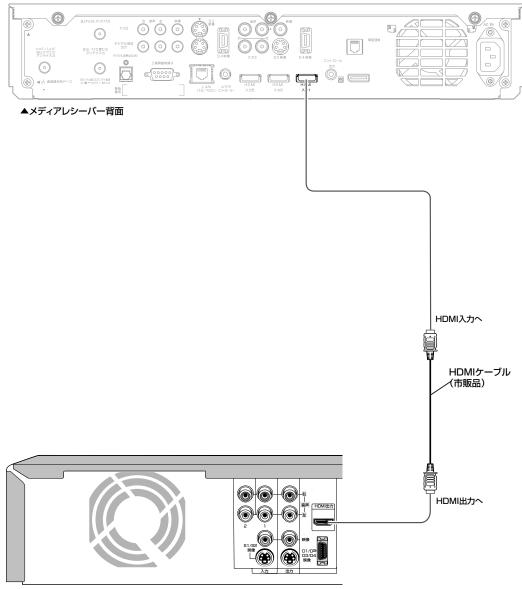
パソコン（PC） ☞115 ページ

パソコン（PC）をつなぐとき

録画機器を接続するときのご注意

- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ケーブルが足りないときは、必要に応じて市販のケーブルをお買い求めください。
- 接続ケーブルのプラグは、奥まで完全に差し込んでください。不完全な接続は、画像や音声にノイズや雑音が出る原因となります。
- 複数の機器を接続したときは、互いの干渉を避けるため、使わない機器の電源を切ってください。
- 接続した機器および本機の画像や音にノイズや雑音が出るときは、各機器間の距離を十分に離してください。

DVDレコーダー（HDMI 端子付き）をつなぐ

デジタルチューナーを内蔵しているDVDレコーダーをつなぎます。DVDレコーダーにHDMI端子があるときはHDMIケーブルでつなぐと、高品質な映像とデジタル音声を楽しめます。HDMIケーブル接続後は、HDMI接続の設定（☞81ページ）をしてください。

お知らせ

- 接続する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。
- HDMIケーブルで接続する場合は、音声ケーブルは不要です。音声ケーブルを接続しても、アナログ音声は選択できません。

ご注意

- アンテナを忘れずに接続してください。（☞32、33ページ）

映像入力端子の優先順位について（入力1、2、4）

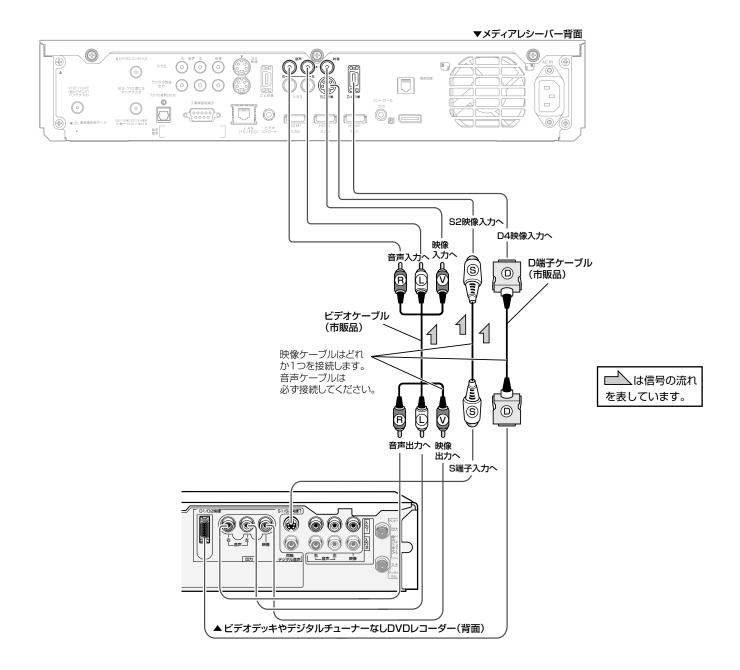
● 本機は、接続された映像入力端子を自動的に選びます。このとき、次の優先順位で映像信号を選びます。

HDMI（入力1のみ） ⇒ D4映像（入力1、4のみ）
⇒ S2映像（入力1、2のみ） ⇒ 映像

お知らせ

- 入力1、2、4には、複数の映像入力端子がありますが、どれか1つのみ接続してください。たとえば、D4端子とS2映像端子の両方を同時に接続するなど、不要な接続はしないでください。

ビデオデッキや DVDレコーダー（HDMI 端子なし）をつなぐ

ビデオデッキやデジタルチューナーを内蔵していないＤＶＤレコーダーをつなぎます。DVDレコーダーに D 端子があるときは、映像ケーブルを D 端子ケーブルでつなぐとより高画質な映像を楽しめます。

お知らせ

- 録画するときは 107 ページをご覧ください。
- 接続する録画機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。
- 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、デジタル放送出力端子にビデオデッキを通して、他のテレビをつなぐと正常に表示できないことがあります。

映像入力端子の優先順位について（入力 1、2、4）

● 本機は、接続された映像入力端子を自動的に選びます。このとき、次の優先順位で映像信号を選びます。

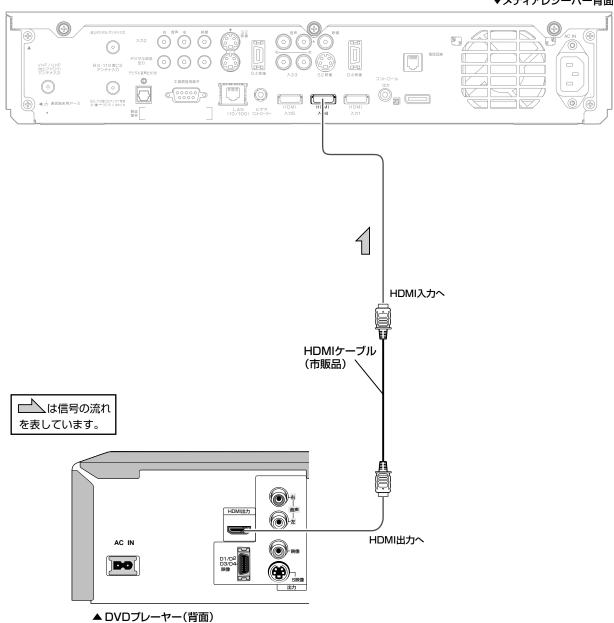
HDMI（入力 1 のみ） ⇒ D4 映像（入力 1、4 のみ）
⇒ S2 映像（入力 1、2のみ） ⇒ 映像

お知らせ

- 入力 1、2、4 には、複数の映像入力端子がありますが、どれか 1 つのみ接続してください。たとえば、D4 端子と S2 映像端子の両方を同時に接続するなど、不要な接続はしないでください。

BD/DVDプレーヤーをつなぐ（HDMI ケーブルで接続する場合）

BD/DVDプレーヤーを HDMI ケーブルでつなぎます。HDMI ケーブルでつなぐと、高品質な映像とデジタル音声を楽しめます。HDMI ケーブル接続後は、HDMI 接続の設定（☞81 ページ）をしてください。

▲ DVDプレーヤー（背面）

お知らせ

- HDMI ケーブルで接続する場合は、音声ケーブルは不要です。音声ケーブルを接続しても、アナログ音声は選択できません。

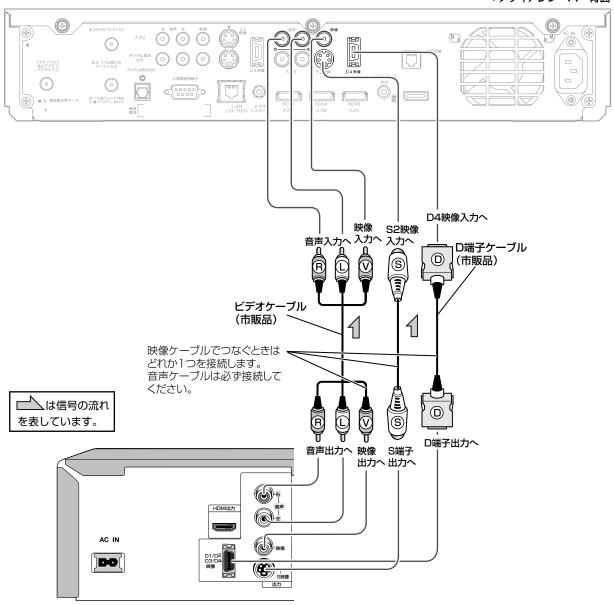
映像入力端子の優先順位について（入力 1、2、4）

- 本機は、接続された映像入力端子を自動的に選びます。このとき、次の優先順位で映像信号を選びます。

HDMI（入力 1 のみ） ⇒ D4 映像（入力 1、4 のみ）
⇒ S2 映像（入力 1、2のみ） ⇒ 映像

お知らせ

- 入力 1、2、4 には、複数の映像入力端子がありますが、どれか 1 つのみ接続してください。たとえば、D4 端子と S2 映像端子の両方を同時に接続するなど、不要な接続はしないでください。

BD/DVDプレーヤーをつなぐ（HDMI ケーブル以外で接続する場合）

お知らせ

- 接続する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

映像入力端子の優先順位について（入力 1、2、4）

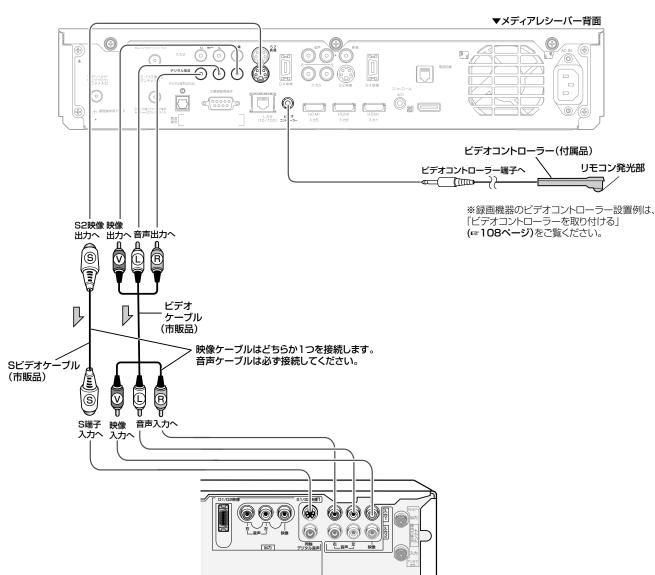
● 本機は、接続された映像入力端子を自動的に選びます。このとき、次の優先順位で映像信号を選びます。

HDMI（入力 1 のみ） ⇒ D4 映像（入力 1、4 のみ）
⇒ S2 映像（入力 1、2のみ） ⇒ 映像

お知らせ

- 入力 1、2、4 には、複数の映像入力端子がありますが、どれか 1 つのみ接続してください。たとえば、D4 端子と S2 映像端子の両方を同時に接続するなど、不要な接続はしないでください。

ビデオコントローラーを使って録画をする

ビデオコントローラーを使用すると、本機と録画機器を連動させてデジタル放送を録画することができます。予約時刻になると、録画機器の電源が入り録画が開始されます。デジタルチューナーを内蔵していない録画機器と組み合わせて使うと便利な機能です。

▲ビデオデッキやデジタルチューナーなしDVDレコーダー（背面）

ビデオコントローラーでできること

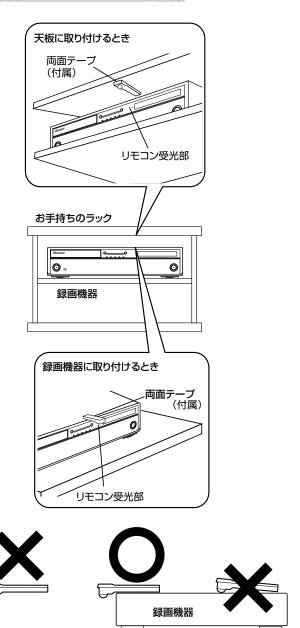
● 本機で録画予約をしたとき、録画機器に電源オン・録画スタート・録画停止・電源オフの信号を送ります。それ以外の操作はできません。

ご注意

・ビデオコントローラーは、メディアレシーバー背面のビデオコントローラー端子に確実に接続してください。

ビデオコントローラーを取り付ける

ビデオコントローラーをつないだら、録画機器のリモコン受光部の近くにビデオコントローラーを設置します。

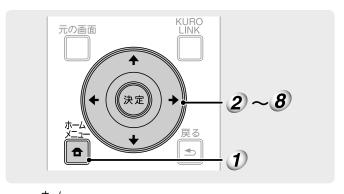
録画機器のビデオコントローラー設置例

ご注意

- ビデオコントローラーの取り付け位置が適切でないと、録画機器を制御できません。なるべく、録画機器受光部の上側に取り付けてください。下側に取り付けるとビデオコントローラーが外光などの影響を受けて、受信しづらくなることがあります。
- ビデオコントローラーは、録画機器のリモコン受光部の近くに確実に取り付けてください。録画機器のリモコン受光部については、録画機器の取扱説明書をご覧ください。
- 両面テープを貼り付ける箇所のゴミやほこりを、あらかじめ取り除いておいてください。
- 両面テープは強力なため、棚などに貼り付けたあと無理にはがすと、板の表面を傷めることがあります。ご注意ください。

ビデオコントローラーの設定をする

［ ビデオコントローラー ］

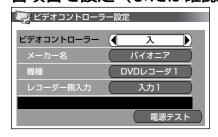
ビデオコントローラーで制御する録画機器を設定します。

1 ホーム メニュー を押す

2 ［ 初期設定 ］を選んで 決定 を押す

3 ［ デジタル放送の設定 ］を選んで 決定 を押す

4 ［ 外部機器設定 ］を選んで 決定 を押す

5 ［ ビデオコントローラー ］を選んで 決定 を押す

6 ［ ビデオコントローラー ］、［ メーカー名 ］、［ 機種 ］、［ レコーダー側入力 ］の各項目を設定（または確認）する

で、次の項目を設定します。

ビデオコントローラー	「入」を選びます。		
メーカー名	録画機器のメーカーを、次のメーカー名から選びます。		
	パイオニア	ソニー	パナソニック
	東芝	シャープ	日立
	日本ビクター	サンヨー	三菱
	フナイ	アイワ	NEC
機種	録画機器の機種を選びます。選べる機種は、メーカーごとに異なります。		
	パイオニア	DVDレコーダ1～4	
	ソニー	VTR1～6／DVDレコーダ1～3	
	パナソニック	VTR1～5／DVDレコーダ1～3	
	東芝	VTR1、2／DVDレコーダ1～3	
	シャープ	VTR1、2／DVDレコーダ1、2	
	日立	VTR1～3／DVDレコーダ1	
	日本ビクター	VTR1～3／DVDレコーダ1～4	
	サンヨー	VTR1～4	
	三菱	VTR1～4／DVDレコーダ1、2	
	フナイ	VTR1	
	アイワ	VTR1～3	
	NEC	VTR1～4	
レコーダー側入力※ （「メーカー名」が「パイオニア」のときのみ）	当社製DVDレコーダーをご使用のときのみ設定できます。 本機のデジタル放送出力端子を接続したDVDレコーダーの外部入力端子を選んでください。 あらかじめ録画機器側（DVDレコーダー）の外部入力を選ばなくても、自動的に本機からデジタル放送を録画予約できるようになります。 **（録画予約について ☞127ページ）**		

※レコーダー側入力は、2003年以降に発売の当社製DVDレコーダーが対象となります。ただし、機種によっては対応できない場合もあります。

7 [電源テスト]を選んで 決定 を押す

録画機器の電源が入ります。

ご注意

- 電源テストは、録画機器が録画予約待機状態や録画予約実行中でないときに行ってください。

8 決定 を押すたびに録画機器の電源が入／切することを確認する

録画機器の電源が入／切するかどうかを確認します。

お知らせ

- 電源テスト中は、「メーカー名」や「機種」などの設定を変えられません。設定変更の操作をすると、電源テストは中止されます。
- 電源テスト結果は本機には表示されません。
- 設定が終わったら、録画機器の電源を切ってください。
- 終了するときは、元の画面 を押します。

録画機器の電源を入／切できなかったときは

以下の手順で確認してください。

1 録画機器付属のリモコンで、録画機器の電源を入／切できるか確認する

2 ビデオコントローラーの接続と取り付け位置を確認する（☞108ページ）

3 「ビデオコントローラーの設定をする」（☞108ページ）の手順6で[機種]を変更して電源テストをする

録画機器の電源が入／切できるまで、「機種」を変更して電源テストを繰り返してください。

ご注意

- 録画機器の機種によっては、対応していない場合があります。電源テストのリモコン信号を受け付けない録画機器のときは、本機のビデオコントローラーは使えません。その場合は、「ビデオコントローラーの設定をする」**（☞108ページ）**の手順6で「ビデオコントローラー」を「切」に設定し、録画予約は、本機と録画機器の両方で設定してください。
- 当社製のDVDレコーダーとコントロール接続した場合は、ビデオコントローラーをDVDレコーダーに取り付けても録画制御ができません。**（☞114ページ）**
  この場合、本機のリモコン受光部**（☞8ページ）**の近くにビデオコントローラーを取り付けてください。

接続して使う

他機器を操作するためのリモコン設定をする

付属のリモコンを使って、本機以外のパイオニア製品や他社の機器（ビデオデッキ、ケーブルテレビセットトップボックス、BD、DVDプレーヤーなど）を操作することができます。お手持ちの機器のプリセットコードがリモコンに登録されている場合は、該当するコードを呼び出すだけで操作できるようになります。

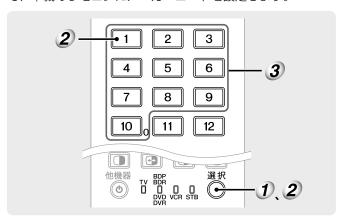
メーカーコードを登録して操作する

「選択」を押して「BDP/BDR/DVD/DVR」、「VCR」、「STB」に切り換えると、青色で表示されているボタンで、BDプレーヤー/BDレコーダー/DVDプレーヤー/DVDレコーダー、ビデオデッキ、セットトップボックスを操作できます。

メーカーコードを登録する

本機のリモコンでBDプレーヤー/BDレコーダー/DVDプレーヤー/DVDレコーダー、ビデオデッキ、セットトップボックスを操作するためには、お使いの機器のメーカーに合わせて、本機のリモコンにメーカーコードを設定します。

1 選択◯を押して操作する機器を選ぶ

選択した機器のモードランプが点灯します。

2 選択◯を押しながらチャンネルボタン［1］を押す

選択している機器のモードランプが点滅します。

3 チャンネルボタン（［1］～［10］0）で3桁のメーカーコードを入力する

メーカーコード表

BDプレーヤー、BDレコーダー	
メーカー名	コード
パイオニア	100*
ソニー	110～115
パナソニック	120～122
東芝	130～133
シャープ	140

DVDプレーヤー	
メーカー名	コード
パイオニア	200～201
ソニー	210～211
パナソニック	220
東芝	230
シャープ	240
日立	250
日本ビクター	260
DVDレコーダー	
メーカー名	コード
パイオニア	300～302
ソニー	310～312
パナソニック	320～322
東芝	330～332
シャープ	340～341
日立	350
日本ビクター	360～363
三菱	370～371
VCR	
メーカー名	コード
ソニー	510*～515
パナソニック	520～524
東芝	530
シャープ	540～541
日立	550～552
日本ビクター	560～562
三菱	570～572
三洋	580～583
セットトップボックス	
メーカー名	コード
パイオニア	000*～001
パナソニック	010
HUMAX	020

※お買い上げ時の設定

お知らせ

- モードランプが点滅しているときにおよそ1分間何も操作しなかったときは、メーカーコードの設定はキャンセルされます。
- リストにないメーカーコードを入力したときは、およそ1秒間点滅時間が早くなったあと、前の点滅状態に戻ります。
- 途中でメーカーコードの入力をキャンセルするときは選択◯を押してください。

お買い上げ時のメーカーコードに戻すときは

● 電源⏻ 選択◯ ▶▶I［d］を同時に押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

BD レコーダー / プレーヤー、DVD レコーダー / プレーヤーを操作する

1 選択 ◯を押して「BDP/BDR/DVD/DVR」に切り換える

2 操作する機器のリモコン受光部に本機のリモコンを向けて操作する

BDP/BDR/DVD/DVR モードのとき

1 ↑/↓/←/→
メニューやタイトルを選びます。

2 ホームメニュー
メニューを表示します。

3 ▶ 番組表
再生します。

4 ◀◀ 情報
早戻しします。

5 ❚❚ 音声
一時停止します。

6 ❙◀◀ サイズ
前のチャプターに戻します。

7 ディスクナビ
タイトルの一覧を表示します。当社製 DVDレコーダーをお使いのときは、ディスクナビ画面を表示します。

8 DVD
DVD に切り換えます。

9 他機器
接続機器の電源を入 / 切します。

10 KURO LINK
TOOLS メニューを表示します。当社製 BD プレーヤーをお使いのときのみ使用できます。

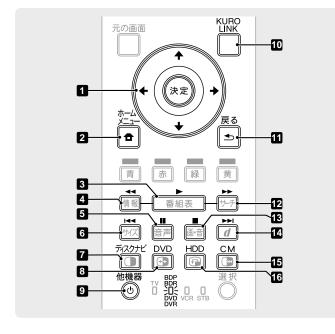
11 戻る
1つ前の画面に戻ります。

12 ▶▶ サーチ
早送りします。

13 ■ 画・音
停止します。

14 ▶▶❙ d
次のチャプターに移動します。

15 CM
再生中に映像や音声を飛ばします。

16 HDD
HDD に切り換えます。

VCR モードのとき

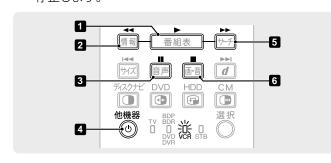
1 ▶ 番組表
再生します。

2 ◀◀ 情報
早戻しします

3 ❚❚ 音声
一時停止します。

4 他機器
接続機器の電源を入 / 切します。

5 ▶▶ サーチ
早送りします。

6 ■ 画・音
停止します。

STB モードのとき

1 デジ
地上デジタルを選びます。

2 1 ～ 12
見たい放送のチャンネルを一発選局します。

3 3桁入力
3 桁チャンネル番号を直接入力して選局します。

4 ＋ チャンネル －
チャンネルを順送り / 逆送りで選局します。

5 ↑ / ↓ / ← / →
メニューを選びます。

6 ホームメニュー
メニューを表示します。

7 青 赤 緑 黄
データ放送や番組表で、項目を選んだり表示を切り換えるときに使います。

8 番組表
番組表を表示します。

9 他機器
セットトップボックスの電源を入 / 切します。

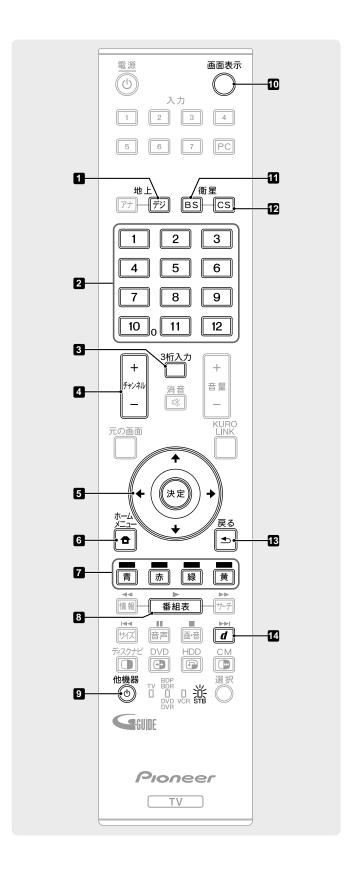
10 画面表示
番組タイトルなど現在の状態を表示します。

11 BS
BS デジタルを選びます。

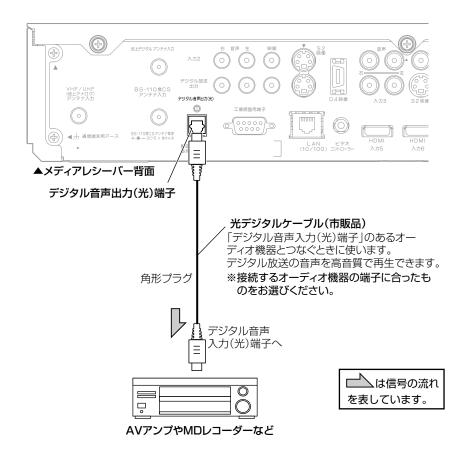
12 CS
CATV を選びます。

13 戻る
1つ前の画面に戻ります。

14 d
データ放送を表示します。

お知らせ

- 操作できない場合は、メーカーコードを変えて再設定してください。
- 接続する機器によっては、操作できなかったり、上記説明と動作が異なる場合があります。接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

AV アンプや MDレコーダーなどのオーディオ機器をつなぐ

本機のデジタル音声出力（光）端子に AV アンプや MDレコーダーなどのオーディオ機器をつなぎます。

ご注意

- 接続する前に、本機とオーディオ機器の電源を切ってください。
- 録音が制限された放送や番組は、デジタル録音できません。
- 本機に光デジタル音声ケーブルで接続できるのは、MPEG-2 AAC またはサンプリング周波数が 32 kHz ／ 48 kHz の PCM 信号に対応した（サンプリングレートコンバーターを内蔵した）オーディオ機器に限ります。

お知らせ

- 地上アナログ放送や、入力 1 ～ 4 からの音声を出力することができます。このとき、設定に関係なく「PCM」で出力されます。
- HDMI 入力（入力 1、入力 5、入力 6、入力 7）からの入力信号（デジタル音声）は、コピー制限がかかっているときデジタル音声出力（光）端子からは出力されません。
- MPEG-2 AAC 対応のオーディオ機器を接続するときは、「PCM」と「AAC」の入力に対し自動切換機能のあるものをお勧めします。
- 番組によっては、録音が制限されている場合があります。
- 接続するオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

デジタル放送の 5.1ch サラウンドを楽しむには

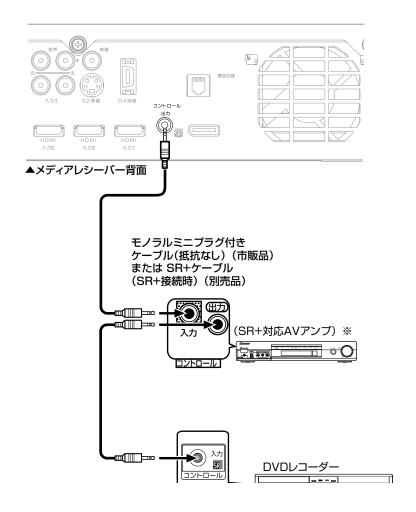
● 光デジタルケーブルで、MPEG-2 AAC 対応の AV アンプを本機のデジタル音声出力（光）端子と接続します。デジタル音声の出力フォーマットを「自動」または「AAC」にすると 5.1 チャンネルサラウンドが楽しめます。(☞158 ページ)

ご注意

- お買い上げ時の音声出力のフォーマットは「PCM」に設定されています。5.1 チャンネルのサラウンド再生をするときに、設定を変更してください。

コントロール接続について

SR マークの付いた当社製の機器を接続すると、他の機器のリモコン信号を本機のリモコン受光部で受信できるようになります。コントロール接続をした機器のリモコンは、本機のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

- KURO LINK と SR コントロールは同時に使用できません。
- 接続する前に、本機とオーディオ機器の電源を切ってください。
- コントロール端子とビデオコントローラー端子を間違えないようにご注意ください。
- コントロール接続をする前に、ほかの機器の接続をすべて済ませてください。
- DVDレコーダーとコントロール接続した場合は、ビデオコントローラーを DVDレコーダーに取り付けても録画制御ができません。

※ コントロール接続する場合は、必ずオーディオケーブルまたはビデオケーブルの接続をしてください。光デジタルケーブルを接続しただけでは正しく動作しません。

SR+ について

● 本機は、SR+ 端子を装備した当社製 AV アンプとの連動動作を可能にする SR+ に対応しています。SR+ には、システム連動動作機能やサラウンドモードの画面表示機能などがあります。詳しくは、お使いの SR+ 対応機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- SR+ 接続をするときは、専用の SR+ ケーブルをご使用ください。SR+ ケーブル（パイオニア部品番号 : ADE7095）をお求めになるとき、詳しくはパイオニア部品受注センター **（☞171 ページ）** までご相談ください。
- 複数の当社製品をコントロール接続するときは、接続例のように本機と SR+ 対応 AV アンプを直接接続し、間に他の機器を挟まないでください。
- SR+ 接続による連動動作が始まると、本機の音量が一時的に最小になることがあります。本機のスピーカーから音を出したいときは本機の音量を調整してください。

パソコン（PC）の画面を見る

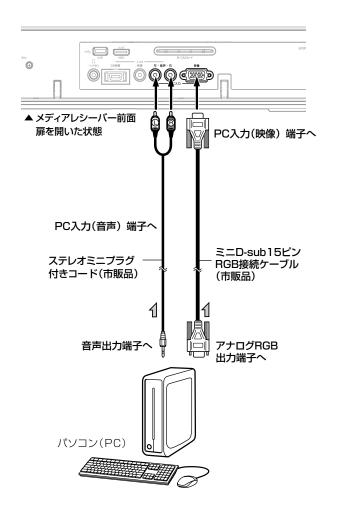
本機背面下部の入力端子部には､PC 入力端子（映像 / 音声）があります。パソコンを接続して、リモコンの[PC]を押すと、本機でパソコン画面を表示できます。

本機で表示可能なパソコン信号一覧

パソコンを接続する前に、パソコン側で外部モニター出力の設定および画面の解像度を設定してください。

解像度	垂直周波数
720 × 400	70 Hz
640 × 480（VGA）	60 Hz
800 × 600（SVGA）	60 Hz
1280 × 720	60 Hz
1024 × 768（XGA）	60 Hz
1360 × 768（ワイド XGA）	60 Hz
1280 × 1024（SXGA）	60 Hz

お知らせ

- HDMI 端子にパソコンを接続するときは、HDMI 対応のパソコンまたはビデオカードをお使いください。
- DVI 出力するパソコンに HDMI ケーブルで接続すると、映像が正しく表示されないことがあります。その場合はパソコンメーカーにお問い合わせください。

HDMI ケーブルでパソコン（PC）を接続するときは

- [入力 1] [入力 5] [入力 6] [入力 7] を押してパソコン（PC）を接続している入力を選びます。
- 「信号種別」（☞81 ページ）の設定を「PC」にします。

パソコン画面を調整する

[その他の設定]

最適な表示になるように、パソコン画面を調整できます。「自動調整」と「手動調整」の２つがあります。

お知らせ

- スクリーンセーバーや動画など動きのある映像や、画面全体が単色になっているときには、「自動調整」では最適な画面が表示されないことがあります。その場合は、「手動調整」を行ってください。
- 接続しているパソコンによっては、「自動調整」では最適な画面が表示されないことがあります。その場合も、「手動調整」を行ってください。
- HDMI 端子にパソコンを接続したときは、パソコン画面の調整はできません。

自動で調整する　[画面の自動調整開始]

パソコン画面を自動で調整します。

1 ホーム メニュー を押す

2 [その他の設定] を選んで 決定 を押す

3 [画面の自動調整開始] を選んで 決定 を押す

その他の設定
画面の自動調整開始
画面の手動調整

画面の自動調整が始まります。

自動調整が終わると、「その他の設定」画面に戻ります。

お知らせ

- 終了するときは、元の画面 を押します。

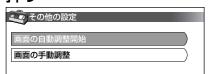
手動で調整する　[画面の手動調整]

パソコン画面を手動で調整します。

水平･垂直位置	画面の水平･垂直位置を調整します。
クロック周波数	映像に縦じま状のチラツキがあるときに調整します。
クロック位相	文字などの表示中にチラツキがあるときや、コントラストがつかないときに調整します。

1 ホーム メニュー を押す

2 [その他の設定] を選んで 決定 を押す

3 [画面の手動調整] を選んで 決定 を押す

4 [水平･垂直位置] を選んで 決定 を押す

5 ▲▼◀▶ で、上下左右の位置を調整する

6 戻る を押す

7 [クロック周波数] または [クロック位相] を選んで 決定 を押す

8 ◀▶ で調整する

お知らせ

- 終了するときは、元の画面 を押します。

画面の調整を元に戻すには　[初期状態に戻す]

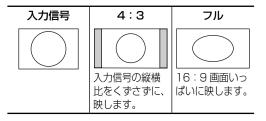
調整した画面の状態をお買い上げ時の設定に戻したいときは、手順４から「初期状態に戻す」を選んで 決定 を押します。確認の画面が表示されたら「する」を選んで 決定 を押してください。

画面サイズを切り換える

サイズを押して、お好みの画面サイズを選びます。

ご注意

- 静止画像、または画面サイズ４：３や上下や左右に黒帯が表示される映像を何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日繰り返し表示すると残像（焼き付き）が発生します。著作権者の権利を侵害する恐れがある場合を除き、画面の焼き付きを避けるため、映像を画面いっぱいに映してお楽しみになることをお勧めします。

入力信号	４：３	フル
	入力信号の縦横比をくずさずに、映します。	16：９画面いっぱいに映します。

1 サイズを押して、画面サイズを選ぶ

押すたびに、画面サイズが切り換わります。

画質を調整する

[画質の調整]

画質・音質モードを、お好みの画質に調整できます。あらかじめ、調整をしたい画質・音質モードに切り換えてください。（画質・音質モード ☞68 ページ、音質を調整するときは ☞73 ページ）

1 ホームメニューを押す

2 [画質の調整] を選んで決定を押す

3 ▲▼で調整したい項目を選んで決定を押す

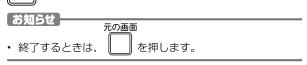
コントラスト	部屋の明るさに合わせて明るさを調整します。
明るさ	暗い場面が見やすくなるように調整します。
R レベル	お好みの赤色に調整します。
G レベル	お好みの緑色に調整します。
B レベル	お好みの青色に調整します。

4 ◀▶で調整する

▶で＋側に、◀で－側に調整できます。

5 戻るを押して、手順３と４を繰り返す

お知らせ

- 終了するときは、元の画面を押します。

映像の調整を元に戻すには　[初期状態に戻す]

調整した画質をお買い上げ時の設定に戻したいときは、手順３から「初期状態に戻す」を選んで決定を押します。確認の画面が表示されたら「する」を選んで決定を押してください。（詳しい操作方法 ☞69 ページ）

省エネ機能を使う

[省エネの設定]

パソコン入力専用の省エネ機能を設定します。

(その他の省エネ機能 ☞66 ページ)

パワーマネージメント	無信号の状態が一定時間続いたときに、自動的にスタンバイ状態またはサスペンド（入力信号待ち）状態にする機能を設定します。	
	しない※	パワーマネージメント機能を使いません。
	モード 1	無信号の状態が約 8 分間続くと、スタンバイ状態にします。
	モード 2	無信号の状態が約 8 秒間続くと、サスペンド（入力信号待ち）状態にします。

※お買い上げ時の設定

お知らせ

- 省エネ機能が働いているときに電源(⏻)を押すと、電源が入ります。このとき入力信号がとぎれていると、再び省エネ機能が働きます。
- HDMI 端子にパソコンを接続したときは、省エネ機能の設定はできません。

1 ホーム メニューを押す

2 [省エネの設定] を選んで(決定)を押す

3 設定したい項目を選んで(決定)を押す

4 ⌃⌄で設定を選んで(決定)を押す

お知らせ

- 終了するときは、元の画面を押します。

オービターの設定をする

[オービター]

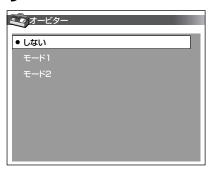
パソコン入力専用のオービターの設定をします。

1 ホーム メニューを押す

2 [その他の設定] を選んで(決定)を押す

3 [オービター] を選んで(決定)を押す

4 ⌃⌄で各項目を選んで(決定)を押す

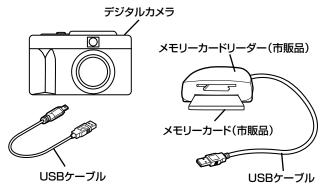
お知らせ

- 「モード 1」は動作しているのがわからないように画面の表示位置をわずかずつ動かします。「モード 2」は映像がぼやけないように画面の表示位置をドット単位で動かします。
- 終了するときは、元の画面を押します。

デジタルカメラの静止画を見る

［ホームギャラリー］

メディアレシーバーのUSB入力端子に、デジタルカメラやメモリーカードリーダーを接続して、撮影した静止画を見ることができます。

接続するUSB機器について

メディアレシーバー前面のUSB入力端子にデジタルカメラやメモリーカードリーダーを接続します。

- 本機に接続できる機器は、USBマスストレージ対応のデジタルカメラ、メモリーカードリーダー、またはPTP（ピクチャートランスファープロトコル）対応のデジタルカメラのみです。
  上記以外の機器は、接続しないでください。
  故障の原因となる場合があります。
  USBマスストレージ・PTP対応の可否については、接続する機器の取扱説明書などで確認してください。
- 一部のデジタルカメラ、メモリーカード、メモリーカードリーダーは、使用できないことがあります。
- USBハブをお使いになると、正しく動作しないことがあります。
- 本機が同時に認識できるメモリーカードは1枚のみです。複数のメモリーカードが挿入できるメモリーカードリーダーをお使いのときは、メモリーカードは1枚のみ挿入してください。

お知らせ

- 推奨のデジタルカメラ、メモリーカードリーダーについての最新情報は、当社ホームページをご覧になるか、カスタマーサポートセンターにご相談ください。(☞ **裏表紙**)
- 接続するUSB機器によっては、本機が認識するまで数秒かかる場合があります。
- USB機器に許容量以上の電流が流れると、電源供給を停止して、本機との通信を切断することがあります。
  ホームギャラリーの操作ができなくなったときは、本機の主電源ボタンで電源を切って、もう一度電源を入れてください。
- デジタルカメラのUSB通信モードの設定によっては正しく表示できない場合があります。
  詳しくは、当社ホームページをご覧になるか、カスタマーサポートセンターにご相談ください。(☞ **裏表紙**)

画像データについて

- 動画の再生や録画はできません。
- JPEG形式のファイルを見ることができます。
- 拡張子は「.JPG」または「.JPEG」にしてください。また、長いファイル名をつけると、一部省略して表示されます。
- 画素数が160 × 120 ～ 3264 × 2448の画像データを表示できます。
- DCF規格上、表示をしないファイル名のときは、それらを表示しません。
- フォルダ名とファイル名は半角英数字と _（アンダーバー）のみに対応しています。

お知らせ

- 本機が対応するファイルシステムはDOS FAT（FAT16）／VFAT／FAT32です。
- パソコンでは、ディレクトリをフォルダーと呼びます。
- JPEGファイルとフォルダーのみが表示されます。
- フォルダー名は40文字（半角）まで、ファイル名は8文字までが表示されます。
- 音楽や音声など、音の再生はできません。

画像を見る（フォルダー一覧～アルバム表示）

メディアレシーバー前面のUSB入力端子にデジタルカメラやメモリーカードリーダーを接続するだけで、メモリーカードの内容が表示されます。

ご注意

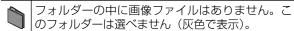
- **上下左右に黒帯が表示される映像や、同じ画像を長時間表示しないでください。画面に残像（焼き付き）が発生することがあります。**
- 表示中は、電源を切ったり、USB機器の取り外しやメモリーカードの抜き差しをしないでください。

1 USB入力端子にデジタルカメラ・メモリーカードリーダーを接続する

USBケーブルは、奥まで確実に押し込んでください。
しばらくすると、メモリーカード内のフォルダー一覧が表示されます。

次頁へつづく

2 [上][下]でフォルダーを選んで(決定)を押す

[アイコン]	フォルダーの中に画像ファイルがあります。選択すると、画像ファイルが表示されます。
[アイコン]	フォルダーの中に画像ファイルはありません。このフォルダーは選べません（灰色で表示）。
[アイコン]	フォルダーの中にフォルダー（サブフォルダー）があります。選択すると、フォルダー（サブフォルダー）が表示されます。

	画像ファイルです。現在のフォルダーの中に複数の画像ファイルがあるときは、このアイコンで「画像データ」として表示されます。選択すると、画像が表示されます。

サブフォルダーのあるフォルダー（ ）を選択したとき

- フォルダー一覧が表示されます。見たい画像の入っているフォルダーを選んで(決定)を押します。
- [アイコン]または[アイコン]が表示されたら、選んで(決定)を押してください。アルバム表示画面に、画像が一覧表示されます。

画像を含むフォルダー（ ）／画像データ（ ）を選択したとき

- (決定)を押すと、アルバム表示画面に、画像が一覧で表示されます。

お知らせ

- 1つ上のフォルダーに戻るときは、[戻る]を押します。[戻る]を押すたびに1つ前の画面に戻ります。

3 アルバム表示画面で、選んだ画像ファイルの情報を見る

アルバム表示画面では、[上][下][左右]で選んだ画像ファイルの情報を確認できます。

アルバム表示画面

選択中の画像ファイルの情報

選択中の画像 [上][下][左右]で選択します。

サムネイルが表示できないときは、このマークが表示されます。

選択中の画像ファイル番号／総ファイル数

ホームギャラリー　100VIEW　1/100

［画像サイズ］ 1024×768
［保存日時］ 2005/08/01
［ファイル名］ DSC01234
［回転角度］ 90度

画像を選んでください。
［決定］を押すと、
大きく表示されます。

スライドショー
青 開始　赤 設定　緑 画質

元の画面 で終了

DSC01234 DSC01235 DSC01236 DSC01237
DSC01238 DSC01239 DSC01240 DSC01241
DSC01242 DSC01243 DSC01244 DSC01245
DSC01246 DSC01247 DSC01248 DSC01249

操作ガイド

画像のサムネイル一覧

4 希望の表示方法を選んで画像を見る

画像の表示方法は、シングル表示とスライドショーが選べます。

アルバム表示	サムネイル（縮小画像）と画像情報を一覧表示します。(☞120 ページの画面例)
シングル表示	1 つの画像を画面に大きく表示します。
スライドショー	スライドを見るように連続して画像を表示します。スライド設定画面で、再生モード（自動／手動）などを選べます。

画像を 1 枚ずつ見るには（シングル表示）

● アルバム表示中に、▲▼◀▶で画像を選んで決定を押してください。画像が大きく表示されます。(「1 枚ずつ見る（シングル表示）」☞ 本ページ右段)

画像をスライドショーで見るには

● アルバム表示中に青を押してください。スライドショーに変わります。(「連続して見る(スライドショー)」☞122 ページ)

スライドショーの再生モードなどを設定するには

● アルバム表示中に赤を押してください。スライドショーの設定画面に変わります。(「スライドショーの設定をするには」☞122 ページ)

画質を調整するには

● アルバム表示中に緑を押してください。画質の調整画面に変わります。(画質の調整方法は ☞69 ページ)

5 終了するときは、元の画面 を押す

お知らせ

- 終了後に、もう一度ホームギャラリーを表示するときは、ホームメニューから「ホームギャラリー」を選んでください。(デジタルカメラやメモリーカードリーダーを接続した状態で本機の電源を入れたときも、同じです。)
- ホームギャラリーを終了してから、デジタルカメラやメモリーカードリーダーを取り外してください。

USB 機器を取り外すときは

元の画面 を押して、ホームギャラリーを終了してから、デジタルカメラやメモリーカードリーダーを取り外してください。

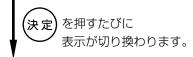
ご注意

- ホームギャラリー表示中は、電源を切ったり、USB 機器の取り外しやメモリーカードの抜き差しをしないでください。
- USB 機器を接続した状態で、メモリーカードだけを抜き差ししないでください。
- USB 機器を接続したままにしておくと、故障の原因になることがあります。長時間使用しないときは、USB 機器を取り外してください。

1 枚ずつ見る

［シングル表示］

アルバム表示で画像を選んで決定を押すと、選んだ画像が大きく表示されます。
表示モードには、「ノーマル表示」（操作ガイド / ファイル情報あり）と「フル表示」（操作ガイドなしで画面いっぱいに表示）があります。

ノーマル表示

フル表示

画像を切り換えるには

● 青⇒前の画像に変わります。

● 赤⇒次の画像に変わります。

画像を回転するには（ノーマル表示のときのみ）

● 緑を押すたびに、時計回りに 90 度ずつ回転します。

表示モード（ノーマル / フル）を切り換えるには

● 決定を押すたびに、ノーマル表示とフル表示が切り換わります。

お知らせ

- アルバム表示に戻るときは、戻るを押します。
- 終了するときは、元の画面 を押します。

連続して見る（スライドショー）

アルバム表示中に青を押すと、スライドショーで画像を連続して表示できます。スライドショーの再生モードには、自動再生と手動再生があります。

自動再生	一定の時間で画像を自動的に切り換えて表示します。
手動再生	青または赤を押すたびに画像を切り換えます。

お知らせ

- 初期状態の再生モードは「自動」です。
- 自動再生モードの画像切り換え時間は、スライドショーの設定画面で設定できます。初期状態では「3 秒」になっています。

自動再生モードで一時停止するには

● 青を押します。もう一度青を押すと、再生を再開します。

手動再生モードで画像を切り換えるには

● 青⇒前の画像に変わります。

● 赤⇒次の画像に変わります。

表示モード（ノーマル / フル）を切り換えるには

● 決定を押すたびに、ノーマル表示とフル表示が切り換わります。

お知らせ

- アルバム表示に戻るときは、戻るを押します。
- 終了するときは、元の画面を押します。

スライドショーの設定をするには

アルバム表示中に赤を押すと、スライドショー設定画面に変わります。再生モードや画像の表示間隔などを設定できます。

▲▼◀▶で、次の項目を選びます。

表示モード	ガイド付き※	操作ガイドありのノーマル表示
	全画面	操作ガイドなしのフル表示
再生順序	名前順※	ファイル名のアルファベット順に再生
	ランダム	ランダムに再生
再生回数	1 回※	1 回再生して終了
	繰り返し	繰り返して再生
再生モード	自動※	自動再生モード
	手動	手動再生モード
表示間隔	自動再生モードで､各画像を切り換える時間（秒数）を、以下から選択します。 3※⇒ 5 ⇒ 10 ⇒ 20 ⇒ 30 ⇒ 60 ⇒ 90 ······	

※お買い上げ時の設定

お知らせ

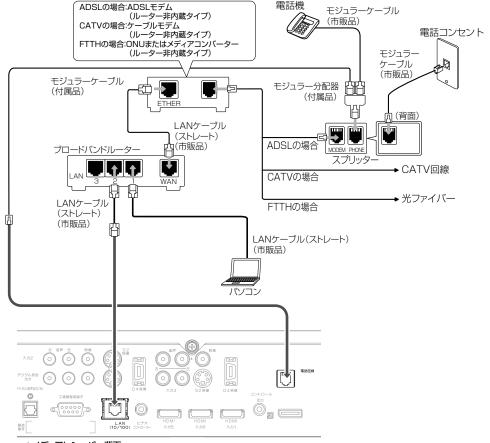
- アルバム表示に戻るときは、戻るを押します。
- 残像（焼き付き）を防止するため､「表示モード」を「ガイド付き」に設定しているときには、スライドショーを数分間表示してから、自動的に終了します。
- 「表示間隔」の値は、おおよその目安です。画像サイズが大きいときは、表示に時間がかかるため、設定した時間で切り換わらないことがあります。
- 終了するときは、元の画面を押します。

接続して使う

ネットワークにつなぐ

インターネット常時接続(ブロードバンド)の環境でLANに接続すると、インターネットを利用した一部のデジタル放送のサービスをご利用になれます。接続後は、ホームメニューで**IPアドレス設定**と**プロキシサーバー設定**の2つを設定してください。

確認してください！

□ インターネット常時接続（ブロードバンド）環境で、LAN（10BASE-T/100BASE-TX)接続ができるときにお読みください。

ご注意

- 本書では、すでにブロードバンド環境をお持ちであることを前提に説明しています。ブロードバンド環境をお持ちでないお客様は、接続できません。
- 本機では、インターネットのホームページの閲覧やEメールの送受信はできません。
- 回線業者やプロバイダーによって、必要な機器と接続方法が異なります。
  —ADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは回線業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。また、お使いの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
  —本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きのADSLモデムなどの設定はできません。
- パソコン（PC）などで設定が必要になることがあります。
- ADSLモデムについてご不明の点は、ご利用のADSL回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。
- ブロードバンドルーターやハブは、10BASE-T/100BASE-TXに対応していることをご確認ください。
- 電話用のモジュラーケーブルをLAN（10BASE-T/100BASE-TX）端子に接続しないでください。故障の原因となります。

お知らせ

- インターネット常時接続のネットワークに接続すると、インターネットを利用した一部のデジタル放送のサービスをご利用になれます。
- ブロードバンドルーターまたはブロードバンドルーター機能付きADSLモデムをお使いであれば、ほとんどの場合、本機のLAN（10BASE-T/100BASE-TX）端子に接続して設定すると使えます。
- ブリッジ接続型ADSLモデムをお使いのお客様は、ブロードバンドルーターが別途必要です。
- USB接続のADSLモデムをお使いのときなどは、ADSL事業者にご相談ください。
- 回線業者やプロバイダー、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
- 詳しくは販売店にご相談ください。接続後は、ネットワークの設定をしてください。(☞124ページ)
- 接続ケーブルや接続機器などは、必要に応じて市販品をお買い求めください。

ネットワークの設定をする

[ネットワーク設定]

ネットワーク（LAN）の接続が終わったら、インターネットに接続するための設定をします。IP アドレス設定とプロキシサーバー設定の 2 つを設定して、接続テストをします。

確認してください！

□ LAN に接続しましたか？ ☞123 ページ

1 [初期設定] を選んで 決定 を押す

2 [デジタル放送の設定] を選んで 決定 を押す

3 [ネットワーク設定] を選んで 決定 を押す

ネットワーク設定画面が表示されます。

4 項目を選んで 決定 を押す

以下の説明をご覧になり、「IP アドレス設定」「プロキシサーバー設定」を順に設定して、最後に「テスト」を実行してください。

IP アドレスを設定する

[IP アドレス設定]

IP アドレス、サブネットマスク、DNS サーバーのアドレスなど設定します。

1 ネットワーク設定画面で [IP アドレス設定] を選んで 決定 を押す

2 [IP アドレス自動取得]、[DNS サーバーアドレス自動取得] で、それぞれ [する] または [しない] を選ぶ

で選びます。「する」に設定すると、IP アドレスと DNS サーバーのアドレスが自動で取得されます。

お知らせ

- お買い上げ時は、「IP アドレス自動取得」と「DNS サーバーアドレス自動取得」は「する」に設定されています。
- お使いのブロードバンドルーターや ADSL モデムで DHCP 機能が使えるときは、「する」にしてください。本機の IP アドレスが自動で取得されます。
- 「IP アドレス自動取得」を「しない」にすると、「DNS サーバーアドレス自動取得」も「しない」に設定されます。

IP アドレス自動取得	する※		IP アドレスが自動取得されます。
	しない	IP アドレス	自動取得（DHCP 機能）が使えないときは、「しない」を選んで、各アドレスを入力します。
		サブネットマスク	
		デフォルトゲートウェイアドレス	
DNS サーバーアドレス自動取得	する※		アドレスが自動取得されます。 ●「IP アドレス自動取得」を「しない」にしたときは選べません。
	しない	DNS（プライマリ）	アドレスを入力します。
		DNS（セカンダリ）	

※お買い上げ時の設定

ＩＰアドレス取得

ＩＰアドレス自動取得	する
ＩＰアドレス	. . .
サブネットマスク	. . .
デフォルトゲートウェイアドレス	. . .
ＤＮＳサーバーアドレス自動取得	する
ＤＮＳ（プライマリ）	. . .
ＤＮＳ（セカンダリ）	. . .

「しない」（IP アドレス自動取得／ DNS サーバーアドレス自動取得）を選んだときは

● 上下左右ボタンで入力項目を選んで、1 ～ 10で各アドレスを入力してください。

お知らせ

- 「0」を入力するときは、10を押します。
- 間違えて入力したときは、12を押すと 1 つ前の桁に戻って再入力できます。

3 戻るを押す

ネットワーク設定画面に戻ります。

▶「プロキシサーバーの設定をする」へ

プロキシサーバーの設定をする

［プロキシサーバー設定］

回線業者やプロバイダーからプロキシサーバーが指定されているときは、プロキシサーバーの設定をします。なお、プロキシサーバーの指定がないときは、設定の必要はありません。

お知らせ

- お買い上げ時は、「プロキシサーバー」は「使用しない」に設定されています。

▶プロキシサーバーを設定しない方は ☞「接続のテストをする」126 ページへ

1 ネットワーク設定画面で、［プロキシサーバー設定］を選んで決定を押す

2 ［プロキシサーバー］で［使用する］を選ぶ

「使用しない」を選んだときは

● そのまま戻るを押してください。

▶「接続のテストをする」126 ページへ

3 ［ポート番号］で、プロキシのポート番号を入力する

1 ～ 10で、ポート番号（5 桁まで）を入力してください。

お知らせ

- 「0」を入力するときは、10を押します。
- 間違えて入力したときは、12を押すと 1 つ前の桁に戻って再入力できます。

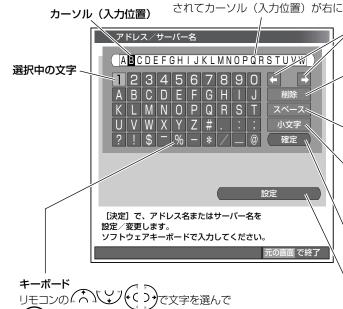
4 ［アドレス / サーバー名］を選んで決定を押す

プロキシサーバーの「アドレス / サーバー名」入力画面が表示されます。

入力用キーボード

入力枠
入力した文字が表示されます。入力した文字が挿入されてカーソル（入力位置）が右に移動します。

カーソル（入力位置）

選択中の文字

キーボード
リモコンの上下左右ボタンで文字を選んで決定を押すと、文字が入力されます。

矢印を選んで決定を押すと、カーソル（入力位置）が移動します。

「削除」を選んで決定を押すと、入力位置の文字が削除されます。入力文字がないときは、1 文字左の文字が削除されます。

「スペース」を選んで決定を押すと、入力位置にスペースが挿入されます。

「小文字」を選んで決定を押すと、入力する文字が小文字になります。

「大文字」を選んで決定を押すと、入力する文字が大文字になります。

「確定」を選んで決定を押すと、入力を終了してキーボードが消えます。

入力用のキーボードが表示されていないときに、「設定」が選ばれた状態で決定を押すと、キーボードが表示されます。

次頁へつづく

5 決定を押す

入力用のキーボードが表示されます（☞125 ページ）

6 キーボードの文字を選んで決定を押して、アドレス / サーバー名を入力する

でキーボードの文字を選んで決定を押すと、文字が入力されます。

お知らせ

- 数字を入力したいときは、リモコンのチャンネルボタンを押しても入力できます。
- 12 を押すと、入力位置の 1 つ前の文字を消せます。

7 アドレス / サーバー名の入力が終わったら、[確定] を選んで決定を押す

入力したアドレス / サーバー名が設定されて、入力用のキーボードが消えます。

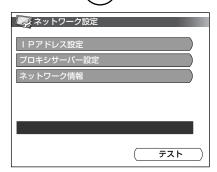
8 戻るを押す

ネットワーク設定画面に戻ります。

▶「接続のテストをする」へ

接続のテストをする ［テスト］

インターネットに接続できるかどうかテストします。

1 ネットワーク設定画面で、[テスト] を選んで決定を押す

インターネットへの接続テストが始まり、「接続テスト中です」と表示されます。しばらくすると、テスト結果が表示されます。

「成功しました」と表示されたとき

- 回線が正しく接続され、設定されています。

「失敗しました」と表示されたとき

- テストでエラーになったため、インターネットに接続できません。**接続と設定を確認してください。**

メッセージ	内容
失敗しました（ネットワーク接続不可）	接続できませんでした。ケーブルが接続されていることを確認してください。また、ADSL モデムやルーターの電源が入っているか確認してください。
失敗しました（IP アドレス未設定）	IP アドレスが設定されていません。IP アドレスを設定してください。
失敗しました（IP アドレス取得失敗）	IP アドレスの自動取得ができません。IP アドレスの設定を確認してください。
失敗しました（IP アドレス重複）	IP アドレスがほかの機器と重複しています。IP アドレスを変更してください。
失敗しました（応答無し）	接続できませんでした。ルーターの電源が入っていることを確認してください。

お知らせ

- 終了するときは、元の画面を押します。

設定を確認するには ［ネットワーク情報］

自動または手動で設定した IP アドレスや、本機の MAC アドレスを確認できます。

MAC アドレスについて

- ネットワークの設定が終わると、IP アドレスなどとともに、本機の MAC アドレスも表示されます。ブロードバンドルーターなどの設定で MAC アドレスが必要なときは、ネットワーク情報画面で、確認してください。

1 ネットワーク設定画面で、[ネットワーク情報] を選んで決定を押す

2 表示されたネットワーク情報を確認する

お知らせ

- 終了するときは、元の画面を押します。

録画予約の準備をする

録画を予約する前に、以下の内容をご確認ください。

本機と連動して録画するには

本機と連動して録画するには、本機と付属のビデオコントローラーを接続します。(「機器のつなぎ方を選ぶ」 ☞101 ページ)

録画予約の方法について

録画を予約するには、次の 2 つの方法があります。

- 予約登録画面で、選んだ番組を予約できます。(☞129 ページ)
- マニュアル予約画面で、日時とチャンネルを指定できます。(☞131 ページ)

録画の前に

ビデオコントローラーを使って録画するときは ☞107 ページ

- 予約実行の 3 分前までに録画機器側で次の操作をしてください。
  - ディスクやテープを入れる
  - HDD内蔵DVDレコーダーなどの場合は録画先を選択する
  - 本機のデジタル放送出力端子を接続した外部入力に切り換える（当社製の DVDレコーダーをお使いのときは、自動的に切り換わります）
  - 録画予約機能やオートスタート録画機能を解除する
  - 録画モードを設定する
  - 録画できる状態であることを確認してから、電源を「切」にする（録画予約やオートスタート録画の待機状態にはしないでください）

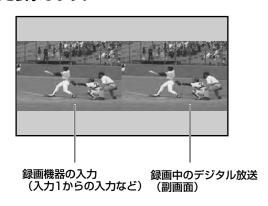
その他の接続のときは（ビデオコントローラーを使わない）

- 録画機器に、予約設定の信号は送信されません。録画機器側で次の操作をしてください。
  - ディスクやテープを入れる
  - 本機のデジタル出力端子を接続した外部入力に切り換える
  - 録画モードを設定する
  - 録画できる状態であることを確認する
  - 録画開始と録画終了の時刻を設定して、予約する

正しく録画されているか確認するには

デジタル放送の録画予約の実行中（録画中）に、録画同時モニターができます。接続した機器の入力に切り換えて、ディスクナビ を押すと、録画機器とデジタル放送の映像を表示します。

録画機器の入力（入力1からの入力など）　録画中のデジタル放送（副画面）

お知らせ

- 録画機器によっては、モニター画面を表示できない場合があります。
- 2 画面表示にしている場合、録画が開始されると 2 画面表示の副画面・子画面は録画中のチャンネルに固定されます。
- 2 画面表示にしている場合、録画中は画面を入れ換えられません。

録画するときのご注意

録画を予約するときは、以下の点にご注意ください。

- **地上アナログ放送は録画予約できません。地上アナログ放送を録画するときは、DVDレコーダーなど録画機器内蔵のチューナーをご利用ください。**
- 放送中または、開始直前の番組を録画予約したときは、録画機器の電源を入れたあと、録画できるようになるまで数十秒かかるときがあります。
  （当社製品での例）
  − DVDレコーダー：約 90 秒
- チャンネルが異なる番組を、時間を続けて録画予約した場合、前の番組の録画が約 10 秒早く終了します。
- 録画予約中は、録画機器は操作しないでください。録画が中止されるなど、正常に録画できなくなります。
- 録画予約中は、放熱のため背面のファンが回転しますが故障ではありません。
- 番組が予告なしに変更された場合など、番組表の内容と実際の放送が異なることがあります。
- コピーガードがかかっている番組は、録画機器で正しく録画することができません。
- 視聴制限の対象になる番組を予約しようとすると、予約確認のメッセージが表示されます。画面の指示に従ってください。
  − 視聴制限については （☞92 ページ）
- 録画予約と視聴予約の別にかかわらず、重複して予約できません。

番組を指定して録画予約する

番組表 / 週間番組表 / 快速番組サーチ / ジャンル検索画面で番組を選ぶだけで、簡単にデジタル放送の録画予約ができます。ここでは番組表を例に説明します。

お知らせ

- 本機がスタンバイ状態のときは、自動的に電源が入り予約が開始されます。
- 最大予約数は、地上アナログ放送とデジタル放送を合わせて 28 件です。28 件を超えるときは、これ以上予約できないことを知らせるメッセージが表示されます。
- 契約が必要な番組を予約しようとすると、契約されていないことを知らせるメッセージが表示されます。
- 予約した時間にテレビを見ていたときは、予約実行の確認画面が表示されます。
- 地上アナログ放送は、録画予約できません。

デジタル放送を見ているときに 番組表 を押す

番組表が表示されます。

番組表以外のときは

- 番組表以外のときは、それぞれ以下の説明をご覧ください。
  - ▶「週間番組表を使う」☞53 ページ
  - ▶「映画やスポーツなどのジャンルで探す」☞55 ページ

2 で、放送予定の番組を選んで 決定 を押す

予約登録画面が表示されます。

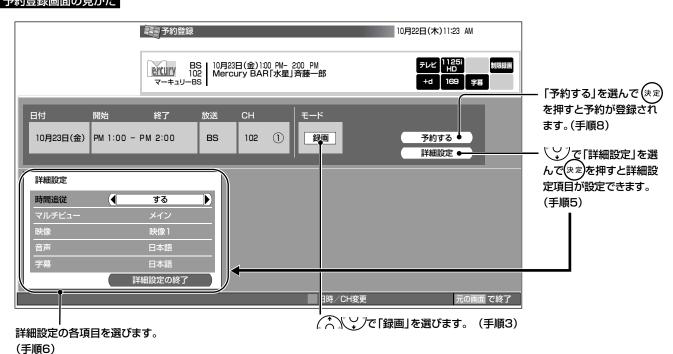
お知らせ

- 現在放送中の番組を選ぶと、その番組が映ります。予約登録画面にはなりません。
- 放送中の番組は、番組表から録画予約できません。マニュアル予約をしてください。(☞131 ページ)

日付を切り換えるには

- 青 を押すと前の日の番組表に、赤 を押すと次の日の番組表に切り換わります。

予約登録画面の見かた

次頁へつづく

3 で［モード］に移動して、 で［録画］を選ぶ

お知らせ

- 「視聴」を選ぶと、番組の視聴予約になります。(☞54 ページ)

4 決定を押す

「予約する」にカーソルが移動します。

詳細な設定をするときは、手順５へ進みます。

すぐに予約するときは、手順８へ進みます。

5 詳細な設定をするときは、 で［詳細設定］を選んで 決定を押す

6 で各項目を選んで で設定する

時間追従	「時間追従」を「する」にすると、番組の放送時間が変更されたときに、自動的に予約時間も変更されます。（最大３時間まで）
マルチビュー、映像、音声、字幕	複数の映像や音声･字幕がある放送では、見たい（録画したい）映像と音声をそれぞれ選べます。 ●切り換えられる映像や音声がない場合は、項目を選べません。

お知らせ

- 「時間追従」を「する」に設定していて、予約時間が延長されたとき、別の予約と重複することがあります。このとき、予約開始時刻の早い番組が優先されます。

7 ［詳細設定の終了］を選んで 決定を押す

「詳細設定」にカーソルが移動します。

8 で［予約する］を選んで 決定を押す

番組が予約されて、「予約が完了しました」と表示されます。

お知らせ

- 視聴制限の対象になる番組を予約しようとすると、予約確認のメッセージが表示されます。画面の指示に従ってください。
  - 視聴制限については (☞92 ページ)

9 決定を押す

予約完了のメッセージが消えます。

お知らせ

- 録画に失敗したときには、お知らせメッセージをご覧ください。(☞89 ページ)

録画を予約する

日時とチャンネルを指定する（マニュアル予約）

予約登録画面で[緑]を押すと、マニュアル予約画面になります。日時とチャンネルを自由に指定して録画 / 視聴の予約ができます。

ご注意

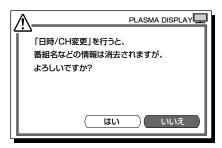
- 予約一覧画面で「新規予約」を選んだときも、マニュアル予約画面が表示されます。(☞131 ページ)

1 番組表 / 週間番組表 / 快速番組サーチ / ジャンル検索画面で、放送予定の番組を選んで(決定)を押す

予約登録画面が表示されます。

2 予約登録画面で[緑]を押す

選択中の番組名などの情報を消去していいかどうかの確認画面が表示されます。

3 [はい] を選んで(決定)を押す

マニュアル予約画面が表示されます。

4 日付、開始 / 終了時刻、放送、チャンネルをそれぞれ設定する

お知らせ

- 予約登録画面、または予約一覧画面で選ばれていた番組の日付、開始 / 終了時刻などが表示されます。
- マニュアル予約では、予約一覧画面の番組名が「マニュアル予約」と表示されます。

5 (◁▷)で [モード] に移動して、(△)(▽)で [録画] を選ぶ

お知らせ

- 「視聴」を選ぶと、番組の視聴予約になります。(☞54 ページ)

6 (決定)を押す

「予約する」にカーソルが移動します。

7 [予約する] が選ばれた状態で(決定)を押す

番組が予約されて、「予約が完了しました」と表示されます。

暗証番号が設定されているときは ☞95 ページ

- マニュアル予約をしようとすると、予約確認のメッセージが表示されます。画面の指示に従ってください。

8 (決定)を押す

予約完了のメッセージが消えます。

予約の確認や変更、取り消しをする

[予約一覧]

録画 / 視聴の予約を一覧で確認します。また、一覧から予約の変更や取り消しもできます。

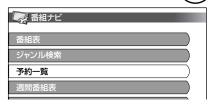
お知らせ

- 最大予約数は、地上アナログ放送とデジタル放送を合わせて 28 件です。
- 予約一覧画面は、地上アナログ放送とデジタル放送で別々に表示されます。青で、それぞれ切り換えられます。

1 ホームメニューを押す

2 [番組ナビ] を選んで決定を押す

番組ナビが表示されます。

3 [予約一覧] を選んで決定を押す

予約一覧画面が表示されます。

4 予約一覧画面で、変更または削除したい予約を選んで決定を押す

予約一覧画面（デジタル放送の例）

お知らせ

- 「新規予約」を選んだときは、マニュアル予約画面が表示されます。(☞131 ページ)
- 予約がいっぱいのときは、「新規予約」は選べません。（表示されません。）

5 [変更] または [削除] を選んで決定を押す

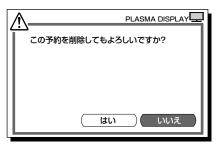
お知らせ

- 録画中の予約を選んで「削除」をすると録画を停止できます。

「 変更 」を選んだときは

- 予約登録画面に、選択した番組の予約情報が表示されます。必要に応じて変更してください。(☞131 ページ)

「 削除 」を選んだときは

- 削除の確認画面が表示されます。「 はい 」を選んで決定を押してください。

お知らせ

- 終了するときは、元の画面を押します。

地上アナログ放送のチャンネルを設定する

[アナログ放送の設定]

地上アナログ放送の受信チャンネル設定と、番組表（Gガイド）に関する設定を行います。

一括チャンネル設定	お住まいの地域に合わせて、一括でチャンネルを設定します。
自動チャンネル設定	一括チャンネル設定が利用できないときに、チャンネルを自動的に探して設定します。
チャンネル設定結果	現在のチャンネル設定結果を確認します。
個別チャンネル設定	チャンネルの設定を個別に修正します。
アナログ放送番組表設定	地上アナログ放送の番組表（Gガイド）を使うための設定を行います。

一括でチャンネル設定する

[一括チャンネル設定]

お住まいの地域、または最寄りの地域に合わせて、地上アナログ放送の受信チャンネルを一括で設定します。

お知らせ

- 地上デジタル放送への移行に伴って、お住まいの地域によっては、地上アナログ放送の一部のチャンネルが変更されることがあります。その場合、「一括チャンネル設定」では受信できなくなるチャンネルがあるため、「自動チャンネル設定」か、「個別チャンネル設定」で設定してください。

1 を押す

2 [初期設定] を選んで 決定 を押す

3 [アナログ放送の設定] を選んで 決定 を押す

4 [一括チャンネル設定] を選んで 決定 を押す

5 [地域名] または [地域コード] を選んで、お住まいの地域を設定する

地域名	でお住まいの地域を選びます。
地域コード	1 〜 10/0 を押して３桁の地域コードを入力します。（**地域コードについては** ☞175 ページ）

お知らせ

- お買い上げ時の「地域名」は、「東京」に設定されています。また、「地域コード」は「042」に設定されています。
- 地域コードの入力を間違えたときは、もう一度最初から操作し直してください。
- ご自宅のアンテナで受信している場合、お住まいの地域によっては、設定している地域とは別の隣接地域の電波を受信していることがあります。希望のチャンネルが選局できないときは、近隣の地域に変えて再度設定してください。たとえば、多摩市にお住まいでも、東京の放送局を受信した方が条件が良いときは、地域名を「東京」に設定してください。

6 決定 を押す

地上アナログ放送のチャンネルが設定されて、チャンネル設定結果が表示されます。（**[チャンネル設定結果]** ☞134 ページ）

お知らせ

- で設定結果のページを切り換えられます。
- 終了するときは、（元の画面）を押します。

自動でチャンネル設定する

［自動チャンネル設定］

ケーブルテレビ（CATV）や共同アンテナ受信で一括チャンネル設定が利用できないときに、本機で受信可能なチャンネルを自動的に探して設定できます。

1 ホームメニュー を押す

2 [初期設定] を選んで 決定 を押す

3 [アナログ放送の設定] を選んで 決定 を押す

4 [自動チャンネル設定] を選んで 決定 を押す

5 [地域名] または [地域コード] を選んで、お住まいの地域を設定する

地域名	で地域を選びます。
地域コード	1 ～ 10 , を押して 3 桁の地域コードを入力します。**（地域コードについては ☞175 ページ）**

お知らせ

- お買い上げ時の「地域名」は､「東京」に設定されています。また、地域コードは「042」に設定されています。
- 地域コードの入力を間違えたときは、もう一度最初から操作し直してください。

6 決定 を押す

設定が始まると、進行状況が表示されます。しばらくすると地上アナログ放送のチャンネルが設定されて、チャンネル設定結果が表示されます。

（［チャンネル設定結果］ ☞ 本ページ右段）

お知らせ

- で設定結果のページを切り換えられます。
- 自動チャンネル設定進行中は映像が乱れることがあります。
- 終了するときは、 元の画面 を押します。

チャンネル設定結果を見る

［チャンネル設定結果］

現在のチャンネルの設定内容を確認します。

1 ホームメニュー を押す

2 [初期設定] を選んで 決定 を押す

3 [アナログ放送の設定] を選んで 決定 を押す

初期設定
かんたん設定
アナログ放送の設定
デジタル放送の設定
チャンネル情報サイズ　大きく表示
時計合わせ

4 [チャンネル設定結果] を選んで 決定 を押す

アナログ放送の設定
一括チャンネル設定
自動チャンネル設定
チャンネル設定結果
個別チャンネル設定

5 チャンネルの設定を確認する

チャンネル設定結果　1/2

リモコン	受信CH	表示CH
1	1	1
2	14	14
3	3	3
4	4	4
5	16	16
6	8	8

お知らせ

- で設定結果のページを切り換えられます。
- 終了するときは、 元の画面 を押します。

個別にチャンネル設定する

［個別チャンネル設定］

チャンネルの設定を個別に修正します。

1 ホーム メニュー［⌂］を押す

2 ［初期設定］を選んで（決定）を押す

3 ［アナログ放送の設定］を選んで（決定）を押す

初期設定
- かんたん設定
- アナログ放送の設定
- デジタル放送の設定
- チャンネル情報サイズ　大きく表示
- 時計合わせ

4 ［個別チャンネル設定］を選んで（決定）を押す

アナログ放送の設定
- 一括チャンネル設定
- 自動チャンネル設定
- チャンネル設定結果
- 個別チャンネル設定
- アナログ放送番組表設定

5 ▲▼で項目を選んで◀▶で設定する

項目	設定	説明
リモコン		リモコンのチャンネルボタン（数字）の番号です。
受信 CH		放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネルです。
表示 CH		テレビ画面に表示されるチャンネルです。共同受信などで、放送と画面表示が一致しないときに書き換えると便利です。 ・「スキップ」を選択すると、［チャンネル＋］［チャンネル－］で選局できません。また、番組表にも表示しません。
電界強度適応 NR	**する**	電波の強さに応じて自動的にノイズを軽減します。
	しない	ノイズを軽減しません。
GR	**する**	ゴースト（2 重映像）を軽減します。
	しない	ゴースト（2 重映像）を軽減しません。
		• GR は、Ghost（ゴースト） Reduction（リダクション） の略です。
AFT	**する**	自動的に最適な状態で選局します。
	しない	自動調整しません。
		• AFT は、Auto（オート） Fine（ファイン） Tuning（チューニング） の略です。
手動微調整		受信するチャンネルによっては、調整を少しずらした方が見やすくなるときがあります。そのようなときは「AFT」を「しない」に設定したあと、手動微調整をしてください。 • 手動微調整中は「GR」は一時的に「しない」になります。
放送局コード		番組表（G ガイド）に表示される放送局名を設定します。**（「地上アナログ放送局コード一覧表」☞178 ページ）** 番組表などで放送局名が正しく表示されないときに設定してください。

ご注意

• 受信チャンネルの設定を変更したときは、**「地上アナログ放送局コード一覧表」（☞178 ページ）**をご覧になって、「放送局コード」も必ず変更してください。

次頁へつづく

お知らせ

- 電界強度適応 NR について：
  放送電波の状況により、十分な効果が得られない場合があります。
- GR について：
  次のような場合は、「GR」を「する」に設定してもゴースト軽減効果が得られません。
  － 放送局からゴースト除去基準信号が送られていないとき
  － 飛行機などの反射によりゴーストが変動するとき
  － ゴーストの電波が強いとき
- 「GR」が「する」に設定されたチャンネルに切り換えると、画面が一瞬動いたり、明るさなどが変化したりしますが、故障ではありません。
- かんたん設定や一括チャンネル設定、自動チャンネル設定を行うと、「GR」が「する」に設定されます。
- 電波が弱いときなど、「GR」を「する」にしておくと映像が見にくいときは、「しない」に設定してください。
- チャンネルを切り換えた直後は、一時的にゴーストが増えることがあります。
- アンテナを正しい向きに設置しないと、ゴーストが軽減できないことがあります。（アンテナは、最も強い電波が受信できる方向に向けてください。）
- ゴーストは、場所･天候などにより発生原因が千差万別であるため、発生原因に対応して完全にゴーストを消すことはできません。
- 2 画面表示（☞84 ページ）のときは、地上アナログ放送が主画面（または親画面）のときのみ GR 機能が働きます。
- 終了するときは、［元の画面］を押します。

地上アナログ放送の番組表（G ガイド）を設定する ［アナログ放送番組表設定］

地上アナログ放送の番組表（G ガイド）を使うための設定を行います。

お知らせ

- かんたん設定を実行すると自動的に設定は完了しています。変更が必要なときのみ設定してください。
- 地上アナログ放送の番組表（Gガイド）の情報取得には時間がかかります。（半日程度）
- ホスト局変更の連絡を受けたとき、ここでの設定が必要となります。
- お買い上げ時は、「番組表表示」＝「する」、「取得設定」＝「自動」に設定されています。

1

を押す

2 ［初期設定］を選んで（決定）を押す

3 ［アナログ放送の設定］を選んで（決定）を押す

初期設定	
かんたん設定	
アナログ放送の設定	
デジタル放送の設定	
チャンネル情報サイズ	大きく表示

4 ［アナログ放送番組表設定］を選んで（決定）を押す

アナログ放送の設定
一括チャンネル設定
自動チャンネル設定
チャンネル設定結果
個別チャンネル設定
アナログ放送番組表設定

5 ［番組表表示］を選んで（決定）を押す

アナログ放送番組表設定	
番組表表示	する
取得設定	自動

6 ［する］または［しない］を選んで（決定）を押す

番組表表示
しない
●する

「しない」を選んだとき

● 地上アナログ放送の番組表や番組情報が表示されなくなります。また、地上アナログ放送の番組表データも取得しなくなります。［元の画面］を押して、ホームメニューを終了してください。

ご注意

- 「しない」を選ぶと、地上アナログ放送の視聴予約は解除されます。

7 ［戻る］を押して、1 つ前の画面に戻る（手順 6 で［する］を選んだ場合のみ）

8 ［取得設定］を選んで（決定）を押す

アナログ放送番組表設定	
番組表表示	する
取得設定	自動

お知らせ

- 手順 6 の「番組表表示」で「しない」を設定したときは､「取得設定」を選べません。

9 ［ 自動 ］または［ 設定 ］を選んで 決定 を押す

「自動」を選んだとき

- アナログ放送の番組表情報が自動で取得されます。
  元の画面 を押して、ホームメニューを終了してください。

「設定」を選んだとき ☞ 手順 10 へ

- ホスト局と追加取得時刻の設定画面が表示されます。手順 10 に進みます。

お知らせ

- 「設定」は、「自動」取得設定で番組表が表示されないときなどに設定します。

10 ［ ホスト局 ］と［ 追加取得時刻 ］を設定して 決定 を押す（手順 9 で［ 設定 ］を選んだ場合のみ）

でホスト局と追加取得時刻（時 / 分 / 午前または午後）を移動して、で設定します。

取得設定
ホスト局 追加取得時刻
6
-- : -- 午前

ホスト局	で、番組表情報を取得する放送局（表示チャンネル）を選びます。
追加取得時刻	で時分、午前 / 午後を切り換えて、で時分、午前 / 午後を設定します。

お知らせ

- 「ホスト局」とは、番組表を配信する放送局です。**（「地上アナログ放送地域コード／ホスト局一覧表」** ☞175 ページ）

11 ホスト局を変更していいかどうかの確認画面で、［ する ］を選んで 決定 を押す

お知らせ

- ホスト局を変更すると、地上アナログ放送の番組表や視聴予約の情報が消去されます。
- 終了するときは、 元の画面 を押します。

地上アナログ放送の番組表データ送信時刻について

データが送信される時刻や回数は変更されることがあります。最新の送信時刻については、（株）インタラクティブ・プログラム・ガイドのホームページをご覧ください。
http://www.ipg.co.jp/

番組表データ送信時刻

放送局				
北海道放送				
7:05	11:05	15:05	17:05	24:30
秋田テレビ、東北放送、中国放送				
5:05	11:05	14:35	17:05	24:30
新潟放送				
5:05	11:05	14:35	17:35	24:30
TBS テレビ				
5:05	11:05	14:30	18:30	24:30
CBC テレビ				
5:35	11:05	14:35	17:00	24:30
毎日放送				
6:05	11:05	14:35	17:35	25:45
山陽放送				
5:05	11:05	14:35	17:00	24:30
RKB 毎日放送				
6:05	11:05	14:35	17:00	24:30
上記以外のホスト局				
6:05	11:05	14:35	17:05	24:30

2008 年 3 月現在

地上アナログ放送の番組表を受信するには

- **番組表データの送信時刻の 10 分以上前に本機をデジタル放送視聴状態か、またはスタンバイ状態にしてください。**
- **番組表データの送信時刻から 30 分間は本機をデジタル放送視聴状態か、またはスタンバイ状態にしてください。**

お知らせ

- 番組表に表示される放送局は地域ごとに決められています。設定した地域に登録されていない放送局の番組では、映像が受信できても番組表は表示できません。**（番組表対応の放送局については** ☞175 ～ 177 ページ）
- 下記の番組は番組表に表示されません。
  －放送大学の番組
  －ケーブルテレビ（CATV）の番組（CATV の VHF/UHF 放送の番組表を表示できることがあります。詳しくはご利用のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。）
- 番組内容や放送時間は放送局の都合により変更されることがあります。
- 本機では、番組表の表示機能に G ガイドを採用しています。当社では、G ガイドを利用した番組表のサービス内容については関与していません。

地上アナログ放送の番組表が表示されないときは

お買い上げ後、「かんたん設定」をすると地上アナログ放送の番組表が表示されます。番組表が表示されないときは、まず以下の点を確認してください。

かんたん設定を終了しても番組表データを取得するまで番組表は表示されません

- かんたん設定終了後、半日以上スタンバイ（待機状態）にするか、デジタル放送をご覧ください。その間に各地域のホスト局から送られてくる番組表データを取得します。**（ホスト局からの番組表データ送信時刻については ☞137 ページ）**

時計は合っていますか？（☞140 ページ）

- 現在の日付や時刻が正しく設定されていないと番組表が表示できません。地上アナログ放送のみ受信している方は、地上アナログ放送の受信中に［番組表］を押して、現在時刻が正しく画面に表示されるかどうかをご確認ください。

- 日付や時刻が正しくないときは、時計合わせ（**☞140 ページ**）で設定してください。デジタル放送を受信している方は、自動的に正しい時刻が設定されます。

以上の点を確認したら、半日以上本機をスタンバイ（待機状態）にするか、または、番組表データの送信時刻にデジタル放送をご覧ください。それでも地上アナログ放送の番組表が表示されないときは、次の説明をご覧ください。

ステップ 1：ホスト局の設定を確認する

地上アナログ放送番組表のホスト局は、地域ごとに異なります。ホスト局が設定されていないと、番組表が表示されません。次の手順でホスト局を確認して設定してください。
特にケーブルテレビ（CATV）や共同アンテナなどに接続して自動チャンネル設定（**☞134 ページ**）をしたときや、個別チャンネル設定（**☞135 ページ**）で変更をしたときは、ご注意ください。

1 ホスト局の放送局名を確認する

付録の「地上アナログ放送地域コード / ホスト局一覧表」（**☞175 ページ**）で、お住まいの地域の「ホスト局」の放送局名を確認してメモします。たとえば東京のホスト局は TBS テレビです。

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7
都道府県	地域名	地域コード	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャン 放送局
東京	東京	042	1 NHK 総合	14 MX テレビ	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16 放送大学	[illegible] TBS テレビ	42 tvk テレ
	八王子	043	33 NHK 総合	40 MX テレビ	29 NHK 教育	35 日本テレビ		[illegible] TBS テレビ	

2 手順 1 で確認したホスト局の表示チャンネルを確認する

手順 1 で確認したホスト局の放送が映っているチャンネルに切り換えて、［画面表示］を押します。表示されたチャンネル番号を確認してメモしてください。

ホスト局が受信できないときは、自動チャンネル設定（**☞137 ページ**）で設定してから、再度確認してください。

3 ホームメニューの［アナログ放送の設定］で［アナログ放送番組表設定］を選んで、番組表のホスト局を確認する

ホームメニューの「アナログ放送番組表設定」（**☞136 ページ**）で「取得設定」の「設定」を選びます。

「ホスト局」の表示が、手順 2 で確認した「表示チャンネル」番号かどうかを確認します。

ホスト局が正しいとき

- 「ステップ 2：ホスト局の放送局コードを確認する」に進んでください。

ホスト局が間違っていたとき

- ［▲］［▼］でホスト局を設定して、［決定］を押します。確認の画面で、「する」を選んで［決定］を押してください。

ステップ２：ホスト局の放送局コードを確認する

ホスト局の放送局コードが正しく設定されているかを確認します。「個別チャンネル設定」で「放送局コード」を設定してください。

1 番組表のホスト局の放送局コードを確認する

付録の「地上アナログ放送局コード一覧表」（☞178ページ）で、ホスト局の放送局コードを確認してメモします。

たとえば、TBS テレビの場合は「0518」になります。

関東	東京	NHK 総合	2128
		NHK 教育	2138
		TBS テレビ	0518
		日本テレビ	0260

2 ホスト局を表示してから、ホームメニューの［アナログ放送の設定］で［個別チャンネル設定］を選ぶ

▶「個別にチャンネル設定する」☞135 ページ

3 個別チャンネル設定画面の［放送局コード］に、手順 1 で確認した放送局コードを入力して 元の画面 を押す

1 ～ 10₀ で放送局コードを入力します。

個別チャンネル設定

リモコン	6
受信ＣＨ	6
表示ＣＨ	6
電界強度適応ＮＲ	する
ＧＲ	する
ＡＦＴ	しない
手動微調整	0
放送局コード	0 5 1 8

お知らせ

・「0」を入力するときは、 10₀ を押します。

4 半日以上、スタンバイ（待機状態）にする、またはデジタル放送をご覧になってから番組表を表示する

それでも表示されないときは

● ホスト局の受信状態が悪いときは、番組表を受信できません。アンテナの接続などを確認してください。

● ケーブルテレビ会社によっては、お住まいの地域と配信されている番組表の地域が異なることがあります。詳しくは、ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

地上アナログ放送の番組表に表示されない放送局があるときは

受信できていても番組表に表示されない放送局がある場合は、以下の説明に従って放送局コードが正しく設定されているか確認してください。

1 番組表に表示されない放送局の放送局コードを確認する

付録の「地上アナログ放送局コード一覧表」（☞178ページ）をご覧ください。番組表に表示されない放送局の放送局コードを確認してメモします。

2 設定したい放送局が映っているチャンネルに切り換える

3 ［ホームメニュー］の［アナログ放送の設定］で［個別チャンネル設定］を選ぶ

▶「個別にチャンネル設定する」 ☞135 ページ

4 ［放送局コード］に、手順 1 で確認した放送局コードを入力して 元の画面 を押す

1 ～ 10₀ で放送局コードを入力します。

ご注意

・リモコンの番号が「13」以上のとき、「表示 CH」を「スキップ」に設定すると、番組表に表示されません。

5 番組表 を押す

放送局コードを入力した放送局が番組表に表示されます。

それでも番組表に表示されない放送局があるときは

● 番組表に表示される放送局は、地域ごとに決められています。設定した地域に登録されていない放送局では、映像が受信できても番組表には表示されません。たとえば、地域名を下関に選んだ場合に北九州の放送局が受信できていても、その放送局は番組表には表示されません。

（番組表対応の放送局については ☞175 ～ 177 ページ）

時計を合わせる

[時計合わせ]

本機の日付と時刻を設定します。また、時計調整（ジャストクロック）用のチャンネルを指定します。地上アナログ放送だけしかご覧になれない場合で、番組表をお使いになるときなどに設定します。デジタル放送を視聴できるときは、自動的に設定されるため設定する必要はありません。

1 ホームメニュー を押す

2 [初期設定] を選んで 決定 を押す

3 [時計合わせ] を選んで 決定 を押す

4 [日付]、[時刻]、[ジャストクロックチャンネル] を設定して 決定 を押す

で項目を移動して、 で設定します。

ご注意

- メディアレシーバーの電源プラグを抜くと日付と時刻が初期状態に戻ります。電源を切るときは、リモコンの 電源 ボタンを押してスタンバイ（待機状態）にしてください。（☞46ページ）
- 以下のときにはジャストクロックが働きません。
  - ジャストクロックチャンネルが正しく設定されていないとき
  - 時報と本機の時刻が 3 分以上ずれているとき
  - 時報の前後で録画予約しているとき
  - 時報とともに別の音声が流れているとき

お知らせ

- ジャストクロックは設定されたチャンネルの正午の時報を受信して、本機の時刻を自動で調整する機能です。時報の時刻に本機をスタンバイ（待機状態）にするとジャストクロックが働きます。
- お買い上げ時のジャストクロックチャンネルは「--」（指定なし）です。「ジャストクロックチャンネル」を設定するときは NHK 教育チャンネルに合わせてください。
- 終了するときは、 元の画面 を押します。

地上デジタル放送のチャンネルを設定する

[地上デジタル設定]

地上デジタル放送を受信するためのチャンネルの設定をします。また、地上デジタル放送の番組表を自動取得するかどうかを設定します。

確認してください！

□ 地上デジタル放送のアンテナは接続しましたか？ ☞32 ページ
□ B-CAS カードを挿入していますか？ ☞41 ページ

自動チャンネル設定	受信できるチャンネルを自動的に探して設定します。最初に設定する「**初期スキャン**」と、放送局（チャンネル）が増えたときなどに設定する「**再スキャン**」があります。
チャンネル自動変更	放送局の都合などでチャンネルが変更になったときに、自動的に変更されるように設定します。
番組表自動取得／取得時刻	地上デジタル放送の番組表データを自動で取得するかどうかを設定します。また、自動取得の場合の取得時刻を設定します。

受信できるチャンネルをスキャンして自動設定する [自動チャンネル設定]

お住まいの地域に合わせて、受信できる地上デジタル放送のチャンネルを自動的に探して設定します。設定方法には、次の 2 種類があります。

初期スキャン	最初に地上デジタルの受信の設定をするときや、引っ越しなどで受信地域が変わったときに選びます。
再スキャン	放送局（チャンネル）が増えたときなど、受信状況が変わったときに再設定すると、自動的に追加されます。

はじめて設定するときや引っ越しなどで地域が変わったときは [初期スキャン]

1 を押す

2 [初期設定] を選んで 決定 を押す

3 [デジタル放送の設定] を選んで 決定 を押す

4 [受信環境設定] を選んで 決定 を押す

次頁へつづく

5 ［地上デジタル設定］を選んで（決定）を押す

6 ［自動チャンネル設定］で、［初期スキャン］を選んで（決定）を押す

7 でお住まいの地域を選ぶ

8 ［スキャン開始］を選んで（決定）を押す

地上デジタル放送の初期スキャンが始まると、進行状況が表示されます。しばらくすると、地上デジタル放送のチャンネルが設定されて、チャンネル設定結果が表示されます。

リモコン	CH	放送CH名	放送局名
1	011-0	マーキュリー1	マーキュリー総合
	021	マーキュリー2	マーキュリー教育
2	041	ビーテレ1	ビーナステレビ
	042	ビーテレ2	ビーナステレビ
3	051-0	テレビマーズ	テレビマーズ
	052-0	テレビマーズ	テレビマーズ

複数画面にまたがるとき

お知らせ

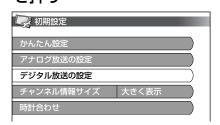
- （▲）（▼）で設定結果のページを切り換えられます。
- 電波の状態などにより、チャンネルの設定ができないときがあります。
- 終了するときは、（元の画面）を押します。

放送局が増えたり受信状況が変わったときは ［再スキャン］

新たに増えた放送局（チャンネル）があるときに、自動的に追加できます。

1 （ホームメニュー）を押す

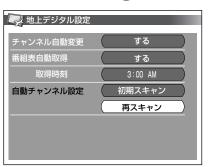
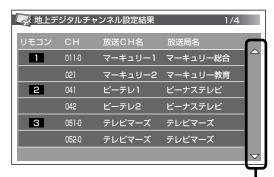
2 ［初期設定］を選んで（決定）を押す

3 ［デジタル放送の設定］を選んで（決定）を押す

4 ［受信環境設定］を選んで（決定）を押す

デジタル放送の設定
- 視聴設定　すべて
- 字幕の設定
- 視聴制限設定
- 外部機器設定
- ネットワーク設定
- 受信環境設定
- 初期状態に戻す

5 ［地上デジタル設定］を選んで（決定）を押す

受信環境設定
- アンテナ設定
- 電話回線設定
- 居住地域設定
- リモコン設定
- 地上デジタル設定
- 自動アップデート　する

6 ［自動チャンネル設定］で、［再スキャン］を選んで（決定）を押す

地上デジタル放送の再スキャンが始まると、進行状況が表示されます。しばらくすると、地上デジタル放送のチャンネルが設定されて、チャンネル設定結果が表示されます。

複数画面にまたがるとき

お知らせ

- 再スキャンが終了するまで最大約10分かかることがあります。
- （▲）（▼）で設定結果のページを切り換えられます。
  電波の状態などにより、チャンネルの設定ができない場合があります。
- 終了するときは、［元の画面］を押します。

チャンネルが変更されたら自動的に設定する ［チャンネル自動変更］

放送局の都合などでチャンネル（周波数）が変更になったときに、自動的に変更されるように設定します。

お知らせ

- チャンネルが変更されるときは、お知らせメッセージが届きます。（☞89ページ）
- お買い上げ時はチャンネルの自動変更が「する」になっています。「しない」に変更すると、チャンネルの自動変更ができなくなります。特に理由がなければ、変更しないでください。

1 を押す

2 ［初期設定］を選んで（決定）を押す

3 ［デジタル放送の設定］を選んで（決定）を押す

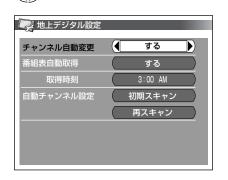
4 ［受信環境設定］を選んで（決定）を押す

5 ［地上デジタル設定］を選んで（決定）を押す

6 ［チャンネル自動変更］で、［する］または［しない］を選ぶ

（◀▶）で選びます。

お知らせ

- 終了するときは、［元の画面］を押します。

番組表を自動的に取得する

［番組表自動取得］［取得時刻］

地上デジタル放送の番組表データを自動で取得するかどうかを設定します。また、自動取得のときの取得時刻を設定します。

お知らせ

- 地上デジタル放送の番組表を使用するときは、設定を変える必要はありません。
- お買い上げ時は、番組表自動取得が「する」に設定されています。
- 次の場合は番組表の取得ができません。ご注意ください。
  ーデジタル放送の視聴中
  ー本機のソフトウェアのダウンロード中
  ー録画中

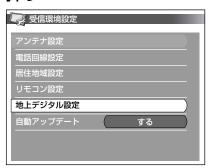
1

を押す

2 ［初期設定］を選んで 決定 を押す

3 ［デジタル放送の設定］を選んで 決定 を押す

4 ［受信環境設定］を選んで 決定 を押す

5 ［地上デジタル設定］を選んで 決定 を押す

6 ［番組表自動取得］で、［する］または［しない］を選ぶ

で選びます。

「しない」を選んだとき

● 地上デジタル放送の番組表のデータが自動で取得されなくなります。元の画面を押して、ホームメニューを終了してください。

お知らせ

- 「しない」に設定したときは、地上デジタル放送の番組表を表示して、チャンネル上で 決定 を押すと、そのチャンネルの番組表のデータが取得されます。

7 ［取得時刻］で時刻を設定して 決定 を押す（手順６で［する］を選んだときのみ）

お知らせ

- 終了するときは、元の画面を押します。

BS・110 度 CS デジタル放送のチャンネルと周波数を修正する [衛星周波数設定]

放送局からの案内があるときのみ、衛星放送（BS・110 度 CS デジタル）のトランスポンダ（中継器）の周波数を設定します。**通常は、設定する必要はありません。**

ご注意

- 間違った周波数を設定すると、放送を受信できなくなります。

お知らせ

- トランスポンダは、衛星放送の電波の中継器です。

1 を押す

2 [初期設定] を選んで 決定 を押す

3 [デジタル放送の設定] を選んで 決定 を押す

4 [受信環境設定] を選んで 決定 を押す

5 [アンテナ設定] を選んで 決定 を押す

6 [衛星周波数設定] を選んで 決定 を押す

7 [トランスポンダ] で、周波数を変更したいトランスポンダ（中継器）を選ぶ

で選びます。

お知らせ

- 選択したトランスポンダでのアンテナレベルの現在値と最大値が表示されます。

8 [周波数] で、衛星の周波数を設定する

1 〜 10₀ を押して設定します。

お知らせ

- を押すと、カーソルが移動します。
- すべての桁を入力しないで終了すると、設定されません。
- 終了するときは、元の画面 を押します。

デジタル放送の選局対象（すべて / お好み）を選ぶ

[視聴設定]

デジタル放送の番組を選ぶときに、登録した「お好みチャンネル」から選ぶか、すべてのチャンネルから選ぶかを設定します。「お好み」を設定すると、[＋チャンネル－] ボタンで選局するときの選局範囲や、ジャンル検索、チャンネル一覧を使うときの初期表示が「お好みチャンネル」になります。

お知らせ

- お買い上げ時にリモコンのチャンネルボタン（[1]～[12]）に設定されているチャンネルが、初期状態の「お好みチャンネル」となります。
- お好みチャンネルは、「チャンネル一覧」で登録できます。(☞58 ページ)

1 [ホームメニュー] を押す

2 [初期設定] を選んで (決定) を押す

3 [デジタル放送の設定] を選んで (決定) を押す

4 [視聴設定] で [すべて] または [お好み] を選ぶ

(◀▶) で選びます。

お知らせ

- 終了するときは、[元の画面] を押します。

デジタル放送のリモコンのチャンネル設定を自分で修正する ［リモコン設定］

リモコンのチャンネルボタン（1～12）に割り当てられているデジタル放送のチャンネルを変更できます。

1 ホームメニューを押す

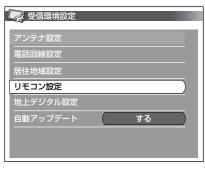
2 ［初期設定］を選んで決定を押す

3 ［デジタル放送の設定］を選んで決定を押す

4 ［受信環境設定］を選んで決定を押す

デジタル放送の設定

視聴設定	すべて
字幕の設定	
視聴制限設定	
外部機器設定	
ネットワーク設定	
受信環境設定	
初期状態に戻す	

5 ［リモコン設定］を選んで決定を押す

6 チャンネル設定を変更したい放送を選んで決定を押す

選択した放送のリモコン設定画面が表示されます。

7 ▲▼を押して、変更したいリモコン番号を選ぶ

8 ◀▶を押して、割り当てる［CH］を変更する

リモコン	ＣＨ	放送ＣＨ名
1	101	マーキュリー BS1
2	102	マーキュリー BS2
3	103	マーズBS
4	141	BSサターン
5	151	BSビーナス
6	161	BSムーン

お知らせ

- 終了するときは、元の画面を押します。

お買い上げ時のチャンネル設定に戻すには [初期値に戻す]

リモコンのチャンネル設定をお買い上げ時の設定に戻すときは、手順 7 で「初期値に戻す」を選択して(決定)を押します。確認の画面で「はい」を選んで(決定)を押してください。

お知らせ

- BS･110 度 CS デジタル放送は、お買い上げ時の設定に戻ります。地上デジタル放送は、お買い上げ後、最初に設定した状態に戻ります。

お買い上げ時のリモコンのチャンネル設定 (2008 年 3 月現在)

お買い上げ時のリモコンのチャンネル設定は、次のとおりです。

BS デジタル放送のチャンネル設定

リモコン番号	CH 番号	チャンネル名
1	101	NHK　BS-1
2	102	NHK　BS-2
3	103	NHK デジタルハイビジョン
4	141	BS 日テレ
5	151	BS 朝日
6	161	BS-I
7	171	BS ジャパン
8	181	BS フジ
9	191	WOWOW
10	200	スター・チャンネル BS
11	211	BS11 デジタル（日本 BS 放送）
12	222	TwellV（ワールド・ハイビジョン・チャンネル）

お知らせ

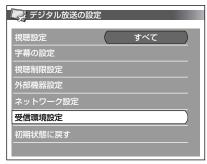
- 110 度 CS デジタル放送で視聴できるチャンネルは、放送事業者とのご契約によって異なります。
- **110 度 CS デジタル放送のお問い合せ先：**
  e2 by スカパー ! カスタマーセンター
  TEL　0570-08-1212 または 045-276-7777
  受付時間　10:00 ～ 20:00（年中無休）
  URL　http://www.e2sptv.jp/
- 上記の放送局名やチャンネルは、実際の表示とは異なる場合があります。また、放送局の都合などによって変わることがあります。
- 地上デジタル放送のチャンネルは、お住まいの地域によって異なります。

居住地域を設定する

デジタル放送で、お住まいの地域に関する情報を緊急警報放送やデータ放送で受信するために、居住地域を設定します。

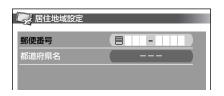
1 ホームメニューを押す

2 [初期設定] を選んで 決定 を押す

3 [デジタル放送の設定] を選んで 決定 を押す

4 [受信環境設定] を選んで 決定 を押す

5 [居住地域設定] を選んで 決定 を押す

6 [郵便番号] で、7 桁の郵便番号を入力する

1 〜 10 で入力します。

お知らせ

- 間違えて入力したときは、12 を押すと 1 つ前の桁に戻って再入力できます。

7 [都道府県名] で、都道府県を選ぶ

◀▶ で選びます。

- 伊豆、小笠原諸島地域の方は、「東京都島部」を選んでください。南西諸島鹿児島県地域の方は、「鹿児島県島部」を選んでください。

お知らせ

- 終了するときは、元の画面 を押します。

アンテナの設定をする

[アンテナ設定]

地上デジタル放送と衛星デジタル放送の受信状態を確認します。アンテナレベルが最大になるようにアンテナの向き（方位角）や角度（仰角）を調整してください。

確認してください！

□ アンテナは接続しましたか？ ☞35 ページ

地上 D アンテナレベル	地上デジタル放送のアンテナレベルを確認します。
衛星アンテナ設定	衛星アンテナの電源設定とアンテナレベルを確認します。
地上 D アッテネーター	アンテナからの電波が強すぎて映像が不安定なときに、電波を弱くします。通常は、設定する必要はありません。

地上デジタル放送のアンテナレベルを確認する　[地上 D アンテナレベル]

1 を押す

2 [初期設定] を選んで 決定 を押す

3 [デジタル放送の設定] を選んで 決定 を押す

4 [受信環境設定] を選んで 決定 を押す

5 [アンテナ設定] を選んで 決定 を押す

6 [地上 D アンテナレベル] を選んで 決定 を押す

地上 D アンテナレベル画面に変わります。

お知らせ

- 地上デジタル放送を受信すると、「地上デジタル　アンテナレベル」と表示されます。

7 アンテナレベルができるだけ最大値に近くなるようにアンテナを調整する

「現在値」が「最大値」に近づくように、アンテナの向き（方位角）を調整します。

お知らせ

- アンテナレベルは、最適なアンテナの向き（方位角）を調整するための目安です。アンテナレベルが高いほど受信状態が良いことを表しています。
- 良好な受信のための地上 D アンテナレベルの目安は、43 以上です。
- アンテナレベルは、電波の強さではなく品質を表す指標です。ブースターで電波を増幅してもアンテナレベルは変わらないことがあります。
- 「物理チャンネル」で を押すと、チャンネルが切り換わります。
- 終了するときは、元の画面 を押します。

衛星アンテナへの電源供給やアンテナレベルの確認をする [衛星アンテナ設定]

1 ホームメニュー を押す

2 [初期設定] を選んで 決定 を押す

3 [デジタル放送の設定] を選んで 決定 を押す

4 [受信環境設定] を選んで 決定 を押す

5 [アンテナ設定] を選んで 決定 を押す

受信環境設定
アンテナ設定
電話回線設定
居住地域設定
リモコン設定
地上デジタル設定
自動アップデート　する

6 [衛星アンテナ設定] を選んで 決定 を押す

衛星アンテナ設定画面に変わります。

お知らせ

- 衛星放送を受信すると、「BS　アンテナレベル」または「CS アンテナレベル」と表示されます。

7 衛星アンテナに本機から電源を供給するかどうかを で選ぶ

入	個別に衛星アンテナを設置しているときに選びます。本機が電源「入」のとき、衛星アンテナに電源が供給されます。
切※	マンションの共同アンテナなど、本機以外から衛星アンテナに電源を供給するときに選びます。

※お買い上げ時の設定

8 アンテナ電源 [入] を選んだときは、アンテナレベルができるだけ最大値に近くなるようにアンテナを調整する

「現在値」が「最大値」に近づくように、アンテナの向き（方位角）や角度（仰角）を調整します。

お知らせ

- アンテナレベルは、最適なアンテナの向き（方位角）や角度（仰角）を調整するための目安です。アンテナレベルが高いほど受信状態が良いことを表しています。
- 良好な受信のための衛星アンテナレベルの目安は、50 以上です。
- アンテナレベルは、電波の強さではなく品質を表す指標です。ブースターで電波を増幅してもアンテナレベルは変わらないことがあります。
- アンテナレベルは、地域・季節・天候などにより異なります。
- アンテナの向き（方位角）や角度（仰角）の調整については、アンテナの取扱説明書をご覧ください。
- BS デジタル放送と 110 度 CS デジタル放送のアンテナの向きは同じです。どちらか一方で調整をすれば、両方の受信ができます。
- 終了するときは、 元の画面 を押します。

地上デジタル放送の電波が強すぎて映像が不安定なときは　[地上 D アッテネーター]

1 ホームメニュー を押す

2 [初期設定] を選んで 決定 を押す

3 [デジタル放送の設定] を選んで 決定 を押す

4 [受信環境設定] を選んで 決定 を押す

5 [アンテナ設定] を選んで 決定 を押す

6 [地上 D アッテネーター] で [入] を選ぶ

で選びます。

お知らせ

- お買い上げ時は「地上 D アッテネーター」は「切」になっています。通常は、設定を変える必要はありません。
- 「地上 D アッテネーター」の設定は電波の強さを変える機能です。
- 「 入 」にすると電波は弱くなります。
- 設定を変更しても、アンテナレベル表示（電波の品質を表す指標）は変わらないことがあります。(☞153 ページ)
- 終了するときは、 元の画面 を押します。

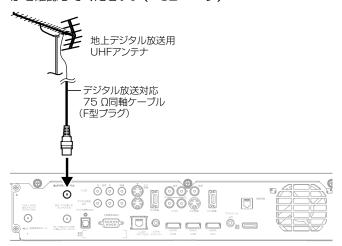
地上デジタル放送の設定を確認する

お買い上げ後、「かんたん設定」をすると地上デジタル放送を受信できるようになります。地上デジタル放送が受信できないときは、以下のステップを確認してください。

ステップ 1：放送エリアを確認する

お住まいの地域は、地上デジタル放送の放送エリアですか。放送エリア外の地域では、地上デジタル放送が受信できません。受信エリアが分からないときは、ご購入店か [D-pa] 社団法人地上デジタル放送推進協会にお問い合わせください。

ステップ 2：アンテナを確認する

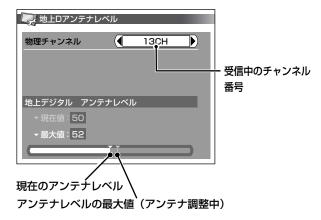
アンテナは地上デジタル放送対応の UHF アンテナを使用していますか。
地上デジタル放送受信用のアンテナケーブルが抜けていないかを確認してください。(☞32 ページ)

ステップ 3：初期設定を確認する

「自動チャンネル設定」(☞141 ページ)の「初期スキャン」で放送局のチャンネルを設定してください。

初期スキャンが終わると、地上デジタル放送のチャンネル設定結果が表示されます。

ステップ 4：アンテナレベルを確認する

「地上 D アンテナレベル」(☞150 ページ)でアンテナレベルを確認します。地上 D アンテナレベルの目安は 43 以上です。
アンテナレベルが最大値に近くなるように、アンテナの向き(方位角)を調整してください。

お使いになる前に
準備する（設置と接続）
テレビを見る
画質と音質を調整する
KURO LINKを使う
いろいろな機能を使う
接続して使う
録画を予約する
テレビの設定を変更する
困ったときは
付録

B-CAS カードのテストをする

[B-CAS カード]

デジタル放送を受信するための B-CAS カードの動作テストをします。

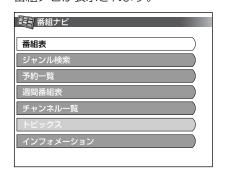
確認してください！

□ B-CAS カードを挿入していますか？ ☞41 ページ

1 デジタル放送に切り換える

2 [ホームメニュー] を押す

3 [番組ナビ] を選んで [決定] を押す

番組ナビが表示されます。

4 [インフォメーション] を選んで [決定] を押す

5 [B-CAS カード] を選んで [決定] を押す

6 [決定] を押す

B-CAS カードのテストが始まります。しばらくすると、テスト結果が表示されます。

「成功しました」と表示されたとき

- B-CAS カードは正常に動作しています。カード情報、カード ID、グループ ID が画面に表示されます。

「失敗しました」と表示されたとき

- B-CAS カードのテストでエラーになったため、カード情報を取得できません。B-CAS カードが正しく挿入されているか、使用できるカードかなどを確認してください。(☞41 ページ)

お知らせ

- 終了するときは、[元の画面] を押します。

電話の設定をする

[ ]

デジタル放送の双方向通信の番組に参加する場合、電話回線の接続が必要です。接続後は電話回線の設定をして、通信テストをします。

確認してください！

☐ 電話回線は接続しましたか？ ☞37 ページ

ダイヤル種別	電話回線の種別を設定します。 「自動」「トーン」「10pps」「20pps」から選びます。	
外線発信番号 ポーズ付加	外線電話に 0 発信などが必要なときは外線発信番号を設定します。 また、外線発信をする場合には、「ポーズ付加」で「する」を選びます。	
発信者番号通知	発信者番号を通知するかどうかを設定します。	
電話会社番号 マイラインプラス	本機から電話をかけるときに電話会社を変えたいときは、電話会社識別番号を設定します。また、マイラインプラスを解除します。	
電話回線テスト	回線接続確認	ダイヤルトーン（ダイヤル可能な状態を示す発信音）を検出して、電話回線が正しく設定されているかどうかを確認します。電話料金はかかりません。
	センター接続確認	実際に電話をかけて、つながるかどうかを確認します。成功すると、全国一律、約 10 円の電話料金がかかります。（2008 年 3 月現在）

1 ホームメニュー を押す

2 [初期設定] を選んで 決定 を押す

3 [デジタル放送の設定] を選んで 決定 を押す

4 [受信環境設定] を選んで 決定 を押す

5 [電話回線設定] を選んで 決定 を押す

電話回線設定画面が表示されます。

6 [ダイヤル種別] で回線の種別を選ぶ

▷ を押すたびに、次の順に切り換わります。（◁ で逆順）

自動 ⇒ トーン ⇒ 10pps ⇒ 20pps

自動※	電話回線のテストをすると、回線種別が自動的に設定されます。回線の種別が不明のときは「自動」にしてください。
トーン	お使いの電話がプッシュ回線のときに選択します。また、次の場合も「トーン」に設定します。 ● ISDN 回線でターミナルアダプターのアナログポートに接続したとき ●デジタルコードレス電話機でワイヤレスリンク接続のとき
10pps 20pps	お使いの電話がダイヤル回線（10 pps または 20 pps）のときに選択します。

※お買い上げ時の設定

7 外線電話に 0 発信などが必要なときは、[外線発信番号] に、1 桁の番号を設定する

1 ～ 10 を押して入力します。

次頁へつづく

8 [発信者番号通知] で、電話番号を相手に通知するかどうかを選ぶ

を押すたびに、次の順に切り換わります。（で逆順）

設定しない ⇒ 通知する (186) ⇒ 通知しない (184)

設定しない※	お客様と電話会社との契約内容に従います。
通知する（186）	電話番号を通知します。
通知しない（184）	電話番号を通知しません。

※お買い上げ時の設定

お知らせ

- 「設定しない」、「通知しない」に設定しても電話番号を通知することがあります。

9 本機から電話をかけるときの電話会社を変えたいときは、次の設定をする

電話会社番号に電話会社識別番号を設定する

● 1 ～ 10 を押して入力します。

お知らせ

- 間違えて入力したときは、 12 を押すと 1 つ前の桁に戻って再入力できます。

マイラインプラスをご契約のときは、マイラインプラスを解除する

●「マイラインプラス」で「解除する（122)」を選びます。

お知らせ

- 電話会社番号が設定されていないときは、「マイラインプラス」は設定できません。

10 外線発信番号、電話会社番号、マイラインプラスなどを設定したときは [ポーズ付加] で [する] を選ぶ

「する」に設定すると、外線発信番号、マイラインプラス、発信者番号通知、電話会社番号、電話番号の間にポーズ（3 秒）が入ります。

お知らせ

- 外線発信番号、マイラインプラス、電話会社番号などを設定しないときは、「しない」のままにしてください。

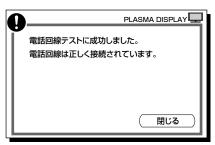
電話回線のテストをする

設定が終わったら、電話回線のテストをします。テストには、「回線接続確認」と「センター接続確認」の 2 つがあります。「回線接続確認」では、ダイヤル種別の設定が誤って設定されていても、テストが成功する場合があります。実際に電話で正しく通信できるかどうかを確認したいときは、「センター接続確認」を行ってください。

1 電話回線設定画面で、[回線接続確認] または [センター接続確認] を選んで 決定 を押す

「センター接続確認」を選んだときは

● テストの確認画面が表示されます。「はい」を選んで [決定] を押してください。

電話回線のテストが始まり、進行状況が表示されます。しばらくすると、テスト結果が表示されます。

「電話回線テストに成功しました」と表示されたとき

● 回線が正しく接続され、設定されています。

「電話回線テストに失敗しました」と表示されたとき

● 電話回線を使用できません。接続と設定を確認してください。

お知らせ

- 同じ電話回線に接続された電話機などを使っているときは、「テスト」ができません。
- 「テスト」には数分かかる場合があります。
- かんたん設定の電話回線テストは、「回線接続確認」になります。
- 終了するときは、 元の画面 を押します。

自動更新の設定をする

本機には、デジタル放送で送られてくるデータを取り込んで（ダウンロードして）自動的にプログラムを更新する機能があります。この自動更新によって、最新のサービスや追加機能に対応できるようになります。

お知らせ

- スタンバイ状態で、本機は自動更新（データのダウンロード）をします。自動更新をするために、リモコンで電源を切ってください。（STANDBY ランプが赤で点灯）
- お買い上げ時は「自動アップデート」が「する」になっています。「しない」に変更すると、本機の自動更新ができなくなります。特に理由がなければ、変更しないでください。
- ダウンロード中は、ファンが放熱のために回転しますが、故障ではありません。
- 悪天候のときなど、電波状態が悪いと自動更新が失敗することもあります。
- 「自動アップデート」を「しない」にすると、ダウンロードするデータがあるときに、お知らせメッセージが届きます。お知らせメッセージを読んで「する」に設定すると、自動更新が実行されます。**（お知らせメッセージについては** ☞89 ページ**）**

1 ホームメニュー を押す

2 [初期設定] を選んで 決定 を押す

3 [デジタル放送の設定] を選んで 決定 を押す

4 [受信環境設定] を選んで 決定 を押す

5 [自動アップデート] で、[する] または [しない] を選ぶ

で選びます。

お知らせ

- 終了するときは、 元の画面 を押します。

デジタル音声の出力フォーマットを設定する

[デジタル放送音声出力]

AV アンプなどのオーディオ機器を接続したときに、デジタル音声出力（光）端子から出力されるデジタル放送の音声を設定します。

PCM ※	PCM フォーマットで出力します。 • MPEG-2 AAC に対応していない機器を接続するときに設定します。
AAC	MPEG-2 AAC フォーマットで出力します。 • MPEG-2 AAC 対応の機器を接続するときに設定します。
自動	サラウンド放送の番組のみ、自動的に「AAC」に切り換わります。 • 接続した MPEG-2 AAC 対応のオーディオ機器が「PCM」と「AAC」に対し自動切換するときに設定します。

※お買い上げ時の設定

お知らせ

- 「AAC」に設定すると、字幕放送やデータ放送の効果音がデジタル音声出力（光）端子から出力されません。「PCM」に設定してください。
- 地上アナログ放送や、入力 1 ～入力 4 からの音声は、設定に関係なく「PCM」で出力されます。
- HDMI 端子（入力 1、入力 5、入力 6、入力 7）からのデジタル音声入力信号は、コピー制限がかかっているときデジタル音声出力（光）端子から出力できません。
- MPEG-2 AAC 対応のオーディオ機器を接続するときは、「PCM」と「AAC」の入力に対し自動切換機能のあるものをお勧めします。

1 ホームメニューを押す

2 [初期設定] を選んで 決定 を押す

3 [デジタル放送の設定] を選んで 決定 を押す

4 [外部機器設定] を選んで 決定 を押す

5 [デジタル放送音声出力] で、出力フォーマットを選ぶ

▷ を押すたびに、次の順に切り換わります。（◁ で逆順）

PCM ⇒ AAC ⇒ 自動

お知らせ

- 終了するときは、元の画面 を押します。

設定をリセットする

[初期状態に戻す]

ホームメニューで設定した内容や、お客様の個人情報（お知らせメッセージ、データ放送関連の設定）をお買い上げ時の状態に戻します。次の 2 種類があります。

設定内容	ホームメニューの「デジタル放送の設定」で設定した内容など、以下の内容をお買い上げ時の状態に戻します。 ・ホームメニューの「デジタル放送の設定」の設定内容 ・お好みチャンネルの登録 ・番組予約情報 ・メモリーカードなどのスライドの表示方法の設定
個人情報	本機で保存した以下の内容を消去します。 ・個人情報 ・お知らせメッセージ ・データ放送関連情報 ・地上デジタル放送のチャンネル設定

ご注意

- 本機を譲渡または廃棄するなどの場合は、必ず、個人情報をリセットしてください。
- リセットをして初期状態に戻った設定内容は元に戻せません。

お知らせ

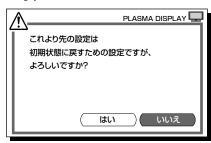
- 「設定内容」のリセットで、地上デジタル放送のチャンネルのスキャン結果はリセットされません。

1 ホームメニュー を押す

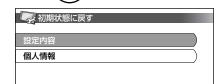
2 [初期設定] を選んで 決定 を押す

3 [デジタル放送の設定] を選んで 決定 を押す

4 [初期状態に戻す] を選んで 決定 を押す

5 確認の画面で [はい] を選んで 決定 を押す

暗証番号を設定しているときは

- 暗証番号の入力画面が表示されます。暗証番号を入力してください。（暗証番号については ☞95 ページ）

6 [設定内容] または [個人情報] を選んで 決定 を押す

設定内容のリセットについて

- 正常に受信できているときは、リセットしないでください。放送を受信できなくなることがあります。

個人情報のリセットについて

- 本機を譲渡または廃棄するなどの場合以外は、リセットしないでください。

7 確認画面で [はい] を選んで 決定 を押す

リセットが始まります。リセット中は、進行状況が表示されます。

お知らせ

- 終了するときは、元の画面 を押します。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、まずは以下の内容をチェックしてください。ちょっとした操作ミスや接続ミスを故障と思い込んでしまうことがあります。また、本機以外の原因も考えられます。お使いのアンテナや録画機器などもあわせてお調べください。
以下の項目に従ってもう一度点検しても直らないときは、まず当社ホームページでお調べになってから、カスタマーサポートセンター（裏表紙）にご連絡ください。

ON ランプ /STANDBY ランプについて

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● ディスプレイの電源 ON ランプ（青）、STANDBY ランプ（赤）の両方とも消灯している 	・ディスプレイの電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをディスプレイにしっかりと接続してください。また、コンセントにしっかりと接続してください。 ☞39 ページ
	・ディスプレイの主電源は入っていますか。	ディスプレイの主電源ボタンを押して、主電源を入れてください。 ☞46 ページ
● メディアレシーバーの電源「入」ランプ（青）、スタンバイランプ（赤）の両方とも消灯している 	・メディアレシーバーの電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをメディアレシーバーにしっかりと接続してください。また、コンセントにしっかりと接続してください。☞39 ページ
● 画面に青色と赤色の長方形が交互に表示される ● ディスプレイの電源 ON ランプ（青）と STANDBY ランプ（赤）が、交互に点滅している 	・システムケーブルが抜けていませんか。または抜けかかっていませんか。 ・メディアレシーバーの電源プラグが抜けていませんか。	・ディスプレイとメディアレシーバーのコンセントを抜いてから、システムケーブルのコネクターを確認し、しっかりと接続してください。 ・メディアレシーバーの電源プラグをコンセントにしっかりと接続してください。
● ディスプレイの電源 ON ランプ（青）、または STANDBY ランプ（赤）が点滅を繰り返している 	・ディスプレイの保護回路が動作したと考えられます。	ディスプレイの主電源ボタンを押して主電源を切り、1 分以上たってからもう一度、電源を入れてください。 ☞46 ページ 主電源を切っても正常に動作しないときは、主電源を切ったあとコンセントを抜いて、1 分以上放置します。その後もう一度コンセントを差して、電源を入れてください。 それでも正常に動作しないときは、カスタマーサポートセンターにご連絡ください。
● メディアレシーバーの電源「入」ランプ（青）、またはスタンバイランプ（赤）が点滅を繰り返している 	・メディアレシーバーの保護回路が動作したと考えられます。	メディアレシーバーのコンセントを抜いて、1 分以上放置します。その後もう一度コンセントを差して、電源を入れてください。 それでも正常に動作しないときは、カスタマーサポートセンターにご連絡ください。

全般

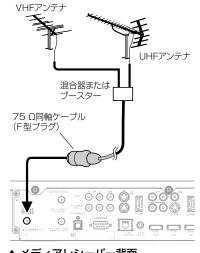
こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● 映像や表示がおかしい ● 急にリモコンで操作できなくなった	―――	本機は非常に高度なソフトウェアが組み込まれ動作しています。 何かおかしいと感じたときは、主電源ボタンで電源を切って、約 1 分以上お待ちになったあと、もう一度電源を入れてください。☞46 ページ
● 電源が入らない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	電源プラグをコンセントにしっかりと接続してください。☞39 ページ
	・主電源は入っていますか。主電源が入っているときは、ON ランプが青色または STANDBY ランプが赤色で点灯します。	主電源ボタンを押して、主電源を入れてください。☞46 ページ
● 映像が出ない ● 画面に青色と赤色の長方形が交互に表示される ● ディスプレイの ON ランプ（青）と STANDBY ランプ（赤）が、交互に点滅している	・システムケーブルが抜けていませんか。または抜けかかっていませんか。 ・メディアレシーバーの電源プラグが抜けていませんか。	・ディスプレイとメディアレシーバーのコンセントを抜いてから、システムケーブルのコネクターを確認し、しっかりと接続してください。 ・メディアレシーバーの電源プラグをコンセントにしっかりと接続してください。
● 突然電源が切れた ● 映像も音声も出ない	・ON ランプ（青）、または STANDBY ランプ（赤）が点滅を繰り返していませんか。☞46 ページ	本機の保護回路が動作したと考えられます。主電源ボタンを押して主電源を切り、1 分以上たってからもう一度、主電源を入れてください。☞46 ページ 主電源を切っても正常に動作しないときは、主電源を切ったあとコンセントを抜いて、1 分以上放置します。そのあともう一度コンセントを差して、電源を入れてください。 それでも正常に動作しないときは、カスタマーサポートセンターにご連絡ください。
● 映像も音声も出ない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	電源プラグをコンセントにしっかりと接続してください。☞39 ページ
	・主電源が切れていませんか。	主電源ボタンを押して、電源を入れてください。☞46 ページ
	・テレビ放送（地上アナログ・地上デジタル・BS・110 度 CS デジタル）を視聴したいのに、映像入力画面に切り換えられていませんか。	放送切換ボタンで、希望の放送に切り換えてください。または、接続した機器の電源を入れて再生してください。☞47 ページ
● リモコンで操作できない ● 電源が入らない	・リモコンをディスプレイのリモコン受光部に向けていますか。リモコン受光部の前に障害物があったり、蛍光灯などの強い照明が当たっていませんか。	リモコンはディスプレイ右下のリモコン受光部に向けてお使いください。☞40、46 ページ
	・電池の極性（＋極／－極）が逆になっていませんか。	リモコンの乾電池を正しく入れてください。☞40 ページ
	・リモコンの乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池を正しく入れてください。☞40 ページ
	・リモコンコードが「TV」以外になっていませんか。	リモコンの選択を押してリモコンモードを「TV」に切り換えてください。☞13、110 ページ
● 片方しか音が出ない ● 音が左右逆になる	・「バランス」が正しく調整されていますか。	左右の音量バランスを調整してください。☞73 ページ
	・スピーカーケーブルが左右逆に接続されたり、片方が抜けたりしていませんか。	スピーカーケーブルを正しく接続してください。☞23、27 ページ
● 映像は出るが音声が出ない	・音量が最小になっていませんか。	＋ 音量 を押して音量を調整してください。☞47 ページ
	・消音状態になっていませんか。	消音 を押して、消音を解除してください。☞47 ページ
	・ヘッドホン出力端子にヘッドホンを接続したままになっていませんか。	ヘッドホンを接続すると、スピーカーからの音は出ません。☞10 ページ
	・入力 1 ～ 4 や PC 入力をお使いのとき、音声端子は接続されていますか。	入力 1 ～ 4 や PC 入力をお使いになるときは、音声端子も接続してください。☞62、101、102、115 ページ
● スタンバイ中に録画・通信ランプが点灯する	―――	有料放送などを契約しているときや放送局からデータが送られてきたときには、スタンバイ状態でも本機が動作し、録画・通信ランプが点灯することがあります。本機の故障 / 不具合ではありません。

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● 音声は出るが映像が出ない	・消費電力の設定で「消画」が設定されていませんか。「消画」を選択すると、音声のみ出ます。（映像は表示されません。）	消画状態からもう一度画面を表示させるには、、以外のボタンを押します。☞66 ページ
● 色がうすい ● 色あいが悪い	・色の濃さ、色あいなどは正しく調整されていますか。	画質の調整を確認して、お好みの画質に調整してください。☞69 ページ
● 長時間（3 時間以上）視聴していると、電源が切れてしまう	・省エネの設定で無操作オフが「する」に設定されていませんか。	無操作オフが「する」の設定では、約 3 時間操作しないと、自動的に電源が切れます。☞66 ページ
● 電源スタンバイ状態でもファンが回っている	・電源スタンバイ状態にしてもファンはすぐに止まりません。ファンの回転が止まるまでに、数秒かかります。	本機の故障・不具合ではありません。
	・電源スタンバイ状態にしても、次のような場合（デジタルチューナー部が動作中）にファンが放熱のために回ることがありますが、故障ではありません。 （1）番組表を取得している。 （2）WOWOW や 110 度 CS デジタル放送の無料視聴キャンペーンに加入した。 （3）デジタル放送の録画予約（ビデオコントローラー接続）を実行している。☞108、127 ページ （4）ダウンロードサービスでデータをダウンロードしている。☞157 ページ	
● ときどき「ピシッ」と音がする	・温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	
● ディスプレイ部から音がする	・ご使用中にディスプレイ部から駆動音が聞こえる場合があります。また、その駆動音は、省エネ機能の設定を切り換えると変化する場合があります。	
● 映像が暗い	・照度センサーが障害物で覆われていませんか。	照度センサーの前の障害物を取り除いてください。
	・画質・音質モードが「映画」に設定されていませんか。	他のモードに切り換えてください。☞68 ページ
	・「消費電力」の設定を「モード2」にしていませんか。	他の設定に切り換えてください。☞66 ページ
	・長時間動きのない映像（DVDレコーダーの一時停止映像など）を入力していませんか？	いったん入力切り換えを行って、一時停止等を解除してください。

地上アナログ放送を見ているとき

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● 映像が二重三重になる（ゴースト） 	・近くに山や大きな建物・樹木がある場合、それらの反射電波の影響も考えられます。	VHF/UHF（地上アナログ）アンテナの向きや高さを変えてみてください。
	・VHF/UHF（地上アナログ）アンテナの向きが変わったり、アンテナが壊れたりしていませんか。	アンテナ線が切れていないか、向きが変わったり壊れたりしていないか確認してください。 また、アンテナの接続が正しいかどうかも確認してください。☞36 ページ
	・個別チャンネル設定（アナログ放送の設定）で GR が「しない」に設定されていませんか。	個別チャンネル設定の GR を「する」に設定してください。☞135 ページ
● 映像が出ないで雑音のみ出る 	・アンテナ線が外れたり、ショートしたりしていませんか。	アンテナの接続を確認してください。☞36 ページ
	・アンテナ線は正しく接続されていますか。	
● 色じま模様が出る ● 画像にはん点が出る	・近所のテレビや、自動車、電車、ネオンなどからの雑音・妨害の電波を受けていませんか。	アンテナの向きや高さを調整すると、妨害がある程度少なくなることがあります。できれば、アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離れた場所に設置してください。

地上アナログ放送を見ているとき

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● 雪が降っているような画面になる 	・VHF/UHF（地上アナログ）アンテナ線は正しく接続されていますか。	アンテナの接続を確認してください。 ☞36 ページ
	・混合器またはブースターが故障していませんか。	混合器またはブースターを確認して故障しているときは交換してください。 ▲ メディアレシーバー背面
	・屋外 VHF/UHF（地上アナログ）アンテナ線が切れたり、外れたり、接触不良になったりしていませんか。 ・VHF/UHF（地上アナログ）アンテナの向きが変わったり、アンテナが壊れたりしていませんか。	アンテナ線が切れていないか、向きが変わったり壊れたりしていないか確認してください。 また、アンテナの接続が正しいかどうかも確認してください。☞36 ページ
● リモコンのチャンネルボタン [1]～[12] で希望のチャンネルが選局できない	・選局が地上アナログ放送以外になっていませんか。	放送切換ボタンの[アナ]を押して、アナログ放送に切り換えてください。☞47 ページ
	・地上アナログ放送のリモコンの[1]～[12]に希望の地上アナログチャンネルが設定されていますか。	チャンネル設定を確認してください。正しく設定されていないときは、チャンネルを設定し直してください。☞133、134 ページ
● リモコンの［チャンネル（＋／－）］ボタンで希望の地上アナログチャンネルが選局できない	・リモコン番号「1」～「48」に希望の地上アナログチャンネルが設定されていますか。	チャンネル設定を確認してください。正しく設定されていないときは、チャンネルを設定し直してください。☞133、134 ページ
	・個別チャンネル設定で表示 CH が「スキップ」に設定されていませんか。	個別チャンネル設定の表示 CH で「スキップ」以外の設定にしてください。☞135 ページ
● 特定チャンネル（地上アナログ放送）だけ映らない	・個別チャンネル設定（アナログ放送の設定）の「手動微調整」がずれていませんか。	個別チャンネル設定の「手動微調整」で調整してください。☞135 ページ
● 番組表が表示されない ● 番組表に表示されない番組がある	・地上アナログ放送の番組表の受信のための情報が正しく設定されていますか。	地上アナログ放送の番組表の設定をしてください。☞136、137 ページ 「地上アナログ放送の番組表が表示されないときは」をもう一度確認してください。（☞138 ページ）
	・番組表の取得に時間がかかることがあります。	半日以上待ってから、再度番組表を表示してください。
	・電源プラグを抜いて電源を切っていませんか。	時計を合わせてください。☞140 ページ 電源プラグを抜いて電源を切ると日付と時刻が初期状態に戻り、番組表が表示されません。 電源を切るときはリモコンの[電源]ボタンを押してスタンバイ（待機状態）にしてください。
● 番組表の時刻が正しく表示されない	・時計は合わせましたか。	時計を合わせてください。☞140 ページ
	・ジャストクロック機能が設定されていますか。	ジャストクロック機能を設定してください。 ジャストクロック機能は時報に合わせて本機の時刻を補正します。 本機の時刻と時報が 3 分以上ずれているときには機能が働きません。 ☞140 ページ

BS・110度CSデジタル放送を見ているとき

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● 映像も音声も出ない	• 映像、音声のない放送ではありませんか。	チャンネルを切り換えてみてください。
	• 春分や秋分の前後20日ごろの深夜ではありませんか。	春分や秋分の前後20日程度は人工衛星が地球の陰（食）になるため、深夜一時的に電波が止まります。本機の故障・不具合ではありません。
● 放送が受信できない 	• 衛星アンテナ設定（デジタル放送の設定）でアンテナ電源が「切」になっていませんか。	衛星アンテナ設定でアンテナ電源を「入」に設定してください。☞151ページ
	• BS・110度CSデジタル放送受信用のアンテナケーブルが抜けていませんか。	BS・110度CSデジタル放送受信用のアンテナケーブルを確実に接続してください。 ☞33、34ページ
● 受信状態が悪い ● 音声がとぎれる ● 特定のチャンネルだけ映らない ● 画面にブロック状のノイズが出る 	• アンテナレベルは適切ですか。	アンテナレベルを確認して、アンテナレベルができるだけ最大値に近くなるように、アンテナを調整してください。☞151ページ
	• BS・110度CSデジタル放送受信用アンテナの向きがずれていませんか。	
	• BS・110度CSデジタル放送受信用アンテナの前方に障害物はありませんか。	障害物がある場合は、受信状態が悪くなりますので、障害物のない場所にアンテナを移動して設置してください。
	• アンテナはBS・110度CSデジタル放送対応のものを使用していますか。	BS・110度CSデジタル放送対応のアンテナに交換してください。
	• 契約していない有料放送ではありませんか。	有料放送を視聴するには、放送局との契約が必要です。
	• BS・110度CSデジタル放送受信用アンテナケーブルは専用のものを使用していますか。	BS・110度CSデジタル放送対応のケーブルに交換してください。
	• 雪や雨で、天候が悪くありませんか。	衛星放送は、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナやテレビの故障ではありません。天候が回復すると、症状は発生しなくなります。
	• デジタル放送ではデータを圧縮処理（エンコード）をしますが、動きの速い映像などで、この処理が正しくできないときに、この症状が発生します。	本機の故障・不具合ではありません。
● 有料放送が視聴できない	• 有料放送を視聴するための契約はしていますか。	有料放送を視聴するには、放送局との契約が必要です。
	• 電話回線の接続や設定は正しくされていますか。	電話回線を接続して設定してください。 ☞37、156ページ
● 110度CSデジタル放送が受信できない	• アンテナやブースター、分配器等は110度CSデジタル放送対応のものを使用していますか。	アンテナやブースターや分配器は、110度CSデジタル放送対応のものに交換してください。
	• 110度CSデジタル放送以外を選局していませんか。	放送切換ボタンの［CS］を押して、110度CSデジタル放送に切り換えてください。 ☞47ページ
● 番組表が表示されない ● 番組表に表示されない番組がある	• お買い上げ直後や、電源コードを抜いて1週間以上経過したあとに、番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。	しばらくお待ちください。
● 番組の予約をしても受信できない場合がある	• 契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組などを予約していませんか。	有料放送を視聴するには、放送局との契約が必要です。 また、視聴年齢の制限を設定しているときは、暗証番号を入力しないと予約できません。 ☞93、95ページ

地上デジタル放送を見ているとき

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● 放送が受信できない 	・お住まいの地域は、地上デジタル放送の放送エリアですか。	お住まいの地域の地上デジタル放送エリアについては、ご購入店にご相談ください。地上デジタル放送は、地上アナログ放送との混信を避けるため、当初は非常に小さい出力電波で開始されます。そのため放送エリアが限られます。また、受信障害のある環境では、放送エリア内でも受信できないことがあります。
● チャンネル設定の「初期スキャン」や「再スキャン」で放送局のチャンネルを設定できない	・「地上Ｄアッテネーター」の設定は正しいですか。	「地上Ｄアッテネーター」が「入」になっているとアンテナレベルが低下し、良好に受信できない場合があります。設定を「切」にして確認してください。☞152 ページ
	・地上デジタル放送受信用のアンテナケーブルが抜けていませんか。	地上デジタル放送受信用のアンテナケーブルを確実に接続してください。☞32、34 ページ
	・アンテナは地上デジタル放送対応の UHF アンテナを使用していますか。	地上デジタル放送対応のアンテナに交換してください。
	・アンテナは地上デジタル放送の送信所に向いていますか。	アンテナを地上デジタル放送の送信所に向けてください。地上アナログ放送の送信所と方向が異なる地域があります。アンテナレベルを確認して、アンテナレベルができるだけ最大値に近くなるように、アンテナの向きを調整してください。☞150 ページ
● 映像や音声が出ない、または時々出なくなる ● 映像が静止、または時々静止する ● 受信状態が悪い ● 音声がとぎれる ● 画面にブロック状のノイズが出る	・風や振動によってアンテナの向きが変わっていませんか。またはアンテナケーブルに劣化などはありませんか。	アンテナを地上デジタル放送の送信所に向けてください。アンテナレベルを確認して、アンテナレベルができるだけ最大値に近くなるように、アンテナの向きを調整してください。☞150 ページ アンテナケーブルが切れていないか、壊れたりしていないか確認してください。
	・アンテナは地上デジタル放送対応の UHF アンテナを使用していますか。	地上デジタル放送対応のアンテナに交換してください。
	・「地上Ｄアッテネーター」の設定は正しいですか。	「地上Ｄアッテネーター」が「入」になっているとアンテナレベルが低下し、良好に受信できない場合があります。設定を「切」にして確認してください。☞152 ページ
● 地上デジタルの双方向型データ放送が見られない	・ADSL などのブロードバンド環境の LAN に接続して設定をしていますか。	LAN に接続してください。ADSL などのブロードバンド環境が必要です。☞123 ページ
	・天災やシステム障害などにより、表示できないことがあります。あらかじめご了承ください。	本機の故障・不具合ではありません。
	・ADSL モデムは正常に動作していますか。ADSL モデムの表示ランプ（ADSL、リンク、Link、LINE、PPP など）の状態を調べて、ADSL 回線につながっているか確認してください。（表示ランプの名称などは ADSL モデムによって異なります。お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。）	ADSL モデムやブロードバンドルーターの電源を入れ直してください。 それでも、つながらないときは、プロバイダーや回線業者にご相談ください。（プロバイダーや回線業者の説明書をご覧ください。）
	・ファクシミリ、ホームテレホン、ビジネスホン、電話線付きのガスメーターなどをお使いですか。	プロバイダーや回線業者にご相談ください。（プロバイダーや回線業者の説明書をご覧ください。）
	・ADSL モデムの PPPoA の設定やブロードバンドルーターの PPPoE の設定は正しいですか。	お使いの機器の取扱説明書をご覧になり、正しく設定してください。 それでも、つながらないときは、プロバイダーや回線業者にご相談ください。（プロバイダーや回線業者の説明書をご覧ください。）
	・ID、パスワード、DNS の設定などは正しいですか。	
● 地上デジタル放送の放送局のマークが表示されない	・放送局のマークを表示するまでには時間がかかることがあります。	地上デジタル放送をしばらく視聴すると、マークが表示されます。

デジタル放送共通

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● デジタル放送が映らない	・B-CAS カードは正しく挿入されていますか。2004 年 4 月からデジタル放送の著作権保護のため、コピー制御の仕組みが導入されています。B-CAS カードを常時挿入していないとデジタル放送が視聴できません。	B-CAS カードを挿入してください。☞41 ページ
● 映像も音声も出ない	・映像入力画面に切り換えられていませんか。	放送切換ボタン（デジ BS CS）で、希望の放送に切り換えてください。☞47 ページ
	・強い外来ノイズ（静電気、または落雷などによる電源電圧の異常など）を受けたときなどに、このような状態になることがあります。	主電源ボタンを押して電源を切り、1 分以上たってからもう一度電源を入れてください。☞46 ページ
● 電話機に雑音が入る ● 電話回線につないでいるときに電話機やファクシミリの呼び出し音が鳴る	・付属のモジュラー分配器をお使いになると、一部の電話機やファクシミリで、この現象が起こることがあります。	別売の自動転換器または、電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）で改善されることがあります。詳しくは、お使いの電話機やファクシミリなどのメーカーにご相談ください。
● 電話回線につながらない	・NTT 一般加入電話以外の電話回線や IP 電話をお使いではありませんか。	NTT の一般加入電話回線に切り換えると、つながる場合があります。切り換え方法は電話回線業者にお問い合わせください。
● 字幕や文字スーパーが出ない	・メニュー画面などが表示されていませんか。	元の画面 を押して、メニュー画面や操作説明画面などを消してください。
	・字幕設定や文字スーパー設定が「表示しない」に設定されていませんか。	字幕設定や文字スーパー設定を「表示しない」以外に設定してください。☞87 ページ
	・字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか。字幕は、「字幕」のアイコンが表示されている番組で表示されます。	字幕や文字スーパーのある番組を選んでください。
● 字幕や文字スーパーなどの一部が欠ける 	・ハイビジョン映像の画面サイズが「ワイド 1」または「ワイド 2」に設定されていませんか。	サイズを押して、画面サイズを「フル 1」または「フル 2」に切り換えてください。☞63 ページ
● ダウンロードを行ったら、受信できない	・ダウンロードの内容によっては、各種設定がお買い上げ時の設定値に戻ることがあります。	かんたん設定などで、設定をやり直してください。☞42 ～ 45 ページ

その他

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● 電話がつながらない	・電話用のモジュラーケーブルを LAN 端子に接続していませんか。	電話回線端子に接続してください。
● デジタルカメラやメモリーカードリーダーの静止画が表示できない。	・本機と接続できる機器ですか。	本機と接続できる機器は USB マスストレージ対応のデジタルカメラ、メモリーカードリーダーのみです。☞119 ページ
	・USB ケーブルは抜けていませんか。	デジタルカメラやメモリーカードリーダーが本機と USB ケーブルで接続されていることを確認してください。
	・デジタルカメラやメモリーカードリーダーにメモリーカードが挿入されていますか。	メモリーカードを挿入してください。
	・デジタルカメラの電源は入っていますか。	デジタルカメラの電源や設定を確認してください。
	・本機で表示できる画像ですか。	画像の画素数、ファイル形式などを確認してください。☞119 ページ
	・複数のメモリーカードが挿入されていませんか。	本機が認識できるメモリーカードは 1 枚のみです。☞119 ページ

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
● ビデオコントローラーでの録画予約ができない	・ビデオコントローラーは正しく接続されて、設定されていますか。	ビデオコントローラーの接続を確認して、ホームメニューで設定後、動作テストをしてください。☞107 ～ 109 ページ
	・録画機器側で、入力を切り換えるなどの準備をしましたか。	録画機器側で、録画の準備をしてください。☞127 ページ
	・データ放送の番組ではありませんか。	データ放送は録画できません。
● 視聴予約が開始されない	・テレビの電源は入っていますか。	本機がスタンバイ状態の場合は、視聴の予約は開始されません。☞46、54 ページ
● 画面に光らない点がある ● 画面に常時点灯している点がある	・本機は、微細な画素の集合体で非常に精密な技術で作られており、ごく一部の画素が光らなかったり、常時点灯する場合があります。	本機の故障・不具合ではありません。
● 本機の電源を入れるとＡＭラジオにノイズが出る	・本機は公的規格を満たしていますが、若干のノイズが出ています。ＡＭラジオやパソコン、ビデオなどの機器を近づけると妨害を与えることがあります。	妨害を受ける機器を影響のないところまで本機から離してください。ポータブルＡＭラジオなどは、ラジオの向きを変えることによって、妨害が少なくなることがあります。
● ファンの音がする	・設置環境により本体周囲の温度が高くなると、冷却用のファンモーターが回ります。そのため、回転音がする場合がありますが異常ではありません。	本機の故障・不具合ではありません。
● 前面パネルが熱い	・本機を長時間使用すると、パネルの一部が熱を持つことがあります。手で触れると熱く感じるときもあります。	
● 前の画像が残像のように見える	・静止画像や明るい画像を一定時間表示したあと、暗めの画像を表示すると、静止画や明るい画像が残像のように見えるときがあります。	明るめの動画を数分表示することで解消できます。更に長時間の静止画表示は、修復不可能な焼き付きに至る可能性がありますのでご注意ください。
● 画面の左右と中央（4：3 画像の両端と中央）の明るさや色調が違う	・画面サイズ 4：3 や上下に黒帯が表示されるレターボックス映像を長時間表示し続けたり、短時間でも日常的に繰り返し表示すると、本機の特性上、残像（焼き付き）が発生することがあります。	画面の焼き付きを避けるため、できるだけワイド画面サイズでお楽しみいただくことをお勧めします。☞63 ページ 4：3 画像でご覧になるときは、サイドマスクの輝度連動を「連動」設定でお楽しみいただくことをお勧めします。☞65 ページ
● HDMI 機器の映像は出るが音声が出ない	・接続した HDMI 機器の音声がリニア PCM になっていますか。	接続した HDMI 機器の音声をリニア PCM に設定してください。☞81 ページ
● HDMI 機器の映像が出ない	・HDMI ケーブルが抜けていませんか。または、抜けかかっていませんか。	HDMI ケーブルを確実に接続してください。☞76、77 ページ
	・対応外の信号が入力されていませんか。	接続した HDMI 機器の設定を対応信号に変更してください。☞81 ページ
	・1920 × 1080 ピクセルのプログレッシブ映像信号を入力していませんか。	対応の HDMI ケーブルをお使いください。(☞81 ページ)
● 本機のリモコンで DVD レコーダー、DVDプレーヤーなどの接続機器が操作できない	・メーカーコードは登録しましたか。	メーカーコード表を確認して、登録してください。☞110 ページ メーカーコード表に記載があるメーカーでも、お使いの機種によっては操作できない場合があります。
	・リモコンモードは合っていますか。	リモコンの 選択 を押して、操作する機器のリモコンモードに切り換えてください。☞13、110 ページ
	・本機のリモコンを操作したい機器のリモコン受光部に向けていますか。	リモコンは操作したい機器のリモコン受光部に向けてお使いください。
● KURO LINK 機能が働かない	・本機とKURO LINK 対応機器が正しく接続されて、設定されていますか。	・「KURO LINK 対応機器をつなぐ」(☞76 ページ)、「KURO LINK の設定をする」(☞78 ページ）を見て、正しく接続 / 設定されているかを確認してください。 ・HDMI1.3 規格に対応した HDMI ケーブルを使用しないと、KURO LINK 機能が動作しない場合があります。
	・機器側の KURO LINK 機能の設定が有効かをチェックしてください。	詳しくは KURO LINK 対応機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
● 映像が出ない ● 音が出ない ● 映像も音も出ない	・本機とKURO LINK 対応機器が正しく接続されて、設定されていますか。	「KURO LINK 対応機器をつなぐ」(☞76 ページ)、「KURO LINK の設定をする」(☞78 ページ）を見て正しく接続 / 設定されているかを確認してください。
	・2 画面表示にしていませんか。	KURO LINK 対応 AV アンプに接続されている BD/DVDプレーヤーおよびレコーダーからの映像を、2 画面表示で副画面・子画面に表示した場合、BD/DVDプレーヤーおよびレコーダーからの映像は表示されずに黒画面になります。

メッセージ表示一覧

本機では、状況に応じて、さまざまなメッセージが表示されます。主なメッセージと、対処方法は、次のとおりです。（メッセージは 50 音順に並んでいます。）
当社にお問い合わせになるときは、メッセージの内容とコード番号をご確認のうえご連絡ください。

メッセージ	コード	内容・対応のしかた	種類
B-CAS カードが正しく入っていません。カードを正しく入れてください。	E100	B-CAS カードの挿入方向が間違っているか、使用できないカードが挿入されています。 B-CAS カードを正しく挿入してください。 ☞**41 ページ**	B-CAS カード関連
DNS サーバから応答がありません。DNS の設定を確認してください。	BB-ACS-04-003	DNS サーバーからの応答がなかったため、接続できませんでした。DNS サーバーの設定を確認してください。☞**124 ページ**	ネットワーク関連
	BB-ACS-04-004	指定したアドレスが見つかりませんでした。IP アドレスの設定を確認してください。 ☞**124 ページ**	
DNS サーバが指定されていません。DNS の設定を確認してください。	BB-ACS-04-002	DNS サーバーが設定されていません。DNS サーバーを設定してください。☞**124 ページ**	
DNS サーバに接続できません。	BB-ACS-04-001	DNS サーバーの IP アドレスが正しくないため、DNS サーバーに接続できませんでした。DNS サーバーの設定を確認してください。 ☞**124 ページ**	
暗証番号入力 **年齢制限が設定されています。** **暗証番号を入力してください。**		視聴年齢制限が設定されています。視聴するには、暗証番号を入力してください。 ☞**95 ページ**	視聴制限関連
アンテナがショートしています。アンテナとの接続を確認してください。	E209	衛星デジタル放送用アンテナケーブルが傷んだりショート（短絡）している可能性があります。アンテナケーブルとアンテナ電源の設定を確認してください。☞**33、151 ページ**	受信状態
映像のない番組です。		映像のないラジオ放送を受信しています。	ラジオ・データ放送関連
機器が操作できません。接続を確認してください。	CEC000 ～ CEC300	KURO LINK 対応機器との接続や設定が正しくありません。KURO LINK 対応機器との接続と設定を確認してください。 ☞**76、78 ページ**	KURO LINK 関連
気象条件などにより、受信レベルが低下しています。	E201	アンテナの設置や設定が正しくないか、雨や雪などの天候の影響により一時的にアンテナレベルが低下しています。	受信状態
気象条件などにより、受信レベルが低下しています。 **降雨対応放送に切り換えますか？**		雨や雪など天候の影響により衛星からの電波が弱くなっています。降雨対応放送に切り換えると引き続き放送が受信できるようになりますが、画質や音質が落ちたり番組内容が表示されない場合があります。	
緊急警報放送が検知されました。 **対応するチャンネルに切り換えますか？**		緊急警報放送が始まっています。必ず確認してください。	案内・通知
契約期限が切れています。 **ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。**	E205	契約期限が過ぎているチャンネルを選局しています。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡して再契約してください。	有料放送関連
現在、このチャンネルは放送を休止しています。 **他のチャンネルを選局してください。**	E203	放送が休止されているチャンネルを選んでいます。チャンネル番号を確認して別のチャンネルを選んでください。	選局時
ご案内チャンネルに切り換えますか？ **切り換えない場合、他のＣＨを選局してください。**		契約していない有料チャンネルを選局したときに表示されます。（決定）を押すとそのチャンネルを運用している事業者の有料放送契約紹介画面を表示します。	案内・通知
このチャンネルはありません。 **他のチャンネルを選局してください。**	E204	受信できないチャンネルを選んでいます。チャンネル番号を確認して別のチャンネルを選んでください。	選局時

メッセージ	コード	内容・対応のしかた	種類
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	E103	契約していないチャンネルです。契約状況を確認して、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	有料放送関連
このチャンネルはご覧いただけません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	E205	契約されていないチャンネルを選局しています。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡して契約してください。	
このチャンネルは視聴条件によりご覧いただけません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	E205	視聴制限付きの契約をしたチャンネルです。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡して契約内容を変更してください。	視聴制限関連
このチャンネルは放送されていません。 他のチャンネルを選局してください。	E200	放送されていない番組を選んでいます。別のチャンネルに切り換えてください。	選局時
この番組は引き続き、○○○×××−×CH でご覧ください。		視聴中のデジタル放送番組が延長されて別のチャンネルで放送されるときに表示します。引き続き視聴するときはチャンネルを切り換えてください。	案内・通知
サーバからの応答がありません。	BB-ACS-04-012 BB-ACS-04-013	接続がタイムアウト（時間切れ）になりました。しばらく待って、再度実行してください。	ネットワーク関連
信号が受信できません。 アンテナとの接続を確認してください。	E202	アンテナからの信号がまったく受信できません。アンテナの設置や設定が正しくないか、アンテナケーブルとの接続を確認してください。	受信状態
通信中にエラーが発生しました。	BB-ACS-04-005 〜 BB-ACS-04-011	接続中にエラーが発生しました。しばらく待って、再度実行してください。	ネットワーク関連
データ放送による選局に失敗しました。		受信中のデータ放送から別の放送に選局したときにエラーが発生しました。別のチャンネルを選んでください。	ラジオ・データ放送関連
データを受信できません。	E400	データ放送が正しく受信できませんでした。別のチャンネルを選んでください。	
データを表示できません。	E402	データ放送が正しく受信できませんでした。ご覧になっているチャンネルとは別のチャンネルに切り換えたあと、左記のエラー表示がされたチャンネルに切り換えてください。それでもこのメッセージが表示されるときは主電源ボタンを入れ直してください。	
電話回線テストに失敗しました。 電話回線の接続と設定を確認してください。		電話回線の接続と設定が正しくありません。電話回線の接続と設定を確認してください。 それでもセンターと正しく通信できないときは、センター（0570-××××）へ電話がかけられるかどうかを、ご契約の電話会社へ確認してください。 また、センターとの通信が込み合っていて、つながらない場合があります。そのときは時間をおいてから再度電話回線テストを行ってください。 ☞**37、156 ページ**	電話回線関連
内部温度上昇のため、電源をオフします。 テレビ周辺の温度を確認してください。	SD04 または SD11	ディスプレイ周辺の温度が高くなっていませんか？周辺の温度などを確認してください。 次に、ディスプレイの主電源ボタンを押して主電源を切り、1 分以上たってからもう一度、電源を入れてください。☞**46 ページ**	保護回路エラー通知
内部温度上昇のため、電源をオフします。 メディアレシーバー周辺の温度を確認してください。	SD11	メディアレシーバー周辺の温度が高くなっていませんか？周辺の温度などを確認してください。 次に、メディアレシーバー本体の電源プラグを抜き、1 分以上たってからもう一度、電源を入れてください。	
内部保護回路動作により、電源をオフします。 スピーカーケーブルはショートしていませんか？	SD05	スピーカーケーブルの接続（ディスプレイ部・スピーカー部）をご確認ください。☞**27 ページ**	
認証できません。	BB-ACS-13-007	認証に失敗しました。しばらく待って、再度実行してください。	ネットワーク関連

メッセージ	コード	内容・対応のしかた	種類
番組表が表示できません。 日付と時刻の設定が正しいことを確認し リモコンで電源を「切」にして 次のGガイド配信時刻まで お待ちください。		地上アナログ放送の番組情報が取得できていません。番組表の受信条件を確認して番組情報を取得してください。☞138 ～ 139 ページ	案内・通知
本機ではこのチャンネルを受信できません。 他のチャンネルを選局してください。	E210	本機が対応していないサービスのあるチャンネルを選びました。別のチャンネルを選んでください。	選局時
本機では対応していないデータ放送です。	E401	データ放送が正しく受信できませんでした。別のチャンネルを選んでください。	ラジオ・データ放送関連

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は必ず「お買い上げ店名・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保存してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。
ただし、フラットテレビのガラスパネル部分のみは 2 年間です。

ご注意

- 画素欠けについては故障・不良ではありませんので、保証の対象外です。
- お客様のご使用過程で発生したディスプレイの焼き付きも、保証の対象外です。
- 「使用上のご注意」(☞187 ページ) をよくお読みのうえ、正しくご使用になることをお勧めいたします。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い求めの販売店へご依頼ください。また、ご転居されたりご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、修理についてのご相談窓口にご相談ください。

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、『故障かな？と思ったら』(☞160 ～ 170 ページ) を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付センター

受付時間　月曜～金曜　9:30 ～ 19:00、土曜・日曜・祝日　9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 18:00(弊社休業日は除く)

■電話　0120-5-81028（ゴー パイオニア）　■一般電話　03-5496-2023
■ファックス　0120-5-81029
■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair.html
※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ / ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション (沖縄県のみ)

受付時間　月曜～金曜　9:30 ～ 18:00(土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)
■一般電話　098-879-1910　■ファックス　098-879-1352

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品 (付属品、リモコン、取扱説明書など) のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜　9:30 ～ 18:00、土曜・日曜・祝日　9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 18:00(弊社休業日は除く)
■電話　0120-5-81095　■一般電話　0538-43-1161
■ファックス　0120-5-81096

修理を依頼されるとき

160 ～ 170 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
  「付近の目印もあわせてお知らせください」
- お名前
- お電話番号
- 製品名　フラットパネルテレビ
- 型番　KRP-600A/KRP-500A
- お買い求め日
- 故障または異常の内容
  「できるだけ具体的に」
  「画面に表示されたコードやメッセージ」
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。
メーカーは販売店からの注文により補修用性能部品を販売店に供給します。
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。テレビの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたりして、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

愛情点検

長年ご使用のフラットパネルテレビの点検を！

このような症状はありませんか？	• 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 • 電源コードにさけめやひび割れがある。 • 電源が入ったり切れたりする。 • 本体から異常な音、熱、臭いがする。		ご使用中止	故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

K026_A_Ja

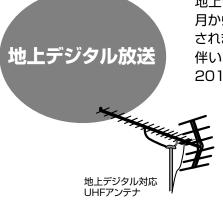
▼

故障や事故防止のため、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、「保証とアフターサービス」（☞171 ページ）をお読みのうえ、修理受付センターに点検をご依頼ください。

デジタル放送で広がるサービス

テレビ放送が、アナログ放送（従来のテレビ放送）からデジタル放送へと変わりつつあります。本機は、デジタル放送（地上デジタル /BS デジタル /110 度 CS デジタル）に対応していますので、デジタルならではのハイビジョン放送の美しい映像と音はもちろん、データ放送や双方向通信による番組参加など、多様なサービスをお楽しみいただけます。

受信できるデジタル放送の種類

本機では、従来の地上アナログ放送のほかに、次の 3 種類のデジタル放送を受信できます。

地上デジタル放送

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに、BSアナログテレビ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。

・デジタルならではの高画質･高音質です。
・ワイド画面のハイビジョン放送が主流です。
・ゴーストのないクリアな映像です。
・データ放送が楽しめます。
・デジタルならではの視聴者参加型の双方向通信番組が楽しめます。
・受信には、専用のUHFアンテナが必要になることがあります。
・無料（NHKを除く）で楽しめます。

BSデジタル放送

放送衛星（Broadcasting（ブロードキャスティング） Satellite（サテライト））を使った衛星デジタル放送です。従来のBSアナログ放送は、2011年には廃止されることになっています。

・デジタルならではの高画質･高音質です。
・ワイド画面のハイビジョン放送が主流です。
・ラジオ放送やデータ放送などの多様なチャンネルがあります。
・デジタルならではの視聴者参加型の双方向通信番組が楽しめます。
・受信には、BSデジタル放送対応の衛星アンテナが必要です。
（110度CSデジタル放送と共用のアンテナを使います。）
・一部の有料放送やNHKを除いて、無料で楽しめます。

110度CS デジタル放送

BSデジタルの放送衛星と同じ軌道にある通信衛星（Communication（コミュニケーション） Satellite（サテライト））を使った衛星デジタル放送です。
代表的なサービスに、「e2 by スカパー！」があります。スポーツ、映画、音楽などの多数の専門チャンネルから、見たいチャンネルを契約して視聴します。（有料）

・デジタルならではの高画質･高音質です。
・多様で専門的なチャンネルがあります。
・受信には、110度CSデジタル放送対応の衛星アンテナが必要です。（BSデジタル放送と共用のアンテナを使います。）
・見たいチャンネルを契約して視聴します。（一部の無料放送を除いて有料）

デジタル放送の特長

デジタル放送（地上デジタル /BS デジタル /110 度 CS デジタル）には、アナログ放送では得られない、次のような特長があります。

■ワイド画面に広がる高画質！
デジタルハイビジョン放送では、高精細で美しい映像が楽しめます。また、最初から 16：9 のワイド画面で撮影されているのもハイビジョン放送の特長です。ハイビジョン放送ならではの、立体的でリアルな映像がワイド画面いっぱいに広がります。

■CD 相当の高音質と臨場感あふれるサラウンド！
CD と同等のクリアでダイナミックな高音質が楽しめます。また、映画やスポーツを臨場感あふれる「5.1ch サラウンド」放送で楽しめます。
また、高音質を生かしたラジオ放送も充実しています。

5.1ch サラウンドを楽しむには

● 本機のデジタル音声出力を MPEG-2 AAC デコーダー搭載の AV アンプなどにつないでください。
(☞113 ページ)

■暮らしに役立つデータ放送！
番組と連動した情報や最新のニュース、お住まいの地域の地震気象情報など、身近な暮らしの情報も見られます。

■電話回線で番組に参加できる双方向通信サービス！
デジタル放送では、電話回線をつなぐことで、放送局との双方向通信ができます。アンケートに答えたり投票したり、視聴中の番組に参加できるようになります。

■番組表で好きな番組をいつでもチェック！
番組表をテレビ画面に表示して、見たい番組を探せます。また、週間番組表で好きなチャンネルの番組の視聴や録画を予約するのも簡単です。

■デジタルならではのマルチなサービス！
デジタル放送では、1 つの放送局で複数の放送を同時に送信するサービスがあります。たとえば、警戒警報などが発令されたときの緊急警報放送や、降雨などで受信がとぎれがちになったときなどに画質を落として放送する降雨対応放送、番組の続きを別チャンネルで放送するイベントリレー放送などがあります。画面の案内に従って操作すると、これらの放送を切り換えて見ることができます。
また、同じチャンネルで最大 3 方向からの映像を同時に放送するマルチビュー放送もあります。たとえば、コンサートやスポーツなどのマルチビュー放送では、3 つの角度からの映像を信号切換ボタンで切り換えて楽しめます。

地上アナログ放送地域コード／ホスト局一覧表

- 地上アナログ放送地域コード別に設定されたリモコン番号と受信チャンネル・放送局名は、当社の調査によるものです。
- ［網掛け］は、番組表情報の取得チャンネル（ホスト局）です。
- ※印の放送局は、設定された地域では番組表に表示されません。
- 表の地域名と受信チャンネルは目安です。より多くのチャンネルが受信できる地域名を選んでください。

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	地域名	地域コード	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
北海道	札幌	001	1 北海道放送		3 NHK 総合	17 テレビ北海道	5 札幌テレビ			27 北海道文化放送		35 北海道テレビ		12 NHK 教育
	小樽	002		2 NHK 教育		4 北海道テレビ		24 テレビ北海道	7 札幌テレビ	26 北海道文化放送	9 北海道放送		11 NHK 総合	
	旭川	003		2 NHK 教育		33 テレビ北海道			7 札幌テレビ	37 北海道文化放送	9 NHK 総合	39 北海道テレビ	11 北海道放送	
	名寄	004				4 NHK 総合		6 札幌テレビ	24 北海道テレビ	26 北海道文化放送		10 北海道放送		12 NHK 教育
	稚内	005		30 NHK 教育		24 北海道テレビ			22 札幌テレビ	26 北海道文化放送	28 NHK 総合	10 北海道放送		
	室蘭	006		2 NHK 教育				29 テレビ北海道	7 札幌テレビ	37 北海道文化放送	9 NHK 総合	39 北海道テレビ	11 北海道放送	
	苫小牧	007		49 NHK 教育				47 テレビ北海道	57 札幌テレビ	53 北海道文化放送	51 NHK 総合	61 北海道テレビ	55 北海道放送	
	函館	008				4 NHK 総合	21 テレビ北海道	6 北海道放送	35 北海道テレビ	27 北海道文化放送		10 NHK 教育		12 札幌テレビ
	帯広	009				4 NHK 総合		6 北海道放送	34 北海道テレビ	32 北海道文化放送		10 札幌テレビ		12 NHK 教育
	釧路	010		2 NHK 教育				39 北海道テレビ	7 札幌テレビ	41 北海道文化放送	9 NHK 総合		11 北海道放送	
	網走	011	1 北海道放送		3 NHK 総合		5 札幌テレビ		35 北海道テレビ	27 北海道文化放送				12 NHK 教育
	北見	012		2 NHK 教育				61 北海道テレビ	7 札幌テレビ	59 北海道文化放送	9 NHK 総合		53 北海道放送	
青森	青森	013	1 青森放送		3 NHK 総合	34 青森朝日放送	5 NHK 教育			27※ 北海道文化放送			35※ 北海道テレビ	38 青森テレビ
	八戸	014		2※ 岩手放送	37※ テレビ岩手	31 青森朝日放送	12※ 札幌テレビ		7 NHK 教育	27※ 岩手朝日テレビ	9 NHK 総合	29※ めんこいテレビ	11 青森放送	33 青森テレビ
	むつ	015				4 NHK 総合		56 青森朝日放送				10 青森放送	58 青森テレビ	12 NHK 教育
岩手	盛岡	016	1※ 東北放送	33 めんこいテレビ	35 テレビ岩手	4 NHK 総合		6 岩手放送	32※ 東日本放送	8 NHK 教育	34※ ミヤギテレビ	38※ 青森テレビ	31 岩手朝日テレビ	12※ 仙台放送
	釜石	017		2 NHK 総合	58 テレビ岩手						60 めんこいテレビ	10 岩手放送	62 岩手朝日テレビ	12 NHK 教育
	二戸	018		2 岩手放送	37 テレビ岩手		5 NHK 総合				29 めんこいテレビ		27 岩手朝日テレビ	12 NHK 教育
宮城	仙台	019	1 東北放送		3 NHK 総合		5 NHK 教育		32 東日本放送		34 ミヤギテレビ			12 仙台放送
	石巻	020	59 東北放送		51 NHK 総合		49 NHK 教育		61 東日本放送		55 ミヤギテレビ			57 仙台放送
	気仙沼	021		2 NHK 総合		4 東北放送		6 仙台放送	43 東日本放送		37 ミヤギテレビ	10 NHK 教育		
秋田	秋田	022		2 NHK 教育			31 秋田朝日放送				9 NHK 総合		11 秋田放送	37 秋田テレビ
	大館	023	1※ 青森放送			4 NHK 総合	59 秋田朝日放送	6 秋田放送		8 NHK 教育				57 秋田テレビ
	大曲	024		43 NHK 教育			41 秋田朝日放送				45 NHK 総合		47 秋田放送	51 秋田テレビ
山形	山形	025				4 NHK 教育		36 テレビユー山形		8 NHK 総合		10 山形放送	30 さくらんぼテレビ	38 山形テレビ
	鶴岡	026	1 山形放送		3 NHK 総合			6 NHK 教育		22 テレビユー山形			24 さくらんぼテレビ	39 山形テレビ
	米沢	027				50 NHK 教育		56 テレビユー山形		52 NHK 総合		54 山形放送	60 さくらんぼテレビ	58 山形テレビ
福島	福島	028	1※ 東北放送	2 NHK 教育		31 テレビユー福島		33 福島中央テレビ	32※ 東日本放送	34※ ミヤギテレビ	9 NHK 総合	35 福島放送	11 福島テレビ	12※ 仙台放送
	いわき	029	1※ 東北放送	32 テレビユー福島		4 NHK 総合		34 福島中央テレビ	61※ 東日本放送	8 福島テレビ		10 NHK 教育	12※ 仙台放送	36 福島放送
	会津若松	030	1 NHK 総合		3 NHK 教育	47 テレビユー福島		6 福島テレビ	32※ 東日本放送	37 福島中央テレビ	34※ ミヤギテレビ	41 福島放送		12※ 仙台放送
茨城	水戸	031	44 NHK 総合		46 NHK 教育	42 日本テレビ	16※ 放送大学	40 TBS テレビ		38 フジテレビ	39 チバテレビ	36 テレビ朝日		32 テレビ東京
	日立	032	52 NHK 総合		50 NHK 教育	54 日本テレビ		56 TBS テレビ		58 フジテレビ		60 テレビ朝日		62 テレビ東京
栃木	宇都宮	033	51 NHK 総合		49 NHK 教育	53 日本テレビ	16※ 放送大学	55 TBS テレビ		57 フジテレビ	31 とちぎテレビ	41 テレビ朝日	48※ 群馬テレビ	44 テレビ東京
	矢板	034	40 NHK 総合		30 NHK 教育	36 日本テレビ		42 TBS テレビ		45 フジテレビ	33 とちぎテレビ	59 テレビ朝日		61 テレビ東京
群馬	前橋	035	52 NHK 総合		50 NHK 教育	54 日本テレビ	48 群馬テレビ	56 TBS テレビ	40※ 放送大学	58 フジテレビ	38 テレ玉	60 テレビ朝日		62 テレビ東京
	桐生	036	51 NHK 総合		57 NHK 教育	53 日本テレビ	41 群馬テレビ	55 TBS テレビ	40※ 放送大学	35 フジテレビ		59 テレビ朝日		61 テレビ東京
埼玉	さいたま	037	1 NHK 総合	14 MX テレビ	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16※ 放送大学	6 TBS テレビ	38 テレ玉	8 フジテレビ	46※ チバテレビ	10 テレビ朝日	48※ 群馬テレビ	12 テレビ東京
	熊谷	038	51 NHK 総合		35 NHK 教育	53 日本テレビ		55 TBS テレビ	30 テレ玉	57 フジテレビ		59 テレビ朝日		61 テレビ東京
	秩父	039	14 NHK 総合		49 NHK 教育	16 日本テレビ		18 TBS テレビ	47 テレ玉	29 フジテレビ		38 テレビ朝日		44 テレビ東京
千葉	千葉	040	1 NHK 総合	14 MX テレビ	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16※ 放送大学	6 TBS テレビ	42 tvk テレビ	8 フジテレビ	46 チバテレビ	10 テレビ朝日	38※ テレ玉	12 テレビ東京
	銚子	041	51 NHK 総合		49 NHK 教育	53 日本テレビ		55 TBS テレビ		57 フジテレビ	39 チバテレビ	59 テレビ朝日		61 テレビ東京

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	地域名	地域コード	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
東京	東京	042	1 NHK 総合	14 MX テレビ	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16※ 放送大学	6 TBS テレビ	42 tvk テレビ	8 フジテレビ	46 チバテレビ	10 テレビ朝日	38 テレ玉	12 テレビ東京
	八王子	043	33 NHK 総合	40 MX テレビ	29 NHK 教育	35 日本テレビ		37 TBS テレビ		31 フジテレビ		45 テレビ朝日		62 テレビ東京
	多摩市	044	49 NHK 総合	61 MX テレビ	47 NHK 教育	51 日本テレビ		53 TBS テレビ		55 フジテレビ		57 テレビ朝日		59 テレビ東京
神奈川	横浜・川崎	045	1 NHK 総合	14 MX テレビ	3 NHK 教育	4 日本テレビ	16※ 放送大学	6 TBS テレビ	42 tvk テレビ	8 フジテレビ		10 テレビ朝日		12 テレビ東京
	横浜みなと	046	52 NHK 総合		50 NHK 教育	54 日本テレビ		56 TBS テレビ	48 tvk テレビ	58 フジテレビ		60 テレビ朝日		62 テレビ東京
	平塚	047	33 NHK 総合		29 NHK 教育	35 日本テレビ		37 TBS テレビ	31 tvk テレビ	39 フジテレビ		41 テレビ朝日		43 テレビ東京
	秦野	048	47 NHK 総合		49 NHK 教育	51 日本テレビ		53 TBS テレビ	61 tvk テレビ	55 フジテレビ		57 テレビ朝日		59 テレビ東京
	小田原	049	52 NHK 総合		50 NHK 教育	54 日本テレビ		56 TBS テレビ	46 tvk テレビ	58 フジテレビ		60 テレビ朝日		62 テレビ東京
山梨	甲府	050	1 NHK 総合		3 NHK 教育	4※ 日本テレビ	5 山梨放送	37 テレビ山梨	6※ TBS テレビ	8※ フジテレビ		10※ テレビ朝日		12※ テレビ東京
長野	長野１	051		44 NHK 総合		50 長野朝日放送		40 テレビ信州			46 NHK 教育	42 長野放送	48 信越放送	
	長野２	052		2 NHK 総合		20 長野朝日放送		30 テレビ信州			9 NHK 教育	38 長野放送	11 信越放送	
	松本	053		44 NHK 総合		50 長野朝日放送		48 テレビ信州			46 NHK 教育	42 長野放送	40 信越放送	
	飯田	054	44 長野朝日放送		3 NHK 教育	4 NHK 総合		6 信越放送		42 テレビ信州		40 長野放送		
	岡谷・諏訪	055	61 長野朝日放送			4 NHK 総合		6 信越放送		8 NHK 教育	59 テレビ信州	47 長野放送		
新潟	新潟	056			21 新潟テレビ 21	29 テレビ新潟	5 新潟放送			8 NHK 総合		35 新潟総合テレビ		12 NHK 教育
	上越	057	1 NHK 教育		3 NHK 総合	27 テレビ新潟	37 新潟テレビ 21					10 新潟放送	33 新潟総合テレビ	
富山	富山	058	1 北日本放送	6※ 北陸放送	3 NHK 総合	37※ 石川テレビ		32 チューリップテレビ				10 NHK 教育		34 富山テレビ
	高岡	059	50 北日本放送		48 NHK 総合			42 チューリップテレビ				46 NHK 教育		44 富山テレビ
石川	金沢	060	1※ 北日本放送	25 北陸朝日放送	34※ 富山テレビ	4 NHK 総合		6 北陸放送		8 NHK 教育		33 テレビ金沢		37 石川テレビ
	七尾	061		59 北陸朝日放送			5 NHK 教育				9 NHK 総合	57 テレビ金沢	11 北陸放送	55 石川テレビ
福井	福井	062			3 NHK 教育			6※ 北陸放送			9 NHK 総合		11 福井放送	39 福井テレビ
	敦賀	063						6 NHK 総合		8 福井放送		38 福井テレビ		12 NHK 教育
岐阜	岐阜	064	1 東海テレビ		39 NHK 総合		5 CBC テレビ	25 テレビ愛知	37 岐阜放送	33 三重テレビ	9 NHK 教育		11 メ～テレ	35 中京テレビ
	高山	065		2 NHK 教育		4 NHK 総合		6 CBC テレビ	38 岐阜放送	8 東海テレビ			26 中京テレビ	12※ 名古屋テレビ
	中津川	066				4 NHK 総合		6※ 名古屋テレビ	28 岐阜放送	8 CBC テレビ		10 東海テレビ	26 中京テレビ	12 NHK 教育
静岡	静岡	067	1※ 東海テレビ	2 NHK 教育		31 静岡第一テレビ	5※ CBC テレビ	33 静岡朝日テレビ	25※ テレビ愛知		9 NHK 総合		11 静岡放送	35 テレビ静岡
	浜松	068	1※ 東海テレビ	30 静岡第一テレビ		4 NHK 総合	5※ CBC テレビ	6 静岡放送	25※ テレビ愛知	8 NHK 教育		28 静岡朝日テレビ		34 テレビ静岡
	富士	069		54 NHK 教育		27 静岡第一テレビ		29 静岡朝日テレビ			52 NHK 総合		41 静岡放送	39 テレビ静岡
	三島・沼津	070		51 NHK 教育		61 静岡第一テレビ		57 静岡朝日テレビ			53 NHK 総合		55 静岡放送	59 テレビ静岡
	島田	071	1 NHK 総合		3 NHK 教育	48 静岡第一テレビ	5 静岡放送	50 静岡朝日テレビ						58 テレビ静岡
	藤枝	072	42 NHK 総合		44 NHK 教育	24 静岡第一テレビ	40 静岡放送	26 静岡朝日テレビ						38 テレビ静岡
愛知	名古屋	073	1 東海テレビ		3 NHK 総合		5 CBC テレビ	37 岐阜放送	35 中京テレビ	33 三重テレビ	9 NHK 教育		11 メ～テレ	25 テレビ愛知
	豊橋	074	56 東海テレビ		54 NHK 総合		62 CBC テレビ		58 中京テレビ		50 NHK 教育		60 メ～テレ	52 テレビ愛知
	豊田	075	57 東海テレビ		53 NHK 総合		55 CBC テレビ		59 中京テレビ		51 NHK 教育		61 メ～テレ	49 テレビ愛知
三重	津	076	1 東海テレビ	25 テレビ愛知	31 NHK 総合	4※ 毎日放送	5 CBC テレビ	6※ ABC テレビ	33 三重テレビ	8※ 関西テレビ	9 NHK 教育	10※ 読売テレビ	11 メ～テレ	35 中京テレビ
	伊勢	077	57 東海テレビ		53 NHK 総合		55 CBC テレビ		59 三重テレビ		49 NHK 教育		61 メ～テレ	47 中京テレビ
	名張	078	62 東海テレビ		52 NHK 総合		60 CBC テレビ		58 三重テレビ		50 NHK 教育		56 メ～テレ	54 中京テレビ
滋賀	大津	079		28 NHK 総合		36 毎日放送		38 ABC テレビ	34 KBS 京都	40 関西テレビ	30 びわ湖放送	42 読売テレビ		46 NHK 教育
	彦根	080		52 NHK 総合		54 毎日放送		58 ABC テレビ		60 関西テレビ	56 びわ湖放送	62 読売テレビ		50 NHK 教育
京都	京都	081		2 NHK 総合	19 テレビ大阪	4 毎日放送		6 ABC テレビ	34 KBS 京都	8 関西テレビ	36 サンテレビ	10 読売テレビ		12 NHK 教育
	舞鶴	082		51 NHK 総合		53 毎日放送		55 ABC テレビ	57 KBS 京都	59 関西テレビ		61 読売テレビ		49 NHK 教育
	福知山	083		50 NHK 総合		54 毎日放送		58 ABC テレビ	56 KBS 京都	60 関西テレビ		62 読売テレビ		52 NHK 教育
大阪	大阪	084		2 NHK 総合	19 テレビ大阪	4 毎日放送		6 ABC テレビ	34 KBS 京都	8 関西テレビ	36 サンテレビ	10 読売テレビ		12 NHK 教育
兵庫	神戸	085		28 NHK 総合	19 テレビ大阪	31 毎日放送		41 ABC テレビ		43 関西テレビ	36 サンテレビ	47 読売テレビ		45 NHK 教育
	神戸灘	086		52 NHK 総合	19 テレビ大阪	54 毎日放送		56 ABC テレビ		58 関西テレビ	62 サンテレビ	60 読売テレビ		50 NHK 教育
	川西	087		29 NHK 総合		35 毎日放送		37 ABC テレビ		39 関西テレビ	33 サンテレビ	41 読売テレビ		31 NHK 教育
	三木	088		44 NHK 総合		34 毎日放送		38 ABC テレビ		40 関西テレビ	36 サンテレビ	42 読売テレビ		46 NHK 教育

地上アナログ放送地域コード／ホスト局一覧表

	リモコン番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	地域名	地域コード	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名	受信チャンネル 放送局名
兵庫	姫路	089		50 NHK 総合		54 毎日放送		58 ABC テレビ		60 関西テレビ	56 サンテレビ	62 読売テレビ		52 NHK 教育
	明石	090		51 NHK 総合	19 テレビ大阪	53 毎日放送		57 ABC テレビ		59 関西テレビ	55 サンテレビ	61 読売テレビ		49 NHK 教育
奈良	奈良	091		51 NHK 総合	19 テレビ大阪	4 毎日放送		6 ABC テレビ	34 KBS 京都	8 関西テレビ	36 サンテレビ	10 読売テレビ	55 奈良テレビ	12 NHK 教育
	五条	092		43 NHK 総合		33 毎日放送		35 ABC テレビ		37 関西テレビ		39 読売テレビ	41 奈良テレビ	45 NHK 教育
和歌山	和歌山	093		32 NHK 総合		42 毎日放送	30 テレビ和歌山	44 ABC テレビ		46 関西テレビ		48 読売テレビ	55 ※ 奈良テレビ	25 NHK 教育
	海南・田辺	094		50 NHK 総合		54 毎日放送	56 テレビ和歌山	58 ABC テレビ		60 関西テレビ		62 読売テレビ		52 NHK 教育
鳥取	鳥取	095	1 日本海テレビ		3 NHK 総合	4 NHK 教育						22 山陰放送		24 山陰中央テレビ
島根	松江	096	30 日本海テレビ					6 NHK 総合		34 山陰中央テレビ		10 山陰放送		12 NHK 教育
	浜田	097		2 NHK 総合	54 日本海テレビ		5 山陰放送			58 山陰中央テレビ	9 NHK 教育			
岡山	岡山	098	35 岡山放送	23 テレビせとうち	3 NHK 教育		5 NHK 総合		25 瀬戸内海放送		9 西日本放送		11 山陽放送	
	津山	099	60 岡山放送	2 NHK 総合	56 テレビせとうち					62 瀬戸内海放送	58 西日本放送		7 山陽放送	12 NHK 教育
	笠岡	100	60 岡山放送	2 NHK 総合	22 テレビせとうち	4 NHK 教育		6 山陽放送	55 瀬戸内海放送		34 西日本放送			
広島	広島	101	31 テレビ新広島		3 NHK 総合	4 中国放送			7 NHK 教育		35 広島ホームテレビ			12 広島テレビ
	福山	102	54 テレビ新広島		3 NHK 教育		5 NHK 総合		7 中国放送		57 広島ホームテレビ		11 広島テレビ	
	尾道	103	1 NHK 総合	26 テレビ新広島					7 NHK 教育		24 広島ホームテレビ	10 中国放送		12 広島テレビ
	呉	104	1 NHK 教育	26 テレビ新広島			5 広島テレビ				9 中国放送	24 広島ホームテレビ	11 NHK 総合	
山口	山口	105	1 NHK 教育	28 山口朝日放送	35 ※ 広島ホームテレビ	4 ※ RKB 毎日放送	19 ※ TVQ 九州放送		38 テレビ山口	31 ※ テレビ新広島	9 NHK 総合	10 ※ テレビ西日本	11 山口放送	37 ※ 福岡放送
	下関	106	41 NHK 教育	21 山口朝日放送		4 山口放送	23 ※ TVQ 九州放送		33 テレビ山口		39 NHK 総合	10 ※ テレビ西日本		
	宇部	107	55 NHK 教育	24 山口朝日放送					44 テレビ山口		58 NHK 総合	10 ※ テレビ西日本	61 山口放送	
	岩国	108	1 NHK 教育	28 山口朝日放送					22 テレビ山口		9 NHK 総合		11 山口放送	
徳島	徳島	109	1 四国放送	19 ※ テレビ大阪	3 NHK 総合	4 毎日放送	30 ※ テレビ和歌山	6 ABC テレビ	36 ※ サンテレビ	8 関西テレビ	9 ※ 西日本放送	10 ※ 読売テレビ	11 ※ 山陽放送	38 NHK 教育
香川	高松	110	19 テレビせとうち		39 NHK 教育	4 ※ 毎日放送	37 NHK 総合	6 ※ ABC テレビ	33 瀬戸内海放送	8 ※ 関西テレビ	41 西日本放送	10 ※ 読売テレビ	29 山陽放送	31 岡山放送
	丸亀	111	46 テレビせとうち		40 NHK 教育		44 NHK 総合		42 瀬戸内海放送		50 西日本放送		48 山陽放送	52 岡山放送
愛媛	松山	112	23 ※ テレビせとうち	2 NHK 教育	12 ※ 広島テレビ	35 ※ 広島ホームテレビ	31 ※ テレビ新広島	6 NHK 総合	25 愛媛朝日テレビ	29 あいテレビ	9 ※ 西日本放送	10 南海放送	11 ※ 山陽放送	37 テレビ愛媛
	新居浜	113	23 ※ テレビせとうち	2 NHK 総合	12 ※ 広島テレビ	4 NHK 教育	31 ※ テレビ新広島	6 南海放送	14 愛媛朝日テレビ	27 あいテレビ	9 ※ 西日本放送	35 ※ 広島ホームテレビ	11 ※ 山陽放送	36 テレビ愛媛
	今治	114		32 NHK 総合		30 NHK 教育		34 南海放送	17 愛媛朝日テレビ	27 あいテレビ				36 テレビ愛媛
	宇和島	115	1 NHK 教育					6 NHK 総合	16 愛媛朝日テレビ	25 あいテレビ		10 南海放送		27 テレビ愛媛
高知	高知	116				4 NHK 総合		6 NHK 教育		8 高知放送		38 テレビ高知	40 高知さんさんテレビ	
福岡	福岡	117	1 九州朝日放送	36 ※ サガテレビ	3 NHK 総合	4 RKB 毎日放送	19 TVQ 九州放送	6 NHK 教育			9 テレビ西日本		11 ※ 熊本放送	37 福岡放送
	久留米	118	57 九州朝日放送	36 ※ サガテレビ	46 NHK 総合	48 RKB 毎日放送	14 TVQ 九州放送	54 NHK 教育			60 テレビ西日本		11 ※ 熊本放送	52 福岡放送
	大牟田	119	58 九州朝日放送	36 ※ サガテレビ	53 NHK 総合	61 RKB 毎日放送	19 TVQ 九州放送	50 NHK 教育			55 テレビ西日本		11 ※ 熊本放送	43 福岡放送
	北九州	120		2 九州朝日放送	35 福岡放送		23 TVQ 九州放送	6 NHK 総合		8 RKB 毎日放送		10 テレビ西日本		12 NHK 教育
	行橋	121		57 九州朝日放送	43 福岡放送		19 TVQ 九州放送	49 NHK 総合		60 RKB 毎日放送		54 テレビ西日本		46 NHK 教育
佐賀	佐賀 1	122	57 九州朝日放送	40 NHK 教育	52 福岡放送	36 サガテレビ	14 TVQ 九州放送	34 ※ テレビ熊本	5 ※ 長崎放送	48 RKB 毎日放送	38 NHK 総合	60 ※ テレビ西日本		
	佐賀 2	123	57 九州朝日放送	40 NHK 教育	52 福岡放送	36 サガテレビ	14 TVQ 九州放送	34 ※ テレビ熊本	5 ※ 長崎放送	16 ※ 熊本朝日放送	38 NHK 総合	60 ※ テレビ西日本	11 熊本放送	22 ※ 熊本県民テレビ
長崎	長崎	124	1 NHK 教育	57 ※ 九州朝日放送	3 NHK 総合	4 ※ RKB 毎日放送	5 長崎放送	34 ※ テレビ熊本	25 長崎国際テレビ	9 ※ テレビ西日本	27 長崎文化放送	11 ※ 熊本放送	37 テレビ長崎	22 ※ 熊本県民テレビ
	佐世保	125		2 NHK 教育					17 長崎国際テレビ	8 NHK 総合	31 長崎文化放送	10 長崎放送	35 テレビ長崎	
	諫早	126	51 NHK 教育		59 NHK 総合		62 長崎放送		32 長崎国際テレビ		56 長崎文化放送		39 テレビ長崎	
熊本	熊本	127	1 ※ 九州朝日放送	2 NHK 教育	16 熊本朝日放送	22 熊本県民テレビ	5 ※ 長崎放送	34 テレビ熊本	37 ※ テレビ長崎	36 ※ サガテレビ	9 NHK 総合	19 ※ TVQ 九州放送	11 熊本放送	4 ※ RKB 毎日放送
大分	大分	128	24 大分朝日放送	38 ※ テレビ山口	3 NHK 総合	4 ※ RKB 毎日放送	5 大分放送	10 ※ 南海放送	36 テレビ大分	37 ※ 福岡放送	9 ※ テレビ西日本	19 ※ TVQ 九州放送	11 ※ 山口放送	12 NHK 教育
	中津	129	17 大分朝日放送		48 NHK 総合		51 大分放送		37 テレビ大分					45 NHK 教育
宮崎	宮崎	130	1 ※ 南日本放送		35 テレビ宮崎				32 ※ 鹿児島放送	8 NHK 総合	38 ※ 鹿児島テレビ	10 宮崎放送		12 NHK 教育
	延岡	131	1 ※ 南日本放送	2 NHK 教育		4 NHK 総合		6 宮崎放送	32 ※ 鹿児島放送	39 テレビ宮崎	38 ※ 鹿児島テレビ			
鹿児島	鹿児島	132	1 南日本放送	34 ※ テレビ熊本	3 NHK 総合	35 ※ テレビ宮崎	5 NHK 教育	10 ※ 宮崎放送	32 鹿児島放送	22 ※ 熊本県民テレビ	38 鹿児島テレビ	16 ※ 熊本朝日放送	11 ※ 熊本放送	30 鹿児島読売テレビ
	阿久根	133		34 ※ テレビ熊本		23 鹿児島放送	17 鹿児島読売テレビ	35 鹿児島テレビ	22 ※ 熊本県民テレビ	8 NHK 総合	16 ※ 熊本朝日放送	10 南日本放送	11 ※ 熊本放送	12 NHK 教育
	鹿屋	134		2 NHK 教育		4 NHK 総合		6 南日本放送	31 鹿児島放送		33 鹿児島テレビ			25 鹿児島読売テレビ
沖縄	那覇	135		2 NHK 総合						8 沖縄テレビ		10 琉球放送	28 琉球朝日放送	12 NHK 教育

（2006 年 8 月現在）

地上アナログ放送局コード一覧表

ホームメニューから「個別チャンネル設定」で放送局コード（4 桁の数字）を入力して設定するには、こちらの放送局コード一覧表をご覧ください。

地区		放送局名	放送局コード
北海道		NHK 総合	0336
		NHK 教育	0346
		北海道放送	0257
		札幌テレビ	0261
		北海道文化放送	0283
		北海道テレビ	0291
		テレビ北海道	0273
青森		NHK 総合	0592
		NHK 教育	0602
		青森テレビ	0294
		青森放送	0513
		青森朝日放送	0290
秋田		NHK 総合	1360
		NHK 教育	1370
		秋田放送	0267
		秋田テレビ	0293
		秋田朝日放送	0287
岩手		NHK 総合	0848
		NHK 教育	0858
		岩手放送	0262
		テレビ岩手	0547
		めんこいテレビ	0289
		岩手朝日テレビ	0276
山形		NHK 総合	1616
		NHK 教育	1626
		テレビユー山形	0292
		山形放送	0266
		さくらんぼテレビ	0286
		山形テレビ	0550
宮城		NHK 総合	1104
		NHK 教育	1114
		東北放送	0769
		ミヤギテレビ	0546
		仙台放送	0268
		東日本放送	0288
福島		NHK 総合	1872
		NHK 教育	1882
		テレビユー福島	0543
		福島中央テレビ	0545
		福島テレビ	0523
		福島放送	0803
関東	東京	NHK 総合	2128
		NHK 教育	2138
		TBS テレビ	0518
		日本テレビ	0260
		フジテレビ	0264
		テレビ朝日	0522
		テレビ東京	0524
		MX テレビ	0270
	埼玉	テレ玉	0806
	千葉	チバテレビ	0302
	神奈川	tvk テレビ	0298
	群馬	群馬テレビ	0304
	栃木	とちぎテレビ	0535
新潟		NHK 総合	2384
		NHK 教育	2394
		新潟放送	0517
		テレビ新潟	0285
		新潟総合テレビ	1059
		新潟テレビ 21	0277
長野		NHK 総合	2640
		NHK 教育	2650
		長野放送	1062
		長野朝日放送	0532
		テレビ信州	0542
		信越放送	0779

地区		放送局名	放送局コード
山梨		NHK 総合	2896
		NHK 教育	2906
		山梨放送	0773
		テレビ山梨	0549
静岡		NHK 総合	3920
		NHK 教育	3930
		静岡放送	1291
		テレビ静岡	1315
		静岡朝日テレビ	1057
		静岡第一テレビ	0799
中部		NHK 総合	4176
		NHK 教育	4186
中部	（愛知）	東海テレビ	1281
		CBC テレビ	1029
		メ〜テレ	1547
		中京テレビ	1571
		テレビ愛知	0537
中部	岐阜	岐阜放送	1061
	三重	三重テレビ	1313
富山		NHK 総合	3152
		NHK 教育	3162
		チューリップテレビ	0544
		北日本放送	1025
		富山テレビ	0802
石川		NHK 総合	3408
		NHK 教育	3418
		石川テレビ	0805
		テレビ金沢	0801
		北陸朝日放送	0281
		北陸放送	0774
福井		NHK 総合	3664
		NHK 教育	3674
		福井放送	1035
		福井テレビ	0295
関西	大阪	NHK 総合	4432
		NHK 教育	4442
		毎日放送	0516
		ABC テレビ	1030
		関西テレビ	0520
		読売テレビ	0778
		テレビ大阪	0275
	京都	KBS 京都	1058
	兵庫	サンテレビ	0548
	奈良	奈良テレビ	0311
	和歌山	テレビ和歌山	1054
	滋賀	びわ湖放送	0798
岡山		NHK 総合	5200
		NHK 教育	5210
		山陽放送	1803
		岡山放送	1827
		テレビせとうち	0279
広島		NHK 総合	5456
		NHK 教育	5466
		中国放送	0772
		広島テレビ	0780
		テレビ新広島	1055
		広島ホームテレビ	2083
鳥取		NHK 総合	4688
		NHK 教育	4698
		日本海テレビ	1537
		山陰放送	1034
島根		NHK 総合	4944
		NHK 教育	4954
		山陰中央テレビ	1314
山口		NHK 総合	5712
		NHK 教育	5722
		山口放送	2059
		テレビ山口	1318
		山口朝日放送	0284

地区	放送局名	放送局コード
香川	NHK 総合	6224
	NHK 教育	6234
	西日本放送	0265
	瀬戸内海放送	1569
徳島	NHK 総合	5968
	NHK 教育	5978
	四国放送	1793
愛媛	NHK 総合	6480
	NHK 教育	6490
	南海放送	1290
	テレビ愛媛	1317
	あいテレビ	0541
	愛媛朝日テレビ	0793
高知	NHK 総合	6736
	NHK 教育	6746
	高知さんさんテレビ	0296
	テレビ高知	1574
	高知放送	0776
福岡	NHK 総合	6992
	NHK 教育	7002
	九州朝日放送	2049
	RKB 毎日放送	1028
	テレビ西日本	0521
	福岡放送	1573
	TVQ 九州放送	0531
佐賀	NHK 総合	7760
	NHK 教育	7770
	サガテレビ	0804
鹿児島	NHK 総合	8528
	NHK 教育	8538
	南日本放送	2305
	鹿児島テレビ	1830
	鹿児島放送	0800
	鹿児島読売テレビ	1310
宮崎	NHK 総合	8272
	NHK 教育	8282
	宮崎放送	1546
	テレビ宮崎	2339
大分	NHK 総合	8016
	NHK 教育	8026
	テレビ大分	1060
	大分朝日放送	0280
	大分放送	1541
熊本	NHK 総合	7504
	NHK 教育	7514
	熊本放送	2315
	熊本朝日放送	0528
	熊本県民テレビ	0278
	テレビ熊本	1570
長崎	NHK 総合	7248
	NHK 教育	7258
	長崎国際テレビ	1049
	長崎文化放送	0539
	テレビ長崎	1829
	長崎放送	1285
沖縄	NHK 総合	8784
	NHK 教育	8794
	琉球放送	1802
	琉球朝日放送	0540
	沖縄テレビ	1032
全国	衛星第 1	0074
	衛星第 2	0076
	WOWOW	0073

地上デジタル放送チャンネル一覧表

お住まいの地域	北海道（札幌）		北海道（函館）		北海道（旭川）		北海道（帯広）		北海道（釧路）		北海道（北見）		北海道（室蘭）	
放送局名	3	NHK 総合・札幌	3	NHK 総合・函館	3	NHK 総合・旭川	3	NHK 総合・帯広	3	NHK 総合・釧路	3	NHK 総合・北見	3	NHK 総合・室蘭
	2	NHK 教育・札幌	2	NHK 教育・函館	2	NHK 教育・旭川	2	NHK 教育・帯広	2	NHK 教育・釧路	2	NHK 教育・北見	2	NHK 教育・室蘭
	1	HBC 札幌	1	HBC 函館	1	HBC 旭川	1	HBC 帯広	1	HBC 釧路	1	HBC 北見	1	HBC 室蘭
	5	STV 札幌	5	STV 函館	5	STV 旭川	5	STV 帯広	5	STV 釧路	5	STV 北見	5	STV 室蘭
	6	HTB 札幌	6	HTB 函館	6	HTB 旭川	6	HTB 帯広	6	HTB 釧路	6	HTB 北見	6	HTB 室蘭
	8	UHB 札幌	8	UHB 函館	8	UHB 旭川	8	UHB 帯広	8	UHB 釧路	8	UHB 北見	8	UHB 室蘭
	7	TVH 札幌	7	TVH 函館	7	TVH 旭川	7	TVH 帯広	7	TVH 釧路	7	TVH 北見	7	TVH 室蘭

お住まいの地域	宮城		秋田		山形		岩手		福島		青森		東京	
放送局名	3	NHK 総合・仙台	1	NHK 総合・秋田	1	NHK 総合・山形	1	NHK 総合・盛岡	1	NHK 総合・福島	3	NHK 総合・青森	1	NHK 総合・東京
	2	NHK 教育・仙台	2	NHK 教育・秋田	2	NHK 教育・山形	2	NHK 教育・盛岡	2	NHK 教育・福島	2	NHK 教育・青森	2	NHK 教育・東京
	1	TBC テレビ	4	ABS 秋田放送	4	YBC 山形放送	6	IBC テレビ	8	福島テレビ	1	RAB 青森放送	4	日本テレビ
	8	仙台放送	8	AKT 秋田テレビ	5	YTS 山形テレビ	4	テレビ岩手	4	福島中央テレビ	6	ATV 青森テレビ	6	TBS
	4	ミヤギテレビ	5	AAB 秋田朝日放送	6	テレビュー山形	8	めんこいテレビ	5	KFB 福島放送	5	青森朝日放送	8	フジテレビジョン
	5	KHB 東日本放送			8	さくらんぼテレビ	5	岩手朝日テレビ	6	テレビュー福島			5	テレビ朝日
													7	テレビ東京
													9	TOKYO MX
													12	放送大学

お住まいの地域	神奈川		群馬		茨城		千葉		栃木		埼玉		長野	
放送局名	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・水戸	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・東京	1	NHK 総合・長野
	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・東京	2	NHK 教育・長野
	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	テレビ信州
	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS	5	abn 長野朝日放送
	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	6	SBC 信越放送
	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	8	NBS 長野放送
	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京		
	3	tvk	3	群馬テレビ	12	放送大学	3	チバテレビ	3	とちぎテレビ	3	テレ玉		
	12	放送大学	12	放送大学			12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学		

お住まいの地域	新潟		山梨		愛知		石川		静岡		福井		富山	
放送局名	1	NHK 総合・新潟	1	NHK 総合・甲府	3	NHK 総合・名古屋	1	NHK 総合・金沢	1	NHK 総合・静岡	1	NHK 総合・福井	3	NHK 総合・富山
	2	NHK 教育・新潟	2	NHK 教育・甲府	2	NHK 教育・名古屋	2	NHK 教育・金沢	2	NHK 教育・静岡	2	NHK 教育・福井	2	NHK 教育・富山
	6	BSN	4	YBS 山梨放送	1	東海テレビ	4	テレビ金沢	6	SBS	7	FBC テレビ	1	KNB 北日本放送
	8	NST	6	UTY	5	CBC	5	北陸朝日放送	8	テレビ静岡	8	福井テレビ	8	BBT 富山テレビ
	4	TeNY テレビ新潟			6	メ～テレ	6	MRO	4	静岡第一テレビ			6	チューリップテレビ
	5	新潟テレビ 21			4	中京テレビ	8	石川テレビ	5	静岡朝日テレビ				
					10	テレビ愛知								

■アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は 2006 年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は 2011 年 7 月までに、ＢＳアナログテレビ放送は 2011 年までに終了することが、国の法令によって定められています。

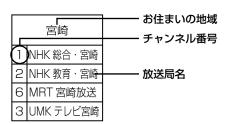
お住まいの地域	三重	岐阜	大阪	京都	兵庫	和歌山	奈良
放送局名	3 NHK 総合・津	3 NHK 総合・岐阜	1 NHK 総合・大阪	1 NHK 総合・京都	1 NHK 総合・神戸	1 NHK 総合・和歌山	1 NHK 総合・奈良
	2 NHK 教育・名古屋	2 NHK 教育・名古屋	2 NHK 教育・大阪	2 NHK 教育・大阪	2 NHK 教育・大阪	2 NHK 教育・大阪	2 NHK 教育・大阪
	1 東海テレビ	1 東海テレビ	4 MBS 毎日放送	4 MBS 毎日放送	4 MBS 毎日放送	4 MBS 毎日放送	4 MBS 毎日放送
	5 CBC	5 CBC	6 ABC テレビ	6 ABC テレビ	6 ABC テレビ	6 ABC テレビ	6 ABC テレビ
	6 メ～テレ	6 メ～テレ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ
	4 中京テレビ	4 中京テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ
	7 三重テレビ	8 岐阜テレビ	7 テレビ大阪	5 KBS 京都	3 サンテレビ	5 テレビ和歌山	9 奈良テレビ

お住まいの地域	滋賀	広島	岡山	島根	鳥取	山口	愛媛
放送局名	1 NHK 総合・大津	1 NHK 総合・広島	1 NHK 総合・岡山	3 NHK 総合・松江	3 NHK 総合・鳥取	1 NHK 総合・山口	1 NHK 総合・松山
	2 NHK 教育・大阪	2 NHK 教育・広島	2 NHK 教育・岡山	2 NHK 教育・松江	2 NHK 教育・鳥取	2 NHK 教育・山口	2 NHK 教育・松山
	4 MBS 毎日放送	3 RCC テレビ	4 RNC 西日本テレビ	8 山陰中央テレビ	8 山陰中央テレビ	4 KRY 山口放送	4 南海放送
	6 ABC テレビ	4 広島テレビ	5 KBS 瀬戸内海放送	6 BSS テレビ	6 BSS テレビ	3 tys テレビ山口	5 愛媛朝日
	8 関西テレビ	5 広島ホームテレビ	6 RSK テレビ	1 日本海テレビ	1 日本海テレビ	5 yab 山口朝日	6 あいテレビ
	10 読売テレビ	8 TSS	7 テレビせとうち				8 テレビ愛媛
	3 BBC びわ湖放送		8 OHK テレビ				

お住まいの地域	香川	徳島	高知	福岡	熊本	長崎	鹿児島
放送局名	1 NHK 総合・高松	3 NHK 総合・徳島	1 NHK 総合・高知	3 NHK 総合・福岡	1 NHK 総合・熊本	1 NHK 総合・長崎	3 NHK 総合・鹿児島
	2 NHK 教育・高松	2 NHK 教育・徳島	2 NHK 教育・高知	3 NHK 総合・北九州	2 NHK 教育・熊本	2 NHK 教育・長崎	2 NHK 教育・鹿児島
	4 RNC 西日本テレビ	1 四国放送	4 高知放送	2 NHK 教育・福岡	3 RKK 熊本放送	3 NBC 長崎放送	1 MBC 南日本放送
	5 KSB 瀬戸内海放送		6 テレビ高知	2 NHK 教育・北九州	8 TKU テレビ熊本	8 KTN テレビ長崎	8 KTS 鹿児島テレビ
	6 RSK テレビ		8 さんさんテレビ	1 KBC 九州朝日放送	4 KKT くまもと県民	5 NCC 長崎文化放送	5 KKB 鹿児島放送
	7 テレビせとうち			4 RKB 毎日放送	5 KAB 熊本朝日放送	4 NIB 長崎国際テレビ	4 KYT 鹿児島讀賣 TV
	8 OHK テレビ			5 FBS 福岡放送			
				7 TVQ 九州放送			
				8 TNC テレビ西日本			

お住まいの地域	宮崎	大分	佐賀	沖縄			
放送局名	1 NHK 総合・宮崎	1 NHK 総合・大分	1 NHK 総合・佐賀	1 NHK 総合・那覇			
	2 NHK 教育・宮崎	2 NHK 教育・大分	2 NHK 教育・佐賀	2 NHK 教育・那覇			
	6 MRT 宮崎放送	3 OBS 大分放送	3 STS サガテレビ	3 RBC テレビ			
	3 UMK テレビ宮崎	4 TOS テレビ大分		5 QAB 琉球朝日放送			
		5 OAB 大分朝日放送		8 沖縄テレビ（OTV）			

（2007 年 6 月現在）

■表の見方

画面に表示されるアイコンの説明

本機では、番組の内容や特長などをアイコン（機能などを表すマーク）でお知らせします。表示されるアイコンは、次のとおりです。

番組情報関連

アイコン	内容
テレビ	テレビ放送（映像＋音声）番組。
データ	独立型データ放送番組。
ラジオ	ラジオ放送番組。
d	番組とは別のデータ放送を行っている番組。
+d	番組の内容に連動したデータ放送を行っている番組。
525i SD	走査線が 525 本　インターレースの標準放送番組。
525P SD	走査線が 525 本　プログレッシブの標準放送番組。
750P HD	走査線が 750 本　プログレッシブのハイビジョン放送番組。
1125i HD	走査線が 1125本　インターレースのハイビジョン放送番組。
4:3	アスペクト比（横縦比）4：3 の番組。
16:9	アスペクト比（横縦比）16：9 の番組。
主+副	二重音声信号がある番組。
ステレオ	ステレオ音声の番組。
モノラル	モノラル音声の番組。

番組情報関連

アイコン	内容
4ch サラウンド	4ch サラウンド放送の番組。
5ch サラウンド	5ch サラウンド放送の番組。
5.1ch サラウンド	5.1ch サラウンド放送の番組。
字幕	字幕（日本語 / 外国語）のある番組。
制限録画	デジタル録画機でのダビング回数に制限がある番組。
録画不可	デジタルコピーガードされている番組。デジタル録画できません。
年齢制限	視聴年齢の制限がある番組。
お好み	お好み登録されているチャンネル。
視聴中	現在視聴中の番組（地上アナログ放送の番組表のみ）。
	視聴予約中の番組。
	録画予約中の番組。

その他の情報

	既読のお知らせメッセージ。
	未読のお知らせメッセージ。

お知らせ

- 放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンが表示されないことがあります。
- 録画不可のアイコンが出ない番組でも、録画機器によっては録画できない場合があります。

おもな仕様

型番			KRP-600A	KRP-500A
型名			フラットテレビ	
受信チャンネル	地上アナログ		VHF1 ～ 12 チャンネル／ UHF13 ～ 62 チャンネル／ CATV C13 ～ C38 チャンネル	
	デジタル放送		BS デジタル 000 ～ 999 チャンネル／ 110 度 CS デジタル 000 ～ 999 チャンネル／地上デジタル 000 ～ 999 チャンネル（CATV パススルー対応）	
ディスプレイパネル（画面寸法）			60 V 型 AC 方式プラズマパネル	50 V 型 AC 方式プラズマパネル
			（幅 131.9 cm、高さ 74.2 cm、対角 151.3 cm）	（幅 110.4 cm、高さ 62.1 cm、対角 126.6 cm）
画素数			1920（水平）× 1080（垂直）	1920（水平）× 1080（垂直）
音声実用最大出力			18 W ＋ 18 W（1 kHz, 10 %, 6 Ω）	
スピーカー			低音用（ウーファー）：長円コーン型、高音用（トゥイーター）：2.5 cm セミドーム型	
サウンドエフェクト			SRS FOCUS/SRS/SRS TruBass/SRS Definition	
定格電圧			AC100 V	
定格周波数			50 Hz/60 Hz	
消費電力	ディスプレイ部	消費電力（定格）	497 W	400 W
		待機時消費電力	0.2 W	0.2 W
	メディアレシーバー部	消費電力（定格）	36 W	
		待機時消費電力	0.1 W	
年間消費電力量※[1]（標準モード時）			488 kWh/ 年	428 kWh/ 年
入出力端子	VHF/UHF（地上アナログ）アンテナ 入力		1 系統、75 Ω F 型コネクター	
	地上デジタルアンテナ入力		1 系統、75 Ω F 型コネクター	
	BS・110 度 CS アンテナ入力		1 系統、75 Ω F 型コネクター	
		アンテナ電源出力	DC15 V　最大 4 W	
	入力	映像	1.0 Vp-p、75 Ω、同期負	
		S2 映像	輝度（Y）信号：1.0 Vp-p、75 Ω、同期負 色（C）信号：0.286 Vp-p（バースト信号）、75 Ω	
		D4 映像	輝度（Y）信号：1.0 Vp-p、75 Ω、同期負 色差（C_B/P_B、C_R/P_R）信号：0.7 Vp-p（カラー 100 %）、75 Ω	
		音声	0.5 Vrms、22 k Ω以上	
		HDMI 端子（入力 1/5/6/7）	4 系統	
	デジタル放送出力	映像	1.0 Vp-p、75 Ω、同期負	
		S2 映像	輝度（Y）信号：1.0 Vp-p、75 Ω、同期負 色（C）信号：0.286 Vp-p（バースト信号）、75 Ω	
		音声	0.25 Vrms（-18 dB　FS）、1 kΩ	
	デジタル音声出力（光）		1 系統（角型）	
	ヘッドホン出力	（16 Ω ～ 32 Ω 推奨）	0.5 Vrms -3 dB、（ヘッドホン 32 Ω時、音量最大時）	
	電話回線（モジュラー）端子		1 系統、V.22bis（2400 bps）	
	ビデオコントローラー端子		1 系統	
	コントロール端子	出力	1 系統	
	システムケーブル端子		1 系統	
	パソコン（PC）入力	RGB 映像（DDC2B 対応）	RGB 信号：0.7 Vp-p、75 Ω、同期なし 同期信号（HD/VD）：TTL レベル、2.2 kΩ、正負極性	
		音声	0.5 Vrms、22 kΩ 以上	
	LAN（10BASE-T/100BASE-TX）端子		1 系統	
	USB 端子		1 系統（USB2.0 対応）	
外形寸法	ディスプレイ（スピーカー取り外し時）		幅 1465 mm、高さ 876 mm 、奥行 64 mm	幅 1233 mm、高さ 723 mm、奥行 63 mm
	ディスプレイ（スピーカー取り付け時）		幅 1677 mm、高さ 876 mm、奥行 64 mm	幅 1399 mm、高さ 723 mm、奥行 64 mm（突起物除く）
	メディアレシーバー		幅 420 mm、高さ 80 mm、奥行 278 mm	
	スピーカー		幅 105 mm、高さ 876 mm、奥行 64 mm	幅 82 mm、高さ 723 mm、奥行 64 mm（突起物除く）
質量	ディスプレイ（スピーカー取り外し時）		49.9 kg	31.4 kg
	ディスプレイ（スピーカー取り付け時）		54.0 kg	34.9 kg
	メディアレシーバー		4.6 kg	

- ■ 製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。
- ■ テレビのV型（50V 型等）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- ■ ※[1]：年間消費電力量とは省エネ法に基づいて、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
- ■ HDMI 1.3 (Deep Color)、HDCP 1.1 準拠：HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）とは、デジタル画像信号を暗号化する著作権保護システムの 1 つです。

商標／著作権・個人情報について

- あなたが録音（録画）したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 本機が記憶したお知らせメッセージや購入記録、データ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報が、万一、本機の不具合によって消失した場合、復元は不可能です。その内容の消失にともなう損害、損失に対して当社は責任を負いません。

- 本機はデジタル放送のサービスを利用するためにお客様の個人情報を保存する場合があります。
  本機に保存されるお客様の個人情報に関しましては、お客様と放送事業者様との間で交わされるものであり、情報の漏洩に対して当社は責任を負いません。
  情報の漏洩を防ぐためにも、本機を譲渡または廃棄するなどの場合は、必ず、個人情報をリセットしてください。
  (☞159 ページ)

- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
  本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

- 本機では、画面表示に NEC のフォント「FontAvenue」を使用しています。
  FontAvenue は NEC の登録商標です。

- SRS WOW HD DIGITAL は SRS Labs, Inc. の商標です。
  WOW HD 技術は SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

- 本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭およびそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

- G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc. またはその関連会社の日本国内における登録商標です。
  G ガイドは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc. のライセンスに基づいて生産しております。
  米 Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

- 本製品には、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。
  ACCESS、NetFront は株式会社 ACCESS の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

  本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

  ACCESS™ NetFront®

- 本製品はファイルシステム機能として株式会社京都ソフトウェアリサーチの「Fugue」を搭載しています。

本取扱説明書に記載されている企業名や製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。また、各社の商標および登録商標について、特に注記のない場合でも、これを尊重いたします。

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にお使いください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告

異常時の処置

- 煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 故障状態（画面が映らない、音が出ないなど）のまま使用しないでください。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 内部に異物や水が入った場合はすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 落としたりキャビネットやパネルを破損した場合はすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

設置

- ぐらついた台や傾いたところなど不安定なところに置かないでください。また天井に取り付けないでください。倒れたり落ちたりして、けがの原因となります。

- 壁掛け工事は工事専門業者又は販売店にご依頼ください。工事が不完全ですと、死亡やけがの原因となります。壁掛けには専用取り付け金具をご使用ください。

- 地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を低減するために必ず転倒防止の処置を行ってください。（☞20 ページ）

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となります。

- 電源プラグは根元まで差し込んでも緩みがあるコンセントに接続しないでください。発熱による火災の原因となります。

- 電源プラグを抜くときはプラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。

⚠警告

・ＡＣ変換プラグを使用する場合、アース線をコンセントに差し込まないでください。火災・感電の原因となります。

・電源コードの上に重いものを乗せたり、コードを本機の下敷きにしないでください。火災・感電の原因となります。

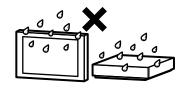
・ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。感電の原因となります。

・テレビ本体は約 56 kg（KRP-600A）／約 39 kg（KRP-500A）と重いので、開梱や持ち運びおよび設置は２人以上で行ってください。落下してけがの原因となることがあります。

・電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ（遮断装置）を抜く必要があります。万一の事故に備え、本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグ（遮断装置）に簡単に手が届くように設置してください。

使用環境

・風呂場、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

・この機器に水を入れたり、ぬらさないでください。火災・感電の原因となります。

・表示された電源電圧（交流１００ V）以外で使用しないでください。またたこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超える使い方をしないでください。火災・感電の原因となります。

・この機器の裏ぶたカバーを外したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。点検・修理は販売店にご相談ください。

・この機器の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

使用方法

・この機器の上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となります。

・不要な小さな部品などは幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。

・この機器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となります。

・電源プラグの刃および刃付近にほこりや金属物が付着している場合は電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

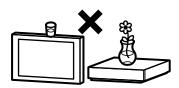
・前面パネルには衝撃を加えないでください。たたくなどの衝撃を加えるとパネルが割れ、火災・けがの原因となります。

・電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、過熱したり、熱器具に近づけたりしないでください。火災・感電の原因となります。コードが傷んだら販売店に交換を依頼してください。

・雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

・本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

・この機器の上に花瓶、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠注意

設置

・湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

・放熱を良くするため他の機器や壁などから左右背面 10 cm 以上、上 50 cm 以上の空間を取って設置してください。また次のような使い方はしないでください。この機器の通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
◆押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込む。
◆じゅうたんや布団の上に置く。
◆テーブルクロスなどを掛ける。
◆あお向けや横倒し、逆さまにする。

・アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
◆送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
◆ＢＳ、ＣＳ受信用アンテナは、強風の影響を受けやすいのでしっかりと取り付けてください。

・ホームテレホン、ビジネスホン用の回線にそのまま接続しないでください。本機をホームテレホン・ビジネスホン用の回線にそのまま接続すると、必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となることがあります。接続の際には、ホームテレホン・ビジネスホンのメーカーまたは工事店にお問い合わせください。

・付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となることがあります。

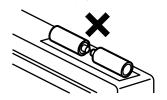
使用方法

・移動させる場合は電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コード、システムケーブル、転倒防止具を外したことを確認のうえ、行ってください。

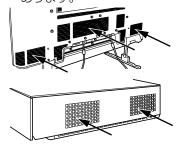
・長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

電池のお取り扱い

・指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。

・電池を入れるときには、極性表示（プラスとマイナスの向き）に注意し、機器の表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。

お手入れ

・お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

・この機器の背面、側面にある通風孔は、月に一度を目安に掃除機でほこりを吸い取ってください（このとき掃除機は「弱」に設定してください）。通風孔にほこりがたまったまま使用すると内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

・年に一度くらいは内部の清掃を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気が多くなる梅雨前に行うと、より効果的です。なお、清掃費用については販売店などにご相談ください。

使用上のご注意（守っていただきたいこと）

⚠注意

お客様または第三者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

フラットテレビについて

フラットテレビの画素欠けについて

- フラットテレビは、微細な画素の集合体で非常に精密な技術で作られていますが、ごく一部の画素が光らなかったり常時点灯する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

電磁波妨害について

- 本機は公的規格を満たしていますが、「AM ラジオ」や「パソコン」、「ビデオ」などの機器を近づけると妨害を与えることがあります。このときは、機器を影響のない所まで本機から離してください。

ファンモーターの音について

- 設置環境により本体周囲の温度が高くなると、冷却用のファンモーターが回り出したり、回転数が上がります。そのため、ファンモーターの音が大きく感じられる場合があります。

駆動音について

- 本機に電源を入れると駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません 。

フラットテレビの温度について

- 長時間使用すると、本機の一部が熱を持つことがあります。手で触れると熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。

画面の保護機能について

- デジタルカメラの画像やパソコンの画面など、動きのない映像を長い時間表示すると画面がやや暗くなります。これは、動きの少ない映像を検知すると、自動的に明るさを調整して画面を保護する機能が働くためです。故障ではありません。

守ってください

すべての接続が終わってから電源プラグをコンセントにつないでください

- 本機と他の機器との接続をする前に、電源プラグを抜いてください。すべての接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- AC 変換プラグをご使用する場合、性能維持のため変換プラグのアース線はアース端子に接続してください。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

スピーカーについて

- グリルネットおよびキャビネットは、強い衝撃を与えるとキズついたり破損することがありますので、取り扱いには十分注意してください。
- スピーカーを過大入力による破損から守るため、下記の注意を守ってください。
  - スピーカーを本機以外に使用しないでください。故障・火災の原因になることがあります。
  - 本体とスピーカーとの接続をする前に、本体の電源プラグを抜いてください。接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
  - 「音質の調整」（☞73 ページ）で高音の設定を高レベルにするときは、本機の音量を上げ過ぎないでください。
- 本機の近くに CRT モニターを設置しているときは、CRT モニターに色ムラが生じる場合があります。色ムラが生じるときは、本機と CRT モニターを離してください。

メモリーカードの使用上の注意

- メモリーカード使用中（「ホームギャラリー」画面での操作中）は本機の電源を切ったり、メモリーカードや USB ケーブルを抜かないでください。データが破壊することがあります。必ず「ホームギャラリー」画面を消してから抜いてください。
- メモリーカードは、乳幼児の手の届く所に置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
- メモリーカードについては、メモリーカードの取扱説明書をご覧ください。

B-CAS カードは必要なとき以外は抜かないでください

- 必要がないのに抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CAS カードの中には IC が内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れないようご注意ください。
- メディアレシーバーに差し込むときは B-CAS カードの方向や差し込む面などを間違えないように注意してください。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、アンテナは交通の頻繁な自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となります。BS・110度CSデジタル放送受信用のアンテナ線には、必ずBS・110度CSデジタル放送に対応した衛星放送用同軸ケーブルを使用してください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

周辺温度に注意してください

- 本機は、周囲温度0℃～40℃の範囲内でご使用ください。また、本機を冷え切った状態のままで室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置したり、室温を徐々に上げてからご使用ください。

置き場所に注意してください

- 本機を直射日光が当たる場所に長期間置かないでください。故障やパネルの光学特性が変化して変色の原因となります。
- 本機には設置用のスタンドは付属していません。台の上に設置する際は、別売の専用スタンドをご使用ください。
- 本機をワックスなどを塗った面に設置すると、スタンドが貼り付く恐れがありますのでご注意ください。

電磁波妨害に注意してください

- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

国外では使用できません

This product cannot be used in any other countries.

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
  This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

画面の残像と焼き付きについて

静止画など同じ絵柄の映像を、長時間または繰り返して表示すると画面に像が残る場合があります。

1. 残像
   輝度の高い文字・映像または固定パターンの画像を表示すると、比較的短時間の表示でもパネルの電荷負荷の残留により像が残ることがありますが、故障ではありません。
   この残像は動画を画面いっぱいに映し出すことで徐々に回復します。

2. 焼き付き
   上記の画像を長時間または繰り返し表示し続けると、連続して表示している部分と他の部分の明るさに差が生じ、画面に焼き付きとして像が残るようになります。焼き付きが発生すると完全に回復することが難しくなりますのでご注意ください。
   特に製品のご購入初期ほど起こりやすいのでご注意ください。

お知らせ

- 本機では、番組表などの映像を数分間表示していると、焼き付きを防ぐために、自動的に番組表などの表示が消えます。

焼き付きを防止するには

焼き付きを防止するために、特に購入初期の間は、以下の点に注意してご使用いただくことをお勧めします。

- ● 上記の焼き付きを招きやすい表示でのご使用はできるだけ避けてください。
- ● 画面サイズが4：3やシネスコサイズの番組は、リモコンの画面サイズボタンで「ワイド」などにして画面サイズいっぱいに表示して視聴してください。(☞63ページ)
- ● [画面自動調整]を設定し(☞64ページ)、[サイドマスク]の「検出」を「モード1」、「モード2」に設定して視聴してください。(☞65ページ)
- ● 4：3 画面サイズのときは、[サイドマスク]（画面左右部分）の「輝度連動」を「連動」（映像に連動した明るさにする）に設定してください。(☞65ページ)
  さらに、[消費電力]で「モード2」に設定するとより効果があります。(☞66ページ)
- ● オービター機能は「モード1」の設定のままでご使用ください。(☞99ページ)
- ● HDMI入力でPCを接続しているときは、必ず「信号種別」を「PC」に設定してください。(☞81ページ)
- ●「おすすめ設定」することをお勧めします。(☞99ページ)

赤外線について

- フラットテレビは原理上赤外線を出しています。使用状態によっては周囲の機器のリモコンが効きにくくなったり、赤外線を使用しているワイヤレスヘッドホンにノイズが入る場合があります。その場合は、影響を受けないような場所に機器の受光部を設置してください。
- アナログ方式の赤外線を使用している機器（アナログ赤外線方式のマイクやヘッドホン等）は使用できません。デジタル方式の機器は使用できる場合があります。

用語の解説

■ D 端子
ハイビジョンや DVD などの高画質な映像のための端子規格で、端子の形がアルファベットの「D」に似ているので D 端子と呼ばれます。D 端子では、1 本のケーブルを接続するだけで、映像信号のほかに映像サイズ識別用の制御信号も送れます。対応する走査線数と走査方式によって D1 ～ D5 の規格（本機は D4 に対応）があります。数字が大きいほどより高画質な映像に対応します。なお、D 端子で伝送される映像信号はアナログ信号です。

■ HDMI（High-Definition Multimedia Interface）
HDMI は、家電向けのデジタルデータの伝送規格です。映像のほかに、マルチチャンネルのオーディオ信号や制御信号をデジタルのまま、1 本のケーブルで伝送できます。

■ MPEG-2 AAC（MPEG-2 Advanced Audio Coding）
MPEG-2 音声圧縮技術の符号化方式の 1 つです。高音質・高圧縮率・マルチチャンネル音声フォーマット対応が特長で、デジタル放送の 5.1 チャンネルサラウンド放送などに使われます。MPEG-2 AAC 対応の AV アンプを本機に接続すると、臨場感あふれるサラウンド再生が楽しめます。

■ PCM（Pulse Code Modulation）
アナログの音声信号をデジタル信号に変換する方式の 1 つです。音楽 CD は、この方式を利用しています。

■ S1/S2 映像
従来の S（セパレート）映像信号に加えて、画面の横縦比（アスペクト比）を自動判別する信号を含む映像信号です。レターボックス映像（上下に黒帯のある横長映像）は「ズーム」に、スクイーズ映像（縦長に圧縮された映像）は「フル」になります。

■ イベントリレー
BS デジタル放送では、放送中の番組が延長になったときに別のチャンネルで引き続き放送することがあります。複数のチャンネル（たとえば 881ch、882ch、883ch）を持っている放送局で、放送中の野球中継が延長になったとき、881ch、および 882ch では予定どおり次の番組を放送して、883ch で野球中継を継続することがあります。このようなサービスのことをイベントリレーといいます。

■ インターレース（飛び越し走査）
NTSC 方式のテレビやビデオの画像表示では、525 本の走査線のうち、まず奇数番めの走査線（262.5 本）を 1/60 秒で描きます。次に偶数番めの走査線（262.5 本）を 1/60 秒で描きます。これで、合わせて走査線 525 本の 1 枚の完全な画像（フレーム）を作っていく方式です。「525i」「1125i」の「i」はインターレースを表します。

■ 緊急警報放送
台風、地震などの災害時に、警戒警報や津波警報などが発令されたときは、別のチャンネルで緊急警報放送が放送されます。

■ ケーブルテレビ（CATV）
テレビの有線（ケーブル）放送サービスです。放送を受信するには、地域のケーブルテレビ会社と契約する必要があります。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴ですが、最近では多数のチャンネルや自主放送を行う都市型のケーブルテレビ会社が増えています。ケーブルテレビ会社によって受信できる放送や接続方法は異なります。

■ 降雨対応放送
BS デジタル放送では衛星から送られてくる電波が激しい降雨によって弱められ、放送を受けられなくなることがあります。これを避けるため、送るデータを少なくすることで映像・音声の内容をとぎれなく視聴できるようにしたサービスのことです。降雨対応の番組が放送されているときは、画面を小さくして番組を見ることができます。

■ コンポジット接続
通常の映像端子を使って映像信号を伝送する接続方法です。コンポジット接続では、黄・白・赤の 3 色に分かれたケーブルを使い、映像用には黄色のケーブルを接続します。

■ データ放送
デジタル放送では、地域に密着した情報などを静止画像や文字によって放送しています。これをデータ放送と呼び、視聴者参加型の双方向番組もあります。テレビ放送などと連動したデータ連動型放送と、独立データ型放送の 2 種類のデータ放送があります。

■ 電子番組表
デジタル放送では、映像や音声のほかに番組情報も一緒に送られてきます。また、地上アナログ放送でも、G ガイドを利用して各地域のホスト局から番組情報が送られてきます。その番組情報をもとにテレビ画面に表示する番組表を「電子番組表」と呼びます。電子番組表を使って、番組を探したり番組の内容を確認したり、番組を予約したりできます。本書では、「番組表」と記載しています。

■ ハイビジョン放送
デジタル放送の高画質放送のことです。現行の地上アナログ放送が 525 本の走査線で表示しているのに対し、デジタルハイビジョン放送は 750 本や 1125 本の走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像を楽しめます。画面サイズも 16：9 のワイド画面になります。

■ プログレッシブ（順次走査）
飛び越し走査（「インターレース」の項を参照）をしないで、すべての走査線を順番どおりに描く方法です。525p の場合、525 本の走査線を順番どおりに描きます。インターレース方式に比べてちらつきのないことが特徴で、文字や静止画を表示するときなどに適しています。「525p」「750p」の「p」はプログレッシブを表しています。

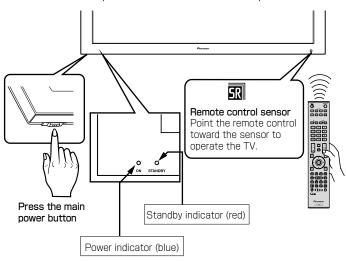
■ マルチビュー放送
1 つの番組の中で、カメラアングルを変えて最大 3 つの場面に分けて放送する BS デジタル放送のサービスです。たとえば、野球中継で、レフト側観客席から見た映像、ライト側観客席から見た映像、バックネット裏から見た映像を 1 つのチャンネルで放送することができます。

■ ラジオ放送（デジタル音声放送）
デジタル放送には、音声を中心としたラジオ放送が多数あります。音楽 CD 並みの音質で、さまざまな音楽を楽しめます。朗読やニュースなどの幅広い番組があります。

Quick Reference

Watching TV

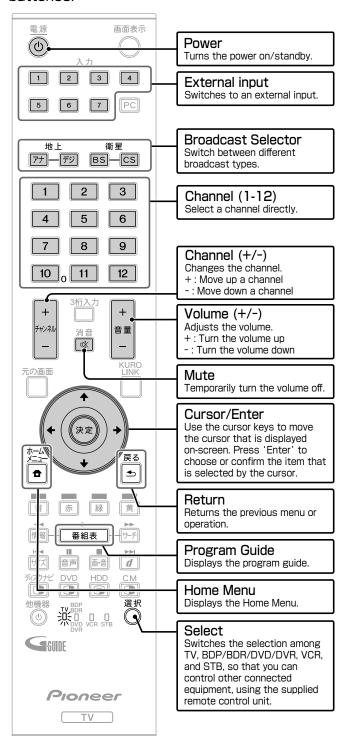
Turning the TV on

Press the main power button to turn the power on.

Turning the TV off

Press the “Power” button on the remote control to turn the TV off.

Frequently used buttons

To use the remote control, first insert the batteries.

メニュー一覧

ホームメニューには、以下の設定項目があります。

お知らせ

- パソコンを接続してパソコンの画面を表示している場合は、メニューの内容が異なります。(☞193 ページ)

■テレビ・ビデオ入力時のメニュー

画質の調整		
モード		☞68 ページ
コントラスト		☞69 ページ
明るさ		☞69 ページ
色の濃さ		☞69 ページ
色あい		☞69 ページ
シャープネス		☞69 ページ
プロ設定		☞70 ページ
	ピュアシネマ	☞70 ページ
	インテリジェントシステム	☞71 ページ
	ピクチャーディテール	☞71 ページ
	カラーディテール	☞71 ページ
	ノイズリダクション	☞71 ページ
	動き補正	☞71 ページ
初期状態に戻す		☞69 ページ
モード（リビング選択時）		☞68 ページ
	ピュアシネマ	☞70 ページ
	サウンドコントロール	☞75 ページ
	リビングモードモニター	☞75 ページ
初期状態に戻す		☞69 ページ

音質の調整	☞73 ページ
高音	☞73 ページ
低音	☞73 ページ
バランス	☞73 ページ
サウンドエフェクト	☞74 ページ
初期状態に戻す	☞73 ページ
オートボリューム	☞74 ページ

省エネの設定	☞66 ページ
消費電力	☞66 ページ
無信号オフ	☞66 ページ
無操作オフ	☞66 ページ

おやすみタイマー	☞67 ページ

その他の設定		
画面位置の調整		☞83 ページ
	水平・垂直位置	☞83 ページ
	初期状態に戻す	☞83 ページ
画面自動調整		☞64 ページ
サイドマスク		☞65 ページ
HDMI 設定		☞81 ページ
	信号種別	☞81 ページ
	映像	☞82 ページ
KURO LINK 設定		☞78 ページ
	入力設定	☞78 ページ
	電源オフ連動	☞78 ページ
	電源オン待機	☞78 ページ
	AV システム連動継続	☞78 ページ
青 LED ディマー		☞96 ページ
オービター		☞99 ページ
ビデオパターン		☞100 ページ
ゲームモード		☞97 ページ
ルームライトセンサー		☞98 ページ
おすすめ設定		☞99 ページ
信号切換		☞86 ページ

初期設定
- かんたん設定 ☞42 ページ
- アナログ放送の設定
  - 一括チャンネル設定 ☞133 ページ
  - 自動チャンネル設定 ☞134 ページ
  - チャンネル設定結果 ☞134 ページ
  - 個別チャンネル設定 ☞135 ページ
  - アナログ放送番組表設定 ☞136 ページ
- デジタル放送の設定
  - 視聴設定 ☞146 ページ
  - 字幕の設定 ☞87 ページ
    - 字幕設定 ☞87 ページ
    - 文字スーパー設定 ☞87 ページ
  - 視聴制限設定 ☞92 ページ
    - 暗証番号設定 ☞93 ページ
    - 年齢制限設定 ☞94 ページ
  - 外部機器設定
    - デジタル放送音声出力 ☞158 ページ
    - ビデオコントローラー ☞108 ページ
  - ネットワーク設定 ☞124 ページ
    - IP アドレス設定 ☞124 ページ
    - プロキシサーバー設定 ☞125 ページ
    - ネットワーク情報 ☞126 ページ
    - テスト ☞126 ページ
  - 受信環境設定
    - アンテナ設定 ☞150 ページ
    - 電話回線設定 ☞155 ページ
    - 居住地域設定 ☞149 ページ
    - リモコン設定 ☞147 ページ
    - 地上デジタル設定 ☞141 ページ
    - 自動アップデート ☞157 ページ
  - 初期状態に戻す ☞159 ページ
    - 設定内容 ☞159 ページ
    - 個人情報 ☞159 ページ
- チャンネル情報サイズ ☞59 ページ
- 時計合わせ ☞140 ページ

番組ナビ
- 番組表 ☞51 ページ
- ジャンル検索 ☞56 ページ
- 予約一覧 ☞132 ページ
- 週間番組表 ☞53 ページ
- チャンネル一覧 ☞57 ページ
- トピックス ☞88 ページ
- インフォメーション ☞89 ページ
  - お知らせメッセージ ☞89 ページ
  - B-CAS カード ☞154 ページ
  - CS1 ボード ☞90 ページ
  - CS2 ボード ☞90 ページ
  - バージョン情報 ☞91 ページ

ホームギャラリー ☞119 ページ

KURO LINK 設定 ☞78 ページ

■ PC 入力時（パソコン接続時）のメニュー

メニュー			ページ
画質の調整			☞69 ページ
	モード		☞68 ページ
	コントラスト		☞117 ページ
	明るさ		☞117 ページ
	R レベル		☞117 ページ
	G レベル		☞117 ページ
	B レベル		☞117 ページ
	初期状態に戻す		☞117 ページ
音質の調整			☞73 ページ
	高音		☞73 ページ
	低音		☞73 ページ
	バランス		☞73 ページ
	サウンドエフェクト		☞74 ページ
	初期状態に戻す		☞73 ページ
	オートボリューム		☞74 ページ
省エネの設定			☞118 ページ
	消費電力		☞66 ページ
	パワーマネージメント		☞118 ページ
おやすみタイマー			☞67 ページ
その他の設定			☞116 ページ
	画面の自動調整開始		☞116 ページ
	画面の手動調整		☞116 ページ
		水平・垂直位置	☞116 ページ
		クロック周波数	☞116 ページ
		クロック位相	☞116 ページ
		初期状態に戻す	☞116 ページ
	HDMI 設定		☞81 ページ
		信号種別	☞81 ページ
		映像	☞82 ページ
	KURO LINK 設定		☞78 ページ
		入力設定	☞78 ページ
		電源オフ連動	☞78 ページ
		電源オン待機	☞78 ページ
		AV システム連動継続	☞78 ページ
	オービター		☞118 ページ
ホームギャラリー			☞119 ページ
KURO LINK 設定			☞78 ページ

索　引

数字・アルファベット

100BASE-TX 123
10BASE-T..........................123
110 度 CS デジタル放送 173
16：9 63
2 画面入れ換え 84
2 画面表示................................84
3DNR......................................71
3DYC 分離 71
4：3 63
AAC .... 113，158
ACL..71
AC 変換プラグ...................6，39
ADSL.....................................123
ADSL モデム 123
AFT 135
AV メモリー..............................68
B-CAS（ビーキャス）カード
..................6，41，154，187
B-CAS カード挿入口
......................................10，41
BS デジタル放送..................173
BS・110 度 CS アンテナ入力
......................................11，33
CATV............................33，123
CS1 ボード /CS2 ボード 90
CTI 71
DHCP.....................................124
DNS サーバーアドレス
自動取得.............................124
DOS FAT..............................119
Dot by Dot 63
DRE ピクチャー......................71
FAT32 119
GR..135
G ガイド ....51，52，136
HDMI 設定 81
HDMI 端子 11
IP アドレス...........................124
IP アドレス自動取得 124
IP 変換 71
JPEG 形式 119
KURO LINK ....76 ～ 80
LAN..123
LAN（10/100）端子..11，123
MPEG-2 AAC ....113，158
ON ランプ（青）.................8，46
PCM.........................113，158
PC 入力端子................10，115
PinP 表示 85
PsideP 表示 84
SR+ 114
SRS 74
SRS Definition......................74
SRS FOCUS 74
SRS TruBass 74
STANDBY ランプ（赤）
....8，46
USB 入力端子..............10，120
VFAT 119
VHF/UHF（地上アナログ）
アンテナ入力...............11，36

あ行

明るさ 69
アスペクト比........................181
アドバンス...............................70
アナログ放送番組表設定.......136
アルバム表示.......... 119 ～ 121
アルバム表示画面 120
暗証番号削除...........................94
暗証番号設定...................92，93
アンテナ...................................32
アンテナ設定.........................150
アンテナ電源（衛星）...........151
アンテナレベル.........150，151
アンテナレベル（衛星）........151
アンプをつなぐ 76
一括チャンネル設定 .....43，133
イベントリレー.........174，189
色あい 69
色温度 71
色の濃さ...................................69
インテリジェントシステム......71
インフォメーション 89
動き補正..........................70，71
映画 68
衛星アンテナ設定.........43，150
衛星周波数設定.....................145
枝番 ....48，52
オービター....................99，118
お好みチャンネル 58
お知らせメッセージ 89
おやすみタイマー 67
音質・音場の調整 73
音声切換..........................13，60
音量（＋ / －）ボタン
.............................10，12，47

か行

快速番組サーチ 55
外部入力...................................62
画質・音質モード 68
画質の調整....................69，117
壁掛け設置...............................19
画面位置の調整 83
画面サイズ...........63，64，117
画面自動調整...........................64
画面の手動調整 116
カラーディテール ....70，71
カラーマネージメント 71
かんたん設定...........................42
ガンマ 71
共同受信...................................34
居住地域................................149
居住地域設定.................44，149
緊急警報放送........................174
黒伸張 71
クロック位相........................116
クロック周波数 116
ケーブルクランプ ....6，29
ケーブルテレビ ....33，189
ゲーム 68
降雨対応放送........................174
子画面位置...............................85
個別チャンネル設定 135
コントラスト...........................69
コントロール接続 114
コントロール（出力）
端子...........................11，114

さ行

再スキャン.................141，142
サイドマスク...........................65
サウンドエフェクト 74
サブネットマスク 124
色域 71
視聴制限設定...........................92
視聴設定................................146
視聴予約...................................54
自動アップデート 157
自動チャンネル設定..134，141
シネマ 63
字幕適応...................................70
字幕の設定...............................87
シャープネス...........................69
ジャストクロック 140
ジャンル検索...........................56
週間番組表...............................53
受信環境設定........................145
受信 CH 135
主電源ボタン.......................8，46
省エネの設定...............66，118
消画 66
消費電力...................................66
初期スキャン............141，142
シングル表示........................121
信号切換...................................86
ズーム 63
水平･垂直位置...............83，116
スタンバイ / 入ボタン 46
スタンバイランプ 46
スピーカー.......................21，25
スピーカーケーブル
...............................7，23，27
スピーカー取付金具
...............................7，22，26
スプリッター........................123
スムース...................................70
スライドショー 122
静止 86
設置 17
設置スペース...........................18

た行

ダイナミック ...68
ダウンロード ...157
地上Dアッテネーター ...150，152
地上Dアンテナレベル ...150，153
地上アナログ番組表（Gガイド）設定...136
地上デジタルアンテナ入力 ...11，35
地上デジタル設定...45，141
地上デジタル放送...173
チャンネル一覧...57
チャンネル自動変更...143
チャンネル情報サイズ...59
チャンネル設定結果...43，134
チャンネル（＋／－）ボタン ...10，12，47
ディスクナビ ...79
ディレクター ...68
データ連動放送...61
デジタル音声出力（光）端子 ...11，113
デジタル放送音声出力...158
デジタル放送出力端子 ...11，101
デフォルトゲートウェイアドレス...124
電界強度適応NR ...135
電源「入」ランプ...10，46
電源コード...6，39
転倒防止 ...20
転倒防止用ボルト...6，20
電話回線 ...37
電話回線テスト...44，156
電話回線端子 ...11，37
トーン ...155
時計合わせ ...140
トピックス ...88

な行

入力切換ボタン...10
ネットワーク ...124
年齢制限設定 ...92，94
ノイズリダクション...70，71

は行

バージョン情報...91
ハイビジョン ...63，173，189
パソコン ...115
パソコン信号一覧...115
ハブ...123
パワーマネージメント...118
番組情報 ...59
番組ナビ ...56
番組表...51，129
番組表自動取得／取得時刻 ..141
ビデオコントローラー ...11，101，107
ビデオコントローラー端子 ...11
ビデオコントローラーの設定をする...108
ビデオコントローラーを取り付ける...108
ビデオコントローラーで録画機器をつなぐ ...107
ピュアシネマ ...70
表示CH...135
フィールドNR...71
フォルダー一覧...119
物理チャンネル...150
フル...63
ブロードバンド...123
ブロードバンドルーター...123
ブロックNR...71
プロキシサーバー設定...125
プログレッシブ信号...70
プロ設定...70
放送局コード ...139
ポート番号 ...125
ホームギャラリー...119
ホームメニュー...12，49
ホスト局...137

ま行

マニュアル予約...131
マルチビュー ...86，189
無信号オフ ...66
無操作オフ ...66
メーカーコード...110
メモリーカードリーダー...119
モード...68
文字スーパー設定...87
モジュラーケーブル ...6，37，123
モジュラー分配器 ...6，37，123
モスキートNR...71
元の画面 ...12
戻る...12

や行

予約一覧 ...132
予約確認・変更・取消し ...132

ら行

リビング ...68
リモコン ...6，12，40
リモコン受光部...8，40
リモコン設定 ...147
リモコンモードランプ...13
録画同時モニター...127
録画するときのご注意...128
録画予約 ...129
録画予約の準備をする...127

わ行

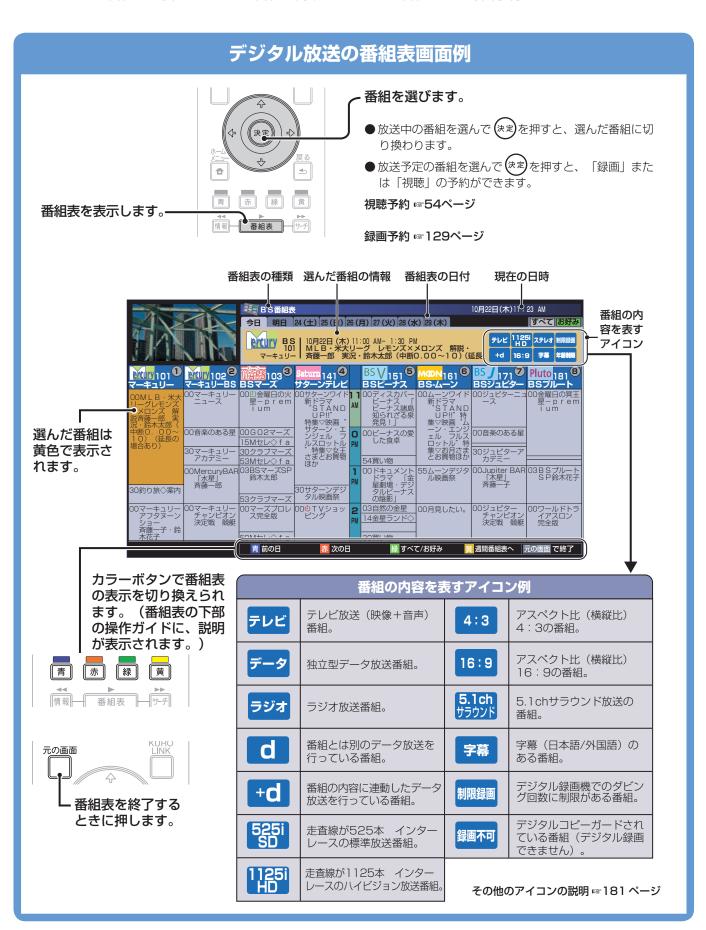
ワイド...63

番組表の見かた

番組表を使って、見たい番組を簡単に選べます。番組表から録画予約もできます。

テレビ	テレビ放送（映像＋音声）番組。	4:3	アスペクト比（横縦比）4：3の番組。
データ	独立型データ放送番組。	16:9	アスペクト比（横縦比）16：9の番組。
ラジオ	ラジオ放送番組。	5.1ch サラウンド	5.1chサラウンド放送の番組。
d	番組とは別のデータ放送を行っている番組。	字幕	字幕（日本語/外国語）のある番組。
+d	番組の内容に連動したデータ放送を行っている番組。	制限録画	デジタル録画機でのダビング回数に制限がある番組。
525i SD	走査線が525本　インターレースの標準放送番組。	録画不可	デジタルコピーガードされている番組（デジタル録画できません）。
1125i HD	走査線が1125本　インターレースのハイビジョン放送番組。		

その他のアイコンの説明 ☞181 ページ

接続・設定についてお困りのとき

http://pioneer.jp/support/product/pdp.html

本書以外に上記弊社ホームページもご覧ください。

ご相談窓口のご案内

商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口、カタログのご請求についてのご相談窓口です。

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜　　　9:30 ～ 18:00

　　　　　土曜・日曜・祝日 9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00（弊社休業日は除く）

●家庭用オーディオ / ビジュアル商品

フリーコール **0120－944－222**

※フリーコールは、携帯電話、PHS などからは、ご利用になれません。
一般電話は、携帯電話、PHS などからご利用可能ですが、通話料がかかります。

一般電話　03－5496－2986

ファックス　03－3490－5718

インターネットホームページ　**http://pioneer.jp/support/**

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

パイオニア株式会社

〒 153-8654　東京都目黒区目黒1丁目4番1号

JIS C 61000-3-2 適合品

<08G00001>　<ARA1357-A>　Printed in Japan